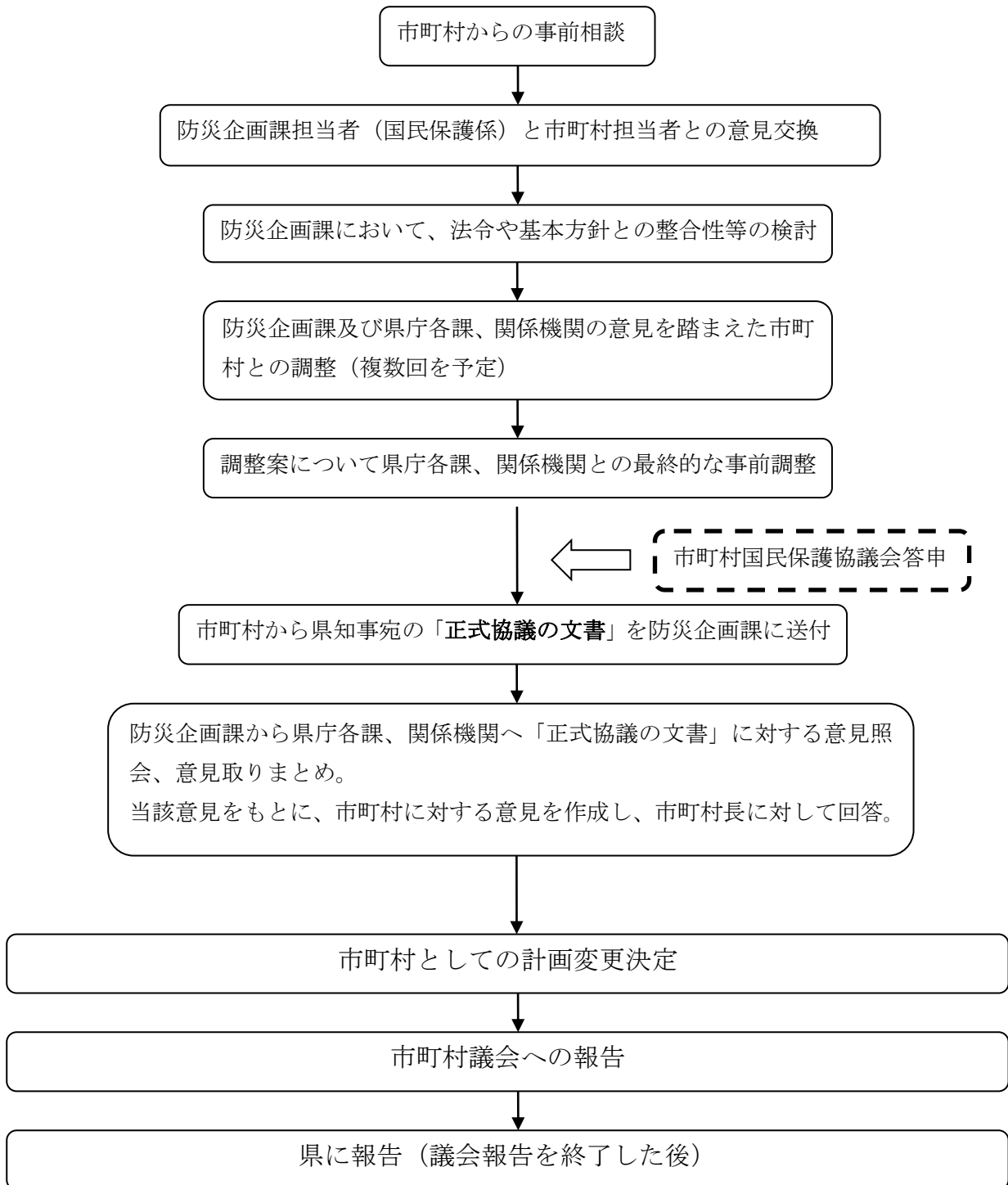


市町村国民保護計画変更の流れ



飯塚市国民保護計画（変更案）【概要版】

飯塚市国民保護計画変更内容

- 「国民の保護に関する基本指針」や「福岡県国民保護計画」との整合に伴う追記など
 - ・ 国の現地対策本部長が武力攻撃事態等合同対策協議会を開催する場合、当該協議会への参加
 - ・ 安否情報システムによる安否情報の収集、提供の利用
 - ・ 全国瞬時警報システム（J-ALERT）、緊急情報ネットワークシステム（Em-Net）の新たな警報伝達手段
 - ・ 大規模集客施設や旅客輸送施設における施設滞在者等への避難等の措置
 - ・ 武力攻撃等原子力災害への対処
 - ・ 災害対策基本法の一部改正や市町村国民保護モデル計画に基づく記述の整理
 - ・ 国、県所管事務の移管に伴う整理
 - ・ 制度の廃止や要綱の改正に伴う整理

- 「飯塚市地域防災計画」等との整合に伴う修正など
 - ・ 市民への広報手段の追加
 - ・ 人口、気候等の平均値などの時点修正
 - ・ 本市の機構改革等に伴う整理

- 統計数値の時点修正など・名称や文言の整理

飯塚市国土強靱化地域計画策定方針

1 計画策定の趣旨

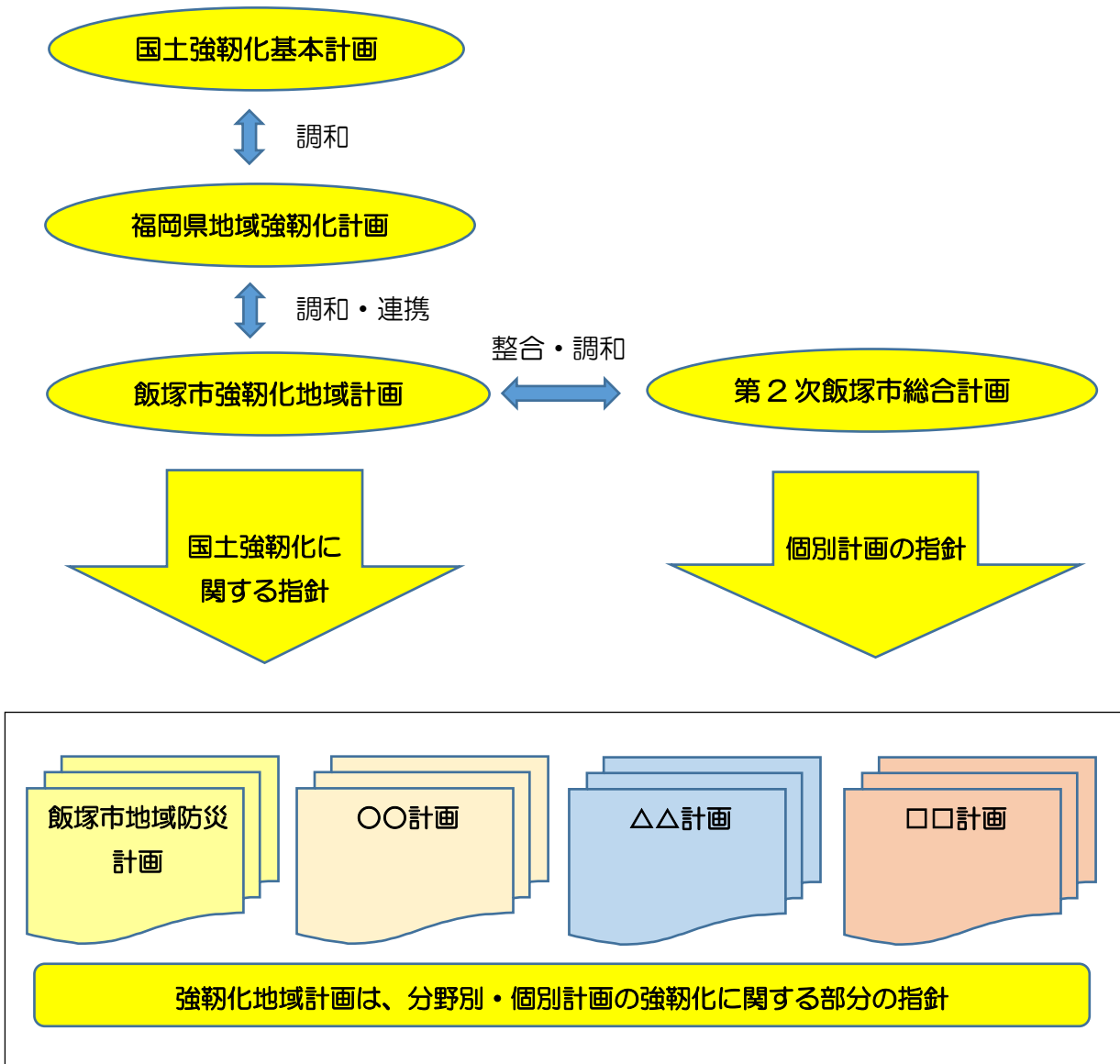
●国においては、東日本大震災の発生などを踏まえ、大規模自然災害等に備えた国土の全域にわたる強靱な国づくりを推進するため、平成 25 年（2013 年）12 月に「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」（以下「国土強靱化基本法」という。）を公布・施行し、平成 26 年（2014 年）6 月に「国土強靱化基本計画（以下、「基本計画」という。）」を策定しました。その中で、国は、「強さ」と「しなやかさ」を持った安全・安心な国土・地域・経済社会の構築に向けた「国土強靱化」（ナショナル・レジリエンス）を推進しています。

●福岡県においては、国の計画を踏まえ、いかなる自然災害が発生しようとも、「強さ」と「しなやかさ」を持った安全・安心な県土・地域・経済社会の構築に向けた「県土の強靱化」を推進するため、平成 28 年（2016 年）3 月に「福岡県地域強靱化計画（以下、「県計画」という。）」を策定し、令和元年 6 月に改定しています。

●飯塚市においても、基本計画及び県計画を踏まえ、いかなる自然災害が発生しようとも市民の生命や財産を守り、地域・経済社会の致命的な被害を回避し、迅速な復旧に資する「強靱な飯塚市」をつくるため、「飯塚市国土強靱化地域計画（以下「本計画」という。）」を策定するものです。

2 計画の位置付け

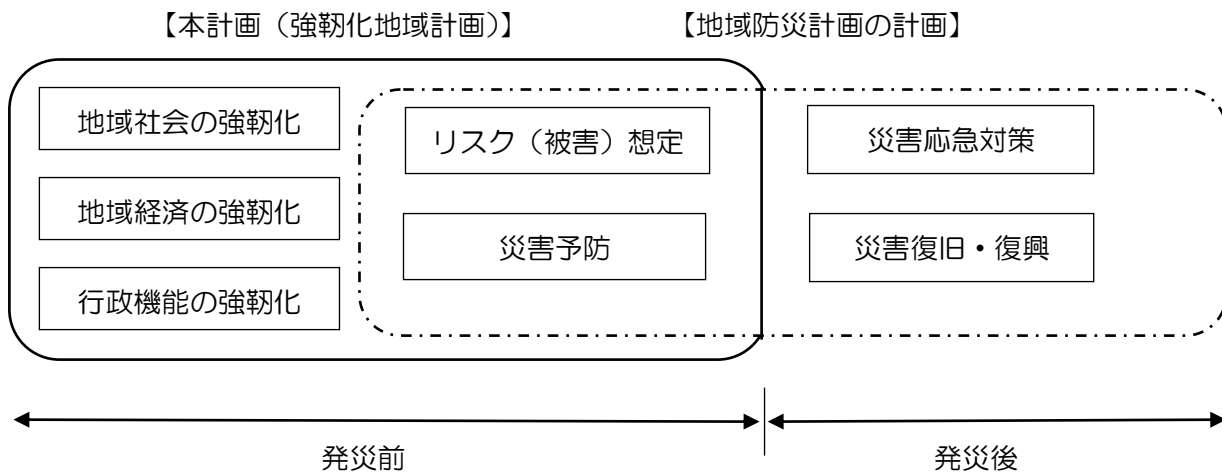
●本計画は、基本法第13条に基づく国土強靱化地域計画として策定するものであり、第2次飯塚市総合計画（以下「市総合計画」という。）、災害対策基本法に基づく「飯塚市地域防災計画」などとの調和を図るとともに、地域強靱化の観点から、本市における様々な分野の計画等の指針となるものです。



3 本計画（強靱化地域計画）と飯塚市地域防災計画の比較

●あらゆる災害（リスク）に備えるため、起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）を明らかにし、それらを回避するため事前に取り組むべき具体的施策を定めるものです。一方で、地域防災計画では、災害ごとの対策や対応について、実施すべきことを定めることが基本とします。

項目	本計画（強靱化地域計画）	地域防災計画
計画の前提	起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）	災害ごとの被害想定
計画内容	脆弱性評価、事前に取り組む施策	事前の取り組み、事後の方策
対策の優先度	施策指標と重点化による明確化	一般的に明記なし



4 計画期間

●市総合計画の計画期間である令和4年度(2022年度)から令和8年度(2026年度)までの5年間とし、その後、概ね5年ごとに見直します。

5 策定体制

- 策定に当たっては、次の体制で進めていきます。
 - ・市長、副市長及び各部長で構成する「飯塚市強靱化地域計画策定会議（以下、「策定会議」という。）を設置し、全庁的に策定作業を進めます。
 - ・関係部署（対象職員：係長以上）による作業部会を設置し、分野ごとに計画、検討、調整を行います。
 - ・有識者会議から意見を聴取し、計画に反映させます。

6 基本目標

- 国が基本計画に掲げる基本目標を踏まえ、以下のとおり設定します。
 - ①人命の保護が最大限図られること
 - ②市及び社会の重要な機能が致命的な障がいを受けず維持されること
 - ③市民の財産及び公共施設に係る被害の最小化
 - ④迅速な復旧復興を基本として、「強さ」と「しなやかさ」を持った安全・安心な国土・地域・経済社会の構築に向けた「国土強靱化」を推進する

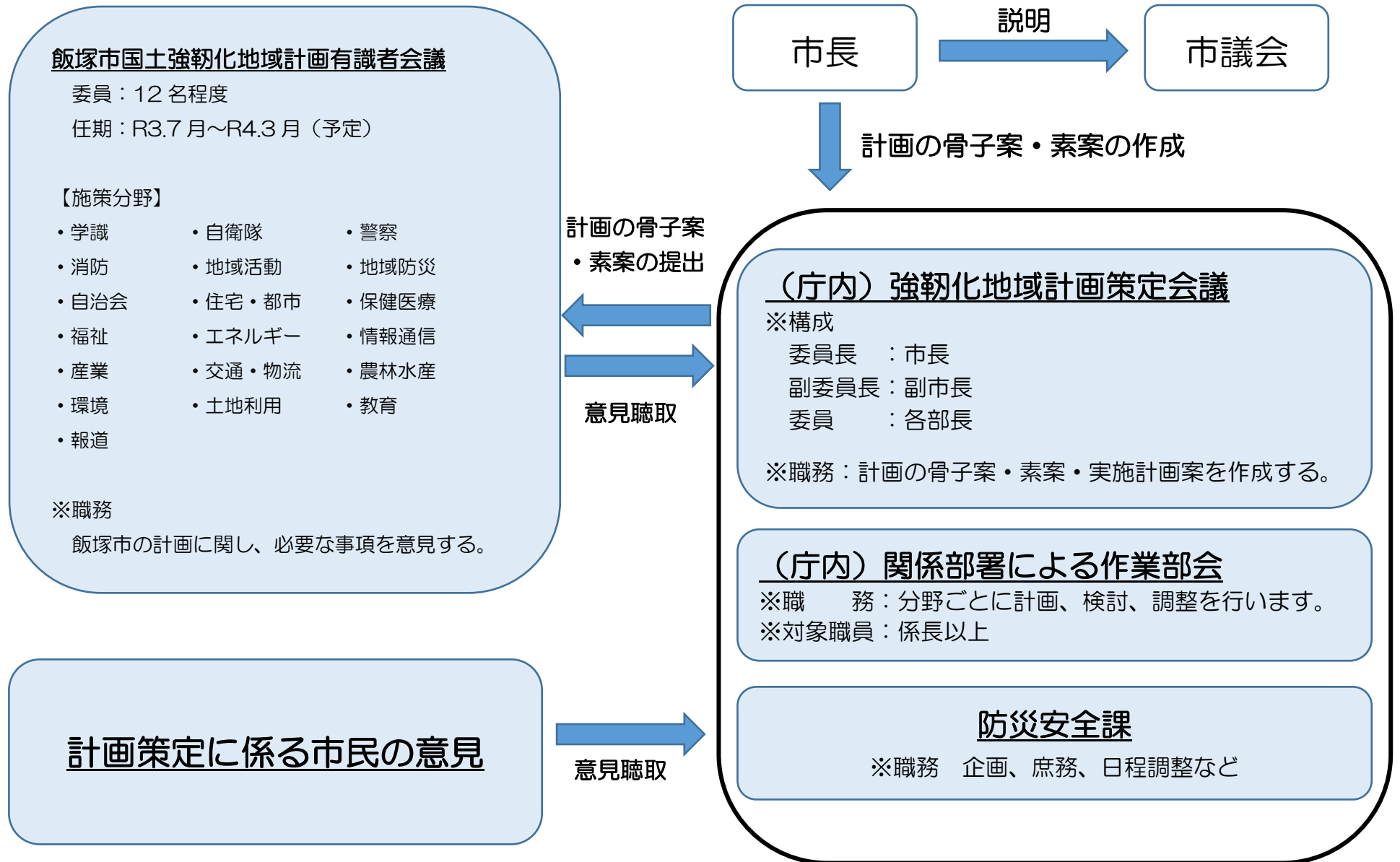
7 基本方針

- 国土強靱化の取組姿勢
 - ・短期的な視点によらず、時間管理概念を持ちつつ、長期的な視野も持って取り組む。
 - ・災害に強いまちづくりを進めることにより、地域の活力を高め、地域経済の持続的な成長につなげる。
- 適切な施策の組合せ
 - ・ハード対策とソフト対策を適切に組み合わせ、効果的に施策を推進する。
 - ・「自助」、「共助」及び「公助」を適切に組み合わせ、官と民が適切に連携及び役割分担して取り組む。
 - ・非常時に防災・減災等の効果を発揮するのみならず、平時にも有効に活用される対策となるよう工夫する。
- 効率的な施策の推進
 - ・人口減少や社会資本の老朽化等を踏まえるとともに、財政資金の効率的な使用による施策の持続的な実施に配慮して、施策の重点化を図る。
- 地域の特性に応じた施策の推進
 - ・人のつながりや地域コミュニティ機能の向上を図るとともに、強靱化を推進する担い手が適切に活動できる環境整備に努める。
 - ・自然との共生、環境等の調和及び景観の維持に配慮する。

8 策定スケジュール

- R3.4～ 策定方針の作成
- R3.6～ 骨子（案）の作成
- R3.7～ 有識者会議の発足（有識者、関係機関等）
以後、随時開催
- R3.10～ 素案の作成
- R3.12～ 市民意見募集
- R4.1～ 最終案の作成
- R4.3 策定・公表

策定体制



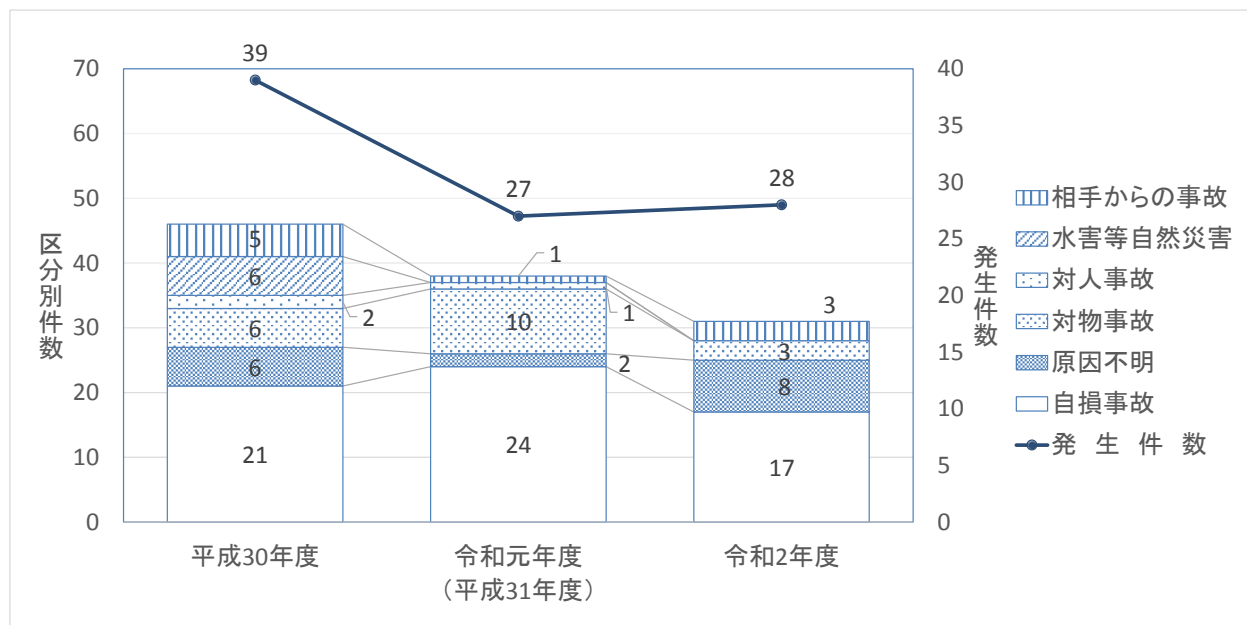
公用車の事故発生状況等について

1. 公用車の交通事故発生状況

年度	平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度	合計	3力年平均
発生件数	39	27	28	94	31.3

区分別	平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度	合計	3力年平均
自損事故	21	24	17	62	20.7
原因不明	6	2	8	16	5.3
対物事故	6	10	3	19	6.3
対人事故	2	1	0	3	1.0
水害等自然災害	6	0	0	6	2.0
相手からの事故	5	1	3	9	3.0

※一つの事故で複数の内容の事故が発生した場合も、その区分に応じて重複して表示しています。



2. 公用車の安全運転に関する主な取組状況(令和2年度)

・職員への各種研修実施

(対象)

事故を起こした職員(適正検査、路上運転行動診断、カウンセリング)

事故を起こした職員(講義)

新規採用職員(講義)

各課職員(職場内研修)

(講師)

飯塚自動車学校

飯塚警察署

全国市有物件災害共済会

安全運転推進員(各課)

・事故速報掲示

・交通安全県民運動週間における啓発(春、夏、秋、年末)

令和2年度 飯塚市民意識調査結果について

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、時代と共に変化する市民意識の動向と、多様な市民ニーズを、科学的、統計的に把握し、今後の市の施策・事業の検討・推進・評価の基礎データとして活用するために実施したものである。

2. 調査期間

令和2年10月9日～11月2日

3. 調査対象

対象者	調査対象数	回収数（回収率）	有効回収数（有効回収率）
市内に居住する 18歳以上男女	6,000人	3,391人（56.5%）	3,390人（56.5%）

4. 調査方法

郵送配布、郵送回収

5. 調査委託先

公益財団法人 九州経済調査協会

II 回答者の属性割合

単位：％

	性別			年齢							
	男	女	回答しない	10代	20代	30代	40代	50代	60～64	65～74	75以上
R2	42.1	55.8	2.0	1.0	6.7	11.0	13.7	13.8	9.8	23.8	20.1
H29	43.6	56.4		1.6	8.5	15.0	16.2	19.2	9.9	20.1	9.4
H27	41.3	58.7		2.7	15.1	20.2	20.3	19.6	15.3		6.7

※性別について令和2年度から選択肢に「回答しない」を追加

単位：％

	二瀬	幸袋	鎮西	菰田	立岩	飯塚東	飯塚・片島	鯉田	穂波	筑穂	庄内	穎田
R2	13.3	8.4	7.5	3.4	7.6	6.5	8.0	5.3	20.3	7.6	8.0	4.1
H29	8.1	8.1	7.8	8.3	9.9	9.1	6.4	9.1	8.5	8.5	8.4	7.9
H27	7.2	8.5	7.1	8.3	9.0	9.2	10.1	8.9	7.8	8.4	8.0	7.7

回答者数について、今回の調査は65歳以上の回答が増加しているため、比較的高齢者の意向が反映されている結果となっている。

報告書には、質問項目ごとに、性別、年齢別、地区別の結果を示している。

Ⅲ 調査結果概要

1. 行政サービスに対する満足度・重要度

・取り組みの満足度

順位	満足	不満
1	保健・医療の充実と連携	商業の振興
2	消防・救急体制の充実	定住環境・公共交通の充実
3	災害・減災対策の充実	観光の振興
4	上下水道の整備	就労支援の充実と労働環境の整備
5	健幸都市づくりの推進	公共施設等の最適化と有効利活用

・施策の重要度

順位	重要度が高い	重要度が低い
1	保健・医療の充実と連携	商業の振興
2	災害・減災対策の充実	観光の振興
3	消防・救急体制の充実	定住環境・公共交通の充実
4	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	就労支援の充実と労働環境の整備
5	確かな学力を育む教育の推進	財政の健全化

・ポートフォリオ分析による施策項目の優先性

①各項目の満足度の平均値と重要度の平均値から分析(平均値が高いものが重要度・満足度高い)

順位	施策の重要度が高いが満足度が低い	施策の重要度が高く満足度も高い
1	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	消防・救急体制の充実
2	障がい者福祉の充実	災害・減災対策の充実
3	子ども・若者の健全育成	保健・医療の充実と連携
4	定住環境・公共交通の充実	確かな学力を育む教育の推進
5	公園・緑地の整備	生活安全の向上

②各項目の不満足度と重要度を乗じた値により算出(不満や重要度の大きい項目の値が高くなる)

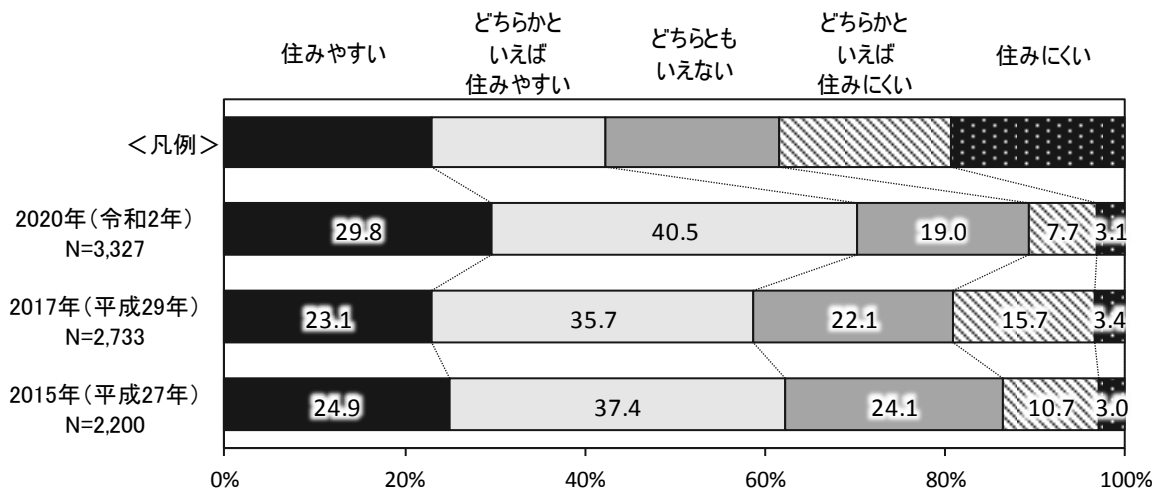
順位	さらなる対策が必要なもの	現状の対策で充実しているもの
1	定住環境・公共交通の充実	人権尊重のまちづくり
2	商業の振興	歴史的・文化的遺産の保護と活用
3	就労支援の充実と労働環境の整備	国際交流・多文化共生の推進
4	災害・減災対策の充実	文化芸術の創造
5	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	健幸都市づくりの推進

2. 今後特に力を入れてほしいまちづくりの取り組み

(最も重要・2番目に重要・3番目に重要の合計)

順位	令和2年	平成29年
1	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	高齢者が安心して暮らせるまちづくり
2	定住環境・公共交通の充実	子育て支援の推進
3	災害・減災対策の充実	安心して暮らせる地域づくり
4	子育て支援の推進	災害・減災対策の充実
5	安心して産み育てやすい環境づくり	保健・医療の充実と連携

3. 飯塚市の住みやすさ、住みにくさ



・住みやすいと思う理由

順位	令和2年	平成29年	平成27年
1	自然災害が少ない	この土地への愛着がある	自然災害が少ない
2	買い物が便利である	自然災害が少ない	買い物が便利である
3	自然環境がよい	自然環境がよい	この土地への愛着がある
4	この土地への愛着がある	買い物が便利である	自然環境がよい

・住みにくいと思う理由

順位	令和2年	平成29年	平成27年
1	交通の便がよくない	交通の便がよくない	交通の便がよくない
2	買い物が不便である	まちに活気がない	買い物が不便である
3	まちに活気がない	買い物が不便である	働く場所が少ない
4	働く場所が少ない	働く場所が少ない	まちに活気がない

4. 飯塚市に対する愛着（割合）

単位：％

項 目	令和 2 年	平成 29 年
愛着がある	32.2	33.9
どちらかといえば愛着がある	38.3	30.4
どちらでもない	21.2	22.7
どちらかといえば愛着がない	3.6	6.4
愛着がない	3.3	3.7

5. 飯塚市への定住意向（割合）

単位：％

住み続けたい	どちらかといえ ば住み続けたい	どちらかといえ ば移転したい	移転したい	考えていない
39.3	29.9	7.6	3.2	18.7

6. 今後の市民の負担と行政サービスのあり方（割合）

単位：％

負担がかなり増えて も多様なサービスを 受けたい	負担がある程度増え ても現在の水準のサ ービスを受けたい	負担はそのままであ る程度サービスが低 下しても仕方ない	負担を減らし最低限 のサービスが受けら れればよい
5.0	36.9	24.6	26.4

2020(令和2年)度 飯塚市民意識調査

報告書

2021(令和3)年3月

飯塚市 行政経営部 総合政策課

目 次

I. 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査時期	1
3. 調査対象	1
4. 調査方法	1
5. 調査主体	1
6. 調査協力機関	1
7. 調査結果の見方	1

II. 回答者の属性

(1) 性別	3
(2) 年齢	4
(3) 職業	5
(4) 通勤・通学先	6
(5) 住まい	7
(6) 結婚の有無	8
(7) 子どもの有無	9
(8) 家族形態	11
(9) 運転免許証及び自家用車の有無	12
(10) 居住年数	13
(11) 居住理由	14
(12) 住まいの地区	15

III. 調査結果

1. 行政サービスに対する満足度・重要度	17
(1) 取り組みの満足度	17
(2) 施策の重要度	29
(3) ポートフォリオ分析による施策項目の優先性	41
(4) 施策項目の対策必要度	93
2. 今後、特に力を入れてほしいまちづくりの取り組み	97
3. 飯塚市の住みやすさ	102
(1) 飯塚市の住みやすさ	102
(2) 住みやすいと思う理由	104
(3) 住みにくいと思う理由	106
4. 飯塚市に対する愛着	108
5. 飯塚市への定住意向	110
6. 今後の市民の負担と行政サービスのあり方	112

7. 市民意識についての経年変化	114
（1）回答者の属性比較	114
（2）飯塚市の住みやすさの経年比較	122
（3）住みやすいと思う理由の経年比較	123
（4）住みにくいと思う理由の経年比較	124
（5）住みやすいと思う理由と住みにくいと思う理由の比較考察	125
（6）ポートフォリオ分析による施策項目の優先性	128
（7）今後、特に力を入れてほしいまちづくりの取り組み	133

【参考資料】 調査票

I. 調査の概要

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、時代と共に変化する市民意識の動向と、多様な市民ニーズを、科学的、統計的に把握し、今後の市の施策・事業の検討・推進・評価の基礎データとして活用するために実施した。

2. 調査時期

2020(令和2)年10月9日～11月2日

3. 調査対象

対象者	調査対象数	回収数 (回収率)	有効回収数 (有効回収率)
市内に居住する18歳以上男女	6,000人	3,391人 (56.5%)	3,390人 (56.5%)

4. 調査方法

郵送配布、郵送回収

5. 調査主体

飯塚市 行政経営部 総合政策課

6. 調査協力機関

公益財団法人 九州経済調査協会

7. 調査結果の見方

(1) 数表、文中に示すN、nは回答率算出上の基数(標本数)である。

N=標本全数

n=該当数(その質問を回答しなくてよい人を除いた数)

(2) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。なお、「施策の重要度」の平均値、「現状の満足度」の平均値、対策必要度(「重要度」の平均値×「現状の満足度」の平均値)については、小数第6位を四捨五入し、小数第2位までを表示している。

(3) 2つ以上の回答を要する(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は原則として100%を超える。

(4) 個人属性の集計結果の各表の上段は回答数、下段は構成比を表している。

(5) グラフにおいては、各属性の「無回答」は表記していない。

(6) 数表、図表に示す選択肢は、スペースの関係で文言を短縮して表記している場合があるので、詳細は巻末の調査票を参照のこと。

II. 回答者の属性

II. 回答者の属性

(1) 性別

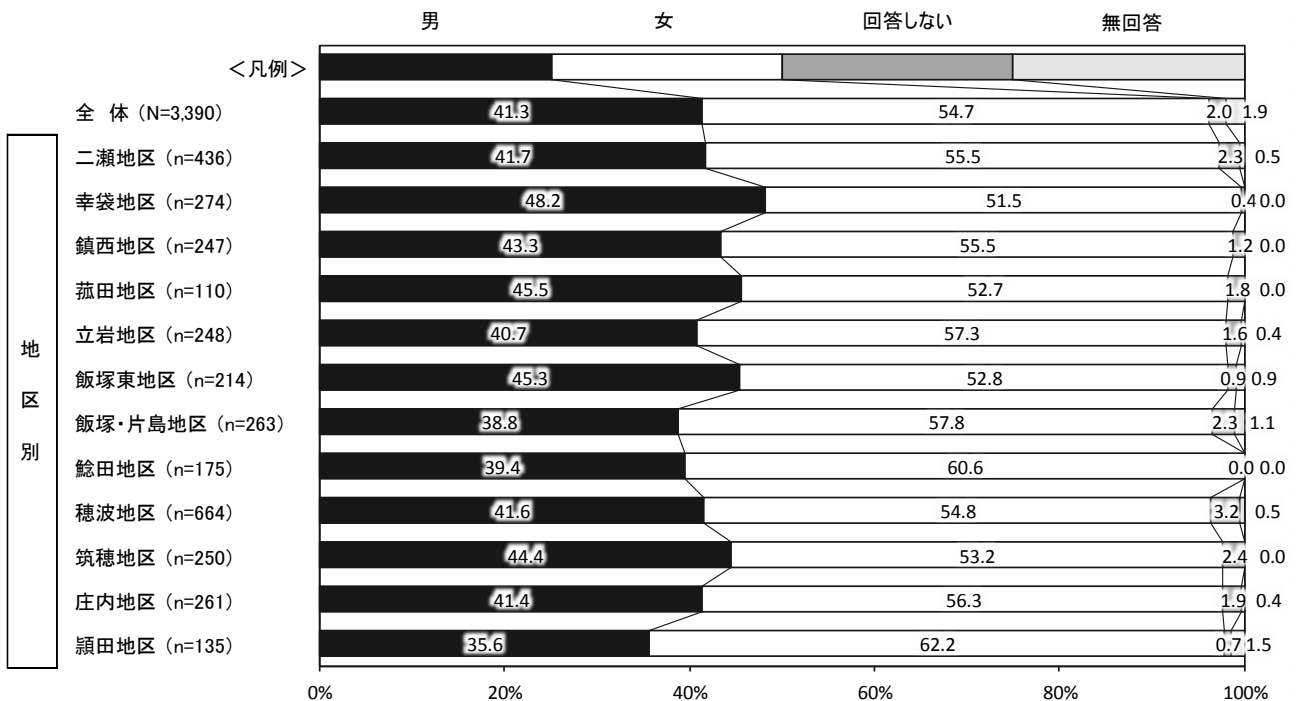
回答者の性別をみると、「男性」が41.3%、「女性」が54.7%となっている。

地区別でみると、いずれの地区とも女性の割合が高く、中でも「鯉田地区」、「穎田地区」は女性の割合が6割強を占めている。

【回答者の性別】

		サンプル数	男	女	回答しない	無回答
全 体		3,390	1,401	1,856	68	65
		100.0%	41.3%	54.7%	2.0%	1.9%
地 区 別	二瀬地区	436	182	242	10	2
		100.0%	41.7%	55.5%	2.3%	0.5%
	幸袋地区	274	132	141	1	—
		100.0%	48.2%	51.5%	0.4%	—
	鎮西地区	247	107	137	3	—
		100.0%	43.3%	55.5%	1.2%	—
	菰田地区	110	50	58	2	—
		100.0%	45.5%	52.7%	1.8%	—
	立岩地区	248	101	142	4	1
		100.0%	40.7%	57.3%	1.6%	0.4%
	飯塚東地区	214	97	113	2	2
		100.0%	45.3%	52.8%	0.9%	0.9%
	飯塚・片島地区	263	102	152	6	3
		100.0%	38.8%	57.8%	2.3%	1.1%
鯉田地区	175	69	106	—	—	
	100.0%	39.4%	60.6%	—	—	
穂波地区	664	276	364	21	3	
	100.0%	41.6%	54.8%	3.2%	0.5%	
筑穂地区	250	111	133	6	—	
	100.0%	44.4%	53.2%	2.4%	—	
庄内地区	261	108	147	5	1	
	100.0%	41.4%	56.3%	1.9%	0.4%	
穎田地区	135	48	84	1	2	
	100.0%	35.6%	62.2%	0.7%	1.5%	
無回答	113	18	37	7	51	
	100.0%	15.9%	32.7%	6.2%	45.1%	

【性別（全体・地区別）】



(2) 年齢

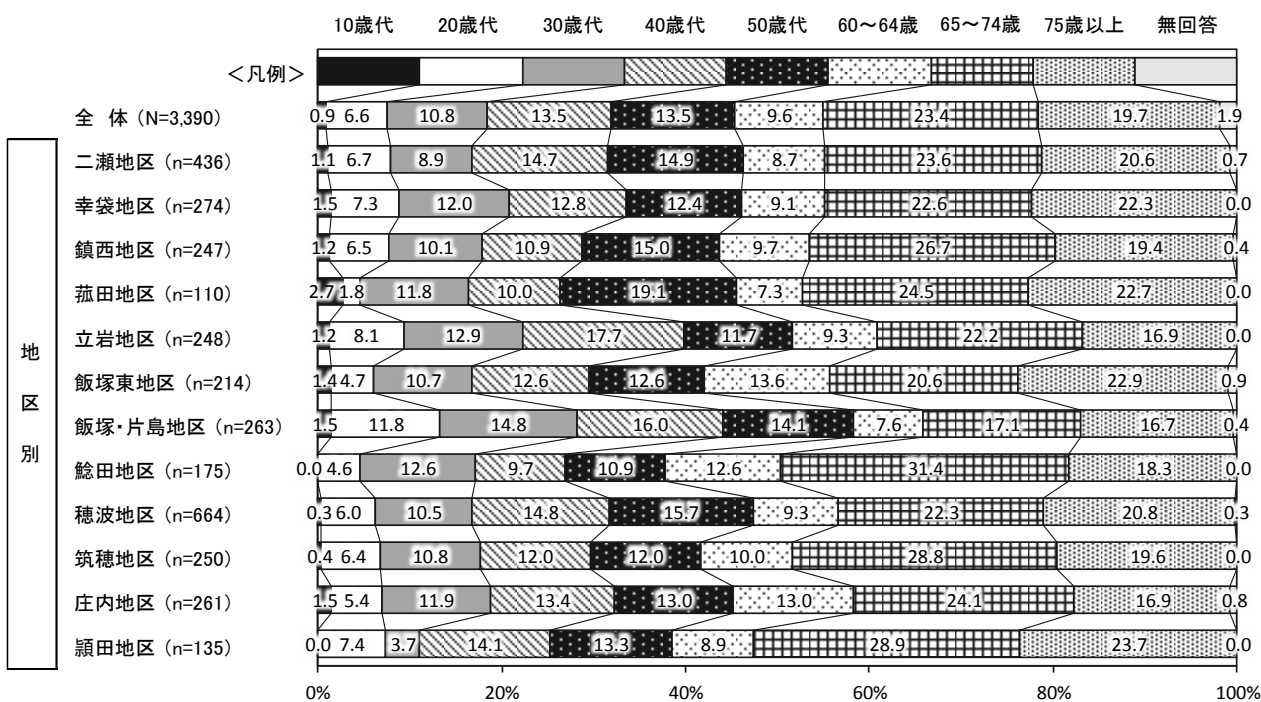
回答者の年齢をみると、年齢層が上がるほど割合が高く、『60歳以上』(52.7%)が半数以上を占めている。

地区別でみると、『60歳以上』が鯉田地区(62.3%)、鯉田地区(61.5%)と6割強を占めているが、飯塚・片島地区では『60歳以上』(41.4%)が4割にとどまっている。

【回答者の年齢】

		サンプル数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	65~74歳	75歳以上	無回答
全体		3,390 100.0%	32 0.9%	224 6.6%	366 10.8%	457 13.5%	459 13.5%	326 9.6%	792 23.4%	668 19.7%	66 1.9%
地区別	二瀬地区	436 100.0%	5 1.1%	29 6.7%	39 8.9%	64 14.7%	65 14.9%	38 8.7%	103 23.6%	90 20.6%	3 0.7%
	幸袋地区	274 100.0%	4 1.5%	20 7.3%	33 12.0%	35 12.8%	34 12.4%	25 9.1%	62 22.6%	61 22.3%	—
	鎮西地区	247 100.0%	3 1.2%	16 6.5%	25 10.1%	27 10.9%	37 15.0%	24 9.7%	66 26.7%	48 19.4%	1 0.4%
	菰田地区	110 100.0%	3 2.7%	2 1.8%	13 11.8%	11 10.0%	21 19.1%	8 7.3%	27 24.5%	25 22.7%	—
	立岩地区	248 100.0%	3 1.2%	20 8.1%	32 12.9%	44 17.7%	29 11.7%	23 9.3%	55 22.2%	42 16.9%	—
	飯塚東地区	214 100.0%	3 1.4%	10 4.7%	23 10.7%	27 12.6%	27 12.6%	29 13.6%	44 20.6%	49 22.9%	2 0.9%
	飯塚・片島地区	263 100.0%	4 1.5%	31 11.8%	39 14.8%	42 16.0%	37 14.1%	20 7.6%	45 17.1%	44 16.7%	1 0.4%
	鯉田地区	175 100.0%	—	8 4.6%	22 12.6%	17 9.7%	19 10.9%	22 12.6%	55 31.4%	32 18.3%	—
	穂波地区	664 100.0%	2 0.3%	40 6.0%	70 10.5%	98 14.8%	104 15.7%	62 9.3%	148 22.3%	138 20.8%	2 0.3%
	筑穂地区	250 100.0%	1 0.4%	16 6.4%	27 10.8%	30 12.0%	30 12.0%	25 10.0%	72 28.8%	49 19.6%	—
	庄内地区	261 100.0%	4 1.5%	14 5.4%	31 11.9%	35 13.4%	34 13.0%	34 13.0%	63 24.1%	44 16.9%	2 0.8%
	鯉田地区	135 100.0%	—	10 7.4%	5 3.7%	19 14.1%	18 13.3%	12 8.9%	39 28.9%	32 23.7%	—
	無回答	113 100.0%	—	8 7.1%	7 6.2%	8 7.1%	4 3.5%	4 3.5%	13 11.5%	14 12.4%	55 48.7%

【年齢（全体・地区別）】



(3) 職業

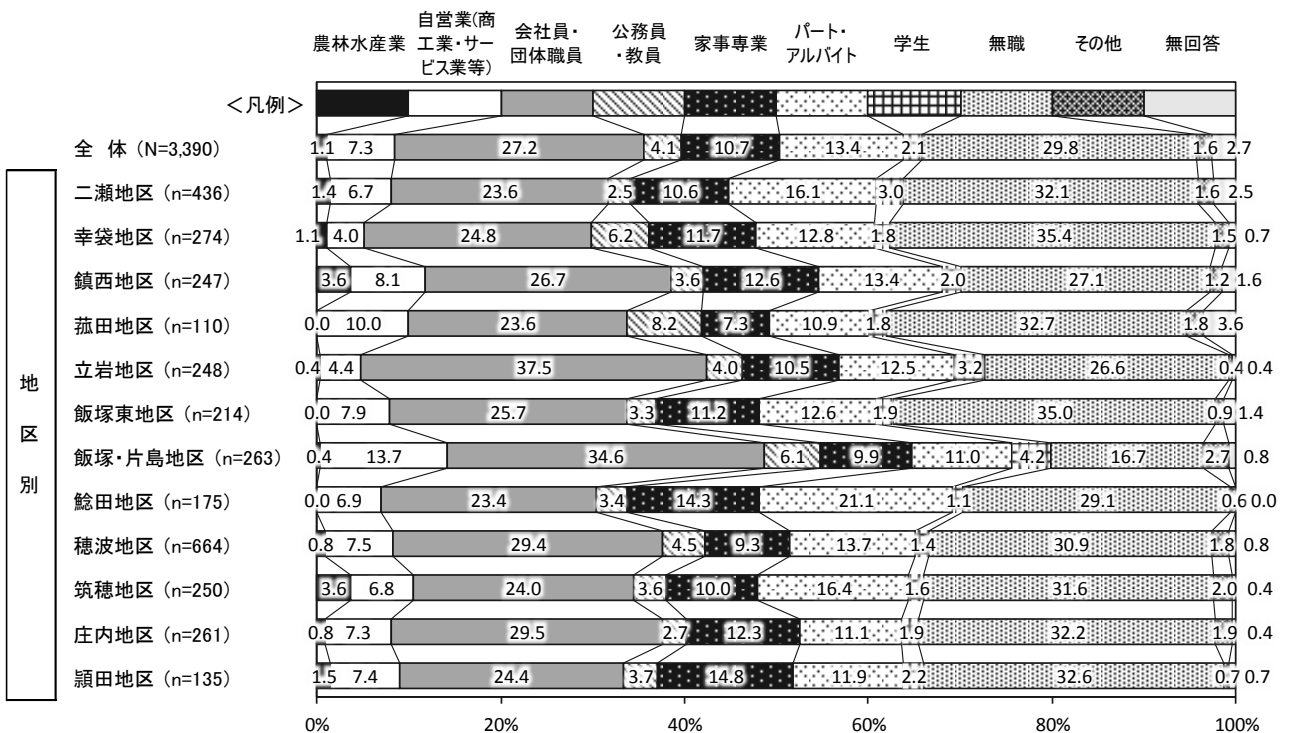
回答者の職業をみると、「無職」(29.8%)の割合が最も高く、以下、「会社員・団体職員」(27.2%)、「パート・アルバイト」(13.4%)、「家事専業」(10.7%)の順となっている。

地区別でみると、立岩地区、飯塚・片島地区では「会社員・団体職員」の割合がやや高く、3割強を占めている。

【回答者の職業】

	サンプル数	農林水産業	自営業(商工業・サービス業等)	会社員・団体職員	公務員・教員	家事専業	パート・アルバイト	学生	無職	その他	無回答	
全体	3,390 100.0%	38 1.1%	246 7.3%	923 27.2%	138 4.1%	364 10.7%	453 13.4%	72 2.1%	1,009 29.8%	54 1.6%	93 2.7%	
地区別	二瀬地区	436 100.0%	6 1.4%	29 6.7%	103 23.6%	11 2.5%	46 10.6%	70 16.1%	13 3.0%	140 32.1%	7 1.6%	11 2.5%
	幸袋地区	274 100.0%	3 1.1%	11 4.0%	68 24.8%	17 6.2%	32 11.7%	35 12.8%	5 1.8%	97 35.4%	4 1.5%	2 0.7%
	鎮西地区	247 100.0%	9 3.6%	20 8.1%	66 26.7%	9 3.6%	31 12.6%	33 13.4%	5 2.0%	67 27.1%	3 1.2%	4 1.6%
	菰田地区	110 100.0%	— 0.0%	11 10.0%	26 23.6%	9 8.2%	8 7.3%	12 10.9%	2 1.8%	36 32.7%	2 1.8%	4 3.6%
	立岩地区	248 100.0%	1 0.4%	11 4.4%	93 37.5%	10 4.0%	26 10.5%	31 12.5%	8 3.2%	66 26.6%	1 0.4%	1 0.4%
	飯塚東地区	214 100.0%	— 0.0%	17 7.9%	55 25.7%	7 3.3%	24 11.2%	27 12.6%	4 1.9%	75 35.0%	2 0.9%	3 1.4%
	飯塚・片島地区	263 100.0%	1 0.4%	36 13.7%	91 34.6%	16 6.1%	26 9.9%	29 11.0%	11 4.2%	44 16.7%	7 2.7%	2 0.8%
	鯉田地区	175 100.0%	— 0.0%	12 6.9%	41 23.4%	6 3.4%	25 14.3%	37 21.1%	2 1.1%	51 29.1%	1 0.6%	— 0.0%
	穂波地区	664 100.0%	5 0.8%	50 7.5%	195 29.4%	30 4.5%	62 9.3%	91 13.7%	9 1.4%	205 30.9%	12 1.8%	5 0.8%
	筑穂地区	250 100.0%	9 3.6%	17 6.8%	60 24.0%	9 3.6%	25 10.0%	41 16.4%	4 1.6%	79 31.6%	5 2.0%	1 0.4%
	庄内地区	261 100.0%	2 0.8%	19 7.3%	77 29.5%	7 2.7%	32 12.3%	29 11.1%	5 1.9%	84 32.2%	5 1.9%	1 0.4%
	穎田地区	135 100.0%	2 1.5%	10 7.4%	33 24.4%	5 3.7%	20 14.8%	16 11.9%	3 2.2%	44 32.6%	1 0.7%	1 0.7%
	無回答	113 100.0%	— 0.0%	3 2.7%	15 13.3%	2 1.8%	7 6.2%	2 1.8%	1 0.9%	21 18.6%	4 3.5%	58 51.3%

【職業（全体・地区別）】



(4) 通勤・通学先

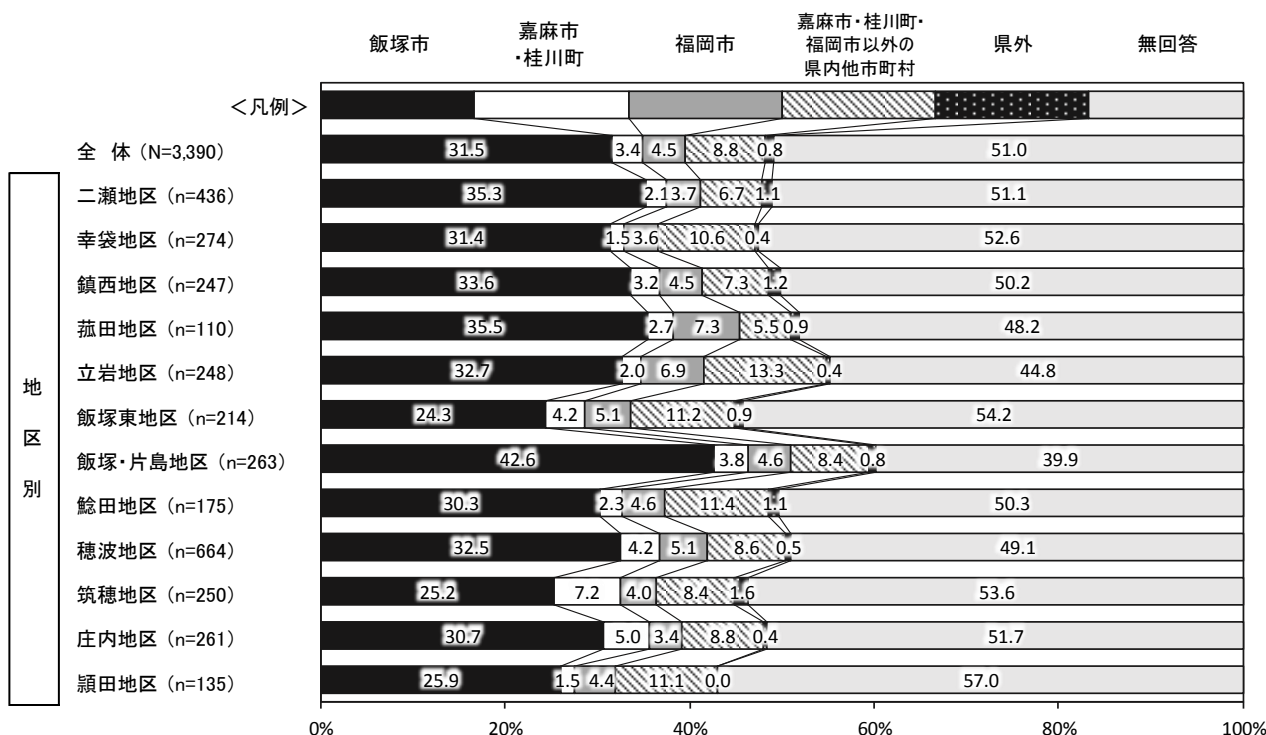
回答者の通勤・通学先をみると、「飯塚市」(31.5%)の割合が最も高く、以下、「嘉麻市・桂川町・福岡市以外の県内市町村」(8.8%)、「福岡市」(4.5%)、「嘉麻市・桂川町」(3.4%)、「県外」(0.8%)の順となっている。

地区別でみると、いずれの地区とも「飯塚市」の割合が最も高くなっている。

【回答者の通勤・通学先】

		サンプル数	飯塚市	嘉麻市・桂川町	福岡市	嘉麻市・桂川町・福岡市以外の県内他市町村	県外	無回答
全体		3,390 100.0%	1,068 31.5%	114 3.4%	154 4.5%	300 8.8%	26 0.8%	1,728 51.0%
地区別	二瀬地区	436 100.0%	154 35.3%	9 2.1%	16 3.7%	29 6.7%	5 1.1%	223 51.1%
	幸袋地区	274 100.0%	86 31.4%	4 1.5%	10 3.6%	29 10.6%	1 0.4%	144 52.6%
	鎮西地区	247 100.0%	83 33.6%	8 3.2%	11 4.5%	18 7.3%	3 1.2%	124 50.2%
	菰田地区	110 100.0%	39 35.5%	3 2.7%	8 7.3%	6 5.5%	1 0.9%	53 48.2%
	立岩地区	248 100.0%	81 32.7%	5 2.0%	17 6.9%	33 13.3%	1 0.4%	111 44.8%
	飯塚東地区	214 100.0%	52 24.3%	9 4.2%	11 5.1%	24 11.2%	2 0.9%	116 54.2%
	飯塚・片島地区	263 100.0%	112 42.6%	10 3.8%	12 4.6%	22 8.4%	2 0.8%	105 39.9%
	鯨田地区	175 100.0%	53 30.3%	4 2.3%	8 4.6%	20 11.4%	2 1.1%	88 50.3%
	穂波地区	664 100.0%	216 32.5%	28 4.2%	34 5.1%	57 8.6%	3 0.5%	326 49.1%
	筑穂地区	250 100.0%	63 25.2%	18 7.2%	10 4.0%	21 8.4%	4 1.6%	134 53.6%
	庄内地区	261 100.0%	80 30.7%	13 5.0%	9 3.4%	23 8.8%	1 0.4%	135 51.7%
	颯田地区	135 100.0%	35 25.9%	2 1.5%	6 4.4%	15 11.1%	—	77 57.0%
	無回答	113 100.0%	14 12.4%	1 0.9%	2 1.8%	3 2.7%	1 0.9%	92 81.4%

【通勤・通学先（全体・地区別）】



(5) 住まい

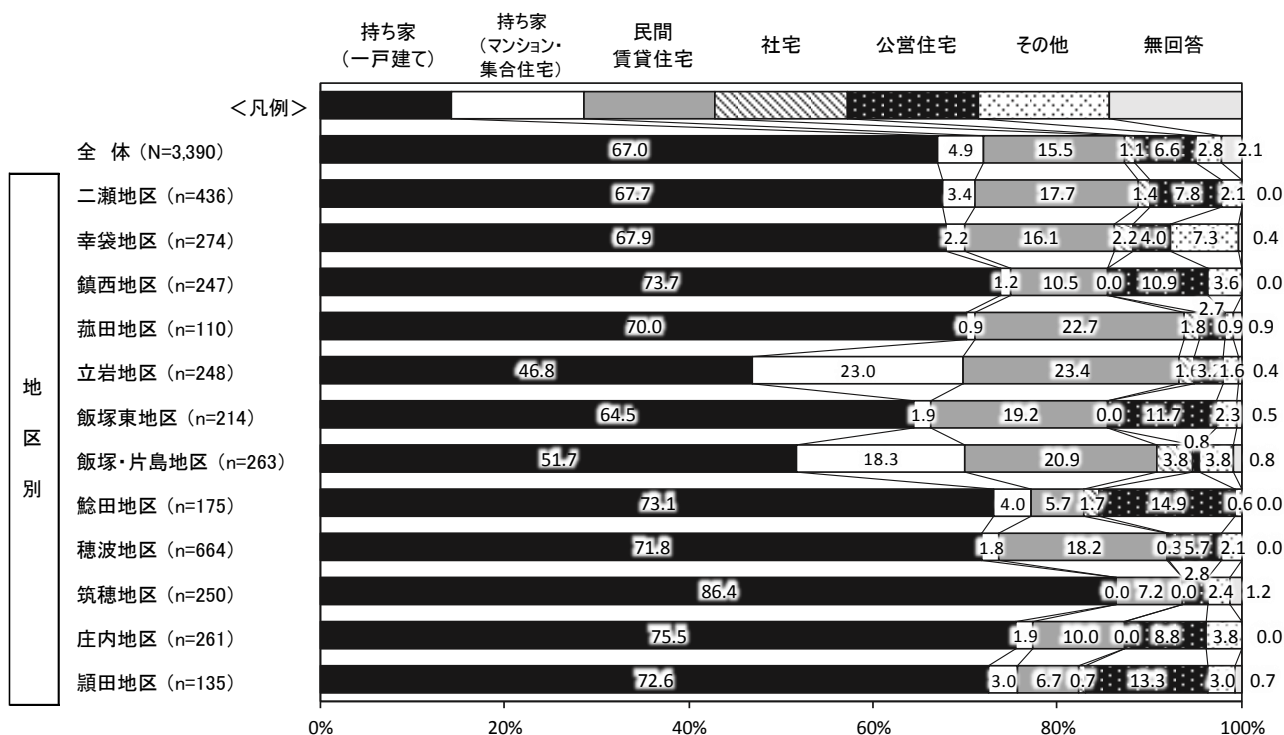
回答者の住まいをみると、「持ち家（一戸建て）」が67.0%、次いで「民間賃貸住宅」が15.5%となっている。

地区別でみると、筑穂地区では「持ち家（一戸建て）」のが86.4%と最も高く、立岩地区と飯塚・片島地区では「持ち家（マンション・集合住宅）」の割合が高くなっている。

【回答者の住まい】

	サンプル数	持ち家 (一戸建て)	持ち家 (マンション・ 集合住宅)	民間 賃貸住宅	社宅	公営住宅	その他	無回答	
全体	3,390	2,272 67.0%	167 4.9%	526 15.5%	36 1.1%	224 6.6%	95 2.8%	70 2.1%	
地区別	二瀬地区	436	295 67.7%	15 3.4%	77 17.7%	6 1.4%	34 7.8%	9 2.1%	—
	幸袋地区	274	186 67.9%	6 2.2%	44 16.1%	6 2.2%	11 4.0%	20 7.3%	1 0.4%
	鎮西地区	247	182 73.7%	3 1.2%	26 10.5%	—	27 10.9%	9 3.6%	—
	菰田地区	110	77 70.0%	1 0.9%	25 22.7%	2 1.8%	3 2.7%	1 0.9%	1 0.9%
	立岩地区	248	116 46.8%	57 23.0%	58 23.4%	4 1.6%	8 3.2%	4 1.6%	1 0.4%
	飯塚東地区	214	138 64.5%	4 1.9%	41 19.2%	—	25 11.7%	5 2.3%	1 0.5%
	飯塚・片島地区	263	136 51.7%	48 18.3%	55 20.9%	10 3.8%	2 0.8%	10 3.8%	2 0.8%
	鯉田地区	175	128 73.1%	7 4.0%	10 5.7%	3 1.7%	26 14.9%	1 0.6%	—
	穂波地区	664	477 71.8%	12 1.8%	121 18.2%	2 0.3%	38 5.7%	14 2.1%	—
	筑穂地区	250	216 86.4%	—	18 7.2%	—	7 2.8%	6 2.4%	3 1.2%
	庄内地区	261	197 75.5%	5 1.9%	26 10.0%	—	23 8.8%	10 3.8%	—
	穎田地区	135	98 72.6%	4 3.0%	9 6.7%	1 0.7%	18 13.3%	4 3.0%	1 0.7%
	無回答	113	26 23.0%	5 4.4%	16 14.2%	2 1.8%	2 1.8%	2 1.8%	60 53.1%

【住まい（全体・地区別）】



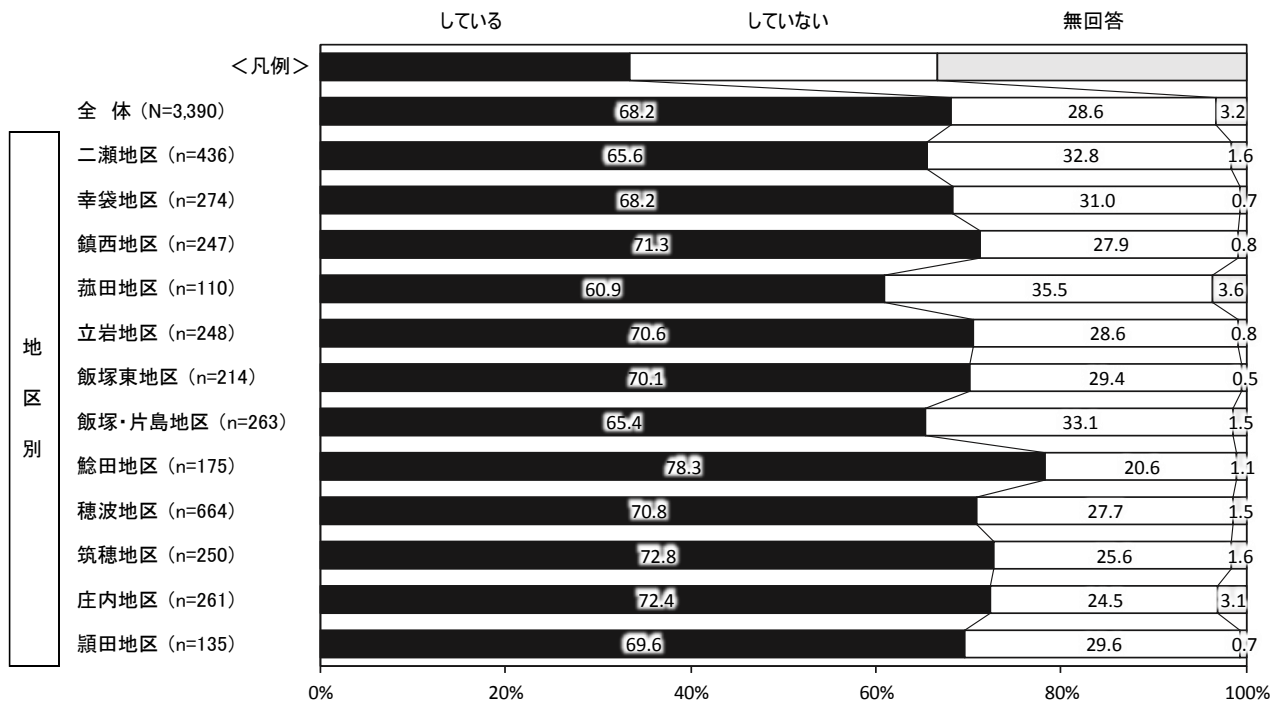
(6) 結婚の有無

回答者の結婚の有無をみると、「している」が68.2%、「していない」が28.6%となっている。地区別でみると、いずれの地区とも全体結果とほぼ同様の傾向を示している。

【回答者の結婚の有無】

		サンプル数	している	していない	無回答
全 体		3,390 100.0%	2,311 68.2%	971 28.6%	108 3.2%
地 区 別	二瀬地区	436 100.0%	286 65.6%	143 32.8%	7 1.6%
	幸袋地区	274 100.0%	187 68.2%	85 31.0%	2 0.7%
	鎮西地区	247 100.0%	176 71.3%	69 27.9%	2 0.8%
	菰田地区	110 100.0%	67 60.9%	39 35.5%	4 3.6%
	立岩地区	248 100.0%	175 70.6%	71 28.6%	2 0.8%
	飯塚東地区	214 100.0%	150 70.1%	63 29.4%	1 0.5%
	飯塚・片島地区	263 100.0%	172 65.4%	87 33.1%	4 1.5%
	鯉田地区	175 100.0%	137 78.3%	36 20.6%	2 1.1%
	穂波地区	664 100.0%	470 70.8%	184 27.7%	10 1.5%
	筑穂地区	250 100.0%	182 72.8%	64 25.6%	4 1.6%
	庄内地区	261 100.0%	189 72.4%	64 24.5%	8 3.1%
	穎田地区	135 100.0%	94 69.6%	40 29.6%	1 0.7%
	無回答	113 100.0%	26 23.0%	26 23.0%	61 54.0%

【結婚の有無（全体・地区別）】



(7) 子どもの有無

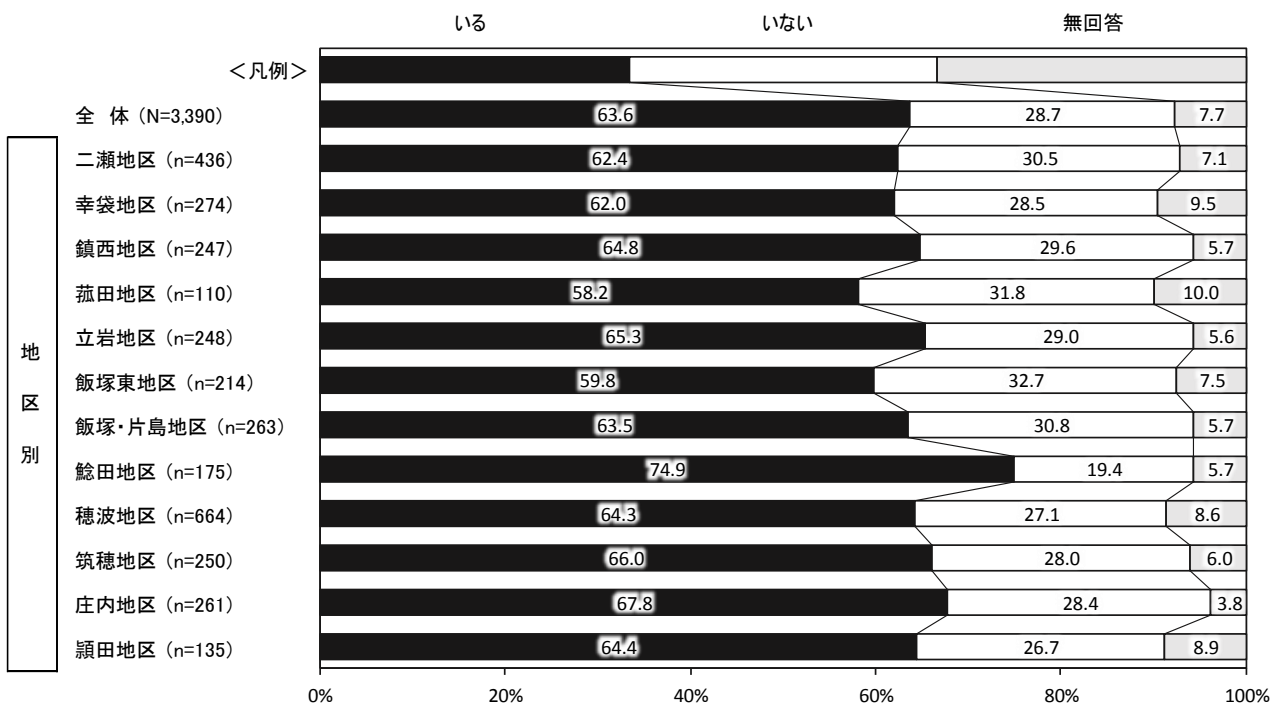
①子どもの有無

回答者の子どもの有無をみると、「いる」が63.6%、「いない」が28.7%となっている。
地区別でみると、鯉田地区では「いる」の割合が74.9%と高くなっている。

【回答者の子どもの有無】

		サンプル数	いる	いない	無回答
全 体		3,390 100.0%	2,156 63.6%	974 28.7%	260 7.7%
地 区 別	二瀬地区	436 100.0%	272 62.4%	133 30.5%	31 7.1%
	幸袋地区	274 100.0%	170 62.0%	78 28.5%	26 9.5%
	鎮西地区	247 100.0%	160 64.8%	73 29.6%	14 5.7%
	菰田地区	110 100.0%	64 58.2%	35 31.8%	11 10.0%
	立岩地区	248 100.0%	162 65.3%	72 29.0%	14 5.6%
	飯塚東地区	214 100.0%	128 59.8%	70 32.7%	16 7.5%
	飯塚・片島地区	263 100.0%	167 63.5%	81 30.8%	15 5.7%
	鯉田地区	175 100.0%	131 74.9%	34 19.4%	10 5.7%
	穂波地区	664 100.0%	427 64.3%	180 27.1%	57 8.6%
	筑穂地区	250 100.0%	165 66.0%	70 28.0%	15 6.0%
	庄内地区	261 100.0%	177 67.8%	74 28.4%	10 3.8%
	穎田地区	135 100.0%	87 64.4%	36 26.7%	12 8.9%
	無回答	113 100.0%	46 40.7%	38 33.6%	29 25.7%

【子どもの有無（全体・地区別）】



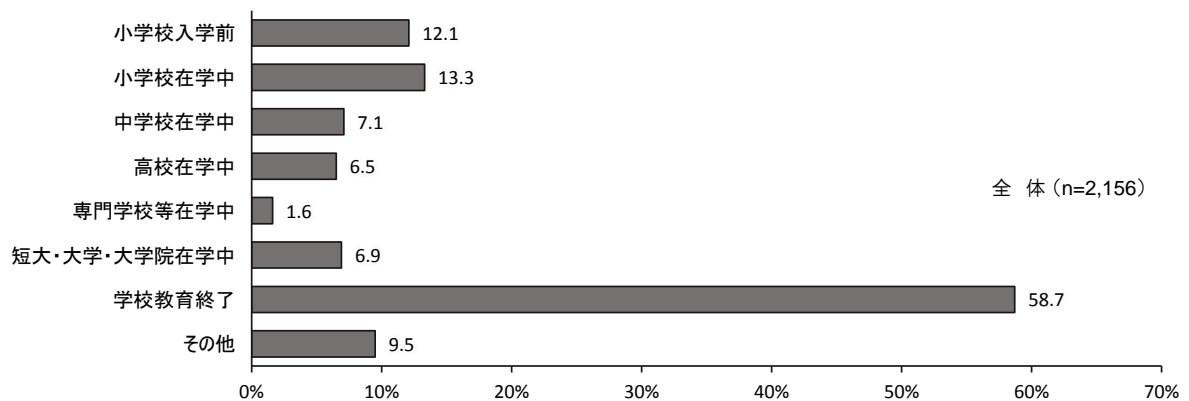
②子どもの年齢

回答者の子どもの年齢をみると、「学校教育終了」(58.7%)の割合が最も高く、以下、「小学校在学中」(13.3%)、「小学校入学前」(12.1%)、「中学在学中」(7.1%)「短大・大学・大学院在学中」(6.9%)、「高校在学中」(6.5%)の順となっている。

【回答者の子どもの年齢】

	サンプル数	小学校入学前	小学校在学中	中学校在学中	高校在学中	専門学校等在学中	短大・大学・大学院在学中	学校教育終了	その他	無回答	
全体	2,156 100.0%	260 12.1%	286 13.3%	154 7.1%	141 6.5%	35 1.6%	149 6.9%	1,266 58.7%	205 9.5%	58 2.7%	
地区別	二瀬地区	272 100.0%	23 8.5%	38 14.0%	25 9.2%	20 7.4%	4 1.5%	18 6.6%	166 61.0%	19 7.0%	10 3.7%
	幸袋地区	170 100.0%	19 11.2%	16 9.4%	10 5.9%	14 8.2%	3 1.8%	12 7.1%	102 60.0%	17 10.0%	3 1.8%
	鎮西地区	160 100.0%	19 11.9%	18 11.3%	10 6.3%	9 5.6%	3 1.9%	13 8.1%	99 61.9%	15 9.4%	5 3.1%
	菰田地区	64 100.0%	4 6.3%	5 7.8%	4 6.3%	5 7.8%	—	4 6.3%	37 57.8%	8 12.5%	4 6.3%
	立岩地区	162 100.0%	20 12.3%	35 21.6%	13 8.0%	9 5.6%	—	20 12.3%	83 51.2%	17 10.5%	3 1.9%
	飯塚東地区	128 100.0%	16 12.5%	17 13.3%	12 9.4%	10 7.8%	3 2.3%	7 5.5%	74 57.8%	18 14.1%	4 3.1%
	飯塚・片島地区	167 100.0%	32 19.2%	29 17.4%	12 7.2%	12 7.2%	5 3.0%	13 7.8%	82 49.1%	17 10.2%	—
	鯨田地区	131 100.0%	11 8.4%	15 11.5%	6 4.6%	8 6.1%	3 2.3%	3 2.3%	89 67.9%	13 9.9%	2 1.5%
	穂波地区	427 100.0%	60 14.1%	66 15.5%	37 8.7%	25 5.9%	7 1.6%	25 5.9%	246 57.6%	34 8.0%	11 2.6%
	筑穂地区	165 100.0%	14 8.5%	13 7.9%	8 4.8%	11 6.7%	2 1.2%	18 10.9%	105 63.6%	20 12.1%	5 3.0%
	庄内地区	177 100.0%	29 16.4%	19 10.7%	10 5.6%	15 8.5%	3 1.7%	8 4.5%	100 56.5%	16 9.0%	8 4.5%
	顔田地区	87 100.0%	7 8.0%	11 12.6%	5 5.7%	2 2.3%	2 2.3%	6 6.9%	56 64.4%	7 8.0%	1 1.1%
	無回答	46 100.0%	6 13.0%	4 8.7%	2 4.3%	1 2.2%	—	2 4.3%	27 58.7%	4 8.7%	2 4.3%

【子どもの年齢（全体）】



(8) 家族形態

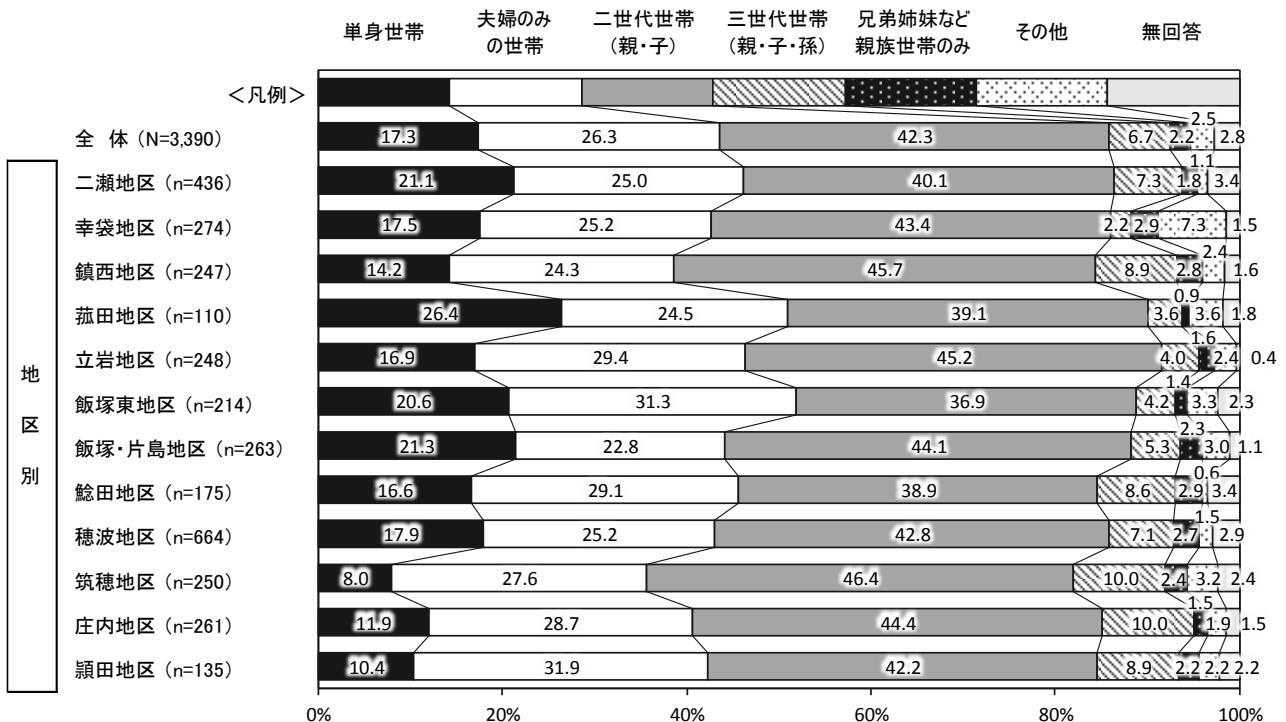
回答者の世帯構成をみると、「二世帯世帯（親・子）」（42.3%）の割合が最も高く、以下、「夫婦のみの世帯」（26.3%）、「単身世帯」（17.3%）、「三世帯世帯（親・子・孫）」（6.7%）の順となっている。

地区別でみると、菰田地区では「単身世帯」、筑穂地区、庄内地区では「三世帯世帯（親・子・孫）」がやや多くみられる。

【回答者の世帯構成】

		サンプル数	単身世帯	夫婦のみの世帯	二世帯世帯 (親・子) <small>(親族の同居を含む)</small>	三世帯世帯 (親・子・孫) <small>(親族の同居を含む)</small>	兄弟姉妹など 親族世帯のみ	その他	無回答
全体		3,390	585 17.3%	890 26.3%	1,434 42.3%	226 6.7%	74 2.2%	86 2.5%	95 2.8%
地区別	二瀬地区	436	92 21.1%	109 25.0%	175 40.1%	32 7.3%	8 1.8%	5 1.1%	15 3.4%
	幸袋地区	274	48 17.5%	69 25.2%	119 43.4%	6 2.2%	8 2.9%	20 7.3%	4 1.5%
	鎮西地区	247	35 14.2%	60 24.3%	113 45.7%	22 8.9%	7 2.8%	6 2.4%	4 1.6%
	菰田地区	110	29 26.4%	27 24.5%	43 39.1%	4 3.6%	1 0.9%	4 3.6%	2 1.8%
	立岩地区	248	42 16.9%	73 29.4%	112 45.2%	10 4.0%	4 1.6%	6 2.4%	1 0.4%
	飯塚東地区	214	44 20.6%	67 31.3%	79 36.9%	9 4.2%	3 1.4%	7 3.3%	5 2.3%
	飯塚・片島地区	263	56 21.3%	60 22.8%	116 44.1%	14 5.3%	6 2.3%	8 3.0%	3 1.1%
	鯉田地区	175	29 16.6%	51 29.1%	68 38.9%	15 8.6%	5 2.9%	1 0.6%	6 3.4%
	穂波地区	664	119 17.9%	167 25.2%	284 42.8%	47 7.1%	18 2.7%	10 1.5%	19 2.9%
	筑穂地区	250	20 8.0%	69 27.6%	116 46.4%	25 10.0%	6 2.4%	8 3.2%	6 2.4%
	庄内地区	261	31 11.9%	75 28.7%	116 44.4%	26 10.0%	4 1.5%	5 1.9%	4 1.5%
	頼田地区	135	14 10.4%	43 31.9%	57 42.2%	12 8.9%	3 2.2%	3 2.2%	3 2.2%
	無回答	113	26 23.0%	20 17.7%	36 31.9%	4 3.5%	1 0.9%	3 2.7%	23 20.4%

【世帯構成（全体・地区別）】



(9) 運転免許証及び自家用車の有無

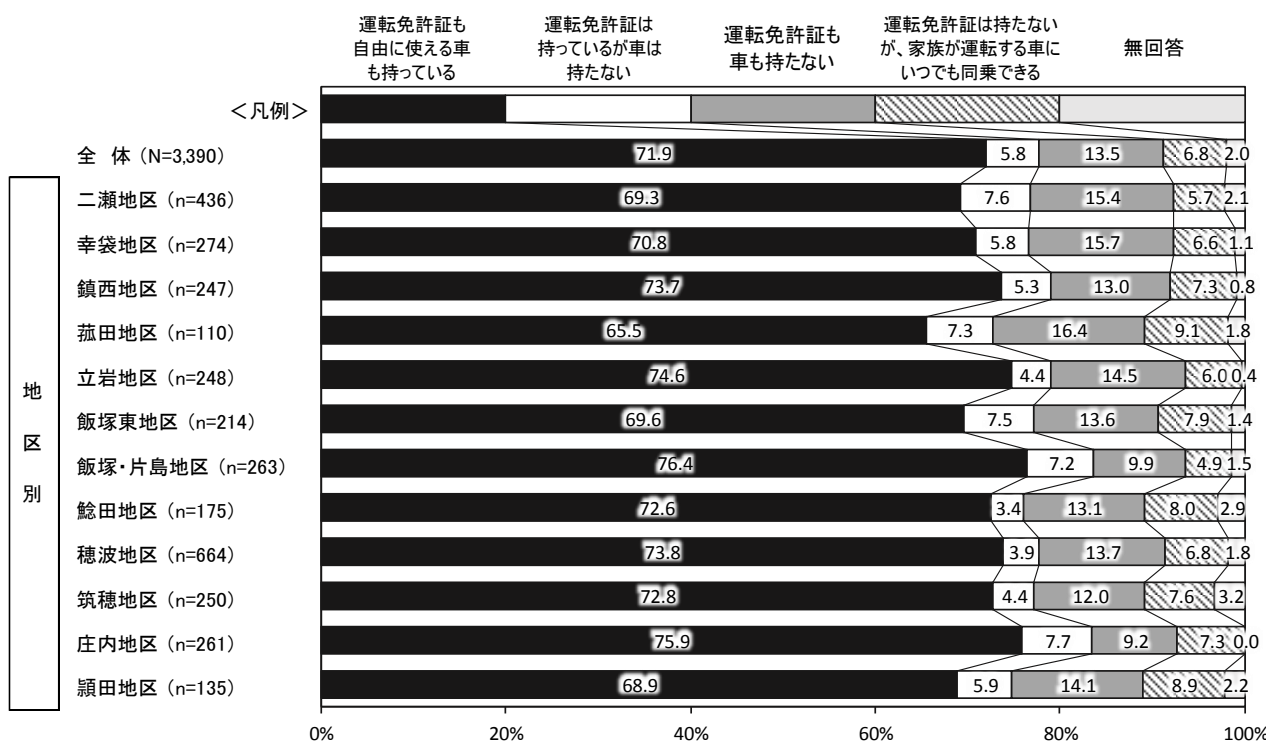
回答者の運転免許証及び自家用車の有無をみると、「運転免許証も自由に使える車も持っている」(71.9%)の割合が最も高く、反対に、「運転免許証も車も持たない」が13.5%となっている。

地区別でみると、飯塚・片島地区、庄内地区では「運転免許証も自由に使える車も持っている」、菰田地区では「運転免許証も車も持たない」がやや多くみられる。

【回答者の運転免許証及び自家用車の有無】

	サンプル数	運転免許証も自由に使える車も持っている	運転免許証は持っているが車は持たない	運転免許証も車も持たない	運転免許証は持たないが、家族が運転する車にいつでも同乗できる	無回答	
全体	3,390 100.0%	2,437 71.9%	197 5.8%	457 13.5%	231 6.8%	68 2.0%	
地区別	二瀬地区	436 100.0%	302 69.3%	33 7.6%	67 15.4%	25 5.7%	9 2.1%
	幸袋地区	274 100.0%	194 70.8%	16 5.8%	43 15.7%	18 6.6%	3 1.1%
	鎮西地区	247 100.0%	182 73.7%	13 5.3%	32 13.0%	18 7.3%	2 0.8%
	菰田地区	110 100.0%	72 65.5%	8 7.3%	18 16.4%	10 9.1%	2 1.8%
	立岩地区	248 100.0%	185 74.6%	11 4.4%	36 14.5%	15 6.0%	1 0.4%
	飯塚東地区	214 100.0%	149 69.6%	16 7.5%	29 13.6%	17 7.9%	3 1.4%
	飯塚・片島地区	263 100.0%	201 76.4%	19 7.2%	26 9.9%	13 4.9%	4 1.5%
	鯉田地区	175 100.0%	127 72.6%	6 3.4%	23 13.1%	14 8.0%	5 2.9%
	穂波地区	664 100.0%	490 73.8%	26 3.9%	91 13.7%	45 6.8%	12 1.8%
	筑穂地区	250 100.0%	182 72.8%	11 4.4%	30 12.0%	19 7.6%	8 3.2%
	庄内地区	261 100.0%	198 75.9%	20 7.7%	24 9.2%	19 7.3%	—
	颯田地区	135 100.0%	93 68.9%	8 5.9%	19 14.1%	12 8.9%	3 2.2%
	無回答	113 100.0%	62 54.9%	10 8.8%	19 16.8%	6 5.3%	16 14.2%

【運転免許証及び自家用車の有無（全体・地区別）】



(10) 居住年数

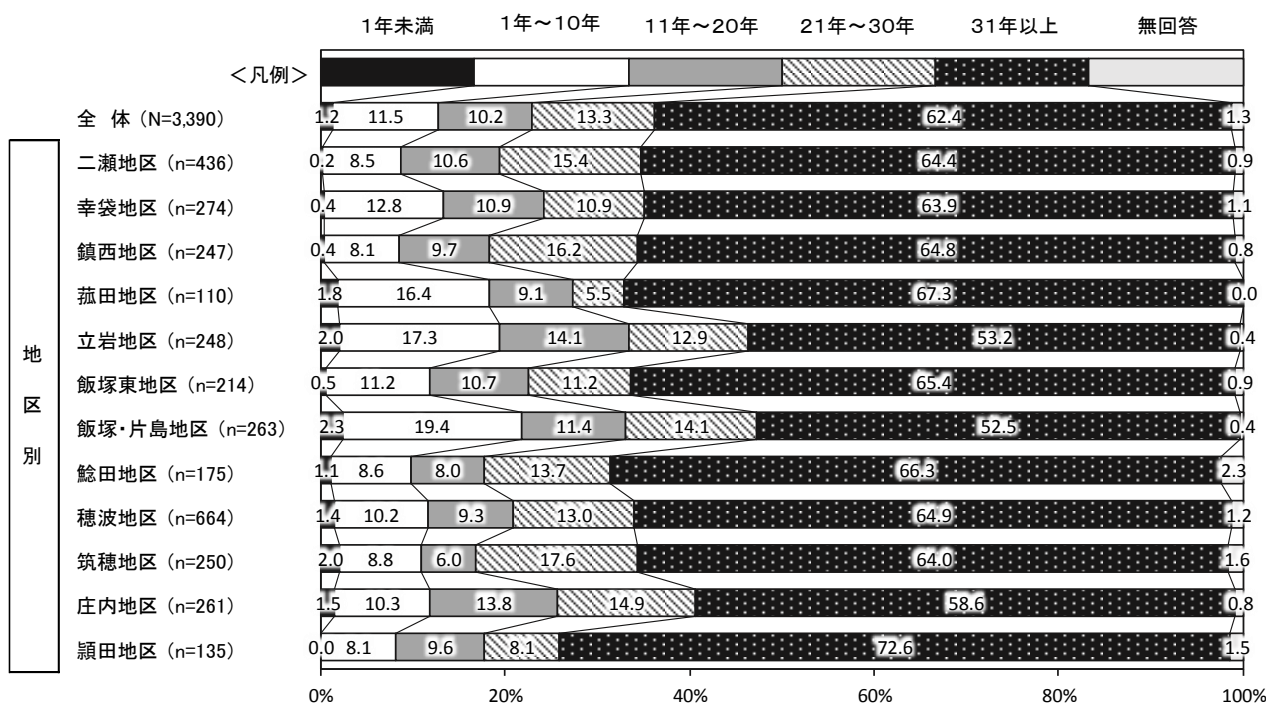
回答者の市内での居住年数をみると、「31年以上」（62.4％）の割合が最も高く、以下、「21年～30年」（13.3％）、「11年～20年」（10.2％）の順となっており、『21年以上』（75.7％）が約4人中3人を占めている。

地区別にみると、いずれの地区とも『21年以上』が約7割を占めるものの、飯塚・片島地区は「1年～10年」など、居住年数が短い人もみられる。

【回答者の居住年数】

	サンプル数	1年未満	1年～10年	11年～20年	21年～30年	31年以上	無回答	
全体	3,390	40	391	346	451	2,117	45	
	100.0%	1.2%	11.5%	10.2%	13.3%	62.4%	1.3%	
地区別	二瀬地区	436	1	37	46	67	281	4
		100.0%	0.2%	8.5%	10.6%	15.4%	64.4%	0.9%
	幸袋地区	274	1	35	30	30	175	3
		100.0%	0.4%	12.8%	10.9%	10.9%	63.9%	1.1%
	鎮西地区	247	1	20	24	40	160	2
		100.0%	0.4%	8.1%	9.7%	16.2%	64.8%	0.8%
	菰田地区	110	2	18	10	6	74	—
		100.0%	1.8%	16.4%	9.1%	5.5%	67.3%	—
	立岩地区	248	5	43	35	32	132	1
		100.0%	2.0%	17.3%	14.1%	12.9%	53.2%	0.4%
	飯塚東地区	214	1	24	23	24	140	2
		100.0%	0.5%	11.2%	10.7%	11.2%	65.4%	0.9%
	飯塚・片島地区	263	6	51	30	37	138	1
		100.0%	2.3%	19.4%	11.4%	14.1%	52.5%	0.4%
	鯉田地区	175	2	15	14	24	116	4
	100.0%	1.1%	8.6%	8.0%	13.7%	66.3%	2.3%	
穂波地区	664	9	68	62	86	431	8	
	100.0%	1.4%	10.2%	9.3%	13.0%	64.9%	1.2%	
筑穂地区	250	5	22	15	44	160	4	
	100.0%	2.0%	8.8%	6.0%	17.6%	64.0%	1.6%	
庄内地区	261	4	27	36	39	153	2	
	100.0%	1.5%	10.3%	13.8%	14.9%	58.6%	0.8%	
颯田地区	135	—	11	13	11	98	2	
	100.0%	—	8.1%	9.6%	8.1%	72.6%	1.5%	
無回答	113	3	20	8	11	59	12	
	100.0%	2.7%	17.7%	7.1%	9.7%	52.2%	10.6%	

【居住年数（全体・地区別）】



(11) 居住理由

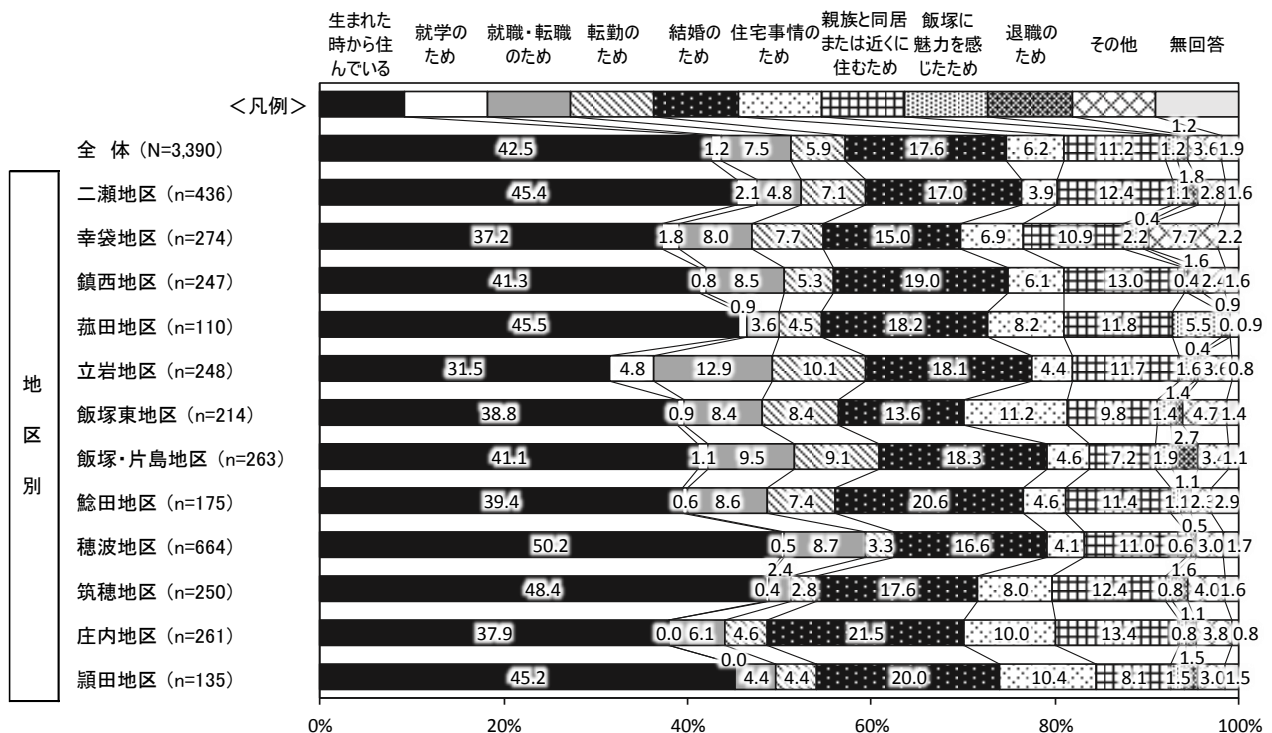
回答者の飯塚市に居住することになった一番の理由をみると、「生まれたときから住んでいる」(42.5%)の割合が最も高く、以下、「結婚のため」(17.6%)、「親族と同居または近くに住むため」(11.2%)、「就職・転職のため」(7.5%)と続く。

地区別にみると、いずれの地区とも「生まれたときから住んでいる」が4割を占めるものの、立岩地区は「就職・転職のため」の割合が高い。

【回答者の居住理由】

	サンプル数	生まれた時から住んでいる	就学のため	就職・転職のため	転勤のため	結婚のため	住宅事情のため	親族と同居または近くに住むため	飯塚に魅力を感じたため	退職のため	その他	無回答	
全体	3,390	1,442	39	255	200	596	211	379	42	40	121	65	
	100.0%	42.5%	1.2%	7.5%	5.9%	17.6%	6.2%	11.2%	1.2%	1.2%	3.6%	1.9%	
地区別	二瀬地区	436	198	9	21	31	74	17	54	5	8	12	7
		100.0%	45.4%	2.1%	4.8%	7.1%	17.0%	3.9%	12.4%	1.1%	1.8%	2.8%	1.6%
	幸袋地区	274	102	5	22	21	41	19	30	6	1	21	6
		100.0%	37.2%	1.8%	8.0%	7.7%	15.0%	6.9%	10.9%	2.2%	0.4%	7.7%	2.2%
	鎮西地区	247	102	2	21	13	47	15	32	1	4	6	4
		100.0%	41.3%	0.8%	8.5%	5.3%	19.0%	6.1%	13.0%	0.4%	1.6%	2.4%	1.6%
	菰田地区	110	50	1	4	5	20	9	13	6	1	—	1
		100.0%	45.5%	0.9%	3.6%	4.5%	18.2%	8.2%	11.8%	5.5%	0.9%	—	0.9%
	立岩地区	248	78	12	32	25	45	11	29	4	1	9	2
		100.0%	31.5%	4.8%	12.9%	10.1%	18.1%	4.4%	11.7%	1.6%	0.4%	3.6%	0.8%
	飯塚東地区	214	83	2	18	18	29	24	21	3	3	10	3
		100.0%	38.8%	0.9%	8.4%	8.4%	13.6%	11.2%	9.8%	1.4%	1.4%	4.7%	1.4%
	飯塚・片島地区	263	108	3	25	24	48	12	19	5	7	9	3
		100.0%	41.1%	1.1%	9.5%	9.1%	18.3%	4.6%	7.2%	1.9%	2.7%	3.4%	1.1%
鯰田地区	175	69	1	15	13	36	8	20	2	2	4	5	
	100.0%	39.4%	0.6%	8.6%	7.4%	20.6%	4.6%	11.4%	1.1%	1.1%	2.3%	2.9%	
穂波地区	664	333	3	58	22	110	27	73	4	3	20	11	
	100.0%	50.2%	0.5%	8.7%	3.3%	16.6%	4.1%	11.0%	0.6%	0.5%	3.0%	1.7%	
筑穂地区	250	121	1	6	7	44	20	31	2	4	10	4	
	100.0%	48.4%	0.4%	2.4%	2.8%	17.6%	8.0%	12.4%	0.8%	1.6%	4.0%	1.6%	
庄内地区	261	99	—	16	12	56	26	35	2	3	10	2	
	100.0%	37.9%	—	6.1%	4.6%	21.5%	10.0%	13.4%	0.8%	1.1%	3.8%	0.8%	
頼田地区	135	61	—	6	6	27	14	11	2	2	4	2	
	100.0%	45.2%	—	4.4%	4.4%	20.0%	10.4%	8.1%	1.5%	1.5%	3.0%	1.5%	
無回答	113	38	—	11	3	19	9	11	—	1	6	15	
	100.0%	33.6%	—	9.7%	2.7%	16.8%	8.0%	9.7%	—	0.9%	5.3%	13.3%	

【居住理由（全体・地区別）】

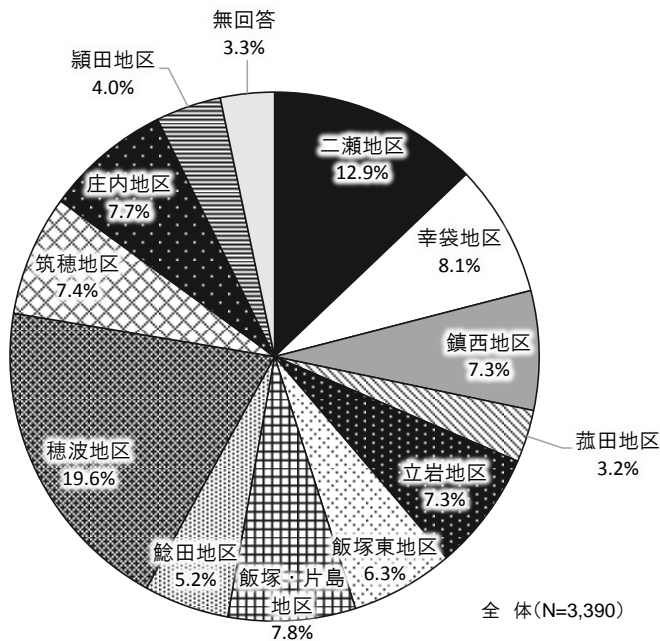


(12) 住まいの地区

回答者のお住まいの地区は、以下のとおりとなっている。

【回答者の住まいの地区】

サンプル数	二瀬地区	幸袋地区	鎮西地区	菰田地区	立岩地区	飯塚東地区	飯塚・片島地区	鯉田地区	穂波地区	筑穂地区	庄内地区	穎田地区	無回答
3,390	436	274	247	110	248	214	263	175	664	250	261	135	113
100.0%	12.9%	8.1%	7.3%	3.2%	7.3%	6.3%	7.8%	5.2%	19.6%	7.4%	7.7%	4.0%	3.3%



Ⅲ. 調查結果

Ⅲ. 調査結果

1. 行政サービスに対する満足度・重要度

(1) 取り組みの満足度

①全体

飯塚市が行っている様々な行政サービスの取り組みについて、どのくらい満足しているか5段階評価で尋ねてみた。

各施策に対して「満足」あるいは「やや満足」と回答した『満足度』の割合をみると、「【10】保健・医療の充実と連携」(22.4%)が最も高く、次いで「【31】消防・救急体制の充実」(20.6%)、「【30】災害・減災対策の充実」(15.0%)、「【37】上下水道の整備」(14.3%)、「【9】健幸都市づくりの推進」(14.1%)となっている。

一方、「不満」あるいは「やや不満」と回答した『不満度』の割合をみると、「【19】商業の振興」(42.4%)が最も高く、次いで「【34】定住環境・公共交通の充実」(41.4%)、「【20】観光の振興」(33.3%)、「【21】就労支援の充実と労働環境の整備」(31.3%)、「【6】公共施設等の最適化と有効利活用」(28.4%)となっている。

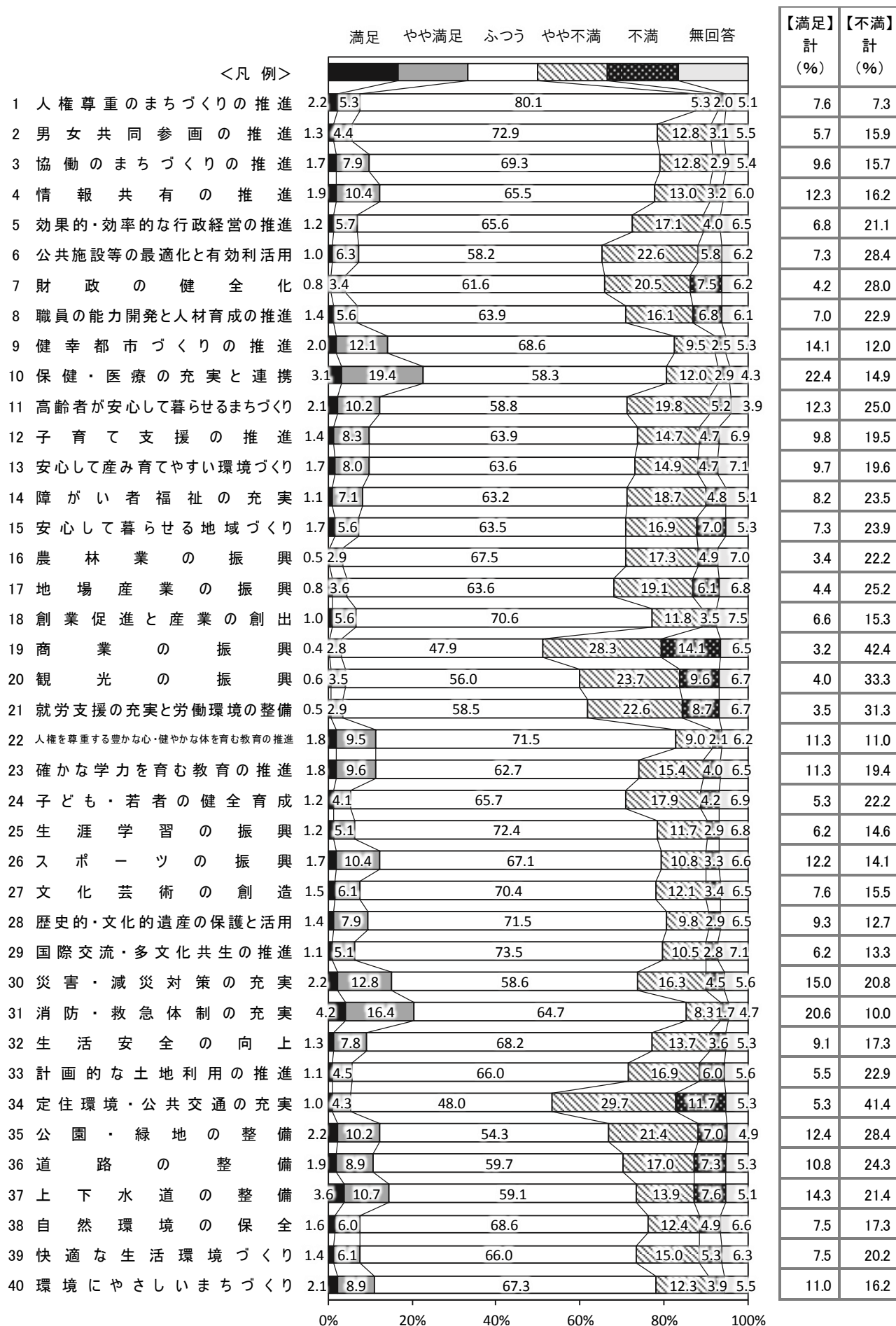
すべての施策について、5段階評価の「ふつう」と回答する人が約半数以上を占めるものの、「【1】人権尊重のまちづくりの推進」、「【9】健幸都市づくりの推進」、「【10】保健・医療の充実と連携」、「【22】人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進」、「【31】消防・救急体制の充実」以外の施策については、『不満度』が『満足度』の割合を大きく上回っている。

【満足度（全体）】

（％）

項目	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答	【満足】計		【不満】計	
							順位		順位	
1 人権尊重のまちづくりの推進	2.2	5.3	80.1	5.3	2.0	5.1	21	7.6	40	7.3
2 男女共同参画の推進	1.3	4.4	72.9	12.8	3.1	5.5	31	5.7	28	15.9
3 協働のまちづくりの推進	1.7	7.9	69.3	12.8	2.9	5.4	16	9.6	29	15.7
4 情報共有の推進	1.9	10.4	65.5	13.0	3.2	6.0	7	12.3	27	16.2
5 効果的・効率的な行政経営の推進	1.2	5.7	65.6	17.1	4.0	6.5	27	6.8	18	21.1
6 公共施設等の最適化と有効利活用	1.0	6.3	58.2	22.6	5.8	6.2	25	7.3	5	28.4
7 財政の健全化	0.8	3.4	61.6	20.5	7.5	6.2	36	4.2	7	28.0
8 職員の能力開発と人材育成の推進	1.4	5.6	63.9	16.1	6.8	6.1	26	7.0	13	22.9
9 健幸都市づくりの推進	2.0	12.1	68.6	9.5	2.5	5.3	5	14.1	37	12.0
10 保健・医療の充実と連携	3.1	19.4	58.3	12.0	2.9	4.3	1	22.4	32	14.9
11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	2.1	10.2	58.8	19.8	5.2	3.9	8	12.3	9	25.0
12 子育て支援の推進	1.4	8.3	63.9	14.7	4.7	6.9	14	9.8	22	19.5
13 安心して産み育てやすい環境づくり	1.7	8.0	63.6	14.9	4.7	7.1	15	9.7	21	19.6
14 障がい者福祉の充実	1.1	7.1	63.2	18.7	4.8	5.1	19	8.2	12	23.5
15 安心して暮らせる地域づくり	1.7	5.6	63.5	16.9	7.0	5.3	24	7.3	11	23.9
16 農林業の振興	0.5	2.9	67.5	17.3	4.9	7.0	39	3.4	16	22.2
17 地場産業の振興	0.8	3.6	63.6	19.1	6.1	6.8	35	4.4	8	25.2
18 創業促進と産業の創出	1.0	5.6	70.6	11.8	3.5	7.5	28	6.6	31	15.3
19 商業の振興	0.4	2.8	47.9	28.3	14.1	6.5	40	3.2	1	42.4
20 観光の振興	0.6	3.5	56.0	23.7	9.6	6.7	37	4.0	3	33.3
21 就労支援の充実と労働環境の整備	0.5	2.9	58.5	22.6	8.7	6.7	38	3.5	4	31.3
22 人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	1.8	9.5	71.5	9.0	2.1	6.2	11	11.3	38	11.0
23 確かな学力を育む教育の推進	1.8	9.6	62.7	15.4	4.0	6.5	10	11.3	23	19.4
24 子ども・若者の健全育成	1.2	4.1	65.7	17.9	4.2	6.9	34	5.3	15	22.2
25 生涯学習の振興	1.2	5.1	72.4	11.7	2.9	6.8	29	6.2	33	14.6
26 スポーツの振興	1.7	10.4	67.1	10.8	3.3	6.6	9	12.2	34	14.1
27 文化芸術の創造	1.5	6.1	70.4	12.1	3.4	6.5	20	7.6	30	15.5
28 歴史的・文化的遺産の保護と活用	1.4	7.9	71.5	9.8	2.9	6.5	17	9.3	36	12.7
29 国際交流・多文化共生の推進	1.1	5.1	73.5	10.5	2.8	7.1	30	6.2	35	13.3
30 災害・減災対策の充実	2.2	12.8	58.6	16.3	4.5	5.6	3	15.0	19	20.8
31 消防・救急体制の充実	4.2	16.4	64.7	8.3	1.7	4.7	2	20.6	39	10.0
32 生活安全の向上	1.3	7.8	68.2	13.7	3.6	5.3	18	9.1	24	17.3
33 計画的な土地利用の推進	1.1	4.5	66.0	16.9	6.0	5.6	32	5.5	14	22.9
34 定住環境・公共交通の充実	1.0	4.3	48.0	29.7	11.7	5.3	33	5.3	2	41.4
35 公園・緑地の整備	2.2	10.2	54.3	21.4	7.0	4.9	6	12.4	6	28.4
36 道路の整備	1.9	8.9	59.7	17.0	7.3	5.3	13	10.8	10	24.3
37 上下水道の整備	3.6	10.7	59.1	13.9	7.6	5.1	4	14.3	17	21.4
38 自然環境の保全	1.6	6.0	68.6	12.4	4.9	6.6	22	7.5	25	17.3
39 快適な生活環境づくり	1.4	6.1	66.0	15.0	5.3	6.3	23	7.5	20	20.2
40 環境にやさしいまちづくり	2.1	8.9	67.3	12.3	3.9	5.5	12	11.0	26	16.2

【満足度（全体）】



②地区別

『満足度』（「満足」＋「やや満足」）の割合が高い施策を地区別で見ると、いずれの地区とも「【10】保健・医療の充実と連携」、「【31】消防・救急体制の充実」は上位5項目の中にあげられており、中でも「【10】保健・医療の充実と連携」はどの地区においても上位1～2位となっている。また、潁田地区では「【23】確かな学力を育む教育の推進」が他地区に比べ割合がやや高くなっている。

一方、『不満度』（「不満」＋「やや不満」）の割合が高い施策を地区別で見ると、いずれの地区とも「【19】商業の振興」、「【34】定住環境・公共交通の充実」は上位1～2位にあげられている。また、筑穂地区では「【16】農林業の振興」が他地区に比べ割合がやや高くなっている。

【満足度（全体、地区別）】

項目	【満足】計(%)													
	全体	地区別												
		二瀬地区	幸袋地区	鎮西地区	菰田地区	立岩地区	飯塚東地区	飯塚片島地区	鯉田地区	穂波地区	筑穂地区	庄内地区	穎田地区	
1 人権尊重のまちづくりの推進	7.6	7.6	4.7	8.5	8.2	6.9	10.7	5.3	8.6	6.5	9.6	6.9	11.1	
2 男女共同参画の推進	5.7	4.8	5.8	5.7	6.4	5.2	8.4	7.6	6.3	4.4	6.4	4.2	7.4	
3 協働のまちづくりの推進	9.6	10.3	7.7	8.9	11.8	10.1	12.6	11.8	10.9	7.1	9.6	9.6	13.3	
4 情報共有の推進	12.3	12.4	13.1	10.1	10.9	13.7	13.1	12.9	19.4	10.5	10.4	13.4	15.6	
5 効果的・効率的な行政経営の推進	6.8	7.8	5.8	6.1	4.5	9.3	7.5	8.7	11.4	4.7	6.0	6.5	8.1	
6 公共施設等の最適化と有効利活用	7.3	7.1	6.2	4.9	8.2	8.9	11.7	11.4	11.4	5.3	5.2	8.8	3.0	
7 財政の健全化	4.2	4.1	3.6	4.9	1.8	3.2	7.0	6.1	6.3	4.1	1.6	2.3	6.7	
8 職員の能力開発と人材育成の推進	7.0	8.7	5.5	6.9	6.4	8.5	8.4	6.8	9.1	5.0	6.0	7.3	8.9	
9 健幸都市づくりの推進	14.1	13.8	12.0	10.9	10.0	14.5	16.4	20.2	17.1	13.7	12.4	13.8	17.0	
10 保健・医療の充実と連携	22.4	24.3	20.1	23.5	19.1	24.2	26.2	22.8	28.6	20.9	19.6	22.6	21.5	
11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	12.3	13.1	9.1	14.2	10.9	11.3	15.0	10.3	15.4	11.9	9.6	12.6	17.0	
12 子育て支援の推進	9.8	9.9	10.2	10.5	10.0	10.1	13.6	11.8	13.7	7.4	6.8	9.6	11.1	
13 安心して産み育てやすい環境づくり	9.7	9.9	8.4	10.1	9.1	12.1	10.3	9.5	12.0	7.5	9.2	11.9	11.9	
14 障がい者福祉の充実	8.2	9.9	5.8	6.9	10.0	8.1	11.7	4.6	12.6	6.5	8.4	8.0	10.4	
15 安心して暮らせる地域づくり	7.3	7.6	6.2	5.3	4.5	6.5	9.8	5.3	11.4	6.9	7.2	8.0	10.4	
16 農林業の振興	3.4	4.1	0.7	4.5	1.8	3.2	5.6	2.3	4.0	3.0	3.2	3.1	5.2	
17 地場産業の振興	4.4	5.0	1.1	3.6	1.8	6.0	9.8	3.0	8.0	3.8	3.2	4.2	5.2	
18 創業促進と産業の創出	6.6	9.2	4.0	7.3	6.4	7.3	10.7	4.9	9.7	5.1	6.8	5.0	4.4	
19 商業の振興	3.2	2.5	1.5	3.6	1.8	3.6	6.5	3.8	2.9	3.3	3.2	2.3	4.4	
20 観光の振興	4.0	3.9	5.1	3.2	3.6	6.0	8.4	4.2	6.9	2.6	2.0	2.3	4.4	
21 就労支援の充実と労働環境の整備	3.5	3.0	2.6	2.4	5.5	4.0	7.0	4.2	2.9	3.2	2.4	2.3	5.9	
22 人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	11.3	11.2	8.8	10.1	11.8	11.3	13.6	13.7	14.3	9.8	10.4	11.1	16.3	
23 確かな学力を育む教育の推進	11.3	11.0	12.0	12.1	11.8	10.9	11.7	11.4	13.7	9.6	6.8	11.5	23.7	
24 子ども・若者の健全育成	5.3	5.0	4.0	4.5	5.5	5.2	6.5	4.9	9.1	4.4	4.8	4.2	9.6	
25 生涯学習の振興	6.2	7.3	4.7	5.3	7.3	6.0	7.9	6.1	8.0	3.8	6.8	6.9	11.9	
26 スポーツの振興	12.2	11.9	9.1	10.9	10.9	13.3	16.4	12.9	14.9	10.4	12.0	14.6	15.6	
27 文化芸術の創造	7.6	6.9	6.6	4.9	8.2	8.1	12.1	10.3	9.7	6.3	6.0	7.3	9.6	
28 歴史的・文化的遺産の保護と活用	9.3	9.4	8.8	7.3	8.2	10.5	14.5	11.4	9.7	7.8	9.2	8.0	11.9	
29 国際交流・多文化共生の推進	6.2	5.3	6.9	5.3	4.5	7.3	8.9	6.8	8.6	5.1	6.0	6.1	8.1	
30 災害・減災対策の充実	15.0	14.4	11.3	13.4	12.7	12.5	17.3	15.6	22.9	15.1	18.4	11.1	17.0	
31 消防・救急体制の充実	20.6	22.2	15.3	19.4	20.9	17.7	24.8	20.5	26.9	19.6	20.4	20.7	17.8	
32 生活安全の向上	9.1	8.7	7.7	7.7	9.1	9.7	14.5	9.1	12.6	8.3	8.8	8.0	7.4	
33 計画的な土地利用の推進	5.5	3.2	4.4	4.9	1.8	5.2	8.4	8.4	8.0	5.7	4.4	4.2	8.9	
34 定住環境・公共交通の充実	5.3	4.8	5.1	3.6	5.5	4.0	7.5	5.7	8.0	5.4	5.2	3.8	9.6	
35 公園・緑地の整備	12.4	11.0	10.2	8.9	12.7	14.1	15.0	19.4	16.0	11.3	10.4	12.6	16.3	
36 道路の整備	10.8	10.3	10.2	9.7	8.2	12.6	15.4	10.6	16.0	9.8	10.0	9.6	11.1	
37 上下水道の整備	14.3	14.7	12.4	8.5	16.4	16.5	20.1	19.8	16.0	13.0	15.6	12.3	16.3	
38 自然環境の保全	7.5	6.9	5.5	5.7	6.4	8.1	11.7	9.1	8.0	7.2	8.4	8.4	8.9	
39 快適な生活環境づくり	7.5	8.0	4.7	5.3	8.2	7.3	10.7	9.5	9.1	6.9	8.0	6.9	9.6	
40 環境にやさしいまちづくり	11.0	12.6	8.8	8.1	9.1	10.9	14.0	12.5	18.3	9.3	12.8	8.0	16.3	

(注)地区別に各項目の割合を比較し、上位5位を網掛けにしている。

【不満度（全体、地区別）】

項目	【不満】計(%)												
	全体	地区別											
		二瀬地区	幸袋地区	鎮西地区	菰田地区	立岩地区	飯塚東地区	飯塚・片島地区	鯉田地区	穂波地区	筑穂地区	庄内地区	穎田地区
1 人権尊重のまちづくりの推進	7.3	6.7	7.7	7.3	7.3	8.5	7.9	6.8	6.3	8.6	6.8	5.7	5.9
2 男女共同参画の推進	15.9	16.3	13.9	18.6	13.6	16.1	15.9	15.2	16.6	16.7	18.0	13.8	14.1
3 協働のまちづくりの推進	15.7	15.8	15.3	12.6	14.5	19.8	14.5	10.6	17.1	17.2	20.4	13.0	16.3
4 情報共有の推進	16.2	17.4	11.3	17.4	19.1	16.5	15.4	14.1	17.7	18.7	18.8	11.5	15.6
5 効果的・効率的な行政経営の推進	21.1	19.7	21.2	21.5	21.8	20.2	18.2	20.2	16.0	23.2	25.6	20.3	25.2
6 公共施設等の最適化と有効利活用	28.4	29.4	28.5	28.3	35.5	24.2	28.5	29.3	26.9	29.4	28.4	24.1	38.5
7 財政の健全化	28.0	25.7	25.5	30.0	30.9	26.2	27.6	24.7	27.4	32.5	27.6	23.8	35.6
8 職員の能力開発と人材育成の推進	22.9	19.5	23.7	22.3	27.3	22.6	24.3	22.4	21.7	25.5	22.4	20.7	27.4
9 健幸都市づくりの推進	12.0	13.8	12.4	10.1	11.8	12.9	9.3	9.9	13.1	12.8	13.2	10.7	10.4
10 保健・医療の充実と連携	14.9	16.1	15.3	16.2	15.5	12.1	8.4	14.8	12.6	16.0	18.8	12.3	18.5
11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	25.0	28.2	27.0	25.1	21.8	21.4	21.0	22.1	21.7	26.4	27.2	23.4	28.9
12 子育て支援の推進	19.5	17.7	17.5	20.6	18.2	18.5	15.0	20.9	18.9	23.0	22.0	18.0	19.3
13 安心して産み育てやすい環境づくり	19.6	18.8	19.7	23.1	13.6	17.7	16.4	22.4	18.9	22.7	20.8	15.3	18.5
14 障がい者福祉の充実	23.5	24.8	23.7	29.1	28.2	20.2	22.9	21.3	25.7	23.5	20.4	20.3	25.9
15 安心して暮らせる地域づくり	23.9	28.0	24.5	27.9	24.5	24.6	24.3	22.1	16.6	25.2	24.4	18.8	20.0
16 農林業の振興	22.2	21.8	22.6	21.1	22.7	22.2	15.9	17.9	23.4	22.3	30.8	21.1	31.1
17 地場産業の振興	25.2	25.2	26.3	22.3	30.0	25.4	23.4	26.2	22.3	26.5	30.0	20.3	32.6
18 創業促進と産業の創出	15.3	12.4	16.4	13.0	11.8	15.7	15.0	18.6	12.6	17.6	17.2	11.1	20.7
19 商業の振興	42.4	41.3	42.3	45.3	43.6	44.4	44.4	48.3	41.7	43.2	37.6	37.2	46.7
20 観光の振興	33.3	30.0	34.3	30.4	37.3	33.5	33.6	37.3	28.6	36.1	32.0	31.4	39.3
21 就労支援の充実と労働環境の整備	31.3	31.2	31.4	33.2	35.5	27.4	29.0	25.9	28.0	34.9	34.4	26.4	39.3
22 人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	11.0	10.3	11.7	12.6	13.6	11.7	8.4	9.9	8.6	11.9	11.2	10.0	13.3
23 確かな学力を育む教育の推進	19.4	17.0	19.0	18.6	17.3	23.0	22.9	16.7	16.0	23.3	22.0	15.3	16.3
24 子ども・若者の健全育成	22.2	21.6	20.4	21.1	18.2	21.8	22.0	17.9	19.4	27.4	24.4	19.5	24.4
25 生涯学習の振興	14.6	14.2	15.7	11.7	21.8	12.1	12.1	11.0	14.3	16.4	17.2	15.3	16.3
26 スポーツの振興	14.1	13.1	13.1	13.4	15.5	16.9	14.0	14.4	11.4	16.3	14.4	11.5	15.6
27 文化芸術の創造	15.5	14.7	14.6	15.8	20.0	18.1	12.1	14.1	17.7	17.6	13.2	12.6	17.0
28 歴史的・文化的遺産の保護と活用	12.7	11.2	11.7	11.3	13.6	12.5	11.7	13.3	12.0	15.4	13.6	9.2	14.1
29 国際交流・多文化共生の推進	13.3	9.2	11.7	12.1	16.4	12.5	11.7	17.9	16.0	16.0	11.6	9.2	17.8
30 災害・減災対策の充実	20.8	20.0	24.8	19.4	16.4	21.4	20.1	17.5	17.1	22.7	24.0	19.5	25.9
31 消防・救急体制の充実	10.0	10.3	11.3	10.1	10.0	9.3	6.5	9.5	6.3	10.8	12.8	9.6	11.9
32 生活安全の向上	17.3	18.8	17.2	15.8	14.5	19.4	13.6	17.9	14.9	20.5	18.4	11.9	20.7
33 計画的な土地利用の推進	22.9	24.1	23.7	27.9	22.7	20.2	17.3	20.5	17.7	24.1	29.6	18.8	26.7
34 定住環境・公共交通の充実	41.4	45.0	39.8	45.7	46.4	34.7	45.8	39.5	38.3	41.0	49.6	37.5	44.4
35 公園・緑地の整備	28.4	27.8	25.9	30.4	28.2	28.6	32.2	25.9	28.0	30.4	30.0	26.1	33.3
36 道路の整備	24.3	26.6	19.7	29.6	20.0	26.3	22.0	22.4	19.4	26.5	26.4	24.1	28.9
37 上下水道の整備	21.4	20.2	19.0	27.5	21.8	14.1	13.1	13.7	28.0	26.5	21.6	25.7	27.4
38 自然環境の保全	17.3	23.2	18.2	20.2	14.5	12.9	14.5	12.2	15.4	15.8	22.4	19.5	19.3
39 快適な生活環境づくり	20.2	20.9	20.1	25.9	16.4	16.1	15.0	18.6	21.7	22.3	21.6	21.5	24.4
40 環境にやさしいまちづくり	16.2	18.1	17.2	17.8	10.0	14.5	15.0	17.5	11.4	18.2	18.4	16.1	13.3

(注)地区別に各項目の割合を比較し、上位5位を網掛けにしている。

③性別

『満足度』（「満足」＋「やや満足」）の割合が高い施策を性別で見ると、男女とも全体結果とほぼ同様の傾向を示しており、「【10】保健・医療の充実と連携」はいずれも1位となっている。

一方、『不満度』（「不満」＋「やや不満」）の割合が高い施策を性別で見ると、男女とも「【19】商業の振興」、「【34】定住環境・公共交通の充実」は上位1～2位にあげられている。

【満足度（全体・性別）】

項目	【満足】計(%)			
	全体	性別		
		男	女	回答しない
1 人権尊重のまちづくりの推進	7.6	8.7	6.7	2.9
2 男女共同参画の推進	5.7	6.9	4.9	4.4
3 協働のまちづくりの推進	9.6	10.8	8.9	4.4
4 情報共有の推進	12.3	12.3	12.7	8.8
5 効果的・効率的な行政経営の推進	6.8	8.9	5.5	2.9
6 公共施設等の最適化と有効利活用	7.3	9.2	6.0	4.4
7 財政の健全化	4.2	5.9	2.9	1.5
8 職員の能力開発と人材育成の推進	7.0	8.4	6.0	4.4
9 健幸都市づくりの推進	14.1	14.9	13.9	5.9
10 保健・医療の充実と連携	22.4	23.9	21.9	11.8
11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	12.3	13.3	11.7	7.4
12 子育て支援の推進	9.8	10.1	9.6	10.3
13 安心して産み育てやすい環境づくり	9.7	10.3	9.4	5.9
14 障がい者福祉の充実	8.2	8.6	8.0	1.5
15 安心して暮らせる地域づくり	7.3	8.6	6.5	1.5
16 農林業の振興	3.4	3.9	3.1	1.5
17 地場産業の振興	4.4	6.1	3.2	2.9
18 創業促進と産業の創出	6.6	8.4	5.2	7.4
19 商業の振興	3.2	4.1	2.6	2.9
20 観光の振興	4.0	4.7	3.5	2.9
21 就労支援の充実と労働環境の整備	3.5	4.6	2.6	5.9
22 人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	11.3	11.6	11.2	7.4
23 確かな学力を育む教育の推進	11.3	12.2	10.8	7.4
24 子ども・若者の健全育成	5.3	6.2	4.5	4.4
25 生涯学習の振興	6.2	6.7	5.9	2.9
26 スポーツの振興	12.2	13.2	11.6	7.4
27 文化芸術の創造	7.6	8.4	7.0	2.9
28 歴史的・文化的遺産の保護と活用	9.3	10.6	8.6	5.9
29 国際交流・多文化共生の推進	6.2	7.5	5.4	2.9
30 災害・減災対策の充実	15.0	14.8	15.0	17.6
31 消防・救急体制の充実	20.6	21.6	19.5	19.1
32 生活安全の向上	9.1	10.4	8.1	5.9
33 計画的な土地利用の推進	5.5	6.1	4.9	7.4
34 定住環境・公共交通の充実	5.3	6.2	4.8	2.9
35 公園・緑地の整備	12.4	13.8	12.0	4.4
36 道路の整備	10.8	12.7	9.9	4.4
37 上下水道の整備	14.3	15.4	14.1	10.3
38 自然環境の保全	7.5	8.9	6.9	2.9
39 快適な生活環境づくり	7.5	9.1	6.6	2.9
40 環境にやさしいまちづくり	11.0	11.1	11.3	8.8

(注)性別に各項目の割合を比較し、上位5位を網掛けにしている。

【不満度（全体・性別）】

項目	【不満】計(%)			
	全体	性別		
		男	女	回答しない
1 人権尊重のまちづくりの推進	7.3	7.1	7.1	11.8
2 男女共同参画の推進	15.9	15.2	16.3	23.5
3 協働のまちづくりの推進	15.7	17.3	14.6	14.7
4 情報共有の推進	16.2	18.1	14.6	25.0
5 効果的・効率的な行政経営の推進	21.1	21.5	20.5	30.9
6 公共施設等の最適化と有効活用	28.4	28.1	28.7	33.8
7 財政の健全化	28.0	28.2	27.8	41.2
8 職員の能力開発と人材育成の推進	22.9	22.4	23.1	36.8
9 健幸都市づくりの推進	12.0	12.5	11.4	20.6
10 保健・医療の充実と連携	14.9	14.5	15.0	26.5
11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	25.0	25.6	24.2	30.9
12 子育て支援の推進	19.5	19.4	19.5	26.5
13 安心して産み育てやすい環境づくり	19.6	18.5	20.2	33.8
14 障がい者福祉の充実	23.5	23.1	23.6	33.8
15 安心して暮らせる地域づくり	23.9	23.6	23.9	36.8
16 農林業の振興	22.2	24.7	20.3	23.5
17 地場産業の振興	25.2	29.6	22.4	25.0
18 創業促進と産業の創出	15.3	17.7	13.7	8.8
19 商業の振興	42.4	44.3	41.3	42.6
20 観光の振興	33.3	35.8	31.9	26.5
21 就労支援の充実と労働環境の整備	31.3	32.5	29.9	50.0
22 人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	11.0	11.2	10.7	16.2
23 確かな学力を育む教育の推進	19.4	20.0	18.9	23.5
24 子ども・若者の健全育成	22.2	21.6	22.2	35.3
25 生涯学習の振興	14.6	15.2	13.8	20.6
26 スポーツの振興	14.1	16.5	12.3	16.2
27 文化芸術の創造	15.5	16.5	14.5	22.1
28 歴史的・文化的遺産の保護と活用	12.7	14.9	10.9	13.2
29 国際交流・多文化共生の推進	13.3	14.8	12.1	13.2
30 災害・減災対策の充実	20.8	22.5	19.4	29.4
31 消防・救急体制の充実	10.0	10.9	9.1	17.6
32 生活安全の向上	17.3	17.1	17.2	30.9
33 計画的な土地利用の推進	22.9	23.7	22.0	36.8
34 定住環境・公共交通の充実	41.4	41.3	41.9	60.3
35 公園・緑地の整備	28.4	28.1	28.7	44.1
36 道路の整備	24.3	26.7	22.7	35.3
37 上下水道の整備	21.4	23.6	20.0	30.9
38 自然環境の保全	17.3	18.1	16.7	30.9
39 快適な生活環境づくり	20.2	21.0	19.8	27.9
40 環境にやさしいまちづくり	16.2	16.7	15.7	30.9

(注)性別に各項目の割合を比較し、上位5位を網掛けしている。

④年齢別

『満足度』（「満足」＋「やや満足」）の割合が高い施策を年齢別で見ると、「【10】保健・医療の充実と連携」は10歳代を除いた年代で上位1～2位にあげられており、中でも75歳以上において割合がやや高くなっている。また、「【31】消防・救急体制の充実」はすべての年齢層で上位5項目の中にあげられている。

一方、『不満度』（「不満」＋「やや不満」）の割合が高い施策を年齢別で見ると、いずれの年齢層とも全体結果とほぼ同様の傾向を示しており、「【19】商業の振興」、「【34】定住環境・公共交通の充実」は上位1～3位にあげられている。

【満足度（全体・年齢別）】

項目	【満足】計(%)								
	全体	年齢別							
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～74歳	75歳以上
1 人権尊重のまちづくりの推進	7.6	18.8	7.1	8.2	5.5	7.0	5.2	7.3	9.6
2 男女共同参画の推進	5.7	15.6	8.0	6.3	4.8	4.8	2.8	5.1	7.5
3 協働のまちづくりの推進	9.6	21.9	13.8	11.7	8.1	7.2	6.1	9.1	11.7
4 情報共有の推進	12.3	15.6	18.3	15.8	12.5	9.6	8.3	12.5	12.3
5 効果的・効率的な行政経営の推進	6.8	15.6	8.5	6.6	5.3	7.0	4.3	7.3	8.1
6 公共施設等の最適化と有効利活用	7.3	28.1	11.2	8.7	5.9	6.5	3.4	7.3	7.5
7 財政の健全化	4.2	15.6	4.0	3.6	2.6	4.4	2.8	5.1	4.8
8 職員の能力開発と人材育成の推進	7.0	12.5	6.3	5.7	3.1	5.9	4.6	9.1	9.9
9 健幸都市づくりの推進	14.1	31.3	17.4	12.6	13.6	12.9	8.3	14.1	17.4
10 保健・医療の充実と連携	22.4	25.0	27.7	18.9	19.7	19.0	13.8	25.0	28.6
11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	12.3	25.0	17.9	9.0	9.0	11.1	8.0	11.2	18.0
12 子育て支援の推進	9.8	25.0	12.9	13.1	14.2	9.2	3.7	8.7	7.9
13 安心して産み育てやすい環境づくり	9.7	21.9	13.4	12.3	13.8	9.6	2.5	8.2	9.1
14 障がい者福祉の充実	8.2	25.0	11.2	5.2	6.8	7.6	4.6	9.7	9.0
15 安心して暮らせる地域づくり	7.3	18.8	10.3	6.0	5.5	5.7	5.5	8.1	8.8
16 農林業の振興	3.4	12.5	5.4	5.5	2.6	4.1	0.6	2.9	3.1
17 地場産業の振興	4.4	12.5	8.9	4.6	3.3	3.5	2.1	4.9	4.3
18 創業促進と産業の創出	6.6	12.5	7.6	4.9	5.3	7.2	4.3	7.2	7.9
19 商業の振興	3.2	6.3	7.1	4.9	2.0	2.6	1.8	2.5	3.7
20 観光の振興	4.0	3.1	5.4	4.9	4.2	3.5	3.7	3.3	4.3
21 就労支援の充実と労働環境の整備	3.5	15.6	7.1	3.3	2.0	3.5	1.8	3.3	3.9
22 人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	11.3	28.1	14.7	12.3	11.4	10.0	6.1	11.0	12.6
23 確かな学力を育む教育の推進	11.3	15.6	11.2	10.9	11.6	10.7	6.1	11.7	13.9
24 子ども・若者の健全育成	5.3	18.8	7.6	4.6	5.0	5.2	3.1	4.5	6.3
25 生涯学習の振興	6.2	15.6	9.8	5.7	4.6	5.9	2.8	6.3	7.8
26 スポーツの振興	12.2	18.8	16.5	11.5	12.5	10.7	6.4	12.8	13.9
27 文化芸術の創造	7.6	18.8	8.9	6.3	7.2	6.8	3.1	7.2	10.5
28 歴史的・文化的遺産の保護と活用	9.3	25.0	12.9	8.2	9.2	9.4	5.2	8.2	11.7
29 国際交流・多文化共生の推進	6.2	18.8	6.3	6.0	6.8	7.4	3.7	5.9	6.0
30 災害・減災対策の充実	15.0	25.0	15.6	14.2	13.6	13.7	8.3	17.0	17.2
31 消防・救急体制の充実	20.6	28.1	20.1	13.7	16.0	18.7	15.0	22.3	28.3
32 生活安全の向上	9.1	25.0	12.1	7.4	6.8	8.1	5.2	10.1	11.2
33 計画的な土地利用の推進	5.5	15.6	8.5	7.1	4.4	4.6	1.5	6.2	5.7
34 定住環境・公共交通の充実	5.3	6.3	6.7	4.6	3.1	5.0	2.8	5.4	8.4
35 公園・緑地の整備	12.4	25.0	19.2	15.3	14.2	10.9	4.6	11.6	13.3
36 道路の整備	10.8	34.4	10.3	10.4	9.6	9.4	6.4	11.6	13.5
37 上下水道の整備	14.3	21.9	15.6	11.2	9.8	13.3	9.5	14.3	22.8
38 自然環境の保全	7.5	15.6	9.8	9.6	7.0	7.2	4.6	7.4	8.1
39 快適な生活環境づくり	7.5	15.6	11.2	6.8	7.2	6.5	4.3	6.4	10.5
40 環境にやさしいまちづくり	11.0	18.8	12.9	9.0	9.4	9.4	8.0	11.5	15.3

(注)年齢別に各項目の割合を比較し、上位5位を網掛けにしている。

【不満度（全体・年齢別）】

項目	【不満】計(%)								
	全体	年齢別							
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～74歳	75歳以上
1 人権尊重のまちづくりの推進	7.3	9.4	7.6	8.7	7.7	5.7	7.1	7.7	5.7
2 男女共同参画の推進	15.9	9.4	12.1	16.7	14.9	13.3	17.2	17.7	14.1
3 協働のまちづくりの推進	15.7	9.4	13.8	15.3	15.3	10.2	17.2	16.8	15.7
4 情報共有の推進	16.2	18.8	12.9	21.3	18.4	14.6	16.6	14.1	13.8
5 効果的・効率的な行政経営の推進	21.1	6.3	13.4	22.1	22.8	18.5	26.1	22.2	16.8
6 公共施設等の最適化と有効利活用	28.4	12.5	22.3	26.2	30.9	23.5	38.3	27.7	25.3
7 財政の健全化	28.0	21.9	20.1	26.5	33.9	20.5	34.4	28.8	21.6
8 職員の能力開発と人材育成の推進	22.9	18.8	15.6	24.3	26.7	14.4	29.8	23.6	18.4
9 健幸都市づくりの推進	12.0	15.6	3.6	14.8	11.8	10.0	16.9	12.2	10.6
10 保健・医療の充実と連携	14.9	12.5	11.2	20.2	17.1	14.4	19.6	13.1	10.8
11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	25.0	6.3	14.7	23.0	21.7	22.2	29.4	27.8	24.9
12 子育て支援の推進	19.5	9.4	20.1	34.4	26.5	12.4	20.6	16.5	12.6
13 安心して産み育てやすい環境づくり	19.6	9.4	22.3	32.0	20.8	15.5	22.7	17.3	13.0
14 障がい者福祉の充実	23.5	9.4	15.2	23.5	21.2	18.3	31.3	24.0	24.3
15 安心して暮らせる地域づくり	23.9	12.5	16.5	29.2	26.7	17.4	28.2	22.2	20.4
16 農林業の振興	22.2	12.5	14.7	15.6	19.3	13.9	32.8	25.3	23.1
17 地場産業の振興	25.2	12.5	16.5	18.9	26.7	21.1	32.8	28.7	22.6
18 創業促進と産業の創出	15.3	6.3	9.8	14.5	13.6	12.9	20.9	17.8	12.1
19 商業の振興	42.4	25.0	31.3	36.9	44.4	32.2	48.8	45.8	39.4
20 観光の振興	33.3	15.6	26.3	31.4	32.8	27.2	39.6	34.3	31.1
21 就労支援の充実と労働環境の整備	31.3	12.5	25.9	32.0	32.2	26.6	39.9	30.9	25.9
22 人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	11.0	12.5	8.0	13.1	10.7	10.2	15.3	10.5	8.5
23 確かな学力を育む教育の推進	19.4	12.5	18.3	24.6	22.5	15.3	27.9	18.4	12.1
24 子ども・若者の健全育成	22.2	15.6	18.3	25.1	25.8	17.4	30.7	21.6	16.0
25 生涯学習の振興	14.6	6.3	9.4	15.6	14.4	12.0	19.9	15.4	12.3
26 スポーツの振興	14.1	6.3	12.1	13.4	16.0	10.9	19.0	13.5	11.8
27 文化芸術の創造	15.5	12.5	10.3	14.8	13.3	10.7	19.3	17.2	15.6
28 歴史的・文化的遺産の保護と活用	12.7	9.4	7.1	8.7	10.9	9.6	17.8	14.8	12.0
29 国際交流・多文化共生の推進	13.3	9.4	13.8	13.1	12.7	9.2	15.6	14.1	12.3
30 災害・減災対策の充実	20.8	3.1	15.2	20.5	22.1	15.3	26.1	22.2	19.2
31 消防・救急体制の充実	10.0	6.3	6.3	9.3	10.7	8.9	13.5	10.4	8.8
32 生活安全の向上	17.3	3.1	14.3	17.2	20.4	13.7	23.0	16.9	14.5
33 計画的な土地利用の推進	22.9	6.3	14.7	18.0	22.8	17.4	32.2	25.0	20.5
34 定住環境・公共交通の充実	41.4	21.9	27.7	37.2	42.2	30.9	49.7	44.3	41.8
35 公園・緑地の整備	28.4	28.1	22.3	29.5	27.4	19.8	34.4	31.3	25.4
36 道路の整備	24.3	12.5	19.2	26.0	25.2	19.9	29.8	24.1	21.3
37 上下水道の整備	21.4	3.1	11.6	23.2	22.5	16.6	27.3	22.3	19.0
38 自然環境の保全	17.3	18.8	9.4	14.2	15.3	11.1	21.8	20.7	18.7
39 快適な生活環境づくり	20.2	15.6	10.3	15.6	16.0	14.2	28.5	25.1	21.6
40 環境にやさしいまちづくり	16.2	15.6	10.7	15.0	15.5	12.0	23.6	17.6	14.8

(注)年齢別に各項目の割合を比較し、上位5位を網掛けにしている。

(2) 施策の重要度

①全体

飯塚市が行うべき各施策が、どのくらい重要かを5段階評価で尋ねてみた。

各施策に対して「高い」あるいは「やや高い」と回答した『高い重要度』の割合をみると、「【10】保健・医療の充実と連携」(43.0%)が最も高く、次いで「【30】災害・減災対策の充実」(42.3%)、「【31】消防・救急体制の充実」(40.9%)、「【11】高齢者が安心して暮らせるまちづくり」(40.5%)、「【23】確かな学力を育む教育の推進」(37.7%)となっている。

一方、「低い」あるいは「やや低い」と回答した『低い重要度』の割合をみると、「【19】商業の振興」(17.9%)が最も高く、次いで「【20】観光の振興」(16.2%)、「【34】定住環境・公共交通の充実」(15.0%)、「【21】就労支援の充実と労働環境の整備」(13.6%)「【7】財政の健全化」(13.0%)、となっている。

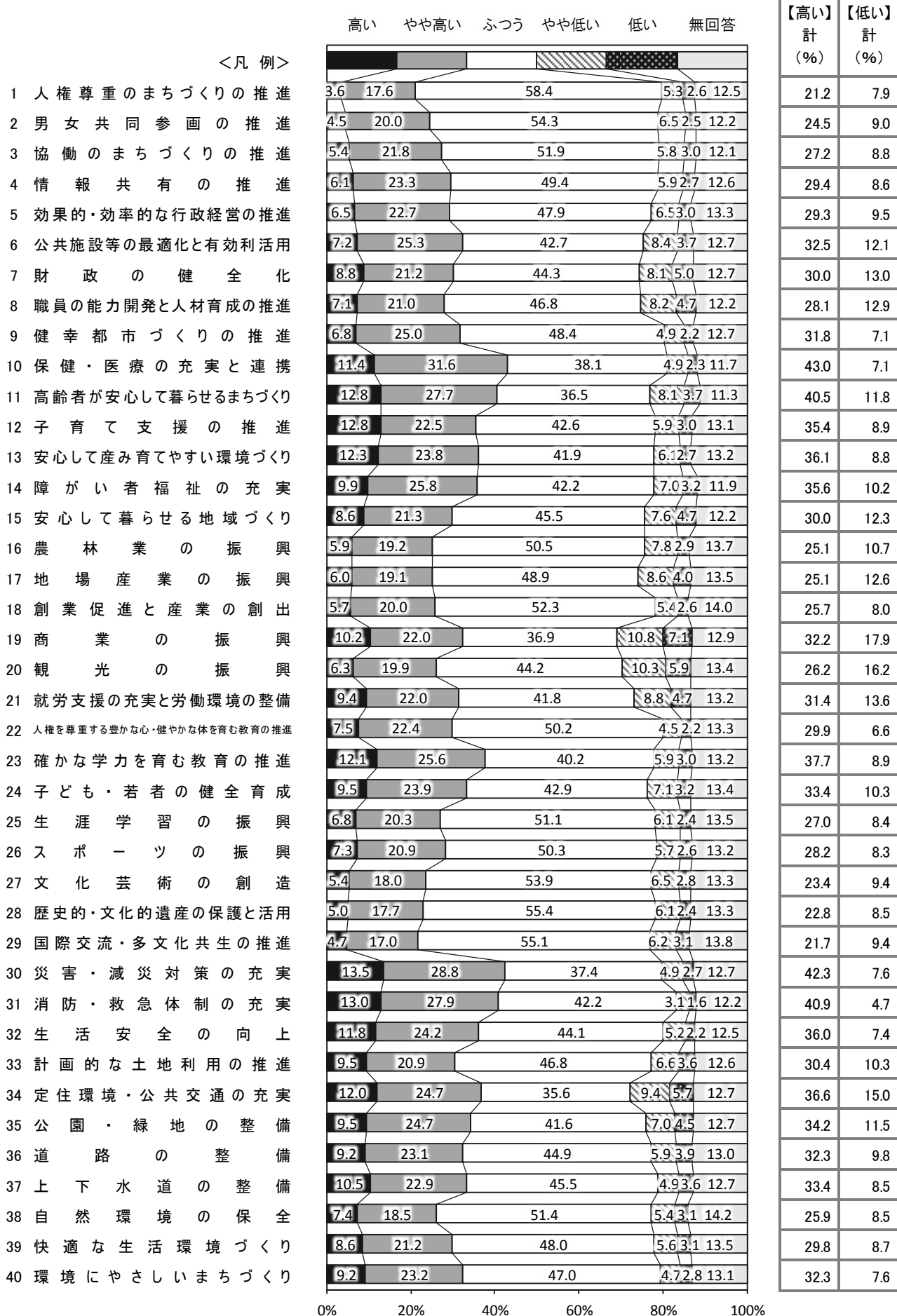
すべての施策について、5段階評価の「ふつう」と回答する人が中心となっているが、『低い重要度』の割合が『高い重要度』を上回る施策はなかった。

【重要度（全体）】

（％）

項目	高い	やや高い	ふつう	やや低い	低い	無回答	【高い】計		【低い】計	
							順位		順位	
1 人権尊重のまちづくりの推進	3.6	17.6	58.4	5.3	2.6	12.5	40	21.2	33	7.9
2 男女共同参画の推進	4.5	20.0	54.3	6.5	2.5	12.2	36	24.5	20	9.0
3 協働のまちづくりの推進	5.4	21.8	51.9	5.8	3.0	12.1	29	27.2	23	8.8
4 情報共有の推進	6.1	23.3	49.4	5.9	2.7	12.6	25	29.4	26	8.6
5 効果的・効率的な行政経営の推進	6.5	22.7	47.9	6.5	3.0	13.3	26	29.3	17	9.5
6 公共施設等の最適化と有効利活用	7.2	25.3	42.7	8.4	3.7	12.7	14	32.5	9	12.1
7 財政の健全化	8.8	21.2	44.3	8.1	5.0	12.7	21	30.0	5	13.0
8 職員の能力開発と人材育成の推進	7.1	21.0	46.8	8.2	4.7	12.2	28	28.1	6	12.9
9 健幸都市づくりの推進	6.8	25.0	48.4	4.9	2.2	12.7	18	31.8	37	7.1
10 保健・医療の充実と連携	11.4	31.6	38.1	4.9	2.3	11.7	1	43.0	37	7.1
11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	12.8	27.7	36.5	8.1	3.7	11.3	4	40.5	10	11.8
12 子育て支援の推進	12.8	22.5	42.6	5.9	3.0	13.1	10	35.4	21	8.9
13 安心して産み育てやすい環境づくり	12.3	23.8	41.9	6.1	2.7	13.2	7	36.1	23	8.8
14 障がい者福祉の充実	9.9	25.8	42.2	7.0	3.2	11.9	9	35.6	15	10.2
15 安心して暮らせる地域づくり	8.6	21.3	45.5	7.6	4.7	12.2	21	30.0	8	12.3
16 農林業の振興	5.9	19.2	50.5	7.8	2.9	13.7	34	25.1	12	10.7
17 地場産業の振興	6.0	19.1	48.9	8.6	4.0	13.5	34	25.1	7	12.6
18 創業促進と産業の創出	5.7	20.0	52.3	5.4	2.6	14.0	33	25.7	32	8.0
19 商業の振興	10.2	22.0	36.9	10.8	7.1	12.9	17	32.2	1	17.9
20 観光の振興	6.3	19.9	44.2	10.3	5.9	13.4	31	26.2	2	16.2
21 就労支援の充実と労働環境の整備	9.4	22.0	41.8	8.8	4.7	13.2	19	31.4	4	13.6
22 人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	7.5	22.4	50.2	4.5	2.2	13.3	23	29.9	39	6.6
23 確かな学力を育む教育の推進	12.1	25.6	40.2	5.9	3.0	13.2	5	37.7	21	8.9
24 子ども・若者の健全育成	9.5	23.9	42.9	7.1	3.2	13.4	12	33.4	13	10.3
25 生涯学習の振興	6.8	20.3	51.1	6.1	2.4	13.5	30	27.0	30	8.4
26 スポーツの振興	7.3	20.9	50.3	5.7	2.6	13.2	27	28.2	31	8.3
27 文化芸術の創造	5.4	18.0	53.9	6.5	2.8	13.3	37	23.4	18	9.4
28 歴史的・文化的遺産の保護と活用	5.0	17.7	55.4	6.1	2.4	13.3	38	22.8	27	8.5
29 国際交流・多文化共生の推進	4.7	17.0	55.1	6.2	3.1	13.8	39	21.7	18	9.4
30 災害・減災対策の充実	13.5	28.8	37.4	4.9	2.7	12.7	2	42.3	34	7.6
31 消防・救急体制の充実	13.0	27.9	42.2	3.1	1.6	12.2	3	40.9	40	4.7
32 生活安全の向上	11.8	24.2	44.1	5.2	2.2	12.5	8	36.0	36	7.4
33 計画的な土地利用の推進	9.5	20.9	46.8	6.6	3.6	12.6	20	30.4	13	10.3
34 定住環境・公共交通の充実	12.0	24.7	35.6	9.4	5.7	12.7	6	36.6	3	15.0
35 公園・緑地の整備	9.5	24.7	41.6	7.0	4.5	12.7	11	34.2	11	11.5
36 道路の整備	9.2	23.1	44.9	5.9	3.9	13.0	15	32.3	16	9.8
37 上下水道の整備	10.5	22.9	45.5	4.9	3.6	12.7	12	33.4	27	8.5
38 自然環境の保全	7.4	18.5	51.4	5.4	3.1	14.2	32	25.9	27	8.5
39 快適な生活環境づくり	8.6	21.2	48.0	5.6	3.1	13.5	24	29.8	25	8.7
40 環境にやさしいまちづくり	9.2	23.2	47.0	4.7	2.8	13.1	15	32.3	34	7.6

【重要度（全体）】



②地区別

『重要度』（「高い」＋「やや高い」）の割合が高い施策を地区別でみると、「【30】災害・減災対策の充実」はすべての地区で上位5項目の中にあげられている。また、「【10】保健・医療の充実と連携」、「【11】高齢者が安心して暮らせるまちづくり」は飯塚・片島地区を除いた地区で上位5項目のうちにあげられている。

一方、『重要度』（「低い」＋「やや低い」）の割合が低い施策を地区別でみると、「【19】商業の振興」と「【20】観光の振興」はすべての地区で上位5項目の中にあげられている。

【高い重要度（全体・地区別）】

項目	【高い】計(%)												
	全体	地区別											
		二瀬地区	幸袋地区	鎮西地区	菰田地区	立岩地区	飯塚東地区	飯塚・片島地区	鯉田地区	穂波地区	筑穂地区	庄内地区	穎田地区
1 人権尊重のまちづくりの推進	21.2	20.9	21.2	21.5	25.5	21.0	21.5	25.5	25.1	17.8	22.8	19.2	18.5
2 男女共同参画の推進	24.5	24.1	23.7	27.5	28.2	23.0	28.5	27.8	31.4	21.2	24.0	21.8	21.5
3 協働のまちづくりの推進	27.2	26.1	28.8	27.9	32.7	27.0	24.3	30.4	36.0	25.9	27.6	20.7	26.7
4 情報共有の推進	29.4	27.5	32.8	31.2	37.3	30.2	28.0	32.7	43.4	26.1	28.4	24.9	29.6
5 効果的・効率的な行政経営の推進	29.3	28.2	31.4	34.4	37.3	31.5	30.8	30.8	32.6	24.4	30.8	28.0	25.2
6 公共施設等の最適化と有効利活用	32.5	30.7	33.6	34.4	40.0	34.7	34.1	36.1	40.6	29.1	33.2	30.3	27.4
7 財政の健全化	30.0	28.9	31.8	35.6	31.8	29.4	32.2	35.7	31.4	28.5	29.2	26.4	24.4
8 職員の能力開発と人材育成の推進	28.1	27.5	28.1	27.5	33.6	30.2	29.4	34.2	37.1	24.8	28.0	24.5	23.0
9 健幸都市づくりの推進	31.8	30.7	36.5	32.4	34.5	32.7	30.8	33.5	41.7	30.7	29.2	29.5	24.4
10 保健・医療の充実と連携	43.0	42.9	48.5	44.9	40.0	45.2	40.7	41.4	54.3	43.5	38.0	37.9	42.2
11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	40.5	38.5	44.5	44.5	41.8	39.9	42.5	40.3	49.1	40.1	38.0	37.5	39.3
12 子育て支援の推進	35.4	33.5	39.1	34.0	31.8	36.7	36.0	42.2	42.9	33.0	34.0	34.5	34.1
13 安心して産み育てやすい環境づくり	36.1	33.9	37.6	40.9	34.5	37.1	36.0	39.9	42.9	33.7	35.2	37.5	30.4
14 障がい者福祉の充実	35.6	33.7	38.0	38.1	36.4	36.7	37.9	36.5	44.6	33.1	35.2	32.6	35.6
15 安心して暮らせる地域づくり	30.0	28.4	35.0	29.6	26.4	30.6	31.8	33.5	29.7	29.2	31.6	26.4	27.4
16 農林業の振興	25.1	22.8	26.3	27.5	20.0	22.6	27.6	25.5	27.4	25.5	29.2	25.7	22.2
17 地場産業の振興	25.1	24.5	27.7	27.9	26.4	27.0	33.2	25.5	29.7	23.2	20.4	21.1	23.0
18 創業促進と産業の創出	25.7	24.8	30.7	25.1	20.0	27.4	29.0	30.8	33.7	24.1	24.0	22.6	20.0
19 商業の振興	32.2	29.1	34.3	34.0	32.7	35.9	36.9	38.0	40.0	30.1	30.8	27.6	27.4
20 観光の振興	26.2	24.1	32.5	26.7	26.4	27.8	28.0	30.8	29.7	25.2	24.8	21.8	21.5
21 就労支援の充実と労働環境の整備	31.4	29.1	34.7	32.8	33.6	31.0	32.2	32.7	38.3	32.5	30.4	25.3	28.9
22 人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	29.9	29.8	31.8	31.6	27.3	28.6	29.0	31.9	41.7	28.3	26.0	28.7	27.4
23 確かな学力を育む教育の推進	37.7	37.2	38.3	38.5	40.9	39.9	34.1	43.3	45.7	37.0	32.4	34.9	37.0
24 子ども・若者の健全育成	33.4	34.6	34.7	32.4	30.9	33.5	31.3	33.5	45.7	34.9	31.2	28.7	28.1
25 生涯学習の振興	27.0	29.4	29.6	27.1	26.4	25.8	23.8	30.0	34.3	25.5	26.0	24.1	25.2
26 スポーツの振興	28.2	27.3	31.0	29.1	26.4	31.0	26.6	34.2	38.3	26.4	24.8	26.4	23.7
27 文化芸術の創造	23.4	21.8	29.9	21.1	19.1	25.0	22.9	27.8	35.4	23.3	17.2	18.4	20.7
28 歴史的・文化的遺産の保護と活用	22.8	22.9	26.6	23.5	15.5	23.0	22.0	25.9	33.7	22.0	19.2	19.9	19.3
29 国際交流・多文化共生の推進	21.7	20.2	24.5	20.6	19.1	21.4	22.0	31.2	29.7	21.4	18.8	17.6	17.8
30 災害・減災対策の充実	42.3	43.3	43.8	42.1	43.6	39.9	43.0	48.7	52.6	41.6	41.2	35.2	40.0
31 消防・救急体制の充実	40.9	41.5	40.1	43.3	39.1	36.3	41.1	45.2	45.7	42.3	40.0	37.5	36.3
32 生活安全の向上	36.0	37.9	37.6	37.2	34.5	37.5	39.7	39.9	39.4	33.0	35.2	32.6	32.6
33 計画的な土地利用の推進	30.4	30.7	35.4	33.6	27.3	29.4	29.0	34.6	33.1	29.2	28.4	27.6	28.9
34 定住環境・公共交通の充実	36.6	38.5	42.0	43.1	34.5	38.7	36.0	38.8	42.3	34.6	36.0	29.5	39.3
35 公園・緑地の整備	34.2	34.9	40.1	33.2	30.9	34.7	33.2	44.1	40.0	33.6	31.6	29.1	32.6
36 道路の整備	32.3	32.3	37.2	37.2	31.8	33.9	35.5	39.5	39.4	31.0	26.0	26.8	23.7
37 上下水道の整備	33.4	33.0	35.8	38.5	28.2	33.9	33.2	36.1	43.4	34.0	28.4	29.1	34.8
38 自然環境の保全	25.9	27.8	31.8	27.1	18.2	25.8	26.2	31.6	27.4	25.3	26.0	24.5	15.6
39 快適な生活環境づくり	29.8	29.1	34.7	34.8	20.0	26.6	30.8	33.1	39.4	29.5	25.6	30.3	25.2
40 環境にやさしいまちづくり	32.3	34.4	36.1	34.4	19.1	31.0	31.8	36.5	40.0	31.8	31.2	30.7	29.6

(注)地区別に各項目の割合を比較し、上位5位を網掛けにしている。

【低い重要度（全体・地区別）】

項目	【低い】計(%)												
	全体	地区別											
		二瀬地区	幸袋地区	鎮西地区	菰田地区	立岩地区	飯塚東地区	飯塚・片島地区	鯉田地区	穂波地区	筑穂地区	庄内地区	穎田地区
1 人権尊重のまちづくりの推進	7.9	7.3	8.0	9.3	9.1	8.1	7.5	8.0	8.6	9.5	7.6	6.5	5.2
2 男女共同参画の推進	9.0	8.9	9.5	6.9	10.0	8.9	6.1	7.2	9.7	11.3	12.4	6.1	9.6
3 協働のまちづくりの推進	8.8	8.5	8.0	7.3	10.9	11.3	8.9	7.6	9.1	10.1	10.0	7.3	8.1
4 情報共有の推進	8.6	8.0	5.1	8.1	9.1	10.9	7.9	7.6	6.3	11.1	11.2	5.4	9.6
5 効果的・効率的な行政経営の推進	9.5	9.4	7.3	10.1	8.2	9.7	6.5	9.1	6.3	12.2	11.6	8.0	11.9
6 公共施設等の最適化と有効利活用	12.1	14.2	9.9	10.5	15.5	11.7	9.3	11.0	9.1	13.9	12.4	11.1	13.3
7 財政の健全化	13.0	12.2	11.3	12.6	15.5	14.5	9.8	11.4	12.6	15.2	13.2	12.6	17.0
8 職員の能力開発と人材育成の推進	12.9	12.8	13.9	11.3	14.5	17.3	7.5	11.4	10.9	14.5	9.6	15.3	15.6
9 健幸都市づくりの推進	7.1	7.3	5.8	6.9	5.5	8.9	7.0	6.5	6.3	7.7	6.8	8.4	4.4
10 保健・医療の充実と連携	7.1	8.0	5.1	9.7	5.5	7.7	3.7	8.4	6.3	6.2	9.2	8.4	5.2
11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	11.8	14.4	9.1	10.5	10.0	13.7	9.8	11.0	8.6	12.2	13.6	10.7	10.4
12 子育て支援の推進	8.9	8.7	9.1	9.7	6.4	9.7	5.6	8.4	5.7	10.1	11.2	11.1	6.7
13 安心して産み育てやすい環境づくり	8.8	9.2	9.1	7.3	9.1	9.3	4.2	8.7	8.0	10.5	12.8	7.7	5.9
14 障がい者福祉の充実	10.2	10.6	7.7	13.0	10.9	10.9	7.9	10.3	8.6	10.7	10.8	11.5	6.7
15 安心して暮らせる地域づくり	12.3	14.7	10.9	15.0	11.8	12.5	9.8	9.9	10.3	13.4	12.4	11.9	11.9
16 農林業の振興	10.7	10.8	10.2	11.3	6.4	10.1	7.0	8.4	11.4	11.4	16.0	11.1	11.9
17 地場産業の振興	12.6	11.2	11.3	11.7	11.8	12.5	9.8	14.4	12.6	14.0	17.6	11.5	14.8
18 創業促進と産業の創出	8.0	7.3	6.2	7.7	9.1	6.9	7.9	8.0	5.7	9.8	10.4	7.7	7.4
19 商業の振興	17.9	17.4	15.0	18.6	20.9	14.5	15.9	17.9	20.6	20.9	17.2	18.0	17.0
20 観光の振興	16.2	16.1	12.0	13.4	22.7	14.1	16.8	17.1	16.6	17.5	17.2	17.2	16.3
21 就労支援の充実と労働環境の整備	13.6	14.9	11.3	13.0	17.3	11.3	10.3	11.8	12.0	15.2	16.4	14.2	12.6
22 人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	6.6	8.3	4.7	6.1	6.4	6.9	4.2	4.6	5.1	7.4	10.4	7.7	4.4
23 確かな学力を育む教育の推進	8.9	8.9	8.4	9.3	6.4	10.5	9.3	6.5	6.3	11.0	12.0	7.7	7.4
24 子ども・若者の健全育成	10.3	10.1	8.0	11.7	6.4	10.9	12.1	8.4	6.3	12.3	14.0	8.0	10.4
25 生涯学習の振興	8.4	8.5	7.3	7.7	13.6	9.7	7.0	4.6	7.4	10.1	12.0	6.9	6.7
26 スポーツの振興	8.3	8.0	8.0	8.5	8.2	11.7	6.1	8.0	8.0	9.2	9.6	5.7	7.4
27 文化芸術の創造	9.4	9.9	9.1	7.7	11.8	12.1	5.6	8.7	10.9	9.8	12.0	8.8	6.7
28 歴史的・文化的遺産の保護と活用	8.5	8.3	7.7	6.5	12.7	11.3	7.0	8.0	7.4	9.6	10.4	6.5	9.6
29 国際交流・多文化共生の推進	9.4	9.6	8.8	9.7	12.7	10.1	8.4	9.5	8.6	8.9	9.2	8.8	11.1
30 災害・減災対策の充実	7.6	8.7	7.3	6.9	5.5	9.7	4.7	6.1	6.3	7.2	9.2	8.8	9.6
31 消防・救急体制の充実	4.7	6.4	4.4	4.9	5.5	4.0	3.3	3.4	2.9	4.5	7.2	5.0	3.7
32 生活安全の向上	7.4	9.2	5.8	8.1	6.4	7.3	4.7	8.0	2.9	8.3	11.6	6.5	5.9
33 計画的な土地利用の推進	10.3	12.8	8.4	12.6	7.3	9.7	7.5	8.0	7.4	10.8	14.8	9.2	8.9
34 定住環境・公共交通の充実	15.0	17.2	13.5	15.0	14.5	12.5	14.5	12.5	15.4	15.5	18.4	16.1	13.3
35 公園・緑地の整備	11.5	11.9	6.9	10.1	11.8	12.9	8.9	10.3	14.9	12.0	13.6	14.2	11.9
36 道路の整備	9.8	12.4	6.6	9.7	4.5	10.1	7.9	6.5	8.0	11.7	12.8	11.5	11.1
37 上下水道の整備	8.5	9.4	5.5	10.5	9.1	7.7	5.6	4.6	10.9	9.5	10.8	11.5	7.4
38 自然環境の保全	8.5	10.3	6.6	7.7	5.5	9.3	6.5	6.1	9.7	8.3	11.6	11.1	7.4
39 快適な生活環境づくり	8.7	9.9	6.9	10.5	6.4	9.3	7.5	8.0	9.7	8.6	11.6	8.4	8.1
40 環境にやさしいまちづくり	7.6	8.3	5.8	8.9	5.5	9.3	6.5	8.0	6.9	8.6	9.2	6.9	5.2

(注)地区別に各項目の割合を比較し、上位5位を網掛けにしている。

③性別

『重要度』（「高い」＋「やや高い」）の割合が高い施策を地区別で見ると、男女とも全体結果とほぼ同様の傾向を示しており、「【10】保健・医療の充実と連携」はいずれも1位となっている。

一方、『重要度』（「低い」＋「やや低い」）の割合が低い施策を地区別で見ると、男女とも「【19】商業の振興」は1位、「【20】観光の振興」は2位にあげられている。

【高い重要度（全体・性別）】

項目	【高い】計(%)			
	全体	性別		
		男	女	回答しない
1 人権尊重のまちづくりの推進	21.2	22.6	20.4	13.2
2 男女共同参画の推進	24.5	26.3	23.3	20.6
3 協働のまちづくりの推進	27.2	28.9	26.5	13.2
4 情報共有の推進	29.4	32.1	28.0	25.0
5 効果的・効率的な行政経営の推進	29.3	32.8	27.0	22.1
6 公共施設等の最適化と有効利活用	32.5	35.3	31.0	25.0
7 財政の健全化	30.0	33.8	27.5	29.4
8 職員の能力開発と人材育成の推進	28.1	31.8	25.8	20.6
9 健幸都市づくりの推進	31.8	34.8	30.3	17.6
10 保健・医療の充実と連携	43.0	45.3	42.2	27.9
11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	40.5	42.5	39.6	33.8
12 子育て支援の推進	35.4	36.5	34.9	33.8
13 安心して産み育てやすい環境づくり	36.1	39.0	34.4	32.4
14 障がい者福祉の充実	35.6	37.2	34.8	30.9
15 安心して暮らせる地域づくり	30.0	32.7	28.1	25.0
16 農林業の振興	25.1	27.1	24.3	16.2
17 地場産業の振興	25.1	31.3	21.0	13.2
18 創業促進と産業の創出	25.7	31.3	22.1	17.6
19 商業の振興	32.2	37.0	29.2	23.5
20 観光の振興	26.2	29.9	23.8	19.1
21 就労支援の充実と労働環境の整備	31.4	35.8	28.8	23.5
22 人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	29.9	30.1	29.8	27.9
23 確かな学力を育む教育の推進	37.7	40.0	36.5	29.4
24 子ども・若者の健全育成	33.4	34.7	32.7	30.9
25 生涯学習の振興	27.0	28.4	26.4	17.6
26 スポーツの振興	28.2	31.8	26.3	16.2
27 文化芸術の創造	23.4	25.3	22.5	10.3
28 歴史的・文化的遺産の保護と活用	22.8	25.3	21.3	11.8
29 国際交流・多文化共生の推進	21.7	24.6	20.2	13.2
30 災害・減災対策の充実	42.3	45.0	40.8	35.3
31 消防・救急体制の充実	40.9	42.2	40.2	36.8
32 生活安全の向上	36.0	39.1	33.8	33.8
33 計画的な土地利用の推進	30.4	32.4	29.2	26.5
34 定住環境・公共交通の充実	36.6	39.7	35.7	25.0
35 公園・緑地の整備	34.2	35.0	34.8	23.5
36 道路の整備	32.3	35.6	30.5	32.4
37 上下水道の整備	33.4	35.8	32.7	29.4
38 自然環境の保全	25.9	27.8	25.5	19.1
39 快適な生活環境づくり	29.8	32.3	29.0	17.6
40 環境にやさしいまちづくり	32.3	33.9	32.3	23.5

(注)性別に各項目の割合を比較し、上位5位を網掛けにしている。

【低い重要度（全体・性別）】

項目	【低い】計(%)			
	全体	性別		
		男	女	回答しない
1 人権尊重のまちづくりの推進	7.9	8.6	7.3	17.6
2 男女共同参画の推進	9.0	8.9	8.8	20.6
3 協働のまちづくりの推進	8.8	9.7	8.1	19.1
4 情報共有の推進	8.6	8.6	8.5	16.2
5 効果的・効率的な行政経営の推進	9.5	9.6	9.4	13.2
6 公共施設等の最適化と有効利活用	12.1	11.7	12.1	22.1
7 財政の健全化	13.0	12.9	13.0	22.1
8 職員の能力開発と人材育成の推進	12.9	11.6	13.7	22.1
9 健幸都市づくりの推進	7.1	7.2	6.6	17.6
10 保健・医療の充実と連携	7.1	6.8	7.0	19.1
11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	11.8	11.0	11.7	25.0
12 子育て支援の推進	8.9	8.7	8.7	23.5
13 安心して産み育てやすい環境づくり	8.8	8.4	8.6	23.5
14 障がい者福祉の充実	10.2	9.9	10.2	19.1
15 安心して暮らせる地域づくり	12.3	11.6	12.7	19.1
16 農林業の振興	10.7	11.2	10.2	17.6
17 地場産業の振興	12.6	13.0	12.2	23.5
18 創業促進と産業の創出	8.0	7.7	8.1	13.2
19 商業の振興	17.9	16.7	18.8	22.1
20 観光の振興	16.2	15.7	16.4	22.1
21 就労支援の充実と労働環境の整備	13.6	12.1	14.2	26.5
22 人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	6.6	6.7	6.1	17.6
23 確かな学力を育む教育の推進	8.9	8.9	8.8	16.2
24 子ども・若者の健全育成	10.3	10.2	9.8	26.5
25 生涯学習の振興	8.4	8.0	8.2	25.0
26 スポーツの振興	8.3	8.6	7.8	17.6
27 文化芸術の創造	9.4	9.6	9.0	17.6
28 歴史的・文化的遺産の保護と活用	8.5	9.3	8.0	10.3
29 国際交流・多文化共生の推進	9.4	9.7	8.8	17.6
30 災害・減災対策の充実	7.6	7.6	7.2	20.6
31 消防・救急体制の充実	4.7	4.9	4.3	13.2
32 生活安全の向上	7.4	7.5	7.2	11.8
33 計画的な土地利用の推進	10.3	9.4	10.8	16.2
34 定住環境・公共交通の充実	15.0	14.7	14.9	36.8
35 公園・緑地の整備	11.5	11.9	10.8	29.4
36 道路の整備	9.8	10.1	9.7	16.2
37 上下水道の整備	8.5	7.9	8.7	20.6
38 自然環境の保全	8.5	7.9	8.7	20.6
39 快適な生活環境づくり	8.7	8.4	8.7	22.1
40 環境にやさしいまちづくり	7.6	7.5	7.4	19.1

(注)性別に各項目の割合を比較し、上位5位を網掛けにしている。

④年齢別

『重要度』（「高い」＋「やや高い」）の割合が高い施策を地区別で見ると、「【10】保健・医療の充実と連携」、「【30】災害・減災対策の充実」は10歳代を除いて上位5項目の中にあげられている。また、10歳代～30歳代は「【12】子育て支援の推進」が1位となっている。

一方、『重要度』（「低い」＋「やや低い」）の割合が低い施策を地区別で見ると、「【19】商業の振興」と「【20】観光の振興」はすべての年齢層で上位5項目の中にあげられている。

【高い重要度（全体・年齢別）】

項目	【高い】計(%)								
	全体	年齢別							
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～74歳	75歳以上
1 人権尊重のまちづくりの推進	21.2	21.9	25.0	21.0	21.2	20.5	19.6	21.0	21.1
2 男女共同参画の推進	24.5	34.4	30.8	24.9	22.1	26.4	25.5	22.6	24.0
3 協働のまちづくりの推進	27.2	28.1	32.1	30.9	25.8	29.4	27.6	26.4	23.8
4 情報共有の推進	29.4	37.5	34.4	35.0	33.7	32.9	28.8	26.3	24.4
5 効果的・効率的な行政経営の推進	29.3	31.3	31.3	32.0	28.0	33.6	38.0	25.8	25.1
6 公共施設等の最適化と有効利活用	32.5	28.1	35.7	36.3	37.4	36.6	37.4	28.3	26.6
7 財政の健全化	30.0	46.9	30.8	32.5	33.9	35.1	37.7	24.9	24.9
8 職員の能力開発と人材育成の推進	28.1	28.1	29.5	27.0	25.4	31.2	34.7	27.5	25.9
9 健幸都市づくりの推進	31.8	37.5	35.3	32.5	32.6	33.8	28.2	30.1	32.2
10 保健・医療の充実と連携	43.0	37.5	44.6	45.9	47.9	46.8	42.3	41.5	38.0
11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	40.5	46.9	39.7	37.2	39.4	46.6	46.9	38.5	39.2
12 子育て支援の推進	35.4	50.0	45.1	47.5	43.1	36.2	34.7	30.7	25.3
13 安心して産み育てやすい環境づくり	36.1	50.0	42.4	45.6	38.5	39.2	35.9	33.8	27.8
14 障がい者福祉の充実	35.6	40.6	34.8	32.5	36.8	41.8	38.3	35.2	31.9
15 安心して暮らせる地域づくり	30.0	37.5	34.8	33.1	31.5	34.9	31.0	27.4	24.7
16 農林業の振興	25.1	25.0	27.7	24.0	25.2	28.1	26.4	23.6	24.9
17 地場産業の振興	25.1	9.4	27.7	23.0	26.7	28.8	27.0	24.0	23.7
18 創業促進と産業の創出	25.7	25.0	26.3	23.0	25.2	27.7	23.3	25.8	28.1
19 商業の振興	32.2	28.1	33.5	31.7	35.4	36.6	34.4	30.2	29.6
20 観光の振興	26.2	12.5	29.5	28.1	27.1	30.3	25.5	25.1	23.4
21 就労支援の充実と労働環境の整備	31.4	34.4	34.8	31.4	34.1	38.6	36.8	28.8	24.9
22 人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	29.9	37.5	32.6	32.0	30.6	30.1	27.6	29.7	28.6
23 確かな学力を育む教育の推進	37.7	40.6	39.3	42.3	45.1	38.8	38.7	36.6	30.5
24 子ども・若者の健全育成	33.4	31.3	35.3	37.7	37.4	33.1	37.4	32.1	28.1
25 生涯学習の振興	27.0	25.0	29.5	29.0	26.7	28.3	27.0	27.4	24.9
26 スポーツの振興	28.2	31.3	31.7	31.1	30.9	32.0	20.6	27.1	26.9
27 文化芸術の創造	23.4	28.1	23.2	21.9	22.1	25.7	19.0	23.5	25.6
28 歴史的・文化的遺産の保護と活用	22.8	34.4	22.3	21.6	19.3	25.1	18.4	24.5	24.3
29 国際交流・多文化共生の推進	21.7	28.1	25.0	22.4	21.9	24.0	18.1	21.7	21.0
30 災害・減災対策の充実	42.3	40.6	42.9	47.0	46.6	47.7	42.0	39.8	37.1
31 消防・救急体制の充実	40.9	43.8	39.7	35.8	42.7	47.3	41.4	39.6	40.0
32 生活安全の向上	36.0	40.6	38.8	36.7	40.7	40.3	36.2	34.1	31.1
33 計画的な土地利用の推進	30.4	34.4	33.9	30.6	34.4	33.1	32.5	28.0	26.5
34 定住環境・公共交通の充実	36.6	37.5	35.7	35.8	38.7	41.8	39.0	36.0	34.8
35 公園・緑地の整備	34.2	43.8	43.8	44.8	37.0	37.3	30.7	31.4	28.1
36 道路の整備	32.3	46.9	36.2	37.7	34.6	38.6	29.8	29.4	28.4
37 上下水道の整備	33.4	28.1	35.7	31.7	35.4	37.5	33.7	32.2	33.7
38 自然環境の保全	25.9	31.3	28.1	26.5	25.2	29.6	25.5	24.7	26.5
39 快適な生活環境づくり	29.8	31.3	31.3	26.5	27.8	33.3	31.3	30.7	30.5
40 環境にやさしいまちづくり	32.3	25.0	34.4	30.9	33.9	35.1	32.5	33.1	31.6

(注)年齢別に各項目の割合を比較し、上位5位を網掛けにしている。

【低い重要度（全体・年齢別）】

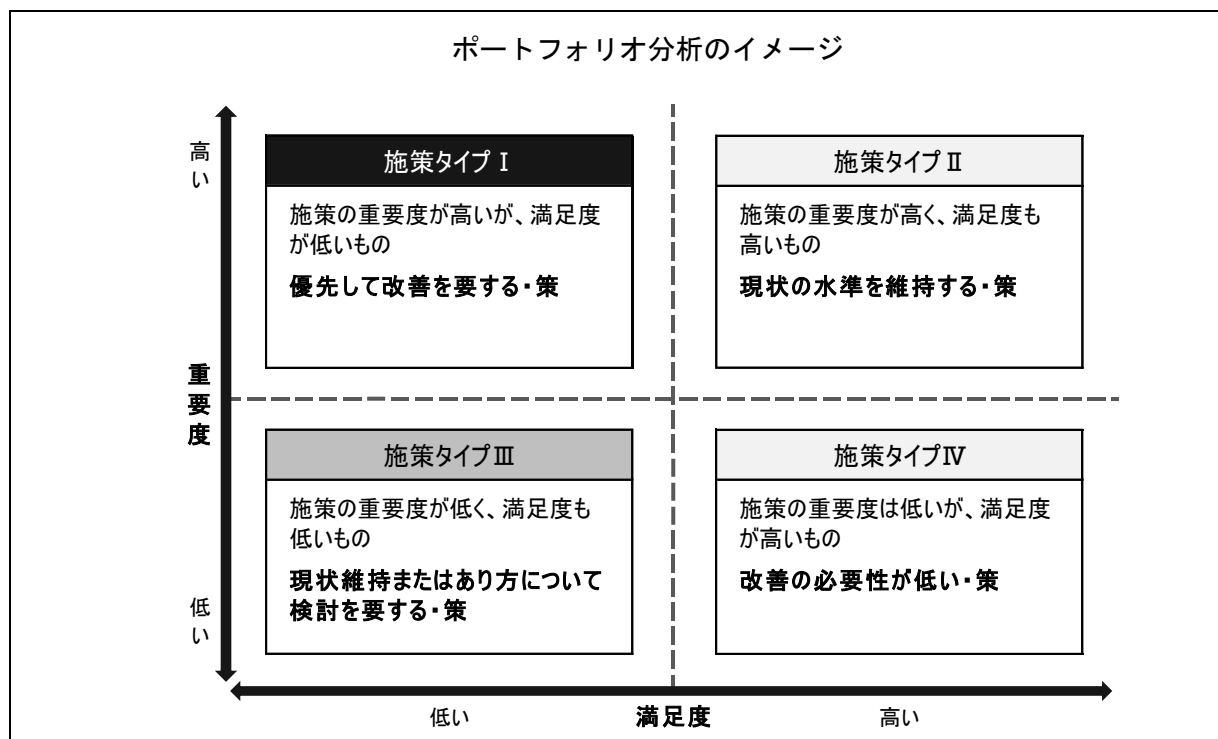
項目	【低い】計(%)								
	全体	年齢別							
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～74歳	75歳以上
1 人権尊重のまちづくりの推進	7.9	3.1	8.5	11.2	11.2	8.3	7.4	8.2	4.2
2 男女共同参画の推進	9.0	3.1	6.7	11.7	10.3	10.9	8.6	9.1	6.7
3 協働のまちづくりの推進	8.8	9.4	8.5	8.7	9.6	9.6	11.0	9.6	6.6
4 情報共有の推進	8.6	6.3	7.6	10.7	9.0	9.4	10.7	8.7	6.1
5 効果的・効率的な行政経営の推進	9.5	3.1	7.6	10.4	10.9	10.9	11.7	11.0	5.5
6 公共施設等の最適化と有効利活用	12.1	9.4	10.3	14.5	12.9	12.9	16.0	13.1	7.6
7 財政の健全化	13.0	3.1	9.8	15.6	16.2	13.9	14.4	14.6	8.2
8 職員の能力開発と人材育成の推進	12.9	3.1	8.5	15.3	17.3	13.7	14.7	13.9	8.5
9 健幸都市づくりの推進	7.1	6.3	3.1	7.4	8.8	8.3	12.0	6.1	5.2
10 保健・医療の充実と連携	7.1	6.3	4.0	9.0	8.8	9.6	8.6	7.2	3.6
11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	11.8	6.3	8.5	10.7	13.8	13.1	12.0	13.1	9.4
12 子育て支援の推進	8.9	9.4	6.7	14.5	13.1	9.4	8.9	8.0	4.9
13 安心して産み育てやすい環境づくり	8.8	6.3	6.7	13.9	11.2	9.8	9.5	7.8	5.5
14 障がい者福祉の充実	10.2	6.3	5.4	12.3	10.3	10.9	12.0	11.4	8.2
15 安心して暮らせる地域づくり	12.3	12.5	9.8	15.0	14.7	14.6	15.0	11.6	8.2
16 農林業の振興	10.7	6.3	8.9	9.8	9.6	11.8	16.3	11.9	8.2
17 地場産業の振興	12.6	9.4	7.6	12.8	13.8	14.2	18.1	14.6	8.2
18 創業促進と産業の創出	8.0	3.1	4.9	9.3	8.1	9.4	12.0	8.5	5.4
19 商業の振興	17.9	15.6	11.2	17.8	17.1	20.7	23.3	20.3	13.9
20 観光の振興	16.2	12.5	10.3	16.7	17.5	17.2	22.7	17.2	12.6
21 就労支援の充実と労働環境の整備	13.6	9.4	10.3	14.2	14.4	15.5	17.5	14.0	10.2
22 人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	6.6	3.1	4.9	7.1	7.4	8.5	9.2	6.8	3.7
23 確かな学力を育む教育の推進	8.9	3.1	8.0	11.7	9.0	10.0	13.2	9.2	5.2
24 子ども・若者の健全育成	10.3	12.5	7.6	13.7	12.7	10.9	12.9	9.3	7.0
25 生涯学習の振興	8.4	6.3	4.5	10.7	8.8	9.6	14.1	7.6	6.0
26 スポーツの振興	8.3	6.3	4.9	8.7	10.5	8.7	13.5	8.1	5.5
27 文化芸術の創造	9.4	6.3	6.3	12.0	11.2	9.8	13.2	9.0	6.4
28 歴史的・文化的遺産の保護と活用	8.5	9.4	8.0	10.4	9.8	9.8	10.7	8.5	5.2
29 国際交流・多文化共生の推進	9.4	12.5	9.8	13.1	10.7	9.4	12.6	7.8	6.6
30 災害・減災対策の充実	7.6	3.1	3.6	6.8	7.4	9.4	10.7	9.3	4.9
31 消防・救急体制の充実	4.7	3.1	3.6	4.9	4.6	6.3	6.7	4.8	3.1
32 生活安全の向上	7.4	3.1	6.7	8.8	7.2	8.3	9.2	7.7	5.5
33 計画的な土地利用の推進	10.3	3.1	5.4	9.6	10.1	12.9	13.2	12.5	7.5
34 定住環境・公共交通の充実	15.0	15.6	9.8	13.9	16.2	15.7	17.8	17.2	12.9
35 公園・緑地の整備	11.5	9.4	5.4	12.0	10.7	13.7	17.2	12.8	8.8
36 道路の整備	9.8	6.3	6.3	11.7	9.8	12.4	9.8	11.6	7.0
37 上下水道の整備	8.5	3.1	5.4	10.9	8.5	8.7	9.8	10.1	6.4
38 自然環境の保全	8.5	15.6	6.7	6.6	8.3	8.3	12.0	10.1	7.0
39 快適な生活環境づくり	8.7	9.4	5.4	8.2	8.1	8.7	11.3	10.1	8.1
40 環境にやさしいまちづくり	7.6	6.3	5.8	7.9	8.1	7.4	9.2	8.6	6.3

(注)年齢別に各項目の割合を比較し、上位5位を網掛けにしている。

(3) ポートフォリオ分析による施策項目の優先性

施策項目の優先性を検討するために、各項目の「満足度」の平均値と「重要度」の平均値から、ポートフォリオ分析を行った。

ポートフォリオ分析とは、「満足度」を横軸、「重要度」を縦軸にとり、各項目の分布状況を示した散布図を4つの領域に分類したものである。2本の補助軸は「満足度」の全項目（40項目）の平均値と、「重要度」の全項目（40項目）の平均値を示している。



「満足度」と「重要度」の平均値は以下のような配点をし、無回答を除外して平均値を算出している。平均値が高い方が重要度や満足度が高いということになる。

【「満足度」、「重要度」得点化にあたっての配点】

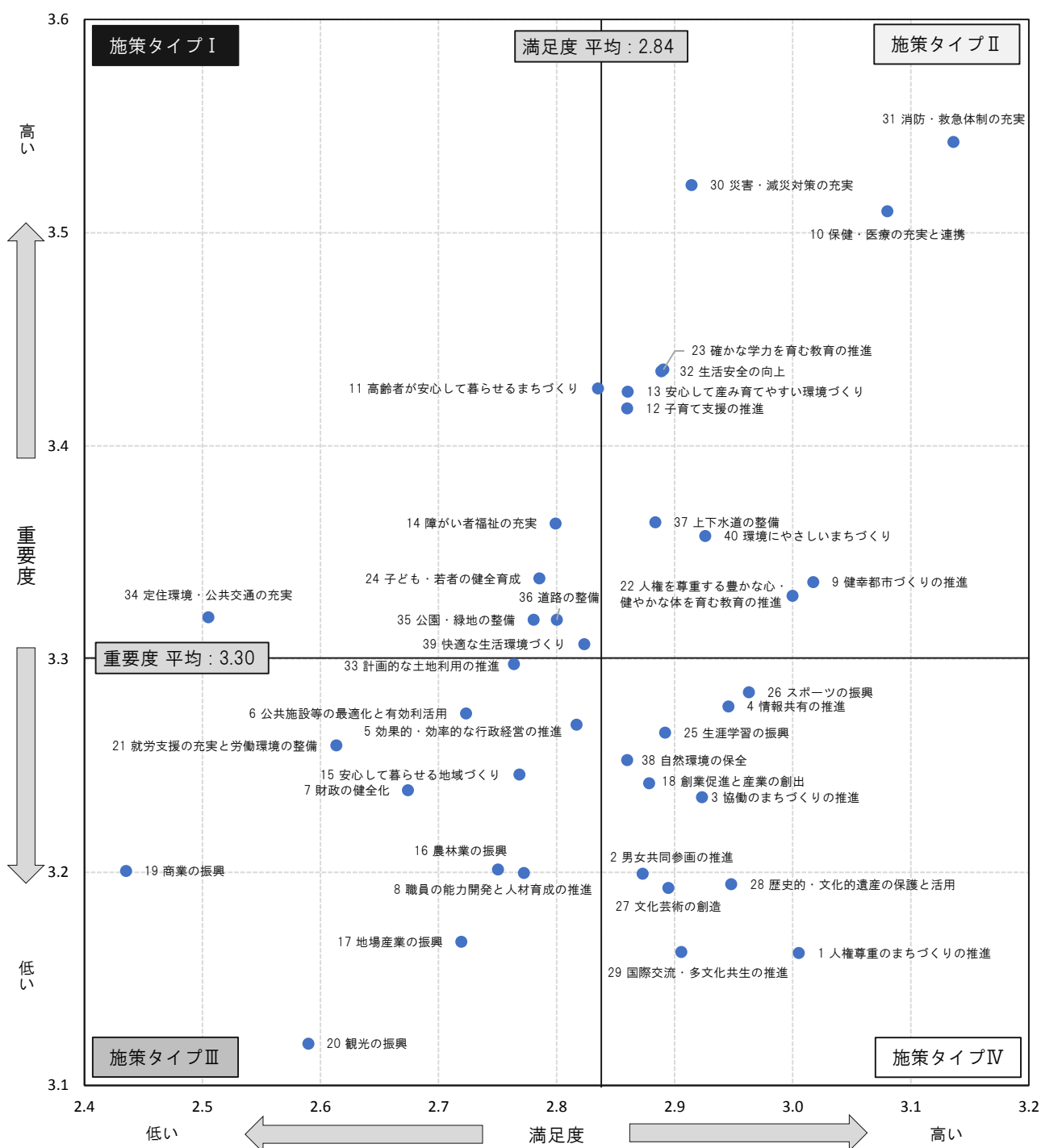
満足度		重要度	
満足	5点	高い	5点
やや満足	4点	やや高い	4点
ふつう	3点	ふつう	3点
やや不満	2点	やや低い	2点
不満	1点	低い	1点

①全体

施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプⅠ】には、満足度が2番目に低い「【34】定住環境・公共交通の充実」など7項目が該当している。

また、施策の重要度が低く、満足度も低い【施策タイプⅢ】には、満足度が最も低い「【19】商業の振興」など11項目が入っている。

【ポートフォリオ分析（全体）】



【ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（全体）】

		満足度		重要度		施策 タイプ
		得点	順位	得点	順位	
1	人権尊重のまちづくりの推進	3.01	4	3.16	39	IV
2	男女共同参画の推進	2.87	19	3.20	34	IV
3	協働のまちづくりの推進	2.92	10	3.24	30	IV
4	情報共有の推進	2.95	8	3.28	21	IV
5	効果的・効率的な行政経営の推進	2.82	25	3.27	23	III
6	公共施設等の最適化と有効活用	2.72	34	3.27	22	III
7	財政の健全化	2.67	36	3.24	29	III
8	職員の能力開発と人材育成の推進	2.77	30	3.20	33	III
9	健幸都市づくりの推進	3.02	3	3.34	13	II
10	保健・医療の充実と連携	3.08	2	3.51	3	II
11	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	2.84	23	3.43	6	I
12	子育て支援の推進	2.86	21	3.42	8	II
13	安心して産み育てやすい環境づくり	2.86	20	3.43	7	II
14	障がい者福祉の充実	2.80	27	3.36	10	I
15	安心して暮らせる地域づくり	2.77	31	3.25	27	III
16	農林業の振興	2.75	33	3.20	31	III
17	地場産業の振興	2.72	35	3.17	37	III
18	創業促進と産業の創出	2.88	18	3.24	28	IV
19	商業の振興	2.44	40	3.20	32	III
20	観光の振興	2.59	38	3.12	40	III
21	就労支援の充実と労働環境の整備	2.61	37	3.26	25	III
22	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	3.00	5	3.33	14	II
23	確かな学力を育む教育の推進	2.89	15	3.44	4	II
24	子ども・若者の健全育成	2.79	28	3.34	12	I
25	生涯学習の振興	2.89	14	3.27	24	IV
26	スポーツの振興	2.96	6	3.28	20	IV
27	文化芸術の創造	2.89	13	3.19	36	IV
28	歴史的・文化的遺産の保護と活用	2.95	7	3.19	35	IV
29	国際交流・多文化共生の推進	2.91	12	3.16	38	IV
30	災害・減災対策の充実	2.91	11	3.52	2	II
31	消防・救急体制の充実	3.14	1	3.54	1	II
32	生活安全の向上	2.89	16	3.43	5	II
33	計画的な土地利用の推進	2.76	32	3.30	19	III
34	定住環境・公共交通の充実	2.51	39	3.32	15	I
35	公園・緑地の整備	2.78	29	3.32	17	I
36	道路の整備	2.80	26	3.32	16	I
37	上下水道の整備	2.88	17	3.36	9	II
38	自然環境の保全	2.86	22	3.25	26	IV
39	快適な生活環境づくり	2.82	24	3.31	18	I
40	環境にやさしいまちづくり	2.93	9	3.36	11	II
平均値		2.84		3.30		

※施策タイプについて

タイプ	分類
施策タイプ I	施策の重要度が高いが、満足度が低いもの
施策タイプ II	施策の重要度が高く、満足度も高いもの
施策タイプ III	施策の重要度が低く、満足度も低いもの
施策タイプ IV	施策の重要度が低いが、満足度も高いもの

②地区別

地区別でみると、施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプⅠ】は「鎮西地区」、「穂波地区」、「庄内地区」で多く、9項目が該当している。また、40施策のうち、「【14】障がい者福祉の充実」は12地区中11地区、「【24】子ども・若者の健全育成」は12地区中10地区、「【34】定住環境・公共交通の充実」は12地区中9地区において【施策タイプⅠ】となっている。

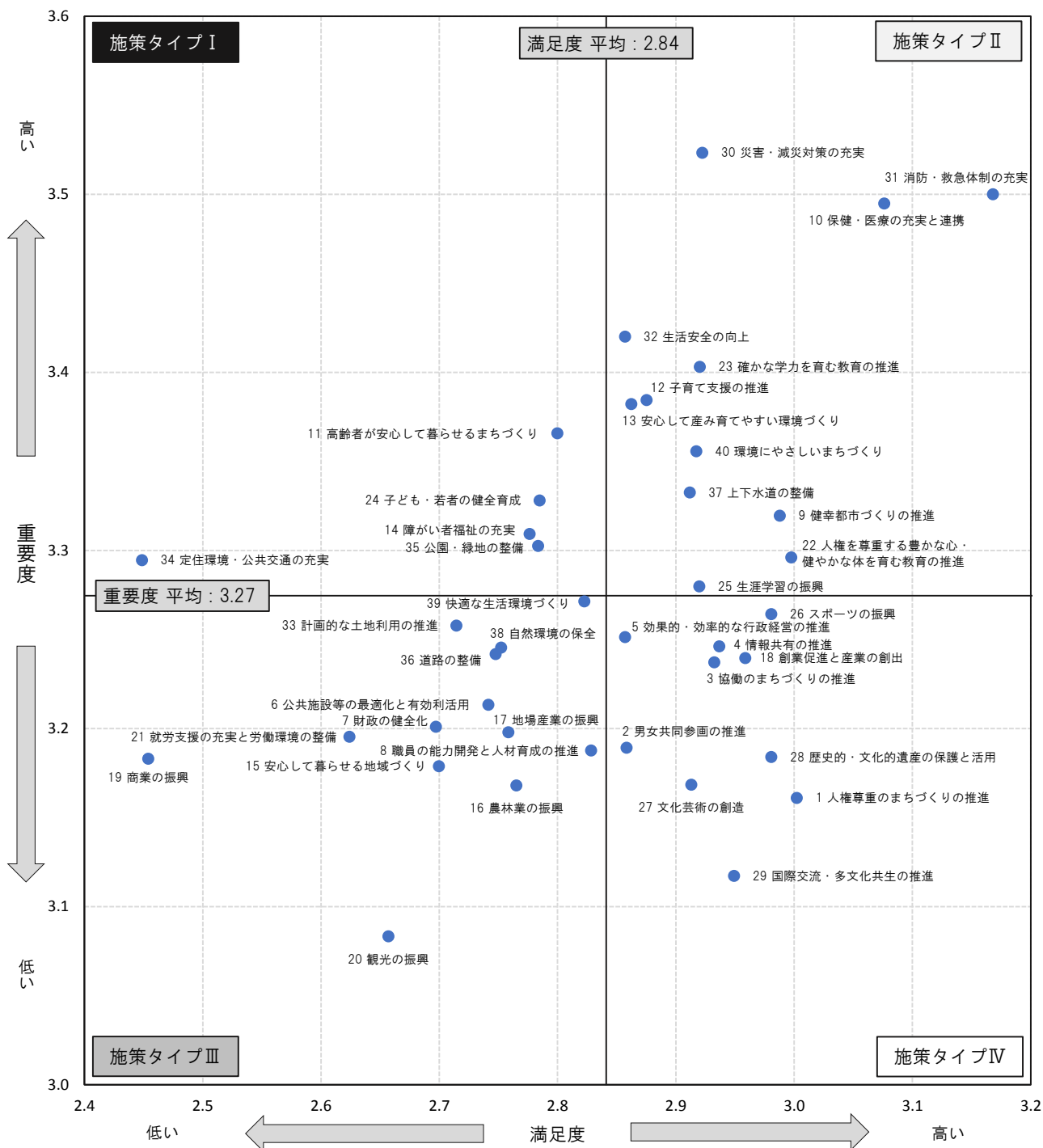
【ポートフォリオ分析による施策タイプの比較（全体・地区別）】

		全体	地区別											
			二瀬地区	幸袋地区	鎮西地区	菰田地区	立岩地区	飯塚東地区	飯塚・片島地区	鯉田地区	穂波地区	筑穂地区	庄内地区	穎田地区
1	人権尊重のまちづくりの推進	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
2	男女共同参画の推進	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
3	協働のまちづくりの推進	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
4	情報共有の推進	Ⅳ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅳ
5	効果的・効率的な行政経営の推進	Ⅲ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ
6	公共施設等の最適化と有効利活用	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ
7	財政の健全化	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
8	職員の能力開発と人材育成の推進	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ
9	健幸都市づくりの推進	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
10	保健・医療の充実と連携	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
11	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
12	子育て支援の推進	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ
13	安心して産み育てやすい環境づくり	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
14	障がい者福祉の充実	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ
15	安心して暮らせる地域づくり	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅳ
16	農林業の振興	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
17	地場産業の振興	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
18	創業促進と産業の創出	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅲ
19	商業の振興	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
20	観光の振興	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
21	就労支援の充実と労働環境の整備	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
22	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ
23	確かな学力を育む教育の推進	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
24	子ども・若者の健全育成	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
25	生涯学習の振興	Ⅳ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ
26	スポーツの振興	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅳ
27	文化芸術の創造	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
28	歴史的・文化的遺産の保護と活用	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
29	国際交流・多文化共生の推進	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
30	災害・減災対策の充実	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
31	消防・救急体制の充実	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
32	生活安全の向上	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
33	計画的な土地利用の推進	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ
34	定住環境・公共交通の充実	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ
35	公園・緑地の整備	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ
36	道路の整備	Ⅰ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
37	上下水道の整備	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅰ
38	自然環境の保全	Ⅳ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅳ
39	快適な生活環境づくり	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅲ
40	環境にやさしいまちづくり	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ

・二瀬地区

施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプ I】には、満足度が最も低い「【34】定住環境・公共交通の充実」など 5 施策が該当している。

【ポートフォリオ分析（二瀬地区）】



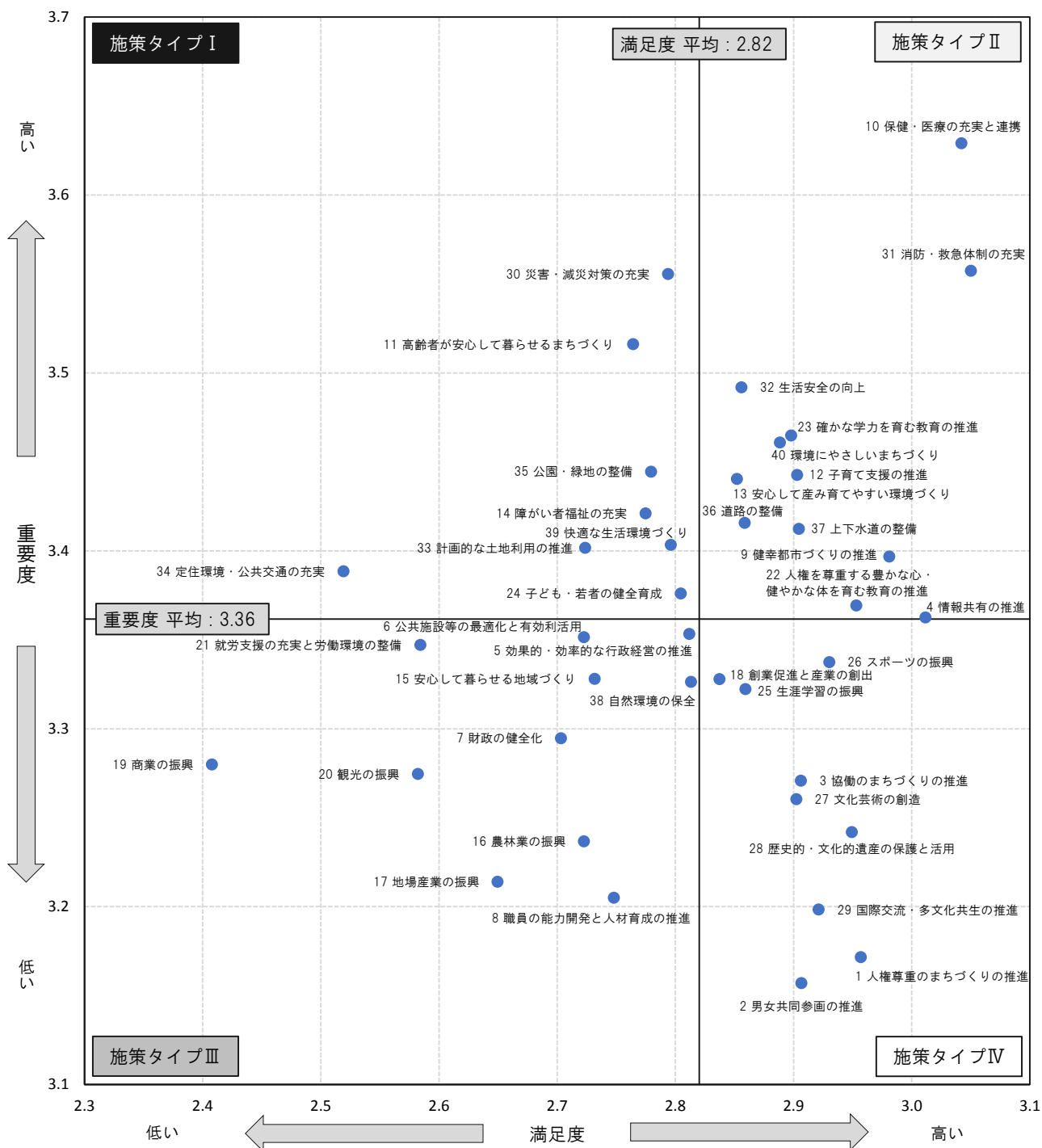
【ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（二瀬地区）】

		満足度		重要度		施策 タイプ
		得点	順位	得点	順位	
1	人権尊重のまちづくりの推進	3.00	3	3.16	38	IV
2	男女共同参画の推進	2.86	20	3.19	31	IV
3	協働のまちづくりの推進	2.93	11	3.24	26	IV
4	情報共有の推進	2.94	10	3.25	22	IV
5	効果的・効率的な行政経営の推進	2.86	21	3.25	21	IV
6	公共施設等の最適化と有効利活用	2.74	33	3.21	27	III
7	財政の健全化	2.70	36	3.20	28	III
8	職員の能力開発と人材育成の推進	2.83	23	3.19	32	III
9	健幸都市づくりの推進	2.99	5	3.32	12	II
10	保健・医療の充実と連携	3.08	2	3.49	3	II
11	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	2.80	25	3.37	8	I
12	子育て支援の推進	2.88	18	3.38	6	II
13	安心して産み育てやすい環境づくり	2.86	19	3.38	7	II
14	障がい者福祉の充実	2.78	28	3.31	13	I
15	安心して暮らせる地域づくり	2.70	35	3.18	35	III
16	農林業の振興	2.77	29	3.17	37	III
17	地場産業の振興	2.76	30	3.20	29	III
18	創業促進と産業の創出	2.96	8	3.24	25	IV
19	商業の振興	2.45	39	3.18	34	III
20	観光の振興	2.66	37	3.08	40	III
21	就労支援の充実と労働環境の整備	2.62	38	3.20	30	III
22	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	3.00	4	3.30	15	II
23	確かな学力を育む教育の推進	2.92	13	3.40	5	II
24	子ども・若者の健全育成	2.78	26	3.33	11	I
25	生涯学習の振興	2.92	14	3.28	17	II
26	スポーツの振興	2.98	6	3.26	19	IV
27	文化芸術の創造	2.91	16	3.17	36	IV
28	歴史的・文化的遺産の保護と活用	2.98	7	3.18	33	IV
29	国際交流・多文化共生の推進	2.95	9	3.12	39	IV
30	災害・減災対策の充実	2.92	12	3.52	1	II
31	消防・救急体制の充実	3.17	1	3.50	2	II
32	生活安全の向上	2.86	21	3.42	4	II
33	計画的な土地利用の推進	2.71	34	3.26	20	III
34	定住環境・公共交通の充実	2.45	40	3.29	16	I
35	公園・緑地の整備	2.78	27	3.30	14	I
36	道路の整備	2.75	32	3.24	24	III
37	上下水道の整備	2.91	17	3.33	10	II
38	自然環境の保全	2.75	31	3.25	23	III
39	快適な生活環境づくり	2.82	24	3.27	18	III
40	環境にやさしいまちづくり	2.92	15	3.36	9	II
平均値		2.84		3.27		

・幸袋地区

施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプ I】には、「【34】定住環境・公共交通の充実」など 8 施策が該当している。なお、40 施策のうち満足度が最も低い「【19】商業の振興」は、【施策タイプ III】に入っている。

【ポートフォリオ分析（幸袋地区）】



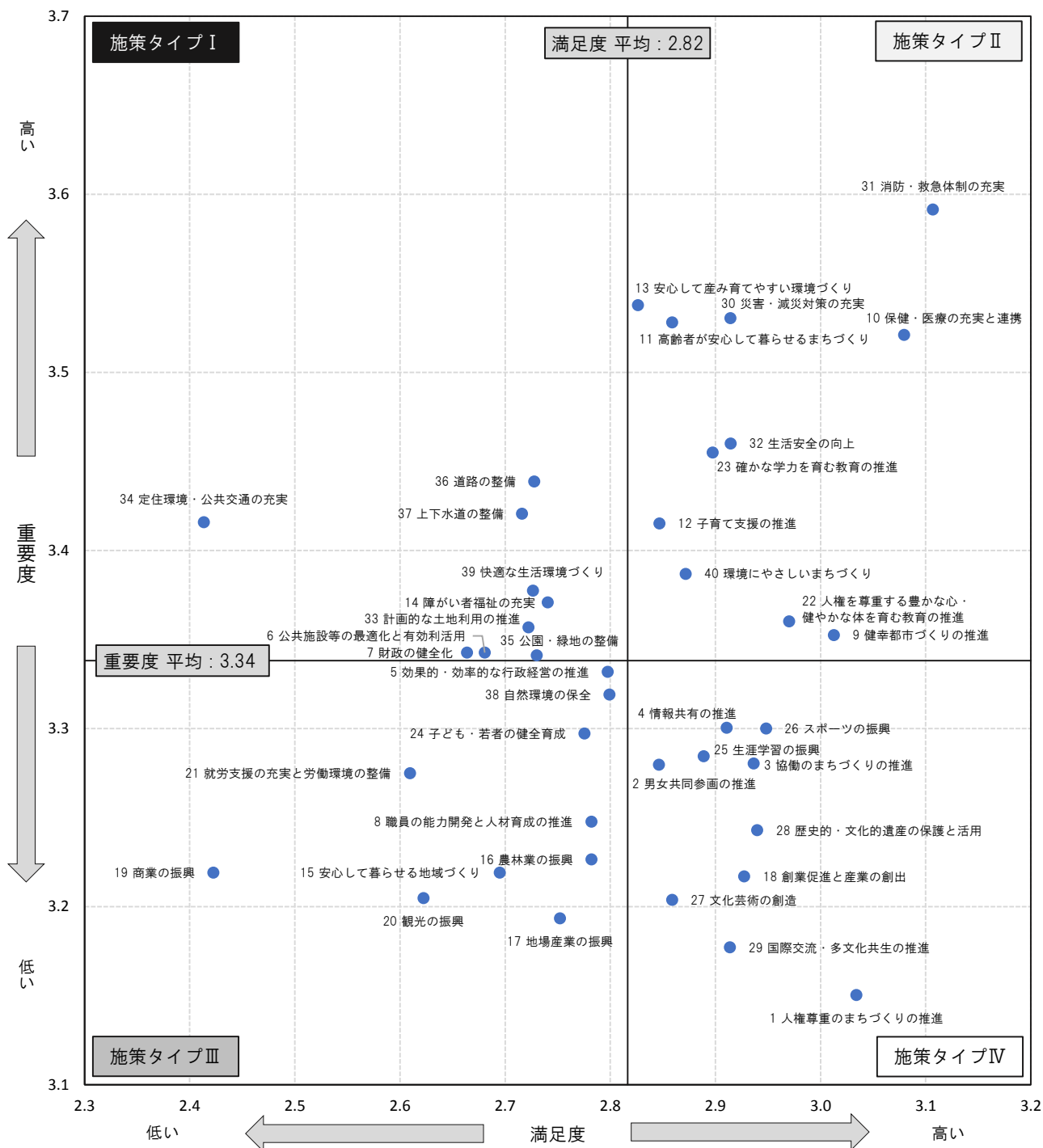
【ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（幸袋地区）】

		満足度		重要度		施策 タイプ
		得点	順位	得点	順位	
1	人権尊重のまちづくりの推進	2.96	5	3.17	39	IV
2	男女共同参画の推進	2.91	10	3.16	40	IV
3	協働のまちづくりの推進	2.91	11	3.27	32	IV
4	情報共有の推進	3.01	3	3.36	20	II
5	効果的・効率的な行政経営の推進	2.81	23	3.35	21	III
6	公共施設等の最適化と有効利活用	2.72	33	3.35	22	III
7	財政の健全化	2.70	35	3.29	29	III
8	職員の能力開発と人材育成の推進	2.75	30	3.21	37	III
9	健幸都市づくりの推進	2.98	4	3.40	16	II
10	保健・医療の充実と連携	3.04	2	3.63	1	II
11	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	2.76	29	3.52	4	I
12	子育て支援の推進	2.90	13	3.44	9	II
13	安心して産み育てやすい環境づくり	2.85	20	3.44	10	II
14	障がい者福祉の充実	2.77	28	3.42	11	I
15	安心して暮らせる地域づくり	2.73	31	3.33	25	III
16	農林業の振興	2.72	33	3.24	35	III
17	地場産業の振興	2.65	36	3.21	36	III
18	創業促進と産業の創出	2.84	21	3.33	26	IV
19	商業の振興	2.41	40	3.28	30	III
20	観光の振興	2.58	38	3.27	31	III
21	就労支援の充実と労働環境の整備	2.58	37	3.35	23	III
22	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	2.95	6	3.37	19	II
23	確かな学力を育む教育の推進	2.90	15	3.46	6	II
24	子ども・若者の健全育成	2.80	24	3.38	18	I
25	生涯学習の振興	2.86	17	3.32	28	IV
26	スポーツの振興	2.93	8	3.34	24	IV
27	文化芸術の創造	2.90	14	3.26	33	IV
28	歴史的・文化的遺産の保護と活用	2.95	7	3.24	34	IV
29	国際交流・多文化共生の推進	2.92	9	3.20	38	IV
30	災害・減災対策の充実	2.79	26	3.56	3	I
31	消防・救急体制の充実	3.05	1	3.56	2	II
32	生活安全の向上	2.86	19	3.49	5	II
33	計画的な土地利用の推進	2.72	32	3.40	15	I
34	定住環境・公共交通の充実	2.52	39	3.39	17	I
35	公園・緑地の整備	2.78	27	3.44	8	I
36	道路の整備	2.86	18	3.42	12	II
37	上下水道の整備	2.90	12	3.41	13	II
38	自然環境の保全	2.81	22	3.33	27	III
39	快適な生活環境づくり	2.80	25	3.40	14	I
40	環境にやさしいまちづくり	2.89	16	3.46	7	II
平均値		2.82		3.36		

・鎮西地区

施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプⅠ】には、満足度が最も低い「【34】定住環境・公共交通の充実」など9施策が該当している。

【ポートフォリオ分析（鎮西地区）】



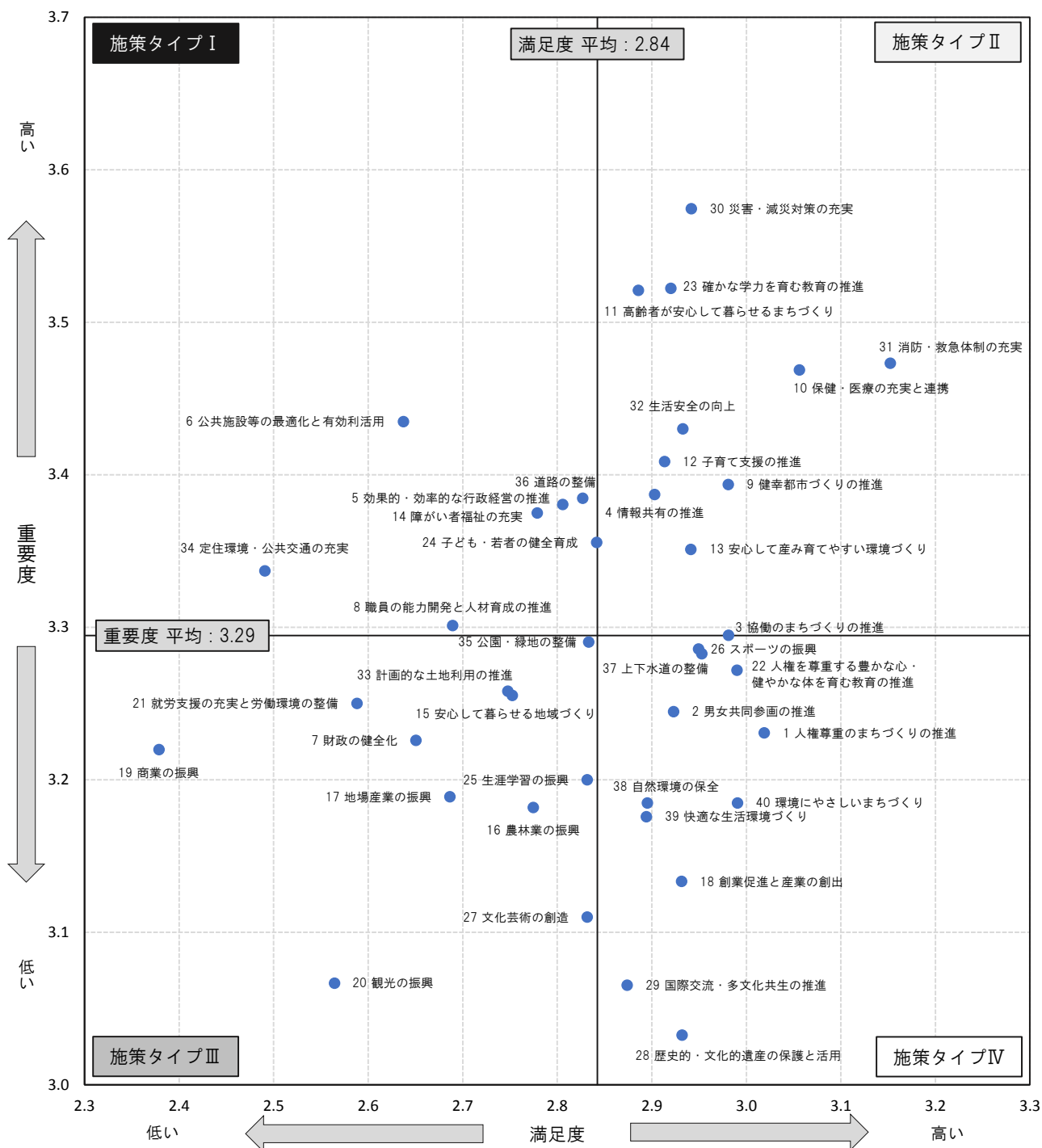
【ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（鎮西地区）】

		満足度		重要度		施策 タイプ
		得点	順位	得点	順位	
1	人権尊重のまちづくりの推進	3.03	3	3.15	40	IV
2	男女共同参画の推進	2.85	20	3.28	28	IV
3	協働のまちづくりの推進	2.94	8	3.28	27	IV
4	情報共有の推進	2.91	13	3.30	23	IV
5	効果的・効率的な行政経営の推進	2.80	23	3.33	21	III
6	公共施設等の最適化と有効利活用	2.68	35	3.34	18	I
7	財政の健全化	2.66	36	3.34	18	I
8	職員の能力開発と人材育成の推進	2.78	24	3.25	30	III
9	健幸都市づくりの推進	3.01	4	3.35	17	II
10	保健・医療の充実と連携	3.08	2	3.52	5	II
11	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	2.86	18	3.53	4	II
12	子育て支援の推進	2.85	19	3.42	11	II
13	安心して産み育てやすい環境づくり	2.83	21	3.54	2	II
14	障がい者福祉の充実	2.74	28	3.37	14	I
15	安心して暮らせる地域づくり	2.69	34	3.22	33	III
16	農林業の振興	2.78	24	3.23	32	III
17	地場産業の振興	2.75	27	3.19	38	III
18	創業促進と産業の創出	2.93	9	3.22	35	IV
19	商業の振興	2.42	39	3.22	33	III
20	観光の振興	2.62	37	3.20	36	III
21	就労支援の充実と労働環境の整備	2.61	38	3.27	29	III
22	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	2.97	5	3.36	15	II
23	確かな学力を育む教育の推進	2.90	14	3.45	7	II
24	子ども・若者の健全育成	2.78	26	3.30	25	III
25	生涯学習の振興	2.89	15	3.28	26	IV
26	スポーツの振興	2.95	6	3.30	24	IV
27	文化芸術の創造	2.86	17	3.20	37	IV
28	歴史的・文化的遺産の保護と活用	2.94	7	3.24	31	IV
29	国際交流・多文化共生の推進	2.91	12	3.18	39	IV
30	災害・減災対策の充実	2.91	11	3.53	3	II
31	消防・救急体制の充実	3.11	1	3.59	1	II
32	生活安全の向上	2.91	10	3.46	6	II
33	計画的な土地利用の推進	2.72	32	3.36	16	I
34	定住環境・公共交通の充実	2.41	40	3.42	10	I
35	公園・緑地の整備	2.73	29	3.34	20	I
36	道路の整備	2.73	30	3.44	8	I
37	上下水道の整備	2.72	33	3.42	9	I
38	自然環境の保全	2.80	22	3.32	22	III
39	快適な生活環境づくり	2.73	31	3.38	13	I
40	環境にやさしいまちづくり	2.87	16	3.39	12	II
平均値		2.82		3.34		

・菰田地区

施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプ I】には、「【34】定住環境・公共交通の充実」など7施策が該当している。なお、40施策のうち満足度が最も低い「【19】商業の振興」は、【施策タイプ III】に入っている。

【ポートフォリオ分析（菰田地区）】



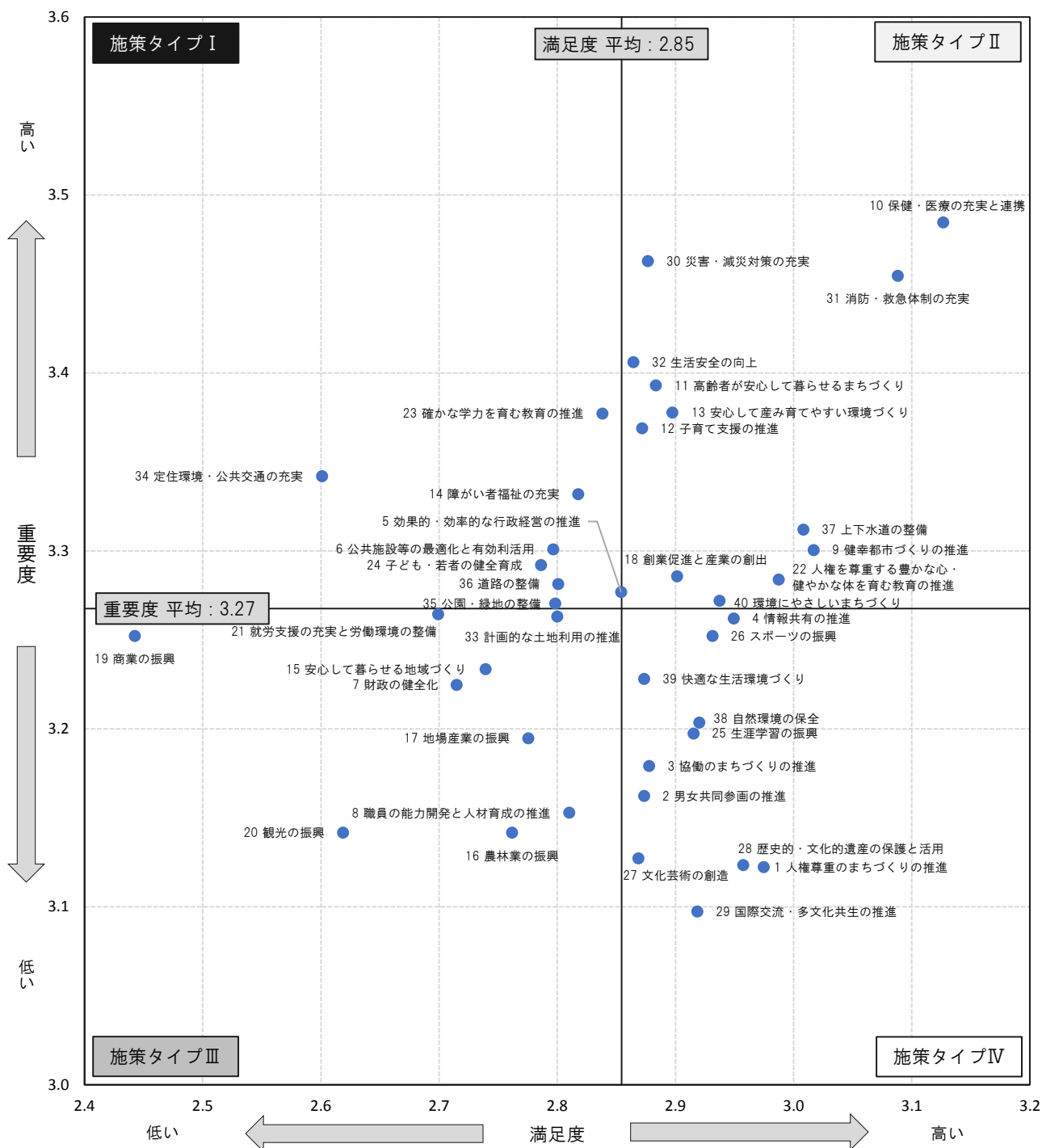
【ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（菟田地区）】

		満足度		重要度		施策 タイプ
		得点	順位	得点	順位	
1	人権尊重のまちづくりの推進	3.02	3	3.23	27	IV
2	男女共同参画の推進	2.92	15	3.24	26	IV
3	協働のまちづくりの推進	2.98	6	3.29	18	II
4	情報共有の推進	2.90	18	3.39	10	II
5	効果的・効率的な行政経営の推進	2.81	28	3.38	12	I
6	公共施設等の最適化と有効利活用	2.64	36	3.43	6	I
7	財政の健全化	2.65	35	3.23	28	III
8	職員の能力開発と人材育成の推進	2.69	33	3.30	17	I
9	健幸都市づくりの推進	2.98	7	3.39	9	II
10	保健・医療の充実と連携	3.06	2	3.47	5	II
11	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	2.89	21	3.52	3	II
12	子育て支援の推進	2.91	17	3.41	8	II
13	安心して産み育てやすい環境づくり	2.94	11	3.35	15	II
14	障がい者福祉の充実	2.78	29	3.38	13	I
15	安心して暮らせる地域づくり	2.75	31	3.26	24	III
16	農林業の振興	2.77	30	3.18	34	III
17	地場産業の振興	2.69	34	3.19	31	III
18	創業促進と産業の創出	2.93	14	3.13	36	IV
19	商業の振興	2.38	40	3.22	29	III
20	観光の振興	2.56	38	3.07	38	III
21	就労支援の充実と労働環境の整備	2.59	37	3.25	25	III
22	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	2.99	5	3.27	22	IV
23	確かな学力を育む教育の推進	2.92	16	3.52	2	II
24	子ども・若者の健全育成	2.84	23	3.36	14	I
25	生涯学習の振興	2.83	25	3.20	30	III
26	スポーツの振興	2.95	9	3.29	20	IV
27	文化芸術の創造	2.83	25	3.11	37	III
28	歴史的・文化的遺産の保護と活用	2.93	13	3.03	40	IV
29	国際交流・多文化共生の推進	2.87	22	3.07	39	IV
30	災害・減災対策の充実	2.94	10	3.57	1	II
31	消防・救急体制の充実	3.15	1	3.47	4	II
32	生活安全の向上	2.93	12	3.43	7	II
33	計画的な土地利用の推進	2.75	32	3.26	23	III
34	定住環境・公共交通の充実	2.49	39	3.34	16	I
35	公園・緑地の整備	2.83	24	3.29	19	III
36	道路の整備	2.83	27	3.38	11	I
37	上下水道の整備	2.95	8	3.28	21	IV
38	自然環境の保全	2.90	19	3.18	32	IV
39	快適な生活環境づくり	2.89	20	3.18	35	IV
40	環境にやさしいまちづくり	2.99	4	3.18	32	IV
平均値		2.84		3.29		

・立岩地区

施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプ I】には、「【34】定住環境・公共交通の充実」など 8 施策が該当している。なお、40 施策のうち満足度が最も低い「【19】商業の振興」は、【施策タイプ III】に入っている。

【ポートフォリオ分析（立岩地区）】



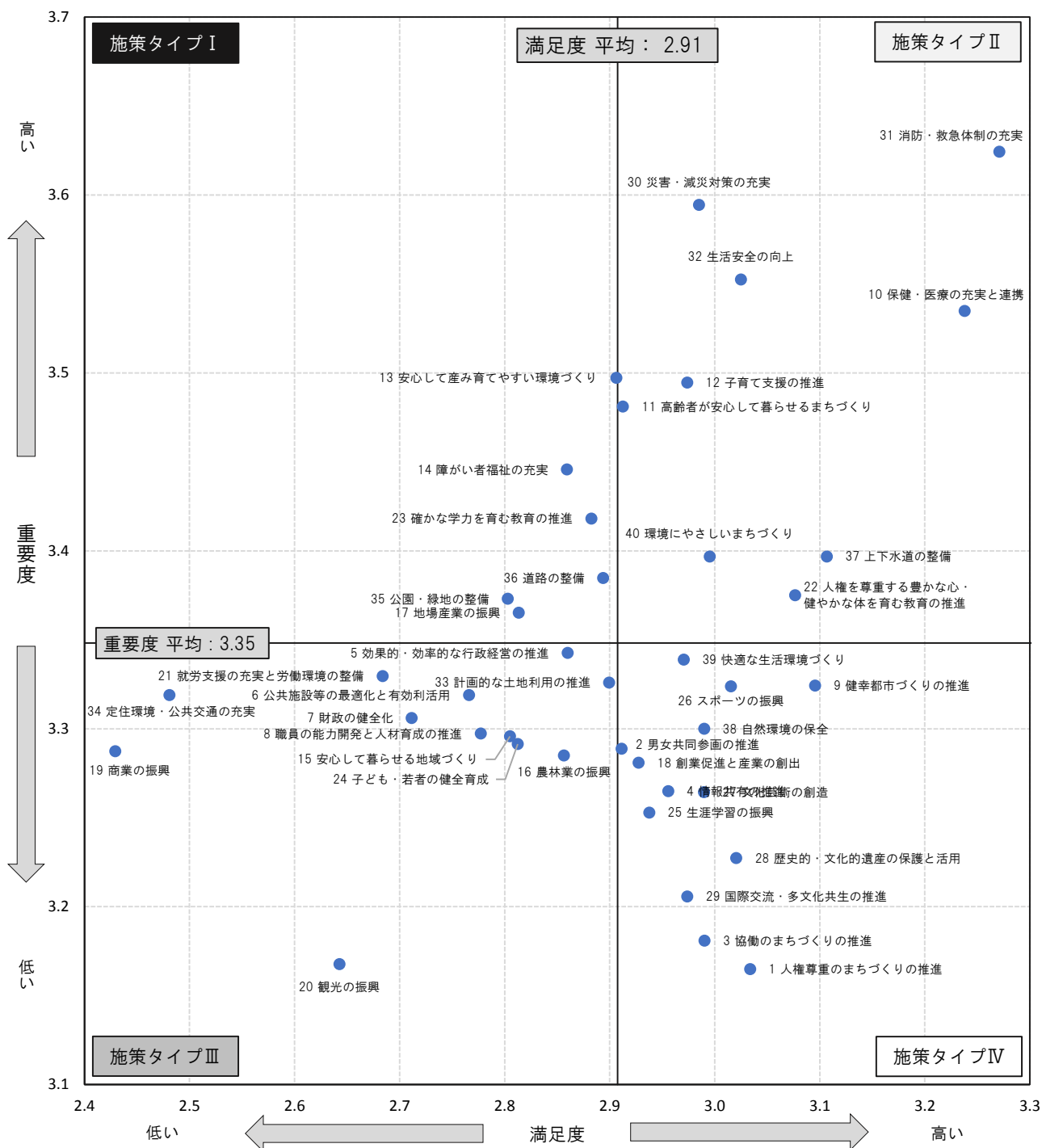
【ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（立岩地区）】

		満足度		重要度		施策 タイプ
		得点	順位	得点	順位	
1	人権尊重のまちづくりの推進	2.97	6	3.12	39	IV
2	男女共同参画の推進	2.87	19	3.16	33	IV
3	協働のまちづくりの推進	2.88	17	3.18	32	IV
4	情報共有の推進	2.95	8	3.26	23	IV
5	効果的・効率的な行政経営の推進	2.85	24	3.28	18	I
6	公共施設等の最適化と有効利活用	2.80	31	3.30	12	I
7	財政の健全化	2.71	36	3.22	28	III
8	職員の能力開発と人材育成の推進	2.81	27	3.15	34	III
9	健幸都市づくりの推進	3.02	3	3.30	13	II
10	保健・医療の充実と連携	3.13	1	3.48	1	II
11	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	2.88	16	3.39	5	II
12	子育て支援の推進	2.87	21	3.37	8	II
13	安心して産み育てやすい環境づくり	2.90	15	3.38	6	II
14	障がい者福祉の充実	2.82	26	3.33	10	I
15	安心して暮らせる地域づくり	2.74	35	3.23	26	III
16	農林業の振興	2.76	34	3.14	35	III
17	地場産業の振興	2.78	33	3.19	31	III
18	創業促進と産業の創出	2.90	14	3.29	15	II
19	商業の振興	2.44	40	3.25	24	III
20	観光の振興	2.62	38	3.14	35	III
21	就労支援の充実と労働環境の整備	2.70	37	3.26	21	III
22	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	2.99	5	3.28	16	II
23	確かな学力を育む教育の推進	2.84	25	3.38	7	I
24	子ども・若者の健全育成	2.79	32	3.29	14	I
25	生涯学習の振興	2.92	13	3.20	30	IV
26	スポーツの振興	2.93	10	3.25	24	IV
27	文化芸術の創造	2.87	22	3.13	37	IV
28	歴史的・文化的遺産の保護と活用	2.96	7	3.12	38	IV
29	国際交流・多文化共生の推進	2.92	12	3.10	40	IV
30	災害・減災対策の充実	2.88	18	3.46	2	II
31	消防・救急体制の充実	3.09	2	3.45	3	II
32	生活安全の向上	2.86	23	3.41	4	II
33	計画的な土地利用の推進	2.80	29	3.26	22	III
34	定住環境・公共交通の充実	2.60	39	3.34	9	I
35	公園・緑地の整備	2.80	30	3.27	20	I
36	道路の整備	2.80	28	3.28	17	I
37	上下水道の整備	3.01	4	3.31	11	II
38	自然環境の保全	2.92	11	3.20	29	IV
39	快適な生活環境づくり	2.87	19	3.23	27	IV
40	環境にやさしいまちづくり	2.94	9	3.27	19	II
平均値		2.85		3.27		

・飯塚東地区

施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプⅠ】には、「【35】公園・緑地の整備」など6施策が該当している。なお、40施策のうち満足度が最も低い「【19】商業の振興」は、【施策タイプⅢ】に入っている。

【ポートフォリオ分析（飯塚東地区）】



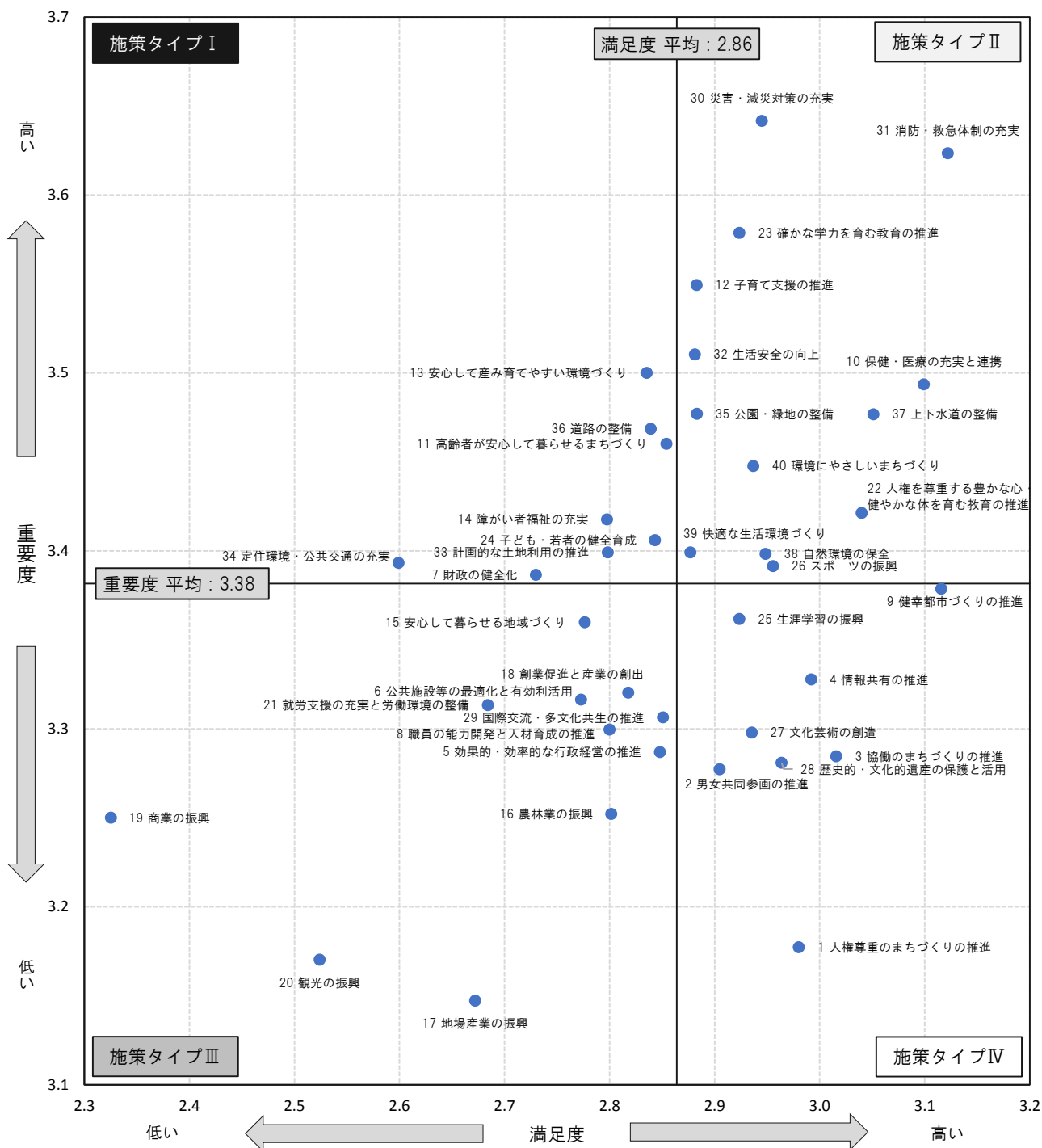
【ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（飯塚東地区）】

		満足度		重要度		施策 タイプ
		得点	順位	得点	順位	
1	人権尊重のまちづくりの推進	3.03	6	3.16	40	IV
2	男女共同参画の推進	2.91	22	3.29	29	IV
3	協働のまちづくりの推進	2.99	11	3.18	38	IV
4	情報共有の推進	2.96	18	3.26	33	IV
5	効果的・効率的な行政経営の推進	2.86	27	3.34	16	III
6	公共施設等の最適化と有効利活用	2.77	35	3.32	22	III
7	財政の健全化	2.71	36	3.31	24	III
8	職員の能力開発と人材育成の推進	2.78	34	3.30	26	III
9	健幸都市づくりの推進	3.10	4	3.32	20	IV
10	保健・医療の充実と連携	3.24	2	3.53	4	II
11	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	2.91	21	3.48	7	II
12	子育て支援の推進	2.97	15	3.49	6	II
13	安心して産み育てやすい環境づくり	2.91	23	3.50	5	I
14	障がい者福祉の充実	2.86	28	3.45	8	I
15	安心して暮らせる地域づくり	2.81	32	3.30	27	III
16	農林業の振興	2.86	29	3.28	31	III
17	地場産業の振興	2.81	30	3.37	15	I
18	創業促進と産業の創出	2.93	20	3.28	32	IV
19	商業の振興	2.43	40	3.29	30	III
20	観光の振興	2.64	38	3.17	39	III
21	就労支援の充実と労働環境の整備	2.68	37	3.33	18	III
22	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	3.08	5	3.38	13	II
23	確かな学力を育む教育の推進	2.88	26	3.42	9	I
24	子ども・若者の健全育成	2.81	31	3.29	28	III
25	生涯学習の振興	2.94	19	3.25	35	IV
26	スポーツの振興	3.02	9	3.32	21	IV
27	文化芸術の創造	2.99	13	3.26	34	IV
28	歴史的・文化的遺産の保護と活用	3.02	8	3.23	36	IV
29	国際交流・多文化共生の推進	2.97	16	3.21	37	IV
30	災害・減災対策の充実	2.99	14	3.59	2	II
31	消防・救急体制の充実	3.27	1	3.62	1	II
32	生活安全の向上	3.02	7	3.55	3	II
33	計画的な土地利用の推進	2.90	24	3.33	19	III
34	定住環境・公共交通の充実	2.48	39	3.32	22	III
35	公園・緑地の整備	2.80	33	3.37	14	I
36	道路の整備	2.89	25	3.38	12	I
37	上下水道の整備	3.11	3	3.40	10	II
38	自然環境の保全	2.99	12	3.30	25	IV
39	快適な生活環境づくり	2.97	17	3.34	17	IV
40	環境にやさしいまちづくり	3.00	10	3.40	10	II
平均値		2.91		3.35		

・飯塚・片島地区

施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプ I】には、「【34】定住環境・公共交通の充実」など 8 施策が該当している。なお、40 施策のうち満足度が最も低い「【19】商業の振興」は、【施策タイプ III】に入っている。

【ポートフォリオ分析（飯塚・片島地区）】



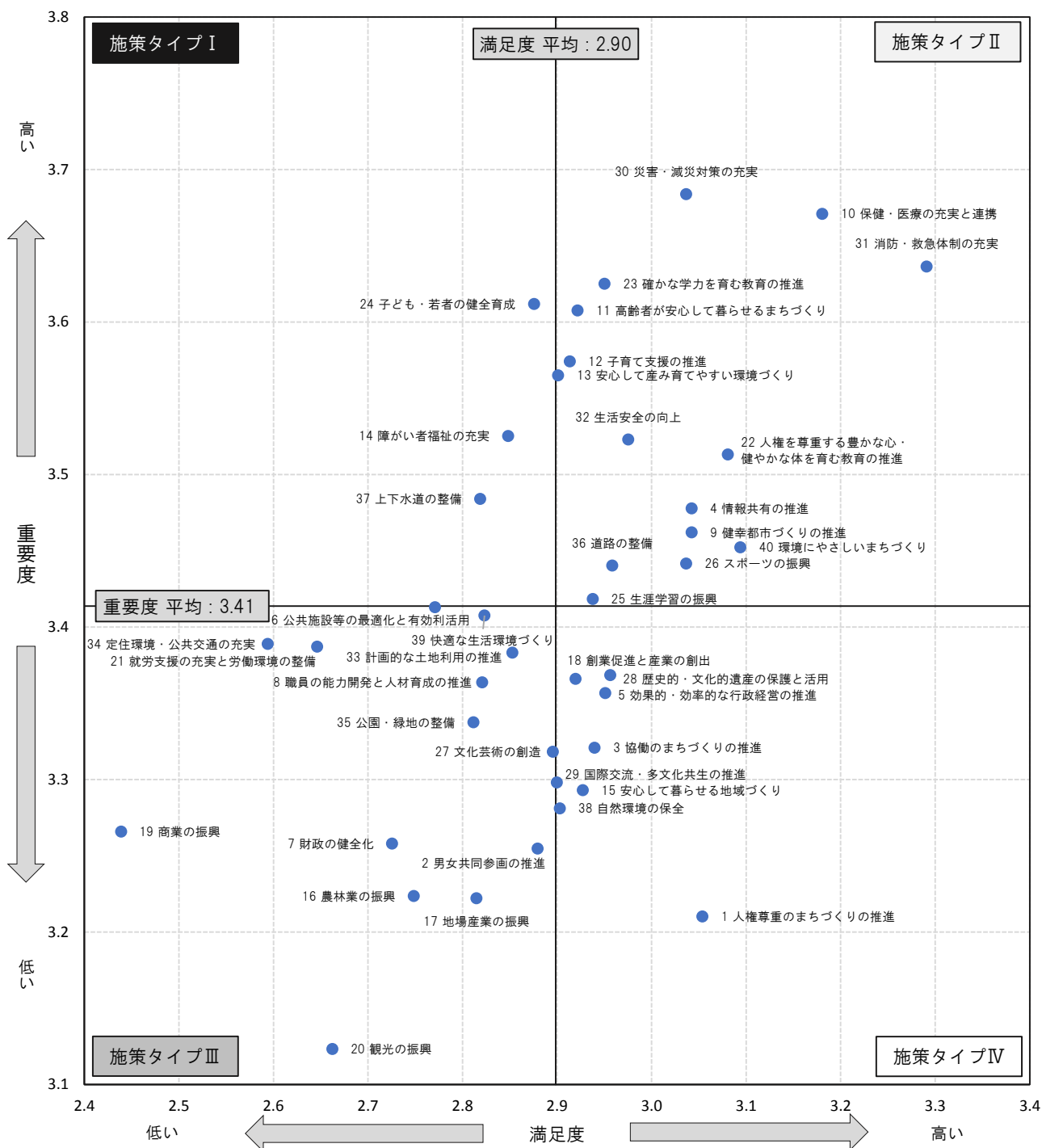
【ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（飯塚・片島地区）】

		満足度		重要度		施策 タイプ
		得点	順位	得点	順位	
1	人権尊重のまちづくりの推進	2.98	8	3.18	38	IV
2	男女共同参画の推進	2.90	17	3.28	35	IV
3	協働のまちづくりの推進	3.02	6	3.28	33	IV
4	情報共有の推進	2.99	7	3.33	25	IV
5	効果的・効率的な行政経営の推進	2.85	24	3.29	32	III
6	公共施設等の最適化と有効利活用	2.77	34	3.32	27	III
7	財政の健全化	2.73	35	3.39	21	I
8	職員の能力開発と人材育成の推進	2.80	30	3.30	30	III
9	健幸都市づくりの推進	3.12	2	3.38	22	IV
10	保健・医療の充実と連携	3.10	3	3.49	7	II
11	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	2.85	22	3.46	11	I
12	子育て支援の推進	2.88	19	3.55	4	II
13	安心して産み育てやすい環境づくり	2.84	27	3.50	6	I
14	障がい者福祉の充実	2.80	32	3.42	14	I
15	安心して暮らせる地域づくり	2.78	33	3.36	24	III
16	農林業の振興	2.80	29	3.25	36	III
17	地場産業の振興	2.67	37	3.15	40	III
18	創業促進と産業の創出	2.82	28	3.32	26	III
19	商業の振興	2.33	40	3.25	37	III
20	観光の振興	2.52	39	3.17	39	III
21	就労支援の充実と労働環境の整備	2.68	36	3.31	28	III
22	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	3.04	5	3.42	13	II
23	確かな学力を育む教育の推進	2.92	15	3.58	3	II
24	子ども・若者の健全育成	2.84	25	3.41	15	I
25	生涯学習の振興	2.92	15	3.36	23	IV
26	スポーツの振興	2.96	10	3.39	20	II
27	文化芸術の創造	2.94	14	3.30	31	IV
28	歴史的・文化的遺産の保護と活用	2.96	9	3.28	34	IV
29	国際交流・多文化共生の推進	2.85	23	3.31	29	III
30	災害・減災対策の充実	2.95	12	3.64	1	II
31	消防・救急体制の充実	3.12	1	3.62	2	II
32	生活安全の向上	2.88	20	3.51	5	II
33	計画的な土地利用の推進	2.80	31	3.40	16	I
34	定住環境・公共交通の充実	2.60	38	3.39	19	I
35	公園・緑地の整備	2.88	18	3.48	8	II
36	道路の整備	2.84	26	3.47	10	I
37	上下水道の整備	3.05	4	3.48	9	II
38	自然環境の保全	2.95	11	3.40	18	II
39	快適な生活環境づくり	2.88	21	3.40	16	II
40	環境にやさしいまちづくり	2.94	13	3.45	12	II
平均値		2.86		3.38		

・総田地区

施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプⅠ】には、「【37】上下水道の整備」など3施策が該当している。なお、40施策のうち満足度が最も低い「【19】商業の振興」は、【施策タイプⅢ】に入っている。

【ポートフォリオ分析（総田地区）】



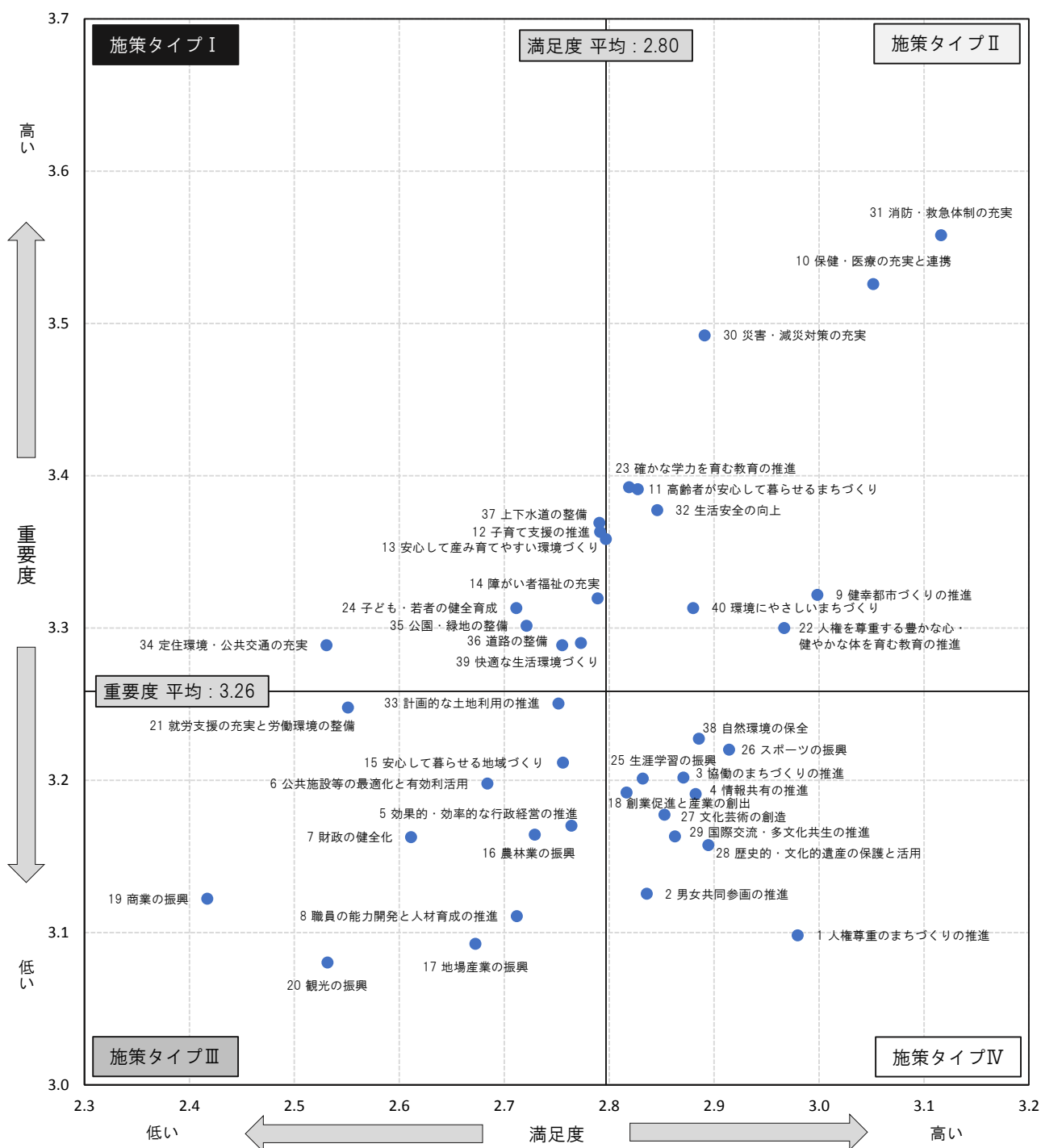
【ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（鯉田地区）】

		満足度		重要度		施策 タイプ
		得点	順位	得点	順位	
1	人権尊重のまちづくりの推進	3.05	5	3.21	39	IV
2	男女共同参画の推進	2.88	25	3.25	36	III
3	協働のまちづくりの推進	2.94	15	3.32	29	IV
4	情報共有の推進	3.04	6	3.48	13	II
5	効果的・効率的な行政経営の推進	2.95	13	3.36	27	IV
6	公共施設等の最適化と有効利活用	2.77	34	3.41	19	III
7	財政の健全化	2.73	36	3.26	35	III
8	職員の能力開発と人材育成の推進	2.82	30	3.36	26	III
9	健幸都市づくりの推進	3.04	6	3.46	14	II
10	保健・医療の充実と連携	3.18	2	3.67	2	II
11	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	2.92	18	3.61	6	II
12	子育て支援の推進	2.91	20	3.57	7	II
13	安心して産み育てやすい環境づくり	2.90	22	3.56	8	II
14	障がい者福祉の充実	2.85	28	3.53	9	I
15	安心して暮らせる地域づくり	2.93	17	3.29	32	IV
16	農林業の振興	2.75	35	3.22	37	III
17	地場産業の振興	2.81	32	3.22	38	III
18	創業促進と産業の創出	2.92	19	3.37	25	IV
19	商業の振興	2.44	40	3.27	34	III
20	観光の振興	2.66	37	3.12	40	III
21	就労支援の充実と労働環境の整備	2.65	38	3.39	22	III
22	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	3.08	4	3.51	11	II
23	確かな学力を育む教育の推進	2.95	14	3.63	4	II
24	子ども・若者の健全育成	2.88	26	3.61	5	I
25	生涯学習の振興	2.94	16	3.42	18	II
26	スポーツの振興	3.04	8	3.44	16	II
27	文化芸術の創造	2.90	24	3.32	30	III
28	歴史的・文化的遺産の保護と活用	2.96	12	3.37	24	IV
29	国際交流・多文化共生の推進	2.90	23	3.30	31	IV
30	災害・減災対策の充実	3.04	8	3.68	1	II
31	消防・救急体制の充実	3.29	1	3.64	3	II
32	生活安全の向上	2.98	10	3.52	10	II
33	計画的な土地利用の推進	2.85	27	3.38	23	III
34	定住環境・公共交通の充実	2.59	39	3.39	21	III
35	公園・緑地の整備	2.81	33	3.34	28	III
36	道路の整備	2.96	11	3.44	17	II
37	上下水道の整備	2.82	31	3.48	12	I
38	自然環境の保全	2.90	21	3.28	33	IV
39	快適な生活環境づくり	2.82	29	3.41	20	III
40	環境にやさしいまちづくり	3.09	3	3.45	15	II
平均値		2.90		3.41		

・穂波地区

施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプ I】には、「【34】定住環境・公共交通の充実」など 9 施策が該当している。なお、40 施策のうち満足度が最も低い「【19】商業の振興」は、【施策タイプ III】に入っている。

【ポートフォリオ分析（穂波地区）】



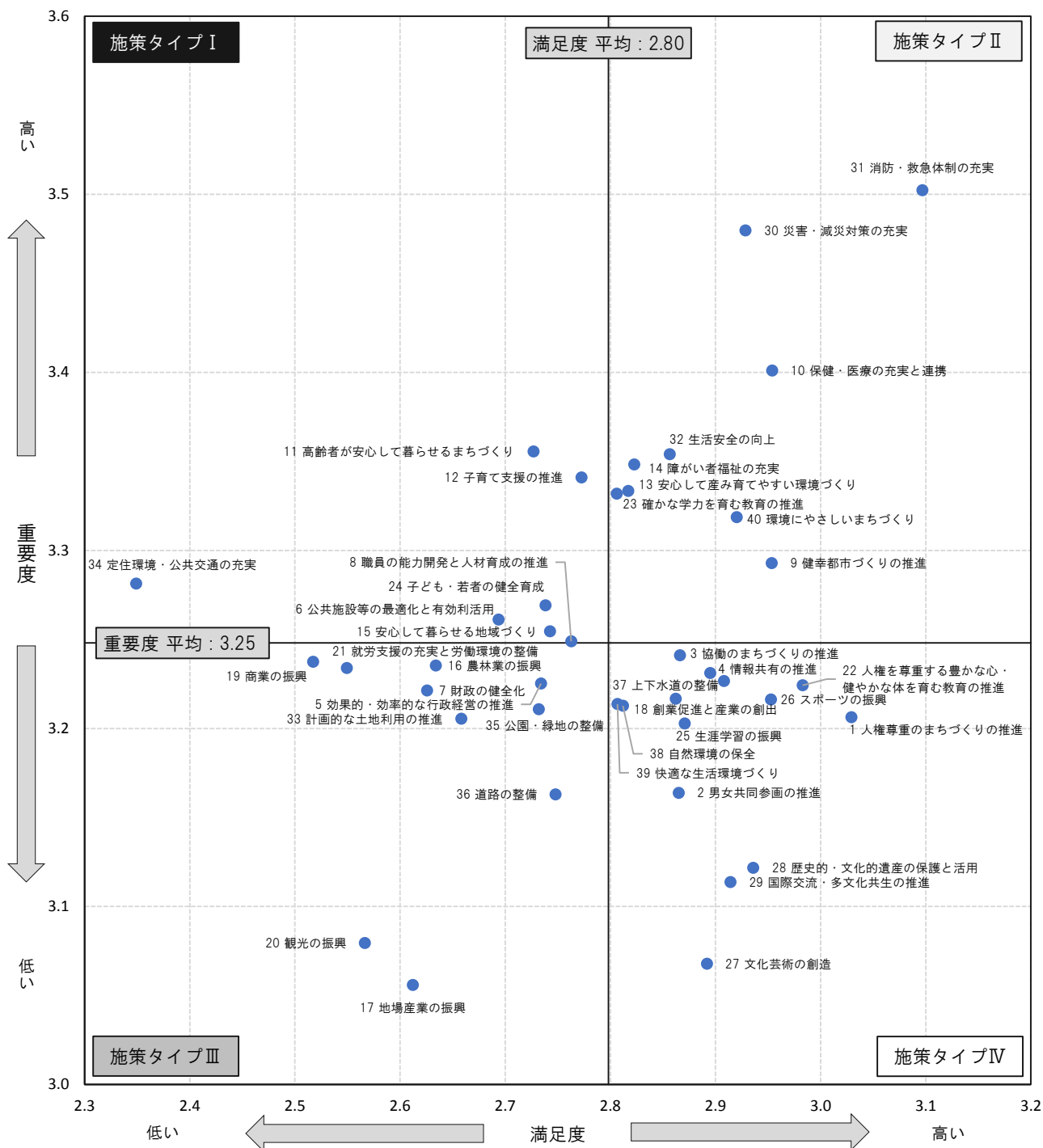
【ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（穂波地区）】

		満足度		重要度		施策 タイプ
		得点	順位	得点	順位	
1	人権尊重のまちづくりの推進	2.98	4	3.10	38	IV
2	男女共同参画の推進	2.84	16	3.13	35	IV
3	協働のまちづくりの推進	2.87	12	3.20	24	IV
4	情報共有の推進	2.88	10	3.19	28	IV
5	効果的・効率的な行政経営の推進	2.76	26	3.17	30	III
6	公共施設等の最適化と有効利活用	2.68	34	3.20	26	III
7	財政の健全化	2.61	36	3.16	33	III
8	職員の能力開発と人材育成の推進	2.71	32	3.11	37	III
9	健幸都市づくりの推進	3.00	3	3.32	10	II
10	保健・医療の充実と連携	3.05	2	3.53	2	II
11	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	2.83	18	3.39	5	II
12	子育て支援の推進	2.79	22	3.36	8	I
13	安心して産み育てやすい環境づくり	2.80	21	3.36	9	I
14	障がい者福祉の充実	2.79	24	3.32	11	I
15	安心して暮らせる地域づくり	2.76	27	3.21	23	III
16	農林業の振興	2.73	30	3.16	31	III
17	地場産業の振興	2.67	35	3.09	39	III
18	創業促進と産業の創出	2.82	20	3.19	27	IV
19	商業の振興	2.42	40	3.12	36	III
20	観光の振興	2.53	38	3.08	40	III
21	就労支援の充実と労働環境の整備	2.55	37	3.25	20	III
22	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	2.97	5	3.30	15	II
23	確かな学力を育む教育の推進	2.82	19	3.39	4	II
24	子ども・若者の健全育成	2.71	33	3.31	12	I
25	生涯学習の振興	2.83	17	3.20	25	IV
26	スポーツの振興	2.91	6	3.22	22	IV
27	文化芸術の創造	2.85	14	3.18	29	IV
28	歴史的・文化的遺産の保護と活用	2.89	7	3.16	34	IV
29	国際交流・多文化共生の推進	2.86	13	3.16	32	IV
30	災害・減災対策の充実	2.89	8	3.49	3	II
31	消防・救急体制の充実	3.12	1	3.56	1	II
32	生活安全の向上	2.85	15	3.38	6	II
33	計画的な土地利用の推進	2.75	29	3.25	19	III
34	定住環境・公共交通の充実	2.53	39	3.29	17	I
35	公園・緑地の整備	2.72	31	3.30	14	I
36	道路の整備	2.76	28	3.29	17	I
37	上下水道の整備	2.79	23	3.37	7	I
38	自然環境の保全	2.89	9	3.23	21	IV
39	快適な生活環境づくり	2.77	25	3.29	16	I
40	環境にやさしいまちづくり	2.88	11	3.31	12	II
平均値		2.80		3.26		

・筑穂地区

施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプ I】には、満足度が最も低い「【34】定住環境・公共交通の充実」など7施策が該当している。

【ポートフォリオ分析（筑穂地区）】



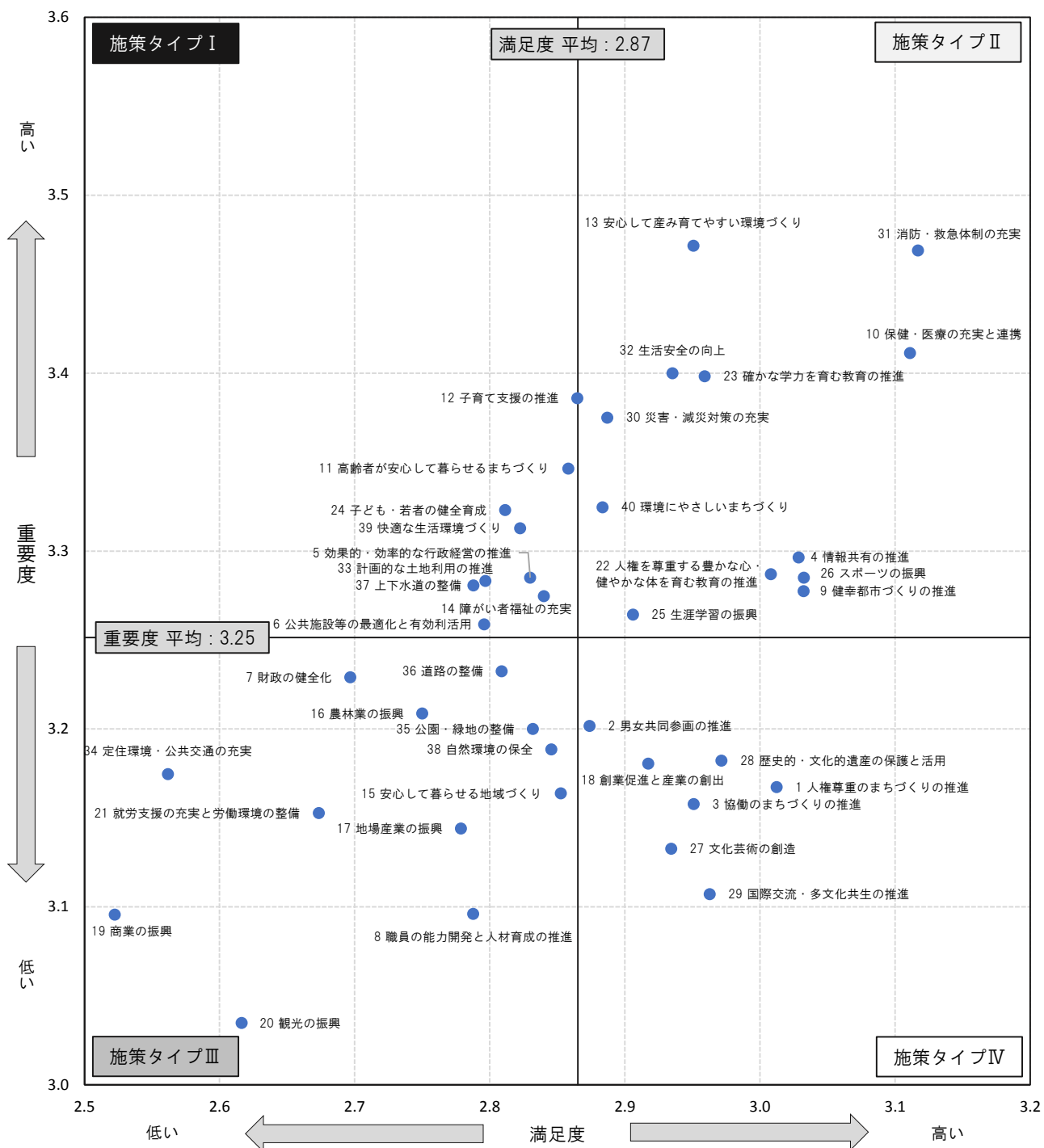
【ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（筑穂地区）】

		満足度		重要度		施策 タイプ
		得点	順位	得点	順位	
1	人権尊重のまちづくりの推進	3.03	2	3.21	31	IV
2	男女共同参画の推進	2.86	16	3.16	34	IV
3	協働のまちづくりの推進	2.87	15	3.24	17	IV
4	情報共有の推進	2.89	12	3.23	21	IV
5	効果的・効率的な行政経営の推進	2.73	29	3.23	23	III
6	公共施設等の最適化と有効利活用	2.69	32	3.26	14	I
7	財政の健全化	2.63	35	3.22	25	III
8	職員の能力開発と人材育成の推進	2.76	25	3.25	16	I
9	健幸都市づくりの推進	2.95	5	3.29	11	II
10	保健・医療の充実と連携	2.95	4	3.40	3	II
11	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	2.73	31	3.36	4	I
12	子育て支援の推進	2.77	24	3.34	7	I
13	安心して産み育てやすい環境づくり	2.82	20	3.33	8	II
14	障がい者福祉の充実	2.82	19	3.35	6	II
15	安心して暮らせる地域づくり	2.74	27	3.25	15	I
16	農林業の振興	2.63	34	3.24	19	III
17	地場産業の振興	2.61	36	3.06	40	III
18	創業促進と産業の創出	2.86	17	3.22	26	IV
19	商業の振興	2.52	39	3.24	18	III
20	観光の振興	2.57	37	3.08	38	III
21	就労支援の充実と労働環境の整備	2.55	38	3.23	20	III
22	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	2.98	3	3.22	24	IV
23	確かな学力を育む教育の推進	2.81	23	3.33	9	II
24	子ども・若者の健全育成	2.74	28	3.27	13	I
25	生涯学習の振興	2.87	14	3.20	33	IV
26	スポーツの振興	2.95	6	3.22	27	IV
27	文化芸術の創造	2.89	13	3.07	39	IV
28	歴史的・文化的遺産の保護と活用	2.94	7	3.12	36	IV
29	国際交流・多文化共生の推進	2.91	10	3.11	37	IV
30	災害・減災対策の充実	2.93	8	3.48	2	II
31	消防・救急体制の充実	3.10	1	3.50	1	II
32	生活安全の向上	2.86	18	3.35	5	II
33	計画的な土地利用の推進	2.66	33	3.21	32	III
34	定住環境・公共交通の充実	2.35	40	3.28	12	I
35	公園・緑地の整備	2.73	30	3.21	30	III
36	道路の整備	2.75	26	3.16	35	III
37	上下水道の整備	2.91	11	3.23	22	IV
38	自然環境の保全	2.81	21	3.21	29	IV
39	快適な生活環境づくり	2.81	22	3.21	28	IV
40	環境にやさしいまちづくり	2.92	9	3.32	10	II
平均値		2.80		3.25		

・庄内地区

施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプⅠ】には、「【37】上下水道の整備」など9施策が該当している。なお、40施策のうち満足度が最も低い「【19】商業の振興」は、【施策タイプⅢ】に入っている。

【ポートフォリオ分析（庄内地区）】



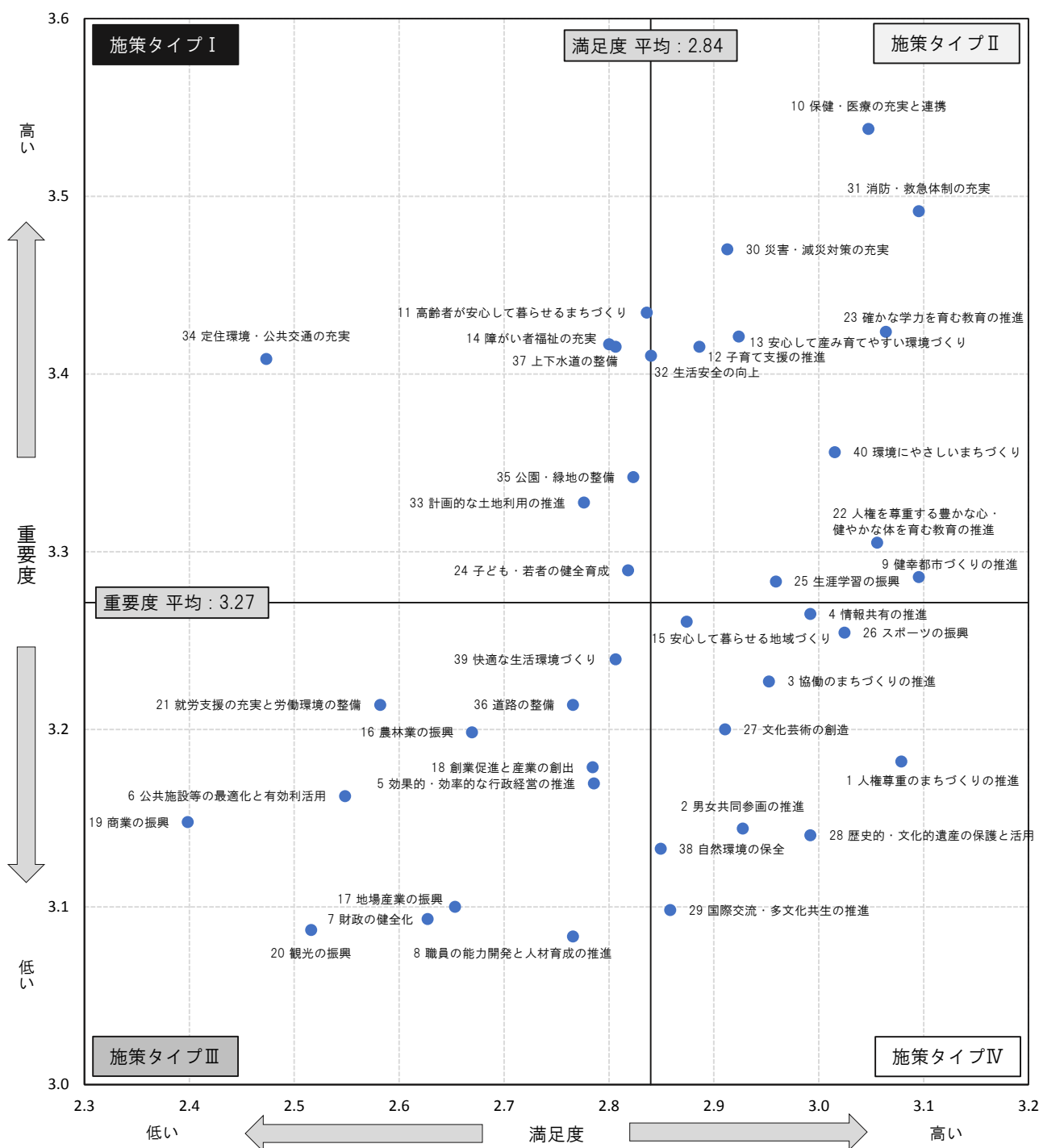
【ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（庄内地区）】

		満足度		重要度		施策 タイプ
		得点	順位	得点	順位	
1	人権尊重のまちづくりの推進	3.01	6	3.17	31	IV
2	男女共同参画の推進	2.87	19	3.20	25	IV
3	協働のまちづくりの推進	2.95	11	3.16	33	IV
4	情報共有の推進	3.03	5	3.30	12	II
5	効果的・効率的な行政経営の推進	2.83	26	3.29	15	I
6	公共施設等の最適化と有効利活用	2.80	31	3.26	21	I
7	財政の健全化	2.70	36	3.23	23	III
8	職員の能力開発と人材育成の推進	2.79	33	3.10	38	III
9	健幸都市づくりの推進	3.03	4	3.28	18	II
10	保健・医療の充実と連携	3.11	2	3.41	3	II
11	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	2.86	21	3.35	8	I
12	子育て支援の推進	2.86	20	3.39	6	I
13	安心して産み育てやすい環境づくり	2.95	12	3.47	1	II
14	障がい者福祉の充実	2.84	24	3.27	19	I
15	安心して暮らせる地域づくり	2.85	22	3.16	32	III
16	農林業の振興	2.75	35	3.21	24	III
17	地場産業の振興	2.78	34	3.14	35	III
18	創業促進と産業の創出	2.92	15	3.18	29	IV
19	商業の振興	2.52	40	3.10	39	III
20	観光の振興	2.62	38	3.03	40	III
21	就労支援の充実と労働環境の整備	2.67	37	3.15	34	III
22	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	3.01	7	3.29	13	II
23	確かな学力を育む教育の推進	2.96	10	3.40	5	II
24	子ども・若者の健全育成	2.81	28	3.32	10	I
25	生涯学習の振興	2.91	16	3.26	20	II
26	スポーツの振興	3.03	3	3.29	14	II
27	文化芸術の創造	2.93	14	3.13	36	IV
28	歴史的・文化的遺産の保護と活用	2.97	8	3.18	28	IV
29	国際交流・多文化共生の推進	2.96	9	3.11	37	IV
30	災害・減災対策の充実	2.89	17	3.38	7	II
31	消防・救急体制の充実	3.12	1	3.47	2	II
32	生活安全の向上	2.94	13	3.40	4	II
33	計画的な土地利用の推進	2.80	30	3.28	16	I
34	定住環境・公共交通の充実	2.56	39	3.17	30	III
35	公園・緑地の整備	2.83	25	3.20	26	III
36	道路の整備	2.81	29	3.23	22	III
37	上下水道の整備	2.79	32	3.28	17	I
38	自然環境の保全	2.85	23	3.19	27	III
39	快適な生活環境づくり	2.82	27	3.31	11	I
40	環境にやさしいまちづくり	2.88	18	3.32	9	II
平均値		2.87		3.25		

・穎田地区

施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプ I】には、「【34】定住環境・公共交通の充実」など7施策が該当している。なお、40施策のうち満足度が最も低い「【19】商業の振興」は、【施策タイプ III】に入っている。

【ポートフォリオ分析（穎田地区）】



【ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（颯田地区）】

		満足度		重要度		施策 タイプ
		得点	順位	得点	順位	
1	人権尊重のまちづくりの推進	3.08	3	3.18	28	IV
2	男女共同参画の推進	2.93	13	3.14	33	IV
3	協働のまちづくりの推進	2.95	12	3.23	23	IV
4	情報共有の推進	2.99	9	3.26	19	IV
5	効果的・効率的な行政経営の推進	2.79	28	3.17	30	III
6	公共施設等の最適化と有効利活用	2.55	37	3.16	31	III
7	財政の健全化	2.63	35	3.09	38	III
8	職員の能力開発と人材育成の推進	2.77	31	3.08	40	III
9	健幸都市づくりの推進	3.10	1	3.29	17	II
10	保健・医療の充実と連携	3.05	6	3.54	1	II
11	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	2.84	22	3.43	4	I
12	子育て支援の推進	2.89	17	3.42	8	II
13	安心して産み育てやすい環境づくり	2.92	14	3.42	6	II
14	障がい者福祉の充実	2.80	27	3.42	7	I
15	安心して暮らせる地域づくり	2.87	18	3.26	20	IV
16	農林業の振興	2.67	33	3.20	27	III
17	地場産業の振興	2.65	34	3.10	36	III
18	創業促進と産業の創出	2.78	29	3.18	29	III
19	商業の振興	2.40	40	3.15	32	III
20	観光の振興	2.52	38	3.09	39	III
21	就労支援の充実と労働環境の整備	2.58	36	3.21	24	III
22	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	3.06	5	3.31	15	II
23	確かな学力を育む教育の推進	3.06	4	3.42	5	II
24	子ども・若者の健全育成	2.82	24	3.29	16	I
25	生涯学習の振興	2.96	11	3.28	18	II
26	スポーツの振興	3.02	7	3.25	21	IV
27	文化芸術の創造	2.91	16	3.20	26	IV
28	歴史的・文化的遺産の保護と活用	2.99	10	3.14	34	IV
29	国際交流・多文化共生の推進	2.86	19	3.10	37	IV
30	災害・減災対策の充実	2.91	15	3.47	3	II
31	消防・救急体制の充実	3.10	1	3.49	2	II
32	生活安全の向上	2.84	21	3.41	10	II
33	計画的な土地利用の推進	2.78	30	3.33	14	I
34	定住環境・公共交通の充実	2.47	39	3.41	11	I
35	公園・緑地の整備	2.82	23	3.34	13	I
36	道路の整備	2.77	31	3.21	24	III
37	上下水道の整備	2.81	25	3.42	8	I
38	自然環境の保全	2.85	20	3.13	35	IV
39	快適な生活環境づくり	2.81	25	3.24	22	III
40	環境にやさしいまちづくり	3.02	8	3.36	12	II
平均値		2.84		3.27		

②性別

性別でみると、施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプⅠ】は「男性」、「女性」ともに7項目が該当している。また、40施策のうち、「【14】障がい者福祉の充実」、「【24】子ども・若者の健全育成」、「【34】定住環境・公共交通の充実」、「【36】道路の整備」、「【39】快適な生活環境づくり」は男女とも【施策タイプⅠ】となっている。

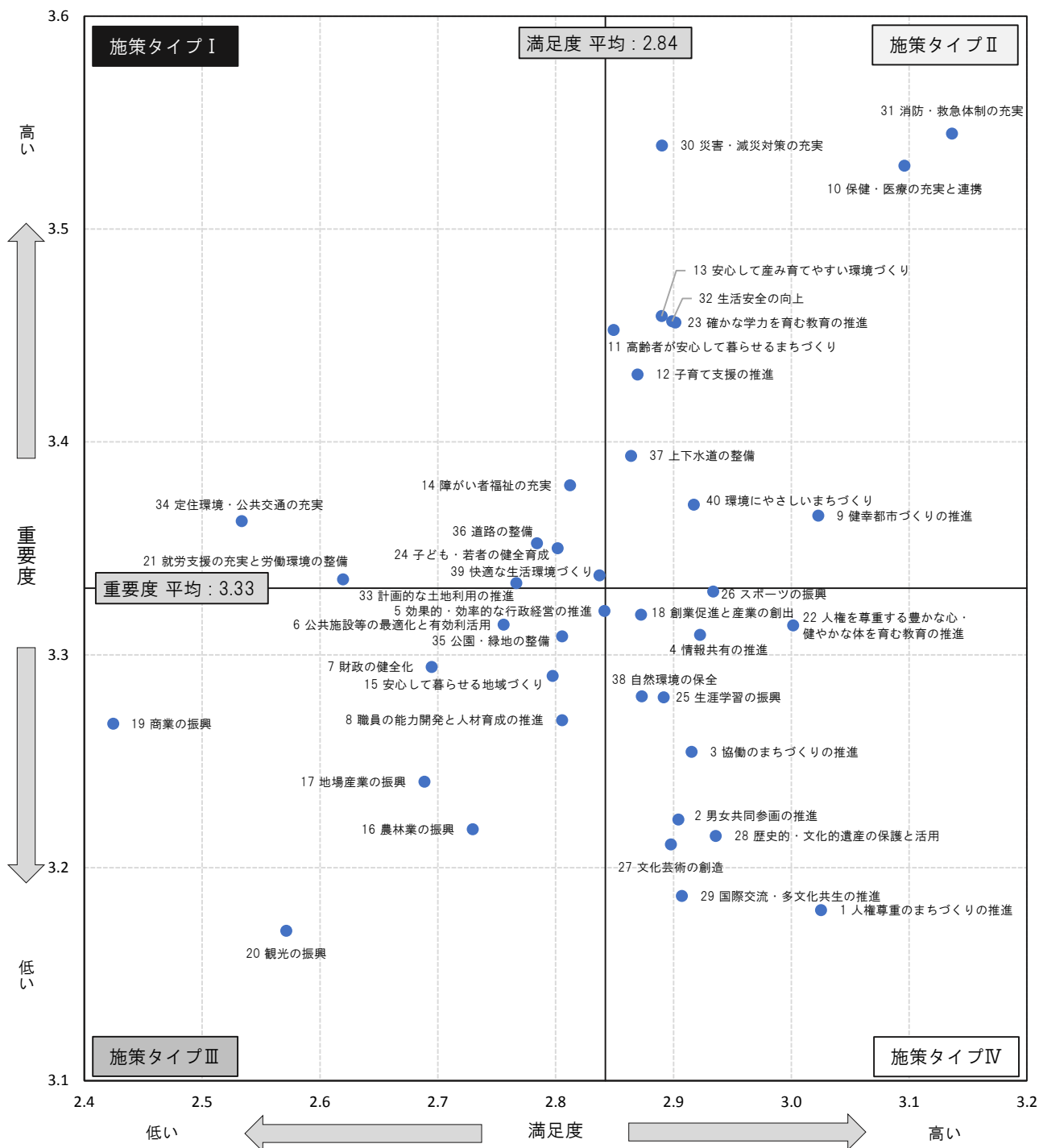
【ポートフォリオ分析による施策タイプの比較（全体・性別）】

		全体	性別		
			男	女	回答しない
1	人権尊重のまちづくりの推進	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
2	男女共同参画の推進	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
3	協働のまちづくりの推進	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
4	情報共有の推進	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅱ
5	効果的・効率的な行政経営の推進	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ
6	公共施設等の最適化と有効利活用	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
7	財政の健全化	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
8	職員の能力開発と人材育成の推進	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
9	健幸都市づくりの推進	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅳ
10	保健・医療の充実と連携	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
11	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ
12	子育て支援の推進	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
13	安心して産み育てやすい環境づくり	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ
14	障がい者福祉の充実	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
15	安心して暮らせる地域づくり	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ
16	農林業の振興	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
17	地場産業の振興	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ
18	創業促進と産業の創出	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅱ
19	商業の振興	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
20	観光の振興	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
21	就労支援の充実と労働環境の整備	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ
22	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	Ⅱ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ
23	確かな学力を育む教育の推進	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
24	子ども・若者の健全育成	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
25	生涯学習の振興	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
26	スポーツの振興	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
27	文化芸術の創造	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
28	歴史的・文化的遺産の保護と活用	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
29	国際交流・多文化共生の推進	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
30	災害・減災対策の充実	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
31	消防・救急体制の充実	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
32	生活安全の向上	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
33	計画的な土地利用の推進	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ
34	定住環境・公共交通の充実	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ
35	公園・緑地の整備	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ
36	道路の整備	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
37	上下水道の整備	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ
38	自然環境の保全	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅲ
39	快適な生活環境づくり	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ
40	環境にやさしいまちづくり	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ

・男性

施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプ I】には、「【34】定住環境・公共交通の充実」など7施策が該当している。なお、40施策のうち満足度が最も低い「【19】商業の振興」は、【施策タイプ III】に入っている。

【ポートフォリオ分析（男性）】



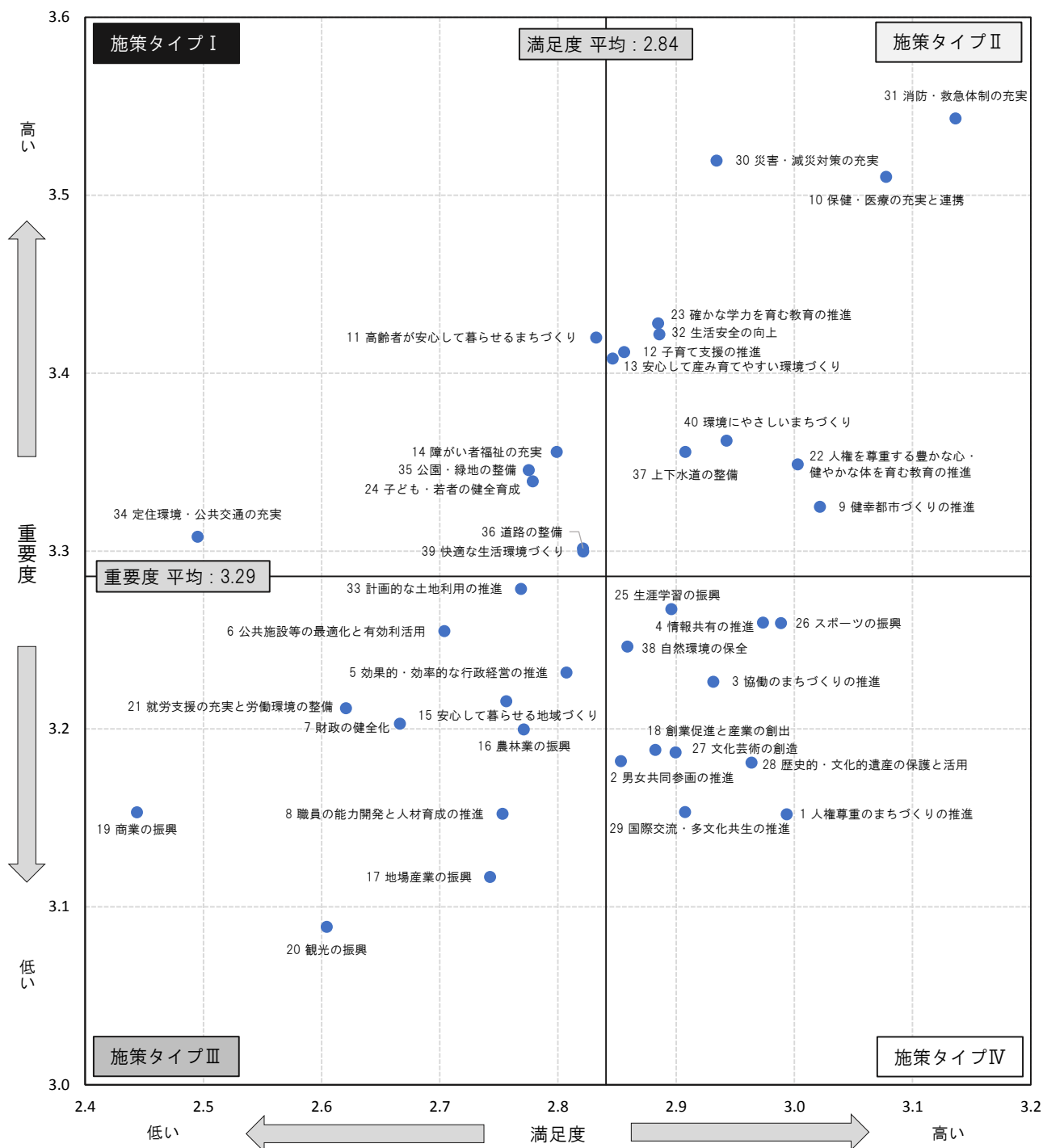
【ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（男性）】

		満足度		重要度		施策 タイプ
		得点	順位	得点	順位	
1	人権尊重のまちづくりの推進	3.03	3	3.18	39	IV
2	男女共同参画の推進	2.90	12	3.22	34	IV
3	協働のまちづくりの推進	2.92	10	3.25	32	IV
4	情報共有の推進	2.92	8	3.31	24	IV
5	効果的・効率的な行政経営の推進	2.84	24	3.32	20	III
6	公共施設等の最適化と有効利活用	2.76	33	3.31	22	III
7	財政の健全化	2.69	35	3.29	26	III
8	職員の能力開発と人材育成の推進	2.81	27	3.27	30	III
9	健幸都市づくりの推進	3.02	4	3.37	12	II
10	保健・医療の充実と連携	3.10	2	3.53	3	II
11	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	2.85	23	3.45	7	II
12	子育て支援の推進	2.87	21	3.43	8	II
13	安心して産み育てやすい環境づくり	2.89	18	3.46	4	II
14	障がい者福祉の充実	2.81	26	3.38	10	I
15	安心して暮らせる地域づくり	2.80	30	3.29	27	III
16	農林業の振興	2.73	34	3.22	35	III
17	地場産業の振興	2.69	36	3.24	33	III
18	創業促進と産業の創出	2.87	20	3.32	21	IV
19	商業の振興	2.42	40	3.27	31	III
20	観光の振興	2.57	38	3.17	40	III
21	就労支援の充実と労働環境の整備	2.62	37	3.34	17	I
22	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	3.00	5	3.31	23	IV
23	確かな学力を育む教育の推進	2.90	13	3.46	6	II
24	子ども・若者の健全育成	2.80	29	3.35	15	I
25	生涯学習の振興	2.89	16	3.28	29	IV
26	スポーツの振興	2.93	7	3.33	19	IV
27	文化芸術の創造	2.90	15	3.21	37	IV
28	歴史的・文化的遺産の保護と活用	2.94	6	3.21	36	IV
29	国際交流・多文化共生の推進	2.91	11	3.19	38	IV
30	災害・減災対策の充実	2.89	17	3.54	2	II
31	消防・救急体制の充実	3.14	1	3.54	1	II
32	生活安全の向上	2.90	14	3.46	5	II
33	計画的な土地利用の推進	2.77	32	3.33	18	I
34	定住環境・公共交通の充実	2.53	39	3.36	13	I
35	公園・緑地の整備	2.81	28	3.31	25	III
36	道路の整備	2.78	31	3.35	14	I
37	上下水道の整備	2.86	22	3.39	9	II
38	自然環境の保全	2.87	19	3.28	28	IV
39	快適な生活環境づくり	2.84	25	3.34	16	I
40	環境にやさしいまちづくり	2.92	9	3.37	11	II
平均値		2.84		3.33		

・女性

施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプ I】には、「【34】定住環境・公共交通の充実」など7施策が該当している。なお、40施策のうち満足度が最も低い「【19】商業の振興」は、【施策タイプ III】に入っている。

【ポートフォリオ分析（女性）】



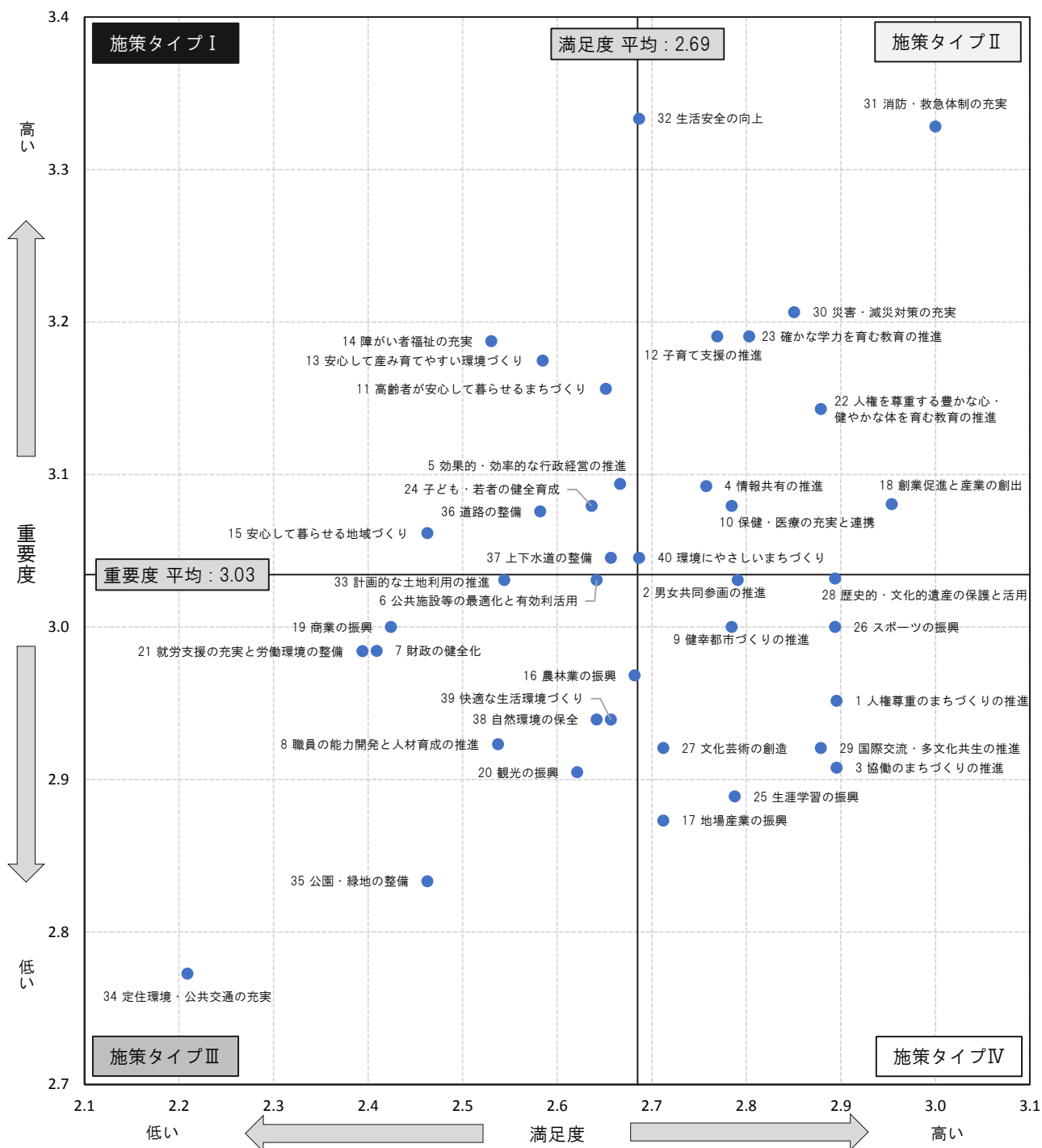
【ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（女性）】

		満足度		重要度		施策 タイプ
		得点	順位	得点	順位	
1	人権尊重のまちづくりの推進	2.99	5	3.15	38	IV
2	男女共同参画の推進	2.85	21	3.18	33	IV
3	協働のまちづくりの推進	2.93	11	3.23	26	IV
4	情報共有の推進	2.97	7	3.26	21	IV
5	効果的・効率的な行政経営の推進	2.81	26	3.23	25	III
6	公共施設等の最適化と有効利活用	2.70	35	3.26	23	III
7	財政の健全化	2.67	36	3.20	29	III
8	職員の能力開発と人材育成の推進	2.75	33	3.15	37	III
9	健幸都市づくりの推進	3.02	3	3.32	15	II
10	保健・医療の充実と連携	3.08	2	3.51	3	II
11	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	2.83	23	3.42	6	I
12	子育て支援の推進	2.86	20	3.41	7	II
13	安心して産み育てやすい環境づくり	2.85	22	3.41	8	II
14	障がい者福祉の充実	2.80	27	3.36	10	I
15	安心して暮らせる地域づくり	2.76	32	3.22	27	III
16	農林業の振興	2.77	30	3.20	30	III
17	地場産業の振興	2.74	34	3.12	39	III
18	創業促進と産業の創出	2.88	18	3.19	31	IV
19	商業の振興	2.44	40	3.15	36	III
20	観光の振興	2.60	38	3.09	40	III
21	就労支援の充実と労働環境の整備	2.62	37	3.21	28	III
22	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	3.00	4	3.35	12	II
23	確かな学力を育む教育の推進	2.88	17	3.43	4	II
24	子ども・若者の健全育成	2.78	28	3.34	14	I
25	生涯学習の振興	2.90	15	3.27	20	IV
26	スポーツの振興	2.99	6	3.26	22	IV
27	文化芸術の創造	2.90	14	3.19	32	IV
28	歴史的・文化的遺産の保護と活用	2.96	8	3.18	34	IV
29	国際交流・多文化共生の推進	2.91	13	3.15	35	IV
30	災害・減災対策の充実	2.93	10	3.52	2	II
31	消防・救急体制の充実	3.14	1	3.54	1	II
32	生活安全の向上	2.89	16	3.42	5	II
33	計画的な土地利用の推進	2.77	31	3.28	19	III
34	定住環境・公共交通の充実	2.50	39	3.31	16	I
35	公園・緑地の整備	2.78	29	3.35	13	I
36	道路の整備	2.82	25	3.30	17	I
37	上下水道の整備	2.91	12	3.36	11	II
38	自然環境の保全	2.86	19	3.25	24	IV
39	快適な生活環境づくり	2.82	24	3.30	18	I
40	環境にやさしいまちづくり	2.94	9	3.36	9	II
平均値		2.84		3.29		

・回答しない

施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプⅠ】には、「【15】安心して暮らせる地域づくり」など8施策が該当している。なお、40施策のうち満足度が最も低い「【34】定住環境・公共交通の充実」は、【施策タイプⅢ】に入っている。

【ポートフォリオ分析（回答しない）】



【ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（回答しない）】

		満足度		重要度		施策 タイプ
		得点	順位	得点	順位	
1	人権尊重のまちづくりの推進	2.90	3	2.95	29	IV
2	男女共同参画の推進	2.79	11	3.03	20	IV
3	協働のまちづくりの推進	2.90	3	2.91	35	IV
4	情報共有の推進	2.76	16	3.09	11	II
5	効果的・効率的な行政経営の推進	2.67	22	3.09	10	I
6	公共施設等の最適化と有効利活用	2.64	26	3.03	20	III
7	財政の健全化	2.41	38	2.98	26	III
8	職員の能力開発と人材育成の推進	2.54	33	2.92	32	III
9	健幸都市づくりの推進	2.78	13	3.00	23	IV
10	保健・医療の充実と連携	2.78	13	3.08	13	II
11	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	2.65	25	3.16	8	I
12	子育て支援の推進	2.77	15	3.19	4	II
13	安心して産み育てやすい環境づくり	2.58	30	3.17	7	I
14	障がい者福祉の充実	2.53	34	3.19	6	I
15	安心して暮らせる地域づくり	2.46	35	3.06	16	I
16	農林業の振興	2.68	21	2.97	28	III
17	地場産業の振興	2.71	17	2.87	38	IV
18	創業促進と産業の創出	2.95	2	3.08	12	II
19	商業の振興	2.42	37	3.00	23	III
20	観光の振興	2.62	29	2.90	36	III
21	就労支援の充実と労働環境の整備	2.39	39	2.98	27	III
22	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	2.88	7	3.14	9	II
23	確かな学力を育む教育の推進	2.80	10	3.19	4	II
24	子ども・若者の健全育成	2.64	28	3.08	13	I
25	生涯学習の振興	2.79	12	2.89	37	IV
26	スポーツの振興	2.89	5	3.00	23	IV
27	文化芸術の創造	2.71	17	2.92	33	IV
28	歴史的・文化的遺産の保護と活用	2.89	5	3.03	19	IV
29	国際交流・多文化共生の推進	2.88	7	2.92	33	IV
30	災害・減災対策の充実	2.85	9	3.21	3	II
31	消防・救急体制の充実	3.00	1	3.33	2	II
32	生活安全の向上	2.69	19	3.33	1	II
33	計画的な土地利用の推進	2.54	32	3.03	20	III
34	定住環境・公共交通の充実	2.21	40	2.77	40	III
35	公園・緑地の整備	2.46	35	2.83	39	III
36	道路の整備	2.58	31	3.08	15	I
37	上下水道の整備	2.66	23	3.05	17	I
38	自然環境の保全	2.64	26	2.94	30	III
39	快適な生活環境づくり	2.66	23	2.94	30	III
40	環境にやさしいまちづくり	2.69	19	3.05	17	II
平均値		2.69		3.03		

③年齢別

年齢別でみると、施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプⅠ】は「60～64歳」が最も多くでは11項目が該当している。また、40施策のうち、「【14】障がい者福祉の充実」及び「【24】子ども・若者の健全育成」は8区分中6区分において【施策タイプⅠ】となっている。

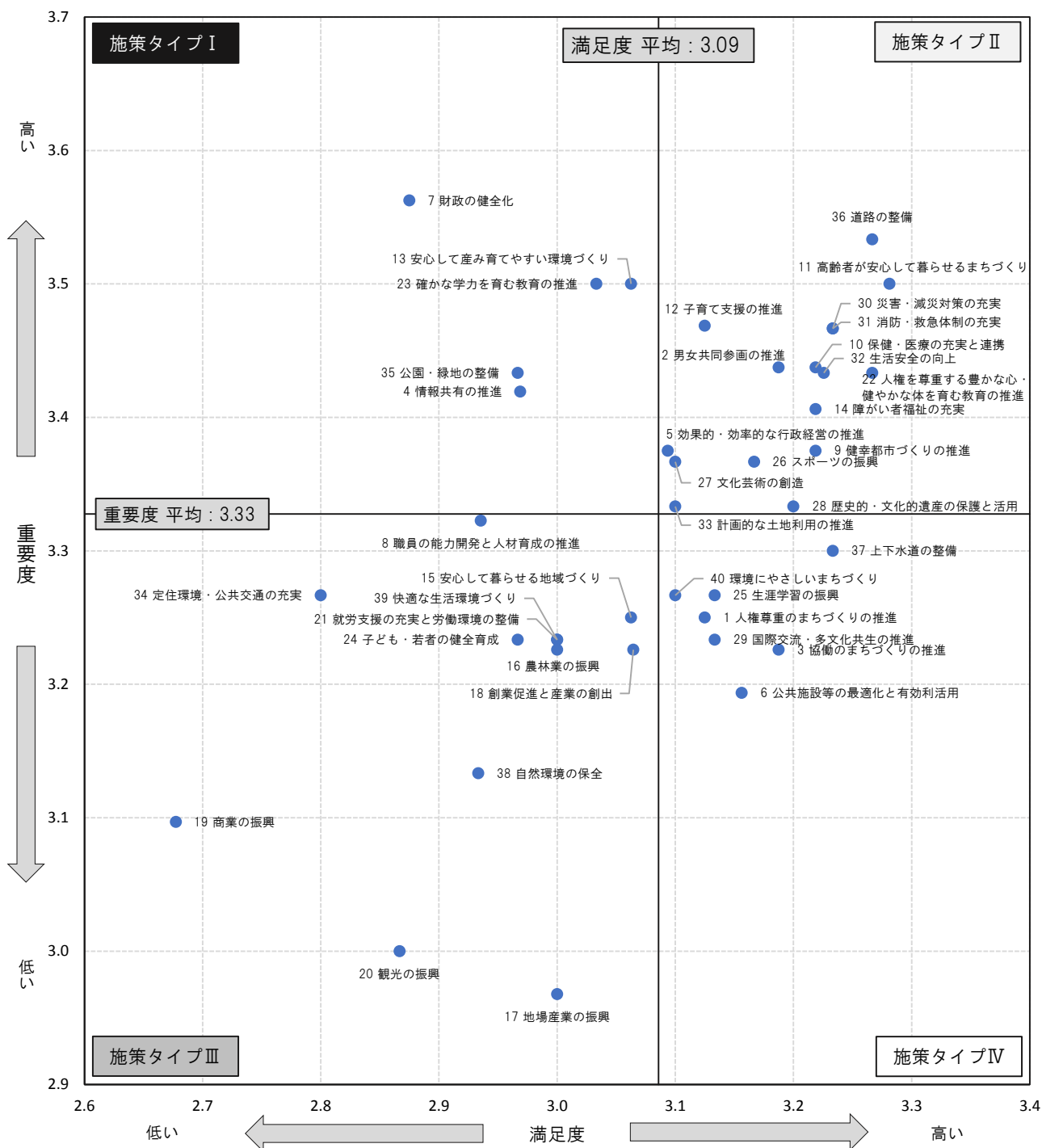
【ポートフォリオ分析による施策タイプの比較（全体・年齢別）】

		全体	年齢別							
			10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～74歳	75歳以上
1	人権尊重のまちづくりの推進	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
2	男女共同参画の推進	Ⅳ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
3	協働のまちづくりの推進	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
4	情報共有の推進	Ⅳ	Ⅰ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
5	効果的・効率的な行政経営の推進	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ
6	公共施設等の最適化と有効利活用	Ⅲ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ
7	財政の健全化	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ
8	職員の能力開発と人材育成の推進	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ
9	健幸都市づくりの推進	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ
10	保健・医療の充実と連携	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
11	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ
12	子育て支援の推進	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
13	安心して産み育てやすい環境づくり	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ
14	障がい者福祉の充実	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
15	安心して暮らせる地域づくり	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
16	農林業の振興	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
17	地場産業の振興	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
18	創業促進と産業の創出	Ⅳ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅱ
19	商業の振興	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
20	観光の振興	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
21	就労支援の充実と労働環境の整備	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ
22	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ
23	確かな学力を育む教育の推進	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
24	子ども・若者の健全育成	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
25	生涯学習の振興	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅳ
26	スポーツの振興	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ
27	文化芸術の創造	Ⅳ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
28	歴史的・文化的遺産の保護と活用	Ⅳ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
29	国際交流・多文化共生の推進	Ⅳ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
30	災害・減災対策の充実	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
31	消防・救急体制の充実	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
32	生活安全の向上	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
33	計画的な土地利用の推進	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
34	定住環境・公共交通の充実	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ
35	公園・緑地の整備	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
36	道路の整備	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ
37	上下水道の整備	Ⅱ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ
38	自然環境の保全	Ⅳ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅲ
39	快適な生活環境づくり	Ⅰ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
40	環境にやさしいまちづくり	Ⅱ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ

・10 歳代

施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプⅠ】には、「【7】財政の健全化」など5施策が該当している。なお、40施策のうち満足度が最も低い「【19】商業の振興」は、【施策タイプⅢ】に入っている。

【ポートフォリオ分析（10歳代）】



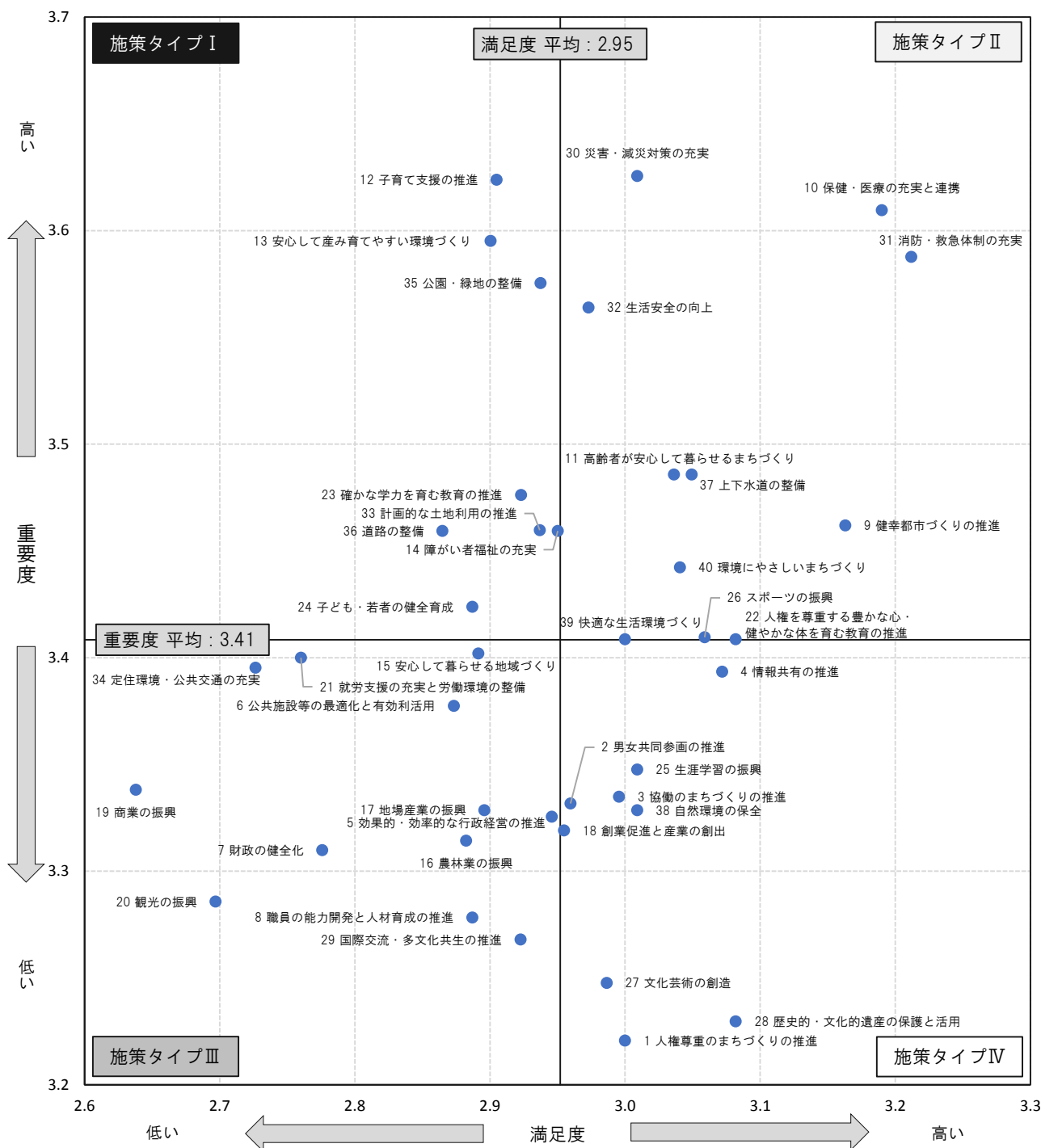
【ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（10歳代）】

		満足度		重要度		施策 タイプ
		得点	順位	得点	順位	
1	人権尊重のまちづくりの推進	3.13	18	3.25	27	IV
2	男女共同参画の推進	3.19	12	3.44	9	II
3	協働のまちづくりの推進	3.19	12	3.23	33	IV
4	情報共有の推進	2.97	32	3.42	14	I
5	効果的・効率的な行政経営の推進	3.09	23	3.38	16	II
6	公共施設等の最適化と有効利活用	3.16	15	3.19	36	IV
7	財政の健全化	2.88	37	3.56	1	I
8	職員の能力開発と人材育成の推進	2.94	35	3.32	22	III
9	健幸都市づくりの推進	3.22	8	3.38	16	II
10	保健・医療の充実と連携	3.22	8	3.44	9	II
11	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	3.28	1	3.50	3	II
12	子育て支援の推進	3.13	18	3.47	6	II
13	安心して産み育てやすい環境づくり	3.06	25	3.50	3	I
14	障がい者福祉の充実	3.22	8	3.41	15	II
15	安心して暮らせる地域づくり	3.06	25	3.25	27	III
16	農林業の振興	3.00	28	3.23	33	III
17	地場産業の振興	3.00	28	2.97	40	III
18	創業促進と産業の創出	3.06	24	3.23	33	III
19	商業の振興	2.68	40	3.10	38	III
20	観光の振興	2.87	38	3.00	39	III
21	就労支援の充実と労働環境の整備	3.00	28	3.23	29	III
22	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	3.27	2	3.43	11	II
23	確かな学力を育む教育の推進	3.03	27	3.50	3	I
24	子ども・若者の健全育成	2.97	33	3.23	29	III
25	生涯学習の振興	3.13	16	3.27	24	IV
26	スポーツの振興	3.17	14	3.37	18	II
27	文化芸術の創造	3.10	20	3.37	18	II
28	歴史的・文化的遺産の保護と活用	3.20	11	3.33	20	II
29	国際交流・多文化共生の推進	3.13	16	3.23	29	IV
30	災害・減災対策の充実	3.23	4	3.47	7	II
31	消防・救急体制の充実	3.23	4	3.47	7	II
32	生活安全の向上	3.23	7	3.43	11	II
33	計画的な土地利用の推進	3.10	20	3.33	20	II
34	定住環境・公共交通の充実	2.80	39	3.27	24	III
35	公園・緑地の整備	2.97	33	3.43	11	I
36	道路の整備	3.27	2	3.53	2	II
37	上下水道の整備	3.23	4	3.30	23	IV
38	自然環境の保全	2.93	36	3.13	37	III
39	快適な生活環境づくり	3.00	28	3.23	29	III
40	環境にやさしいまちづくり	3.10	20	3.27	24	IV
平均値		3.09		3.33		

・20 歳代

施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプⅠ】には、「【36】道路の整備」など8施策が該当している。なお、40施策のうち満足度が最も低い「【19】商業の振興」は、【施策タイプⅢ】に入っている。

【ポートフォリオ分析（20歳代）】



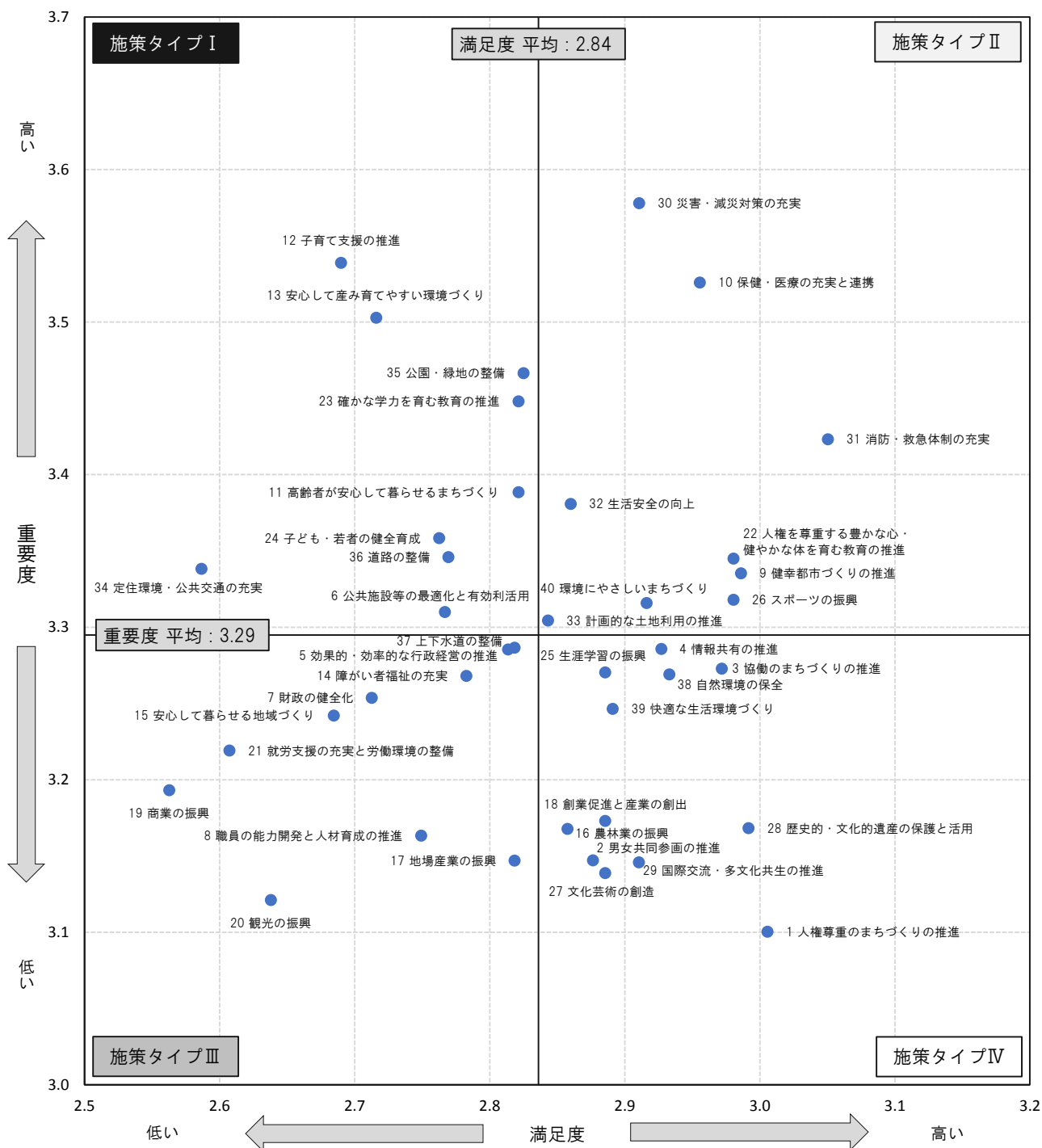
【ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（20歳代）】

		満足度		重要度		施策 タイプ
		得点	順位	得点	順位	
1	人権尊重のまちづくりの推進	3.00	14	3.22	40	IV
2	男女共同参画の推進	2.96	19	3.33	28	IV
3	協働のまちづくりの推進	3.00	16	3.33	27	IV
4	情報共有の推進	3.07	6	3.39	23	IV
5	効果的・効率的な行政経営の推進	2.95	22	3.33	31	III
6	公共施設等の最適化と有効利活用	2.87	34	3.38	24	III
7	財政の健全化	2.78	36	3.31	34	III
8	職員の能力開発と人材育成の推進	2.89	31	3.28	36	III
9	健幸都市づくりの推進	3.16	3	3.46	11	II
10	保健・医療の充実と連携	3.19	2	3.61	3	II
11	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	3.04	10	3.49	8	II
12	子育て支援の推進	2.90	27	3.62	2	I
13	安心して産み育てやすい環境づくり	2.90	28	3.60	4	I
14	障がい者福祉の充実	2.95	21	3.46	13	I
15	安心して暮らせる地域づくり	2.89	30	3.40	20	III
16	農林業の振興	2.88	33	3.31	33	III
17	地場産業の振興	2.90	29	3.33	29	III
18	創業促進と産業の創出	2.95	20	3.32	32	IV
19	商業の振興	2.64	40	3.34	26	III
20	観光の振興	2.70	39	3.29	35	III
21	就労支援の充実と労働環境の整備	2.76	37	3.40	21	III
22	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	3.08	4	3.41	18	II
23	確かな学力を育む教育の推進	2.92	25	3.48	10	I
24	子ども・若者の健全育成	2.89	31	3.42	16	I
25	生涯学習の振興	3.01	11	3.35	25	IV
26	スポーツの振興	3.06	7	3.41	17	II
27	文化芸術の創造	2.99	17	3.25	38	IV
28	歴史的・文化的遺産の保護と活用	3.08	4	3.23	39	IV
29	国際交流・多文化共生の推進	2.92	26	3.27	37	III
30	災害・減災対策の充実	3.01	12	3.63	1	II
31	消防・救急体制の充実	3.21	1	3.59	5	II
32	生活安全の向上	2.97	18	3.56	7	II
33	計画的な土地利用の推進	2.94	24	3.46	12	I
34	定住環境・公共交通の充実	2.73	38	3.40	22	III
35	公園・緑地の整備	2.94	23	3.58	6	I
36	道路の整備	2.86	35	3.46	13	I
37	上下水道の整備	3.05	8	3.49	8	II
38	自然環境の保全	3.01	12	3.33	30	IV
39	快適な生活環境づくり	3.00	14	3.41	18	II
40	環境にやさしいまちづくり	3.04	9	3.44	15	II
平均値		2.95		3.41		

・30 歳代

施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプ I】には、「【34】定住環境・公共交通の充実」など 9 施策が該当している。なお、40 施策のうち満足度が最も低い「【19】商業の振興」は、【施策タイプ III】に入っている。

【ポートフォリオ分析 (30 歳代)】



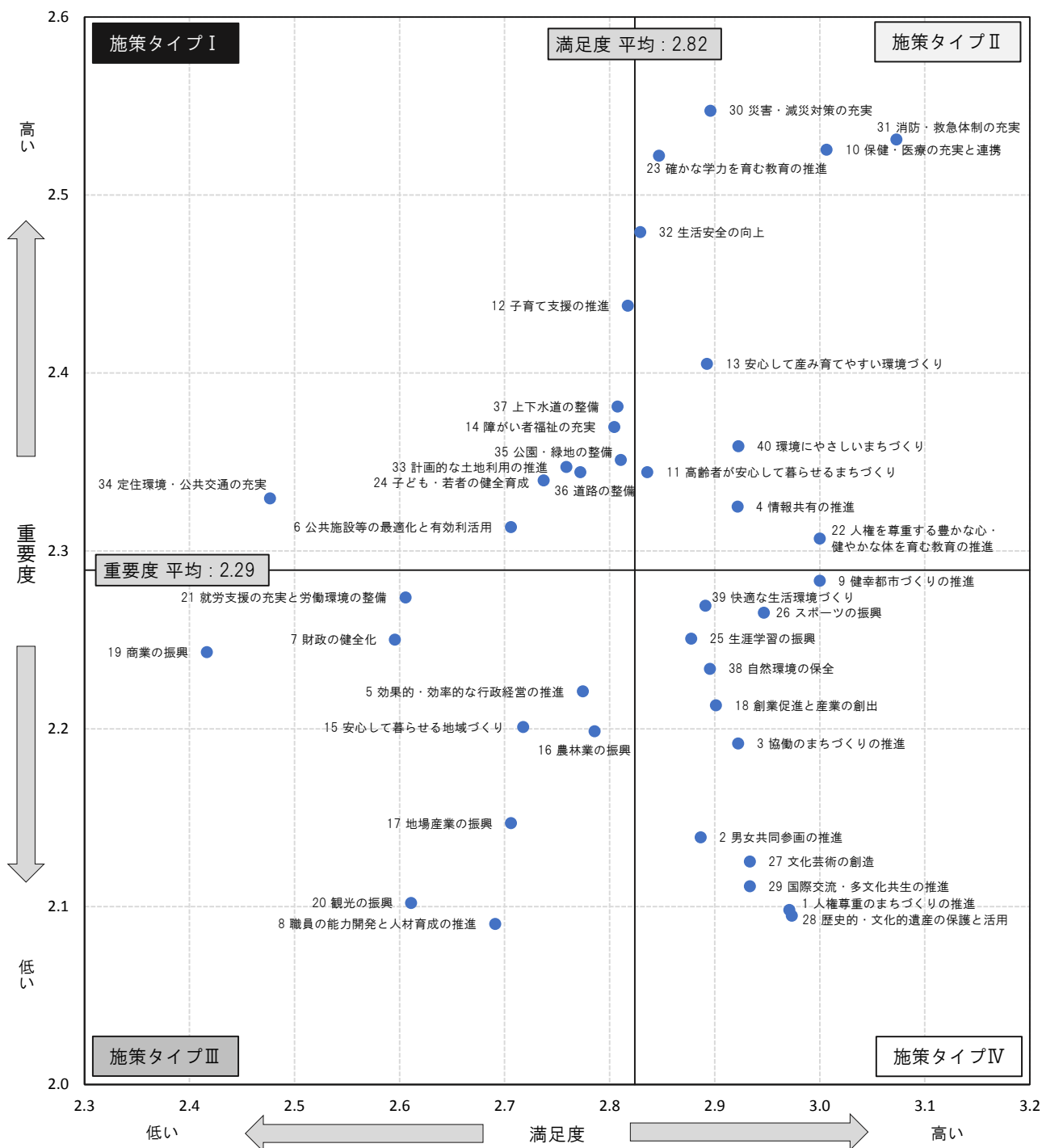
【ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（30歳代）】

		満足度		重要度		施策 タイプ
		得点	順位	得点	順位	
1	人権尊重のまちづくりの推進	3.01	2	3.10	40	IV
2	男女共同参画の推進	2.88	18	3.15	35	IV
3	協働のまちづくりの推進	2.97	7	3.27	22	IV
4	情報共有の推進	2.93	10	3.29	20	IV
5	効果的・効率的な行政経営の推進	2.81	27	3.29	21	III
6	公共施設等の最適化と有効利活用	2.77	30	3.31	17	I
7	財政の健全化	2.71	34	3.25	26	III
8	職員の能力開発と人材育成の推進	2.75	32	3.16	34	III
9	健幸都市づくりの推進	2.99	4	3.34	14	II
10	保健・医療の充実と連携	2.96	8	3.53	3	II
11	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	2.82	23	3.39	8	I
12	子育て支援の推進	2.69	35	3.54	2	I
13	安心して産み育てやすい環境づくり	2.72	33	3.50	4	I
14	障がい者福祉の充実	2.78	28	3.27	25	III
15	安心して暮らせる地域づくり	2.68	36	3.24	28	III
16	農林業の振興	2.86	20	3.17	33	IV
17	地場産業の振興	2.82	25	3.15	36	III
18	創業促進と産業の創出	2.89	15	3.17	31	IV
19	商業の振興	2.56	40	3.19	30	III
20	観光の振興	2.64	37	3.12	39	III
21	就労支援の充実と労働環境の整備	2.61	38	3.22	29	III
22	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	2.98	6	3.34	12	II
23	確かな学力を育む教育の推進	2.82	23	3.45	6	I
24	子ども・若者の健全育成	2.76	31	3.36	10	I
25	生涯学習の振興	2.89	15	3.27	23	IV
26	スポーツの振興	2.98	5	3.32	15	II
27	文化芸術の創造	2.89	15	3.14	38	IV
28	歴史的・文化的遺産の保護と活用	2.99	3	3.17	32	IV
29	国際交流・多文化共生の推進	2.91	13	3.15	37	IV
30	災害・減災対策の充実	2.91	12	3.58	1	II
31	消防・救急体制の充実	3.05	1	3.42	7	II
32	生活安全の向上	2.86	19	3.38	9	II
33	計画的な土地利用の推進	2.84	21	3.30	18	II
34	定住環境・公共交通の充実	2.59	39	3.34	13	I
35	公園・緑地の整備	2.83	22	3.47	5	I
36	道路の整備	2.77	29	3.35	11	I
37	上下水道の整備	2.82	25	3.29	19	III
38	自然環境の保全	2.93	9	3.27	24	IV
39	快適な生活環境づくり	2.89	14	3.25	27	IV
40	環境にやさしいまちづくり	2.92	11	3.32	16	II
平均値		2.84		3.29		

・40 歳代

施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプ I】には、「【34】定住環境・公共交通の充実」など 9 施策が該当している。なお、40 施策のうち満足度が最も低い「【19】商業の振興」は、【施策タイプ III】に入っている。

【ポートフォリオ分析（40 歳代）】



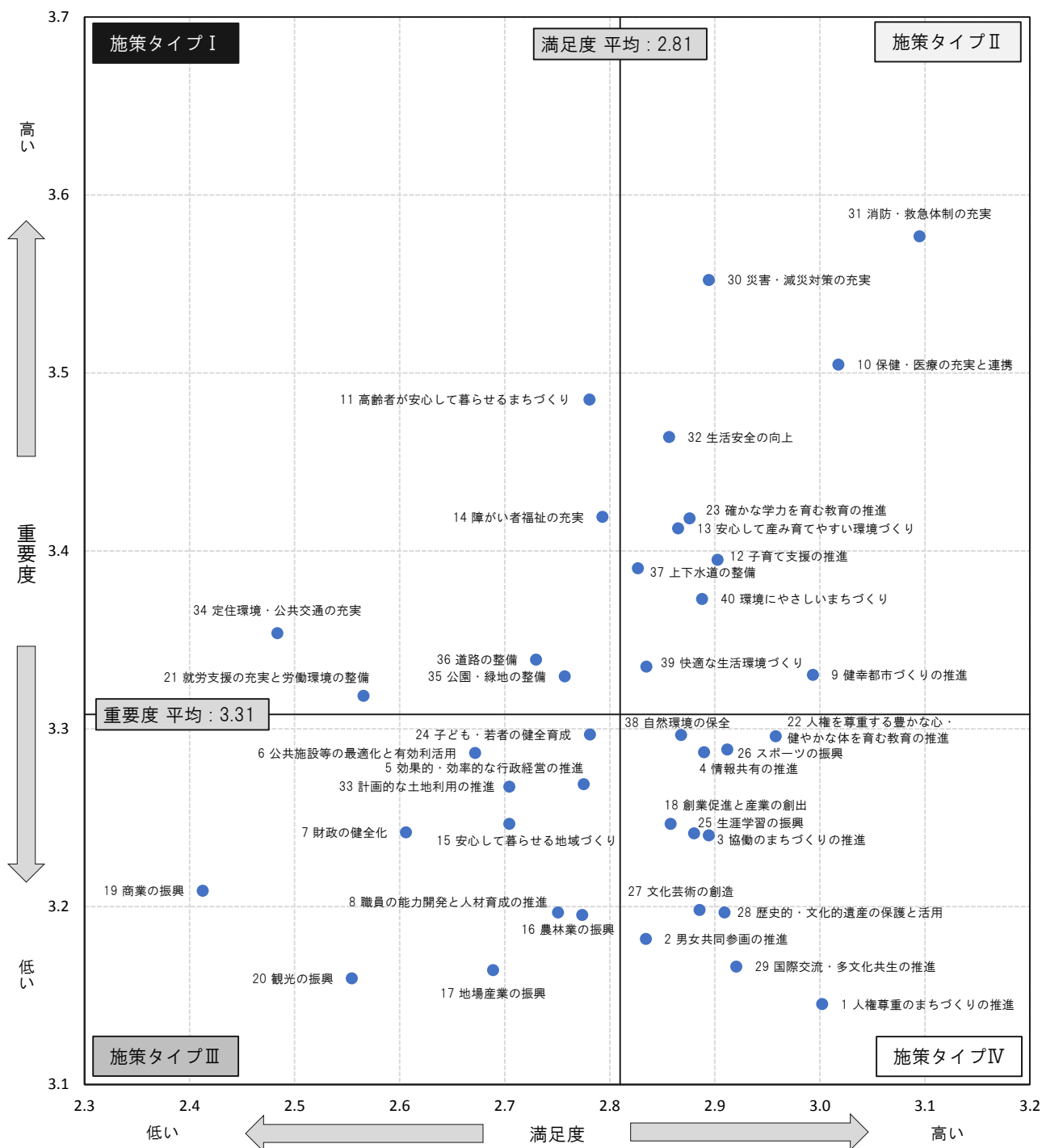
【ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（40歳代）】

		満足度		重要度		施策 タイプ
		得点	順位	得点	順位	
1	人権尊重のまちづくりの推進	2.97	6	2.10	38	IV
2	男女共同参画の推進	2.89	18	2.14	34	IV
3	協働のまちづくりの推進	2.92	11	2.19	32	IV
4	情報共有の推進	2.92	12	2.32	17	II
5	効果的・効率的な行政経営の推進	2.77	28	2.22	28	III
6	公共施設等の最適化と有効利活用	2.71	33	2.31	18	I
7	財政の健全化	2.60	38	2.25	25	III
8	職員の能力開発と人材育成の推進	2.69	35	2.09	40	III
9	健幸都市づくりの推進	3.00	3	2.28	20	IV
10	保健・医療の充実と連携	3.01	2	2.53	3	II
11	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	2.84	21	2.34	13	II
12	子育て支援の推進	2.82	23	2.44	6	I
13	安心して産み育てやすい環境づくり	2.89	16	2.41	7	II
14	障がい者福祉の充実	2.80	26	2.37	9	I
15	安心して暮らせる地域づくり	2.72	32	2.20	30	III
16	農林業の振興	2.79	27	2.20	31	III
17	地場産業の振興	2.71	33	2.15	33	III
18	創業促進と産業の創出	2.90	13	2.21	29	IV
19	商業の振興	2.42	40	2.24	26	III
20	観光の振興	2.61	36	2.10	37	III
21	就労支援の充実と労働環境の整備	2.61	37	2.27	21	III
22	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	3.00	3	2.31	19	II
23	確かな学力を育む教育の推進	2.85	20	2.52	4	II
24	子ども・若者の健全育成	2.74	31	2.34	15	I
25	生涯学習の振興	2.88	19	2.25	24	IV
26	スポーツの振興	2.95	7	2.27	23	IV
27	文化芸術の創造	2.93	8	2.13	35	IV
28	歴史的・文化的遺産の保護と活用	2.97	5	2.09	39	IV
29	国際交流・多文化共生の推進	2.93	9	2.11	36	IV
30	災害・減災対策の充実	2.90	14	2.55	1	II
31	消防・救急体制の充実	3.07	1	2.53	2	II
32	生活安全の向上	2.83	22	2.48	5	II
33	計画的な土地利用の推進	2.76	30	2.35	12	I
34	定住環境・公共交通の充実	2.48	39	2.33	16	I
35	公園・緑地の整備	2.81	24	2.35	11	I
36	道路の整備	2.77	29	2.34	13	I
37	上下水道の整備	2.81	25	2.38	8	I
38	自然環境の保全	2.90	15	2.23	27	IV
39	快適な生活環境づくり	2.89	17	2.27	22	IV
40	環境にやさしいまちづくり	2.92	10	2.36	10	II
平均値		2.82		2.29		

・50 歳代

施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプ I】には、「【34】定住環境・公共交通の充実」など 6 施策が該当している。なお、40 施策のうち満足度が最も低い「【19】商業の振興」は、【施策タイプ III】に入っている。

【ポートフォリオ分析 (50 歳代)】



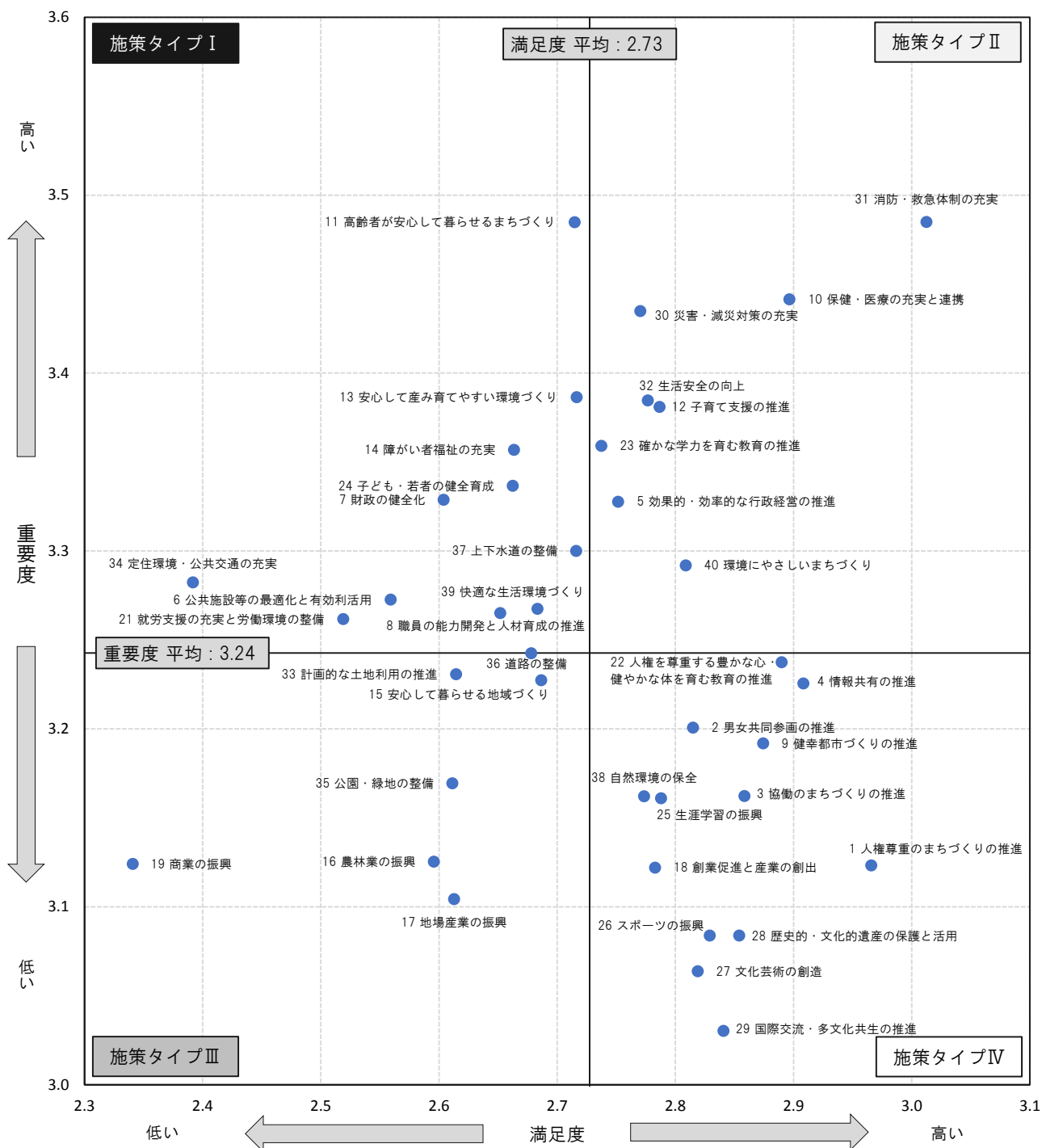
【ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（50歳代）】

		満足度		重要度		施策 タイプ
		得点	順位	得点	順位	
1	人権尊重のまちづくりの推進	3.00	3	3.15	40	IV
2	男女共同参画の推進	2.83	22	3.18	36	IV
3	協働のまちづくりの推進	2.89	10	3.24	30	IV
4	情報共有の推進	2.89	12	3.29	22	IV
5	効果的・効率的な行政経営の推進	2.78	27	3.27	24	III
6	公共施設等の最適化と有効利活用	2.67	35	3.29	23	III
7	財政の健全化	2.61	36	3.24	28	III
8	職員の能力開発と人材育成の推進	2.75	30	3.20	33	III
9	健幸都市づくりの推進	2.99	4	3.33	15	II
10	保健・医療の充実と連携	3.02	2	3.50	3	II
11	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	2.78	26	3.48	4	I
12	子育て支援の推進	2.90	9	3.39	9	II
13	安心して産み育てやすい環境づくり	2.87	18	3.41	8	II
14	障がい者福祉の充実	2.79	24	3.42	6	I
15	安心して暮らせる地域づくり	2.70	32	3.25	26	III
16	農林業の振興	2.77	28	3.20	35	III
17	地場産業の振興	2.69	34	3.16	38	III
18	創業促進と産業の創出	2.86	19	3.25	27	IV
19	商業の振興	2.41	40	3.21	31	III
20	観光の振興	2.55	38	3.16	39	III
21	就労支援の充実と労働環境の整備	2.57	37	3.32	17	I
22	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	2.96	5	3.30	20	IV
23	確かな学力を育む教育の推進	2.88	16	3.42	7	II
24	子ども・若者の健全育成	2.78	25	3.30	18	III
25	生涯学習の振興	2.88	15	3.24	29	IV
26	スポーツの振興	2.91	7	3.29	21	IV
27	文化芸術の創造	2.89	14	3.20	32	IV
28	歴史的・文化的遺産の保護と活用	2.91	8	3.20	33	IV
29	国際交流・多文化共生の推進	2.92	6	3.17	37	IV
30	災害・減災対策の充実	2.89	10	3.55	2	II
31	消防・救急体制の充実	3.09	1	3.58	1	II
32	生活安全の向上	2.86	20	3.46	5	II
33	計画的な土地利用の推進	2.70	32	3.27	25	III
34	定住環境・公共交通の充実	2.48	39	3.35	12	I
35	公園・緑地の整備	2.76	29	3.33	16	I
36	道路の整備	2.73	31	3.34	13	I
37	上下水道の整備	2.83	23	3.39	10	II
38	自然環境の保全	2.87	17	3.30	19	IV
39	快適な生活環境づくり	2.83	21	3.33	14	II
40	環境にやさしいまちづくり	2.89	13	3.37	11	II
平均値		2.81		3.31		

・60～64歳

施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプⅠ】には、「【34】定住環境・公共交通の充実」など11施策が該当している。なお、40施策のうち満足度が最も低い「【19】商業の振興」は、【施策タイプⅢ】に入っている。

【ポートフォリオ分析（60～64歳）】



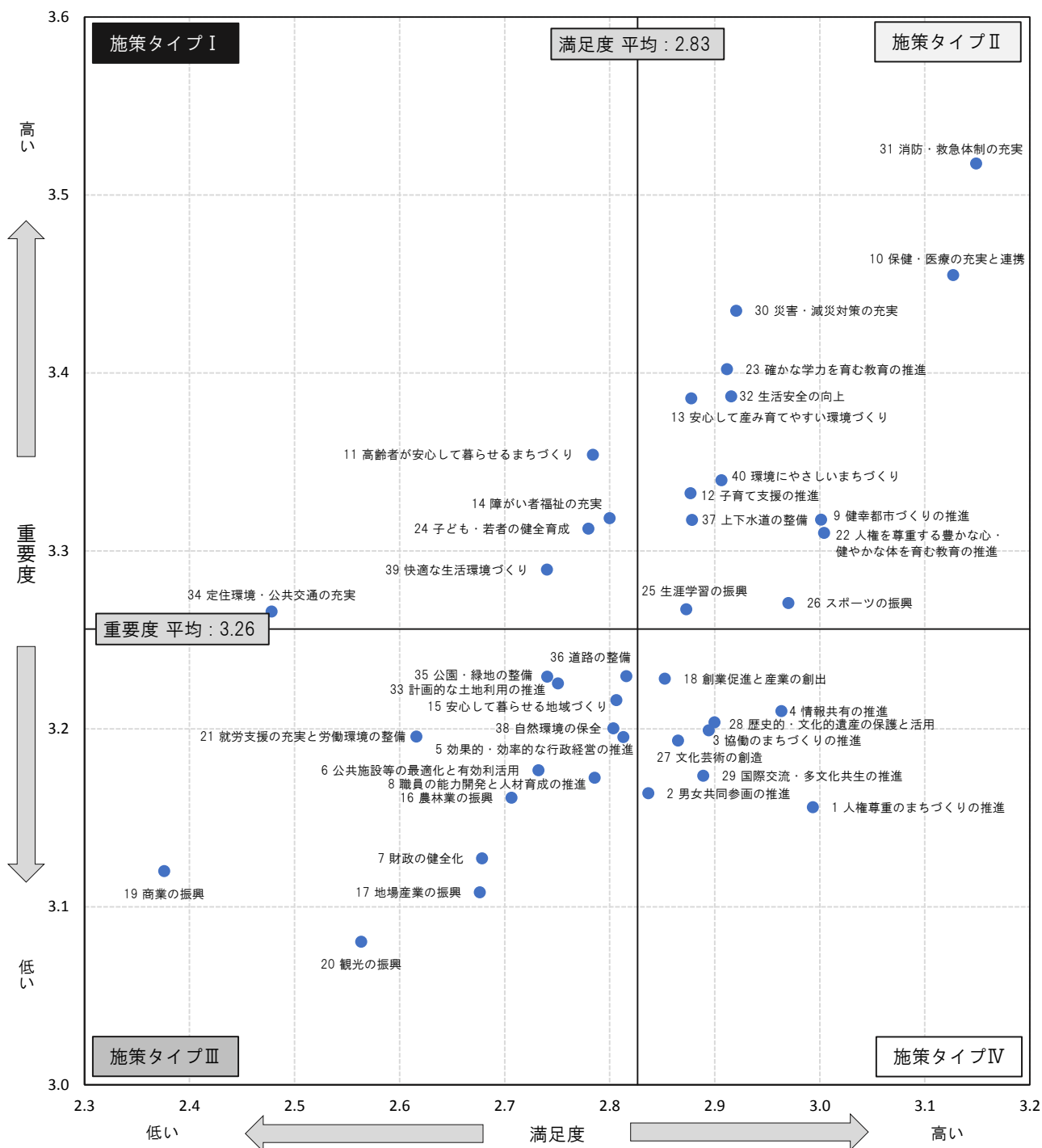
【ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（60～64歳）】

		満足度		重要度		施策 タイプ
		得点	順位	得点	順位	
1	人権尊重のまちづくりの推進	2.97	2	3.12	33	IV
2	男女共同参画の推進	2.82	12	3.20	25	IV
3	協働のまちづくりの推進	2.86	7	3.16	28	IV
4	情報共有の推進	2.91	3	3.23	24	IV
5	効果的・効率的な行政経営の推進	2.75	20	3.33	12	II
6	公共施設等の最適化と有効利活用	2.56	36	3.27	16	I
7	財政の健全化	2.60	34	3.33	11	I
8	職員の能力開発と人材育成の推進	2.65	30	3.27	18	I
9	健幸都市づくりの推進	2.87	6	3.19	26	IV
10	保健・医療の充実と連携	2.90	4	3.44	3	II
11	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	2.71	24	3.48	2	I
12	子育て支援の推進	2.79	15	3.38	7	II
13	安心して産み育てやすい環境づくり	2.72	22	3.39	5	I
14	障がい者福祉の充実	2.66	28	3.36	9	I
15	安心して暮らせる地域づくり	2.69	25	3.23	23	III
16	農林業の振興	2.60	35	3.13	31	III
17	地場産業の振興	2.61	32	3.10	35	III
18	創業促進と産業の創出	2.78	16	3.12	34	IV
19	商業の振興	2.34	40	3.12	32	III
20	観光の振興	2.53	37	2.99	40	III
21	就労支援の充実と労働環境の整備	2.52	38	3.26	19	I
22	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	2.89	5	3.24	21	IV
23	確かな学力を育む教育の推進	2.74	21	3.36	8	II
24	子ども・若者の健全育成	2.66	29	3.34	10	I
25	生涯学習の振興	2.79	14	3.16	30	IV
26	スポーツの振興	2.83	10	3.08	36	IV
27	文化芸術の創造	2.82	11	3.06	38	IV
28	歴史的・文化的遺産の保護と活用	2.85	8	3.08	36	IV
29	国際交流・多文化共生の推進	2.84	9	3.03	39	IV
30	災害・減災対策の充実	2.77	19	3.43	4	II
31	消防・救急体制の充実	3.01	1	3.48	1	II
32	生活安全の向上	2.78	17	3.38	6	II
33	計画的な土地利用の推進	2.61	31	3.23	22	III
34	定住環境・公共交通の充実	2.39	39	3.28	15	I
35	公園・緑地の整備	2.61	33	3.17	27	III
36	道路の整備	2.68	27	3.24	20	III
37	上下水道の整備	2.72	23	3.30	13	I
38	自然環境の保全	2.77	18	3.16	29	IV
39	快適な生活環境づくり	2.68	26	3.27	17	I
40	環境にやさしいまちづくり	2.81	13	3.29	14	II
平均値		2.73		3.24		

・65～74 歳

施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプ I】には、「【34】定住環境・公共交通の充実」など 5 施策が該当している。なお、40 施策のうち満足度が最も低い「【19】商業の振興」は、【施策タイプ III】に入っている。

【ポートフォリオ分析（65～74 歳）】



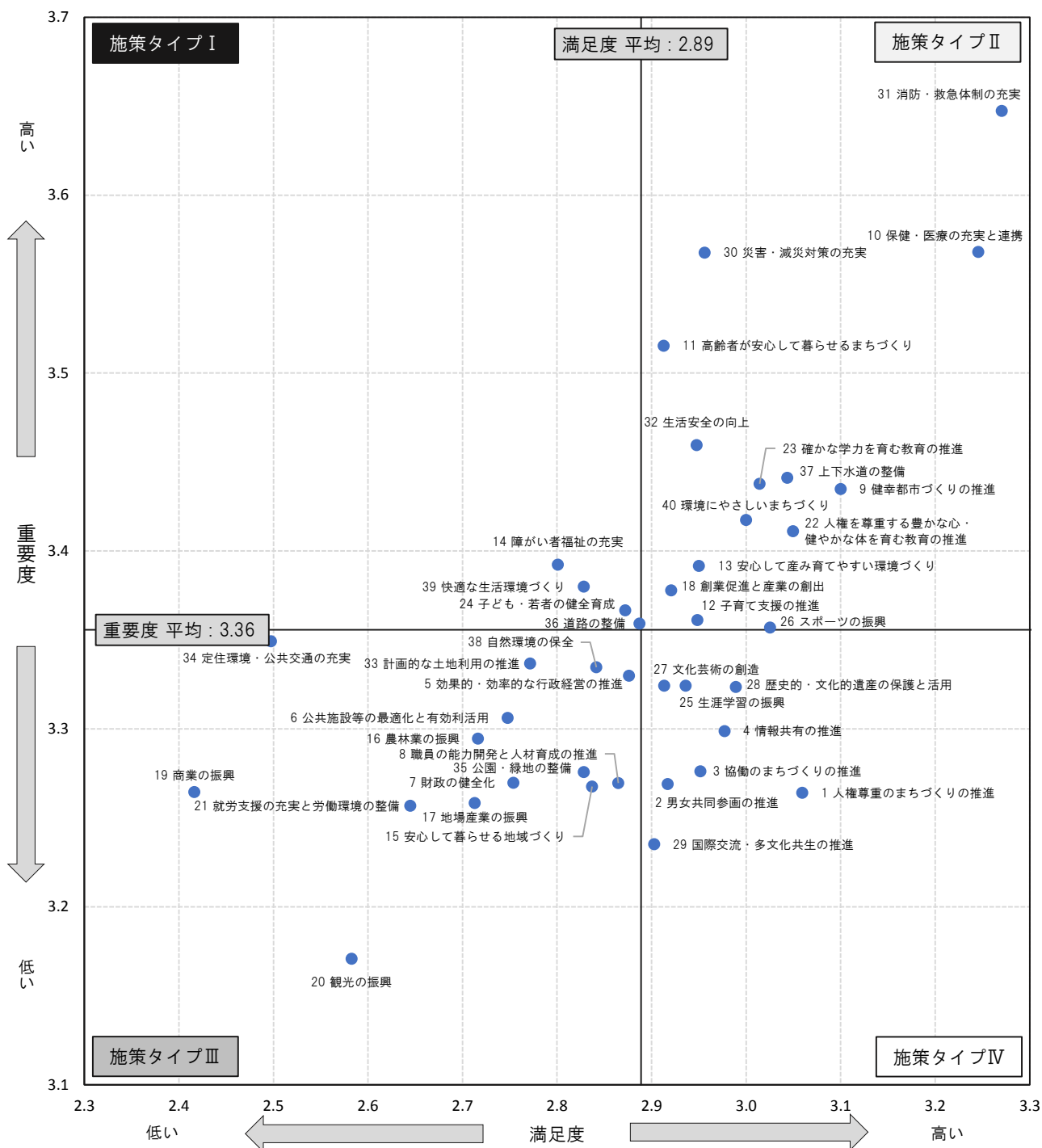
【ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（65～74歳）】

		満足度		重要度		施策 タイプ
		得点	順位	得点	順位	
1	人権尊重のまちづくりの推進	2.99	5	3.16	36	IV
2	男女共同参画の推進	2.84	21	3.16	34	IV
3	協働のまちづくりの推進	2.89	13	3.20	27	IV
4	情報共有の推進	2.96	7	3.21	24	IV
5	効果的・効率的な行政経営の推進	2.81	23	3.20	29	III
6	公共施設等の最適化と有効利活用	2.73	33	3.18	31	III
7	財政の健全化	2.68	35	3.13	37	III
8	職員の能力開発と人材育成の推進	2.79	27	3.17	33	III
9	健幸都市づくりの推進	3.00	4	3.32	11	II
10	保健・医療の充実と連携	3.13	2	3.45	2	II
11	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	2.78	28	3.35	7	I
12	子育て支援の推進	2.88	17	3.33	9	II
13	安心して産み育てやすい環境づくり	2.88	16	3.39	6	II
14	障がい者福祉の充実	2.80	26	3.32	10	I
15	安心して暮らせる地域づくり	2.81	24	3.22	23	III
16	農林業の振興	2.71	34	3.16	35	III
17	地場産業の振興	2.68	36	3.11	39	III
18	創業促進と産業の創出	2.85	20	3.23	21	IV
19	商業の振興	2.38	40	3.12	38	III
20	観光の振興	2.56	38	3.08	40	III
21	就労支援の充実と労働環境の整備	2.62	37	3.20	28	III
22	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	3.00	3	3.31	14	II
23	確かな学力を育む教育の推進	2.91	10	3.40	4	II
24	子ども・若者の健全育成	2.78	29	3.31	13	I
25	生涯学習の振興	2.87	18	3.27	17	II
26	スポーツの振興	2.97	6	3.27	16	II
27	文化芸術の創造	2.86	19	3.19	30	IV
28	歴史的・文化的遺産の保護と活用	2.90	12	3.20	25	IV
29	国際交流・多文化共生の推進	2.89	14	3.17	32	IV
30	災害・減災対策の充実	2.92	8	3.43	3	II
31	消防・救急体制の充実	3.15	1	3.52	1	II
32	生活安全の向上	2.92	9	3.39	5	II
33	計画的な土地利用の推進	2.75	30	3.23	22	III
34	定住環境・公共交通の充実	2.48	39	3.27	18	I
35	公園・緑地の整備	2.74	31	3.23	20	III
36	道路の整備	2.82	22	3.23	19	III
37	上下水道の整備	2.88	15	3.32	12	II
38	自然環境の保全	2.80	25	3.20	26	III
39	快適な生活環境づくり	2.74	32	3.29	15	I
40	環境にやさしいまちづくり	2.91	11	3.34	8	II
平均値		2.83		3.26		

・75歳以上

施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプⅠ】には、「【14】障がい者福祉の充実」など4施策が該当している。なお、40施策のうち満足度が最も低い「【19】商業の振興」は、【施策タイプⅢ】に入っている。

【ポートフォリオ分析（75歳以上）】



【ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（75歳以上）】

		満足度		重要度		施策 タイプ
		得点	順位	得点	順位	
1	人権尊重のまちづくりの推進	3.06	4	3.26	36	IV
2	男女共同参画の推進	2.92	19	3.27	33	IV
3	協働のまちづくりの推進	2.95	13	3.28	29	IV
4	情報共有の推進	2.98	11	3.30	27	IV
5	効果的・効率的な行政経営の推進	2.88	24	3.33	22	III
6	公共施設等の最適化と有効利活用	2.75	34	3.31	26	III
7	財政の健全化	2.75	33	3.27	31	III
8	職員の能力開発と人材育成の推進	2.86	26	3.27	32	III
9	健幸都市づくりの推進	3.10	3	3.43	8	II
10	保健・医療の充実と連携	3.25	2	3.57	2	II
11	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	2.91	21	3.52	4	II
12	子育て支援の推進	2.95	15	3.36	16	II
13	安心して産み育てやすい環境づくり	2.95	14	3.39	12	II
14	障がい者福祉の充実	2.80	31	3.39	11	I
15	安心して暮らせる地域づくり	2.84	28	3.27	34	III
16	農林業の振興	2.72	35	3.29	28	III
17	地場産業の振興	2.71	36	3.26	37	III
18	創業促進と産業の創出	2.92	18	3.38	14	II
19	商業の振興	2.42	40	3.26	35	III
20	観光の振興	2.58	38	3.17	40	III
21	就労支援の充実と労働環境の整備	2.64	37	3.26	38	III
22	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	3.05	5	3.41	10	II
23	確かな学力を育む教育の推進	3.01	8	3.44	7	II
24	子ども・若者の健全育成	2.87	25	3.37	15	I
25	生涯学習の振興	2.94	17	3.32	23	IV
26	スポーツの振興	3.03	7	3.36	18	II
27	文化芸術の創造	2.91	20	3.32	23	IV
28	歴史的・文化的遺産の保護と活用	2.99	10	3.32	25	IV
29	国際交流・多文化共生の推進	2.90	22	3.24	39	IV
30	災害・減災対策の充実	2.96	12	3.57	3	II
31	消防・救急体制の充実	3.27	1	3.65	1	II
32	生活安全の向上	2.95	16	3.46	5	II
33	計画的な土地利用の推進	2.77	32	3.34	20	III
34	定住環境・公共交通の充実	2.50	39	3.35	19	III
35	公園・緑地の整備	2.83	30	3.28	30	III
36	道路の整備	2.89	23	3.36	17	I
37	上下水道の整備	3.04	6	3.44	6	II
38	自然環境の保全	2.84	27	3.33	21	III
39	快適な生活環境づくり	2.83	29	3.38	13	I
40	環境にやさしいまちづくり	3.00	9	3.42	9	II
平均値		2.89		3.36		

(4) 施策項目の対策必要度

施策項目の優先性を検討する資料として、現状の「不満度」と「重要度」を乗じた値の大小により、対策必要度を算出し優先順位をつけた。

- ・「不満度」：ポートフォリオ分析の「満足度」が低いほど得点が高くなるようにした。
- ・「重要度」：ポートフォリオ分析と同様の値を用いた。

この2つの値を乗じた値が大きいものを「対策必要度」とし、不満や重要度の大きい項目の値が高くなるように設定している。

■対策必要度の算出方法

対策必要度	=	不満度		×	重要度	
		満足	1点		高い	5点
		やや満足	2点		やや高い	4点
		ふつう	3点		ふつう	3点
		やや不満	4点		やや低い	2点
		不満	5点		低い	1点

対策必要度の高い施策としては、「【34】定住環境・公共交通の充実」、「【19】「商業の振興」、「【21】就労支援の充実と労働環境の整備」、「【30】災害・減災対策の充実」、「【11】高齢者が安心して暮らせるまちづくり」が上位5項目となっている。

一方、対策必要度の低い施策項目をみると、「【1】人権尊重のまちづくりの推進」、「【28】歴史的・文化的遺産の保護と活用」、「【29】国際交流・多文化共生の推進」、「【27】文化芸術の創造」、「【9】健幸都市づくりの推進」が下位5項目となっている。

【対策必要度（全体）】

項目	対策必要度	
	得点	順位
1 人権尊重のまちづくりの推進	9.47	40
2 男女共同参画の推進	10.00	32
3 協働のまちづくりの推進	9.95	35
4 情報共有の推進	10.01	31
5 効果的・効率的な行政経営の推進	10.41	21
6 公共施設等の最適化と有効活用	10.73	10
7 財政の健全化	10.77	6
8 職員の能力開発と人材育成の推進	10.33	24
9 健幸都市づくりの推進	9.95	36
10 保健・医療の充実と連携	10.25	26
11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	10.85	5
12 子育て支援の推進	10.73	9
13 安心して産み育てやすい環境づくり	10.75	8
14 障がい者福祉の充実	10.77	7
15 安心して暮らせる地域づくり	10.49	19
16 農林業の振興	10.40	22
17 地場産業の振興	10.39	23
18 創業促進と産業の創出	10.12	30
19 商業の振興	11.41	2
20 観光の振興	10.64	16
21 就労支援の充実と労働環境の整備	11.04	3
22 人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	9.99	33
23 確かな学力を育む教育の推進	10.68	13
24 子ども・若者の健全育成	10.73	11
25 生涯学習の振興	10.15	28
26 スポーツの振興	9.97	34
27 文化芸術の創造	9.91	37
28 歴史的・文化的遺産の保護と活用	9.75	39
29 国際交流・多文化共生の推進	9.79	38
30 災害・減災対策の充実	10.87	4
31 消防・救急体制の充実	10.14	29
32 生活安全の向上	10.69	12
33 計画的な土地利用の推進	10.67	15
34 定住環境・公共交通の充実	11.60	1
35 公園・緑地の整備	10.68	14
36 道路の整備	10.62	17
37 上下水道の整備	10.48	20
38 自然環境の保全	10.21	27
39 快適な生活環境づくり	10.50	18
40 環境にやさしいまちづくり	10.32	25
平均値	10.44	

対策必要度の高い施策上位 10 項目を地区別でみると、すべての地区で「【34】定住環境・公共交通の充実」は 1 位か 2 位となっている。同様に、穂波地区を除く地区で「【19】「商業の振興」は 1 位か 2 位となっているが、穂波地区では 3 位となっている。

【施策項目の上位 10 位（全体・地区別）】

	全体	地区別											
		二瀬地区	幸袋地区	鎮西地区	菰田地区	立岩地区	飯塚東地区	飯塚・片島地区	鯉田地区	穂波地区	筑穂地区	庄内地区	頤田地区
1 位	34 定住環境・公共交通の充実	34 定住環境・公共交通の充実	34 定住環境・公共交通の充実	34 定住環境・公共交通の充実	34 定住環境・公共交通の充実	19 商業の振興	19 商業の振興	19 商業の振興	19 商業の振興	34 定住環境・公共交通の充実	34 定住環境・公共交通の充実	34 定住環境・公共交通の充実	34 定住環境・公共交通の充実
2 位	19 商業の振興	19 商業の振興	19 商業の振興	19 商業の振興	19 商業の振興	34 定住環境・公共交通の充実	34 定住環境・公共交通の充実	34 定住環境・公共交通の充実	34 定住環境・公共交通の充実	21 就労支援の充実と労働環境の整備	19 商業の振興	19 商業の振興	19 商業の振興
3 位	21 就労支援の充実と労働環境の整備	30 災害・減災対策の充実	21 就労支援の充実と労働環境の整備	36 道路の整備	6 公共施設等の最適化と有効活用	30 災害・減災対策の充実	21 就労支援の充実と労働環境の整備	30 災害・減災対策の充実	21 就労支援の充実と労働環境の整備	19 商業の振興	21 就労支援の充実と労働環境の整備	7 財政の健全化	21 就労支援の充実と労働環境の整備
4 位	30 災害・減災対策の充実	21 就労支援の充実と労働環境の整備	30 災害・減災対策の充実	37 上下水道の整備	21 就労支援の充実と労働環境の整備	21 就労支援の充実と労働環境の整備	7 財政の健全化	13 安心して産み育てやすい環境づくり	24 子ども・若者の健全育成	24 子ども・若者の健全育成	11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	12 子育て支援の推進	14 障がい者福祉の充実
5 位	11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	13 安心して産み育てやすい環境づくり	11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	32 生活安全の向上	30 災害・減災対策の充実	7 財政の健全化	14 障がい者福祉の充実	30 災害・減災対策の充実	16 農林業の振興	24 子ども・若者の健全育成	6 公共施設等の最適化と有効活用
6 位	7 財政の健全化	32 生活安全の向上	20 観光の振興	7 財政の健全化	30 災害・減災対策の充実	23 確かな学力を育む教育の推進	14 障がい者福祉の充実	12 子育て支援の推進	11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	35 公園・緑地の整備	7 財政の健全化	13 安心して産み育てやすい環境づくり	37 上下水道の整備
7 位	14 障がい者福祉の充実	33 計画的な土地利用の推進	33 計画的な土地利用の推進	21 就労支援の充実と労働環境の整備	8 職員の能力開発と人材育成の推進	20 観光の振興	13 安心して産み育てやすい環境づくり	20 観光の振興	37 上下水道の整備	37 上下水道の整備	12 子育て支援の推進	37 上下水道の整備	11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり
8 位	13 安心して産み育てやすい環境づくり	24 子ども・若者の健全育成	35 公園・緑地の整備	6 公共施設等の最適化と有効活用	14 障がい者福祉の充実	14 障がい者福祉の充実	35 公園・緑地の整備	23 確かな学力を育む教育の推進	23 確かな学力を育む教育の推進	23 確かな学力を育む教育の推進	6 公共施設等の最適化と有効活用	39 快適な生活環境づくり	32 生活安全の向上
9 位	12 子育て支援の推進	14 障がい者福祉の充実	14 障がい者福祉の充実	11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	23 確かな学力を育む教育の推進	7 財政の健全化	11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	21 就労支援の充実と労働環境の整備	13 安心して産み育てやすい環境づくり	12 子育て支援の推進	33 計画的な土地利用の推進	33 計画的な土地利用の推進	20 観光の振興
10 位	6 公共施設等の最適化と有効活用	35 公園・緑地の整備	6 公共施設等の最適化と有効活用	39 快適な生活環境づくり	7 財政の健全化	24 子ども・若者の健全育成	6 公共施設等の最適化と有効活用	36 道路の整備	12 子育て支援の推進	11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	30 災害・減災対策の充実	11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	33 計画的な土地利用の推進

対策必要度の高い施策上位 10 項目を性別でみると、全体結果と同様に男女とも 1～2 位は「【34】定住環境・公共交通の充実」、「【19】「商業の振興」である。

対策必要度の高い施策上位 10 項目を年齢別でみると、各年齢層とも「【34】定住環境・公共交通の充実」は上位にあげられているが、20 歳代～30 歳代の若い層では「【12】子育て支援の推進」、「【13】安心して産み育てやすい環境づくり」の対策必要度が高くなっている。

【施策項目の上位 10 位（全体・性別・年齢別）】

	全体	性別			年齢別								
		男	女	回答しない	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～74歳	75歳以上	
1 位	34 定住環境・公共交通の充実	19 商業の振興	34 定住環境・公共交通の充実	14 障がい者福祉の充実	7 財政の健全化	19 商業の振興	12 子育て支援の推進	34 定住環境・公共交通の充実	34 定住環境・公共交通の充実	34 定住環境・公共交通の充実	34 定住環境・公共交通の充実	34 定住環境・公共交通の充実	
2 位	19 商業の振興	34 定住環境・公共交通の充実	19 商業の振興	32 生活安全の向上	34 定住環境・公共交通の充実	12 子育て支援の推進	13 安心して産み育てやすい環境づくり	19 商業の振興	19 商業の振興	11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	19 商業の振興	19 商業の振興	
3 位	21 就労支援の充実と労働環境の整備	21 就労支援の充実と労働環境の整備	21 就労支援の充実と労働環境の整備	13 安心して産み育てやすい環境づくり	35 公園・緑地の整備	13 安心して産み育てやすい環境づくり	34 定住環境・公共交通の充実	23 確かな学力を育む教育の推進	21 就労支援の充実と労働環境の整備	19 商業の振興	21 就労支援の充実と労働環境の整備	21 就労支援の充実と労働環境の整備	
4 位	30 災害・減災対策の充実	30 災害・減災対策の充実	11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	15 安心して暮らせる地域づくり	23 確かな学力を育む教育の推進	34 定住環境・公共交通の充実	30 災害・減災対策の充実	30 災害・減災対策の充実	11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	21 就労支援の充実と労働環境の整備	11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	30 災害・減災対策の充実	
5 位	11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	7 財政の健全化	30 災害・減災対策の充実	21 就労支援の充実と労働環境の整備	4 情報共有の推進	21 就労支援の充実と労働環境の整備	35 公園・緑地の整備	32 生活安全の向上	30 災害・減災対策の充実	7 財政の健全化	39 快適な生活環境づくり	11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	
6 位	7 財政の健全化	11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	35 公園・緑地の整備	19 商業の振興	19 商業の振興	35 公園・緑地の整備	19 商業の振興	12 子育て支援の推進	7 財政の健全化	6 公共施設等の最適化と有効利活用	24 子ども・若者の健全育成	14 障がい者福祉の充実	
7 位	14 障がい者福祉の充実	20 観光の振興	24 子ども・若者の健全育成	7 財政の健全化	13 安心して産み育てやすい環境づくり	20 観光の振興	23 確かな学力を育む教育の推進	21 就労支援の充実と労働環境の整備	14 障がい者福祉の充実	14 障がい者福祉の充実	14 障がい者福祉の充実	20 観光の振興	
8 位	13 安心して産み育てやすい環境づくり	36 道路の整備	13 安心して産み育てやすい環境づくり	11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	8 職員の能力開発と人材育成の推進	36 道路の整備	21 就労支援の充実と労働環境の整備	7 財政の健全化	6 公共施設等の最適化と有効利活用	24 子ども・若者の健全育成	20 観光の振興	16 農林業の振興	
9 位	12 子育て支援の推進	33 計画的な土地利用の推進	14 障がい者福祉の充実	36 道路の整備	12 子育て支援の推進	30 災害・減災対策の充実	24 子ども・若者の健全育成	24 子ども・若者の健全育成	36 道路の整備	13 安心して産み育てやすい環境づくり	30 災害・減災対策の充実	33 計画的な土地利用の推進	
10 位	6 公共施設等の最適化と有効利活用	14 障がい者福祉の充実	6 公共施設等の最適化と有効利活用	34 定住環境・公共交通の充実	5 効果的・効率的な行政経営の推進	32 生活安全の向上	36 道路の整備	6 公共施設等の最適化と有効利活用	32 生活安全の向上	30 災害・減災対策の充実	13 安心して産み育てやすい環境づくり	6 公共施設等の最適化と有効利活用	

2. 今後、特に力を入れてほしいまちづくりの取り組み

今後、特に力を入れてほしいと感じている行政サービスの取り組みをみると、最も重要・2番目に重要・3番目に重要な施策のいずれかで選んだ回答者が最も多かった施策は「【11】高齢者が安心して暮らせるまちづくり」で、全体の25.5%に達した。次いで「【34】定住環境・公共交通の充実」(20.6%)、「【30】災害・減災対策の充実」(14.2%)という結果であった。

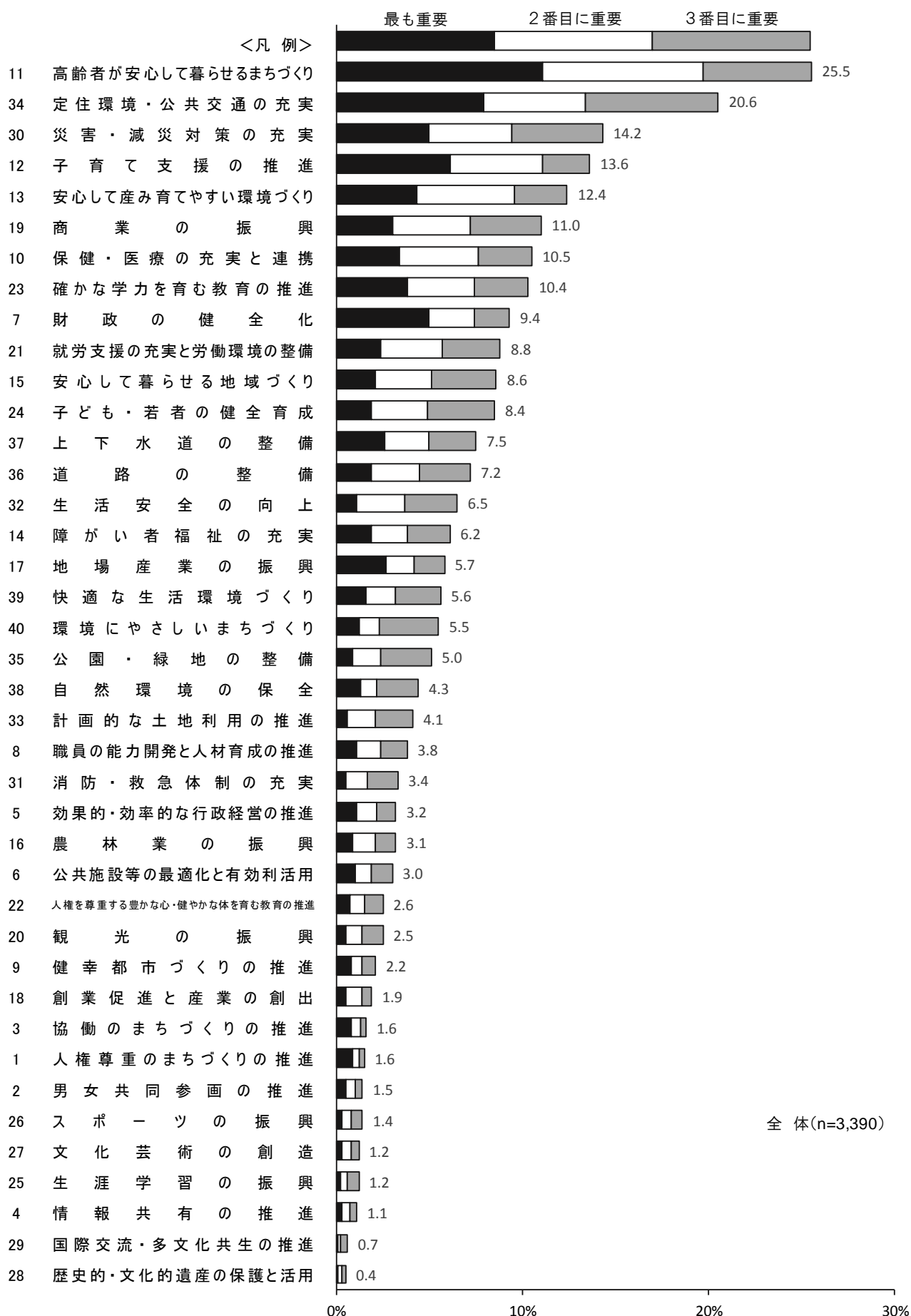
それぞれの順位ごとにみると、最も重要な施策では、「【11】高齢者が安心して暮らせるまちづくり」が11.1%と最も多く、次いで「【34】定住環境・公共交通の充実」(7.9%)、「【12】子育て支援の推進」(6.1%)、「【7】財政の健全化」(5.0%)、「【30】災害・減災対策の充実」(5.0%)となっている。2番目に重要な施策では、「【11】高齢者が安心して暮らせるまちづくり」が8.6%と最も多く、次いで「【34】定住環境・公共交通の充実」(5.5%)、「【13】安心して産み育てやすい環境づくり」(5.3%)、「【12】子育て支援の推進」(5.0%)、「【30】災害・減災対策の充実」(4.4%)となっている。3番目に重要な施策では、「【34】定住環境・公共交通の充実」が7.1%と最も多く、次いで「【11】高齢者が安心して暮らせるまちづくり」(5.8%)、「【30】災害・減災対策の充実」(4.9%)、「【19】商業の振興」(3.8%)、「【24】子ども・若者の健全育成」(3.6%)となっている。これら3つを合わせると、「【11】高齢者が安心して暮らせるまちづくり」が25.5%と最も多く、次いで「【34】定住環境・公共交通の充実」(20.6%)、「【30】災害・減災対策の充実」(14.2%)、「【12】子育て支援の推進」(13.6%)、「【13】安心して産み育てやすい環境づくり」(12.4%)となっている。

地区別でみると、すべての地区で「【11】高齢者が安心して暮らせるまちづくり」と答える人が多いが、その中でも飯塚・片島地区では「【19】商業の振興」、「【12】子育て支援の推進」、立岩地区では「【23】確かな学力を育む教育の推進」と回答する人が他地区に比べ多くなっている。

性別でみると、男女とも全体結果とほぼ同様の傾向を示している。

年齢別でみると、40歳代以下では「【12】子育て支援の推進」、50歳代以上は「【11】高齢者が安心して暮らせるまちづくり」と答える人が最も多くなっている。また、30歳代以下では「【13】安心して産み育てやすい環境づくり」と回答する人が他世代に比べ多くなっている。

【今後、特に力を入れてほしいまちづくりの取り組み 重要な施策3つ（全体）】



【今後、特に力を入れてほしいまちづくりの取り組み 重要な施策3つ（全体・地区別・性別・年齢別①）】

	サンプル数	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	定住環境・公共交通の充実	災害・減災対策の充実	子育て支援の推進	安心して産み育てやすい環境づくり	商業の振興	保健・医療の充実と連携	確かな学力を育む教育の推進	財政の健全化	就労支援の充実と労働環境の整備	安心して暮らせる地域づくり	子ども・若者の健全育成	上下水道の整備	道路の整備	
全体	3,390 100.0%	864 25.5%	698 20.6%	482 14.2%	462 13.6%	422 12.4%	372 11.0%	355 10.5%	352 10.4%	317 9.4%	300 8.8%	290 8.6%	286 8.4%	253 7.5%	243 7.2%	
地区別	二瀬地区	436 100.0%	124 28.4%	98 22.5%	56 12.8%	54 12.4%	59 13.5%	52 11.9%	47 10.8%	38 8.7%	34 7.8%	31 7.1%	44 10.1%	37 8.5%	28 6.4%	37 8.5%
	幸袋地区	274 100.0%	77 28.1%	72 26.3%	63 23.0%	41 15.0%	38 13.9%	19 6.9%	29 10.6%	33 12.0%	26 9.5%	24 8.8%	25 9.1%	19 6.9%	14 5.1%	8 2.9%
	鎮西地区	247 100.0%	67 27.1%	55 22.3%	31 12.6%	38 15.4%	35 14.2%	28 11.3%	27 10.9%	18 7.3%	24 9.7%	17 6.9%	23 9.3%	20 8.1%	26 10.5%	21 8.5%
	菰田地区	110 100.0%	24 21.8%	20 18.2%	15 13.6%	10 9.1%	9 8.2%	19 17.3%	8 7.3%	12 10.9%	12 10.9%	15 13.6%	11 10.0%	7 6.4%	5 4.5%	5 4.5%
	立岩地区	248 100.0%	57 23.0%	38 15.3%	48 19.4%	33 13.3%	27 10.9%	35 14.1%	36 14.5%	37 14.9%	30 12.1%	19 7.7%	29 11.7%	19 7.7%	13 5.2%	26 10.5%
	飯塚東地区	214 100.0%	60 28.0%	34 15.9%	22 10.3%	29 13.6%	23 10.7%	23 10.7%	19 8.9%	24 11.2%	15 7.0%	22 10.3%	15 7.0%	19 8.9%	12 5.6%	16 7.5%
	飯塚・片島地区	263 100.0%	45 17.1%	43 16.3%	43 16.3%	46 17.5%	39 14.8%	56 21.3%	22 8.4%	35 13.3%	30 11.4%	28 10.6%	21 8.0%	33 12.5%	10 3.8%	19 7.2%
	鯉田地区	175 100.0%	57 32.6%	32 18.3%	23 13.1%	29 16.6%	33 18.9%	21 12.0%	20 11.4%	17 9.7%	21 12.0%	17 9.7%	11 6.3%	17 9.7%	18 10.3%	8 4.6%
	穂波地区	664 100.0%	160 24.1%	120 18.1%	81 12.2%	101 15.2%	86 13.0%	58 8.7%	70 10.5%	70 10.5%	73 11.0%	62 9.3%	48 7.2%	55 8.3%	75 11.3%	50 7.5%
	筑穂地区	250 100.0%	74 29.6%	80 32.0%	35 14.0%	25 10.0%	27 10.8%	19 7.6%	24 9.6%	22 8.8%	20 8.0%	22 8.8%	21 8.4%	13 5.2%	17 6.8%	17 6.8%
	庄内地区	261 100.0%	70 26.8%	57 21.8%	35 13.4%	41 15.7%	28 10.7%	19 7.3%	28 10.7%	24 9.2%	17 6.5%	28 10.7%	24 9.2%	31 11.9%	22 8.4%	25 9.6%
	諺田地区	135 100.0%	39 28.9%	38 28.1%	25 18.5%	6 4.4%	11 8.1%	16 11.9%	17 12.6%	16 11.9%	11 8.1%	9 6.7%	13 9.6%	12 8.9%	7 5.2%	8 5.9%
	無回答	113 100.0%	10 8.8%	11 9.7%	5 4.4%	9 8.0%	7 6.2%	7 6.2%	8 7.1%	6 5.3%	4 3.5%	6 5.3%	5 4.4%	4 3.5%	6 5.3%	3 2.7%
	性別	男	1,401 100.0%	325 23.2%	281 20.1%	217 15.5%	187 13.3%	161 11.5%	167 11.9%	144 10.3%	151 10.8%	151 10.8%	114 8.1%	113 8.1%	119 8.5%	120 8.6%
女		1,856 100.0%	521 28.1%	405 21.8%	257 13.8%	269 14.5%	252 13.6%	198 10.7%	200 10.8%	194 10.5%	157 8.5%	176 9.5%	171 9.2%	159 8.6%	128 6.9%	114 6.1%
回答しない		68 100.0%	15 22.1%	11 16.2%	6 8.8%	6 8.8%	9 13.2%	5 7.4%	11 16.2%	7 10.3%	8 11.8%	9 13.2%	6 8.8%	7 10.3%	5 7.4%	2 2.9%
無回答		65 100.0%	3 4.6%	1 1.5%	2 3.1%	—	—	2 3.1%	—	—	1 1.5%	1 1.5%	—	1 1.5%	—	—
年齢別	10歳代	32 100.0%	4 12.5%	6 18.8%	5 15.6%	7 21.9%	5 15.6%	6 18.8%	—	5 15.6%	1 3.1%	3 9.4%	2 6.3%	3 9.4%	1 3.1%	—
	20歳代	224 100.0%	36 16.1%	33 14.7%	35 15.6%	61 27.2%	52 23.2%	24 10.7%	25 11.2%	22 9.8%	15 6.7%	19 8.5%	21 9.4%	20 8.9%	14 6.3%	28 12.5%
	30歳代	366 100.0%	69 18.9%	49 13.4%	69 18.9%	123 33.6%	96 26.2%	31 8.5%	41 11.2%	62 16.9%	32 8.7%	47 12.8%	30 8.2%	37 10.1%	22 6.0%	35 9.6%
	40歳代	457 100.0%	100 21.9%	81 17.7%	74 16.2%	98 21.4%	62 13.6%	64 14.0%	49 10.7%	84 18.4%	48 10.5%	55 12.0%	48 10.5%	50 10.9%	31 6.8%	31 6.8%
	50歳代	459 100.0%	133 29.0%	95 20.7%	71 15.5%	46 10.0%	68 14.8%	57 12.4%	60 13.1%	55 12.0%	52 11.3%	46 10.0%	46 10.0%	41 8.9%	33 7.2%	42 9.2%
	60～64歳	326 100.0%	98 30.1%	87 26.7%	59 18.1%	26 8.0%	33 10.1%	46 14.1%	34 10.4%	33 10.1%	36 11.0%	37 11.3%	28 8.6%	26 8.0%	37 11.3%	21 6.4%
	65～74歳	792 100.0%	231 29.2%	187 23.6%	107 13.5%	69 8.7%	62 7.8%	84 10.6%	98 12.4%	52 6.6%	84 10.6%	58 7.3%	67 8.5%	62 7.8%	62 7.8%	49 6.2%
	75歳以上	668 100.0%	190 28.4%	158 23.7%	62 9.3%	32 4.8%	43 6.4%	59 8.8%	48 7.2%	39 5.8%	48 7.2%	34 5.1%	46 6.9%	45 6.7%	51 7.6%	37 5.5%
	無回答	66 100.0%	3 4.5%	2 3.0%	—	—	1 1.5%	1 1.5%	—	—	1 1.5%	1 1.5%	2 3.0%	2 3.0%	2 3.0%	—

【今後、特に力を入れてほしいまちづくりの取り組み 重要な施策3つ（全体・地区別・性別・年齢別②）】

		サンプル数	生活安全の向上	障がい者福祉の充実	地場産業の振興	快適な生活環境づくり	環境にやさしいまちづくり	公園・緑地の整備	自然環境の保全	計画的な土地利用の推進	職員の能力開発と人材育成の推進	消防・救急体制の充実	効果的・効率的な行政経営の推進	農林業の振興	公共施設等の最適化と有効活用	
全体		3,390 100.0%	221 6.5%	209 6.2%	194 5.7%	189 5.6%	187 5.5%	170 5.0%	146 4.3%	139 4.1%	128 3.8%	115 3.4%	109 3.2%	105 3.1%	103 3.0%	
地区別	二瀬地区	436 100.0%	24 5.5%	25 5.7%	23 5.3%	19 4.4%	23 5.3%	22 5.0%	41 9.4%	21 4.8%	14 3.2%	18 4.1%	12 2.8%	15 3.4%	11 2.5%	
	幸袋地区	274 100.0%	19 6.9%	31 11.3%	23 8.4%	18 6.6%	9 3.3%	12 4.4%	11 4.0%	10 3.6%	9 3.3%	7 2.6%	12 4.4%	8 2.9%	6 2.2%	
	鎮西地区	247 100.0%	14 5.7%	9 3.6%	14 5.7%	13 5.3%	13 5.3%	14 5.7%	13 5.3%	12 4.9%	8 3.2%	8 3.2%	7 2.8%	10 4.0%	10 4.0%	
	菰田地区	110 100.0%	12 10.9%	7 6.4%	9 8.2%	5 4.5%	4 3.6%	3 2.7%	2 1.8%	5 4.5%	6 5.5%	5 4.5%	2 1.8%	— —	— —	6 5.5%
	立岩地区	248 100.0%	26 10.5%	15 6.0%	15 6.0%	15 6.0%	15 6.0%	12 4.8%	8 3.2%	10 4.0%	13 5.2%	7 2.8%	6 2.4%	5 2.0%	5 2.0%	
	飯塚東地区	214 100.0%	17 7.9%	15 7.0%	14 6.5%	6 2.8%	10 4.7%	11 5.1%	5 2.3%	6 2.8%	13 6.1%	9 4.2%	10 4.7%	1 0.5%	5 2.3%	
	飯塚・片島地区	263 100.0%	16 6.1%	13 4.9%	22 8.4%	14 5.3%	17 6.5%	11 4.2%	6 2.3%	12 4.6%	8 3.0%	7 2.7%	11 4.2%	6 2.3%	8 3.0%	
	鯉田地区	175 100.0%	8 4.6%	14 8.0%	11 6.3%	13 7.4%	15 8.6%	14 8.0%	6 3.4%	4 2.3%	8 4.6%	5 2.9%	5 2.9%	2 1.1%	5 2.9%	
	穂波地区	664 100.0%	43 6.5%	37 5.6%	31 4.7%	38 5.7%	43 6.5%	38 5.7%	23 3.5%	24 3.6%	23 3.5%	26 3.9%	20 3.0%	21 3.2%	19 2.9%	
	筑穂地区	250 100.0%	15 6.0%	16 6.4%	13 5.2%	18 7.2%	11 4.4%	11 4.4%	14 5.6%	12 4.8%	8 3.2%	10 4.0%	10 4.0%	18 7.2%	9 3.6%	
	庄内地区	261 100.0%	16 6.1%	13 5.0%	12 4.6%	23 8.8%	18 6.9%	18 6.9%	13 5.0%	12 4.6%	7 2.7%	7 2.7%	8 3.1%	12 4.6%	7 2.7%	
	舘田地区	135 100.0%	8 5.9%	9 6.7%	6 4.4%	3 2.2%	6 4.4%	1 0.7%	2 1.5%	6 4.4%	6 4.4%	2 1.5%	3 2.2%	6 4.4%	9 6.7%	
	無回答	113 100.0%	3 2.7%	5 4.4%	1 0.9%	4 3.5%	3 2.7%	3 2.7%	2 1.8%	5 4.4%	5 4.4%	4 3.5%	3 2.7%	1 0.9%	3 2.7%	
	性別	男	1,401 100.0%	98 7.0%	74 5.3%	122 8.7%	83 5.9%	77 5.5%	66 4.7%	70 5.0%	64 4.6%	44 3.1%	50 3.6%	55 3.9%	43 3.1%	41 2.9%
女		1,856 100.0%	114 6.1%	132 7.1%	71 3.8%	104 5.6%	109 5.9%	99 5.3%	72 3.9%	73 3.9%	80 4.3%	60 3.2%	50 2.7%	61 3.3%	61 3.3%	
回答しない		68 100.0%	8 11.8%	3 4.4%	1 1.5%	1 1.5%	1 1.5%	3 4.4%	4 5.9%	1 1.5%	3 4.4%	4 5.9%	4 5.9%	1 1.5%	1 1.5%	
無回答		65 100.0%	1 1.5%	— —	— —	1 1.5%	— —	2 3.1%	— —	1 1.5%	1 1.5%	1 1.5%	— —	— —	— —	
年齢別	10歳代	32 100.0%	3 9.4%	5 15.6%	— —	2 6.3%	2 6.3%	7 21.9%	2 6.3%	3 9.4%	1 3.1%	1 3.1%	— —	— —	3 9.4%	
	20歳代	224 100.0%	26 11.6%	15 6.7%	11 4.9%	14 6.3%	12 5.4%	24 10.7%	9 4.0%	16 7.1%	5 2.2%	9 4.0%	9 4.0%	7 3.1%	6 2.7%	
	30歳代	366 100.0%	33 9.0%	21 5.7%	15 4.1%	14 3.8%	12 3.3%	28 7.7%	12 3.3%	13 3.6%	7 1.9%	9 2.5%	11 3.0%	9 2.5%	8 2.2%	
	40歳代	457 100.0%	43 9.4%	31 6.8%	32 7.0%	18 3.9%	20 4.4%	30 6.6%	16 3.5%	20 4.4%	10 2.2%	10 2.2%	17 3.7%	15 3.3%	16 3.5%	
	50歳代	459 100.0%	35 7.6%	28 6.1%	26 5.7%	21 4.6%	26 5.7%	11 2.4%	16 3.5%	19 4.1%	19 4.1%	16 3.5%	21 4.6%	12 2.6%	14 3.1%	
	60～64歳	326 100.0%	13 4.0%	25 7.7%	26 8.0%	18 5.5%	26 8.0%	17 5.2%	18 5.5%	12 3.7%	14 4.3%	14 4.3%	13 4.0%	16 4.9%	10 3.1%	
	65～74歳	792 100.0%	39 4.9%	55 6.9%	46 5.8%	57 7.2%	54 6.8%	40 5.1%	43 5.4%	34 4.3%	38 4.8%	23 2.9%	21 2.7%	20 2.5%	22 2.8%	
	75歳以上	668 100.0%	29 4.3%	29 4.3%	37 5.5%	44 6.6%	35 5.2%	11 1.6%	30 4.5%	21 3.1%	32 4.8%	24 3.6%	19 2.8%	24 3.6%	25 3.7%	
	無回答	66 100.0%	— —	— —	1 1.5%	1 1.5%	— —	2 3.0%	— —	1 1.5%	2 3.0%	2 3.0%	— —	1 1.5%	1 1.5%	

【今後、特に力を入れてほしいまちづくりの取り組み 重要な施策3つ（全体・地区別・性別・年齢別③）】

	サンプル数	人権を尊重する豊かな心・健やか な体を育む教育の推進	観光の振興	健康都市づくりの推進	創業促進と産業の創出	協働のまちづくりの推進	人権尊重のまちづくりの推進	男女共同参画の推進	スポーツの振興	文化芸術の創造	生涯学習の振興	情報共有の推進	国際交流・多文化共生の推進	歴史的・文化的遺産の保護と活用	
全体	3,390 100.0%	87 2.6%	85 2.5%	73 2.2%	65 1.9%	54 1.6%	53 1.6%	51 1.5%	48 1.4%	42 1.2%	40 1.2%	38 1.1%	23 0.7%	15 0.4%	
地区別	二瀬地区	436 100.0%	12 2.8%	7 1.6%	9 2.1%	12 2.8%	9 2.1%	8 1.8%	10 2.3%	2 0.5%	6 1.4%	3 0.7%	2 0.5%	4 0.9%	1 0.2%
	幸袋地区	274 100.0%	6 2.2%	6 2.2%	5 1.8%	7 2.6%	1 0.4%	4 1.5%	3 1.1%	5 1.8%	6 2.2%	5 1.8%	1 0.4%	—	2 0.7%
	鎮西地区	247 100.0%	3 1.2%	9 3.6%	4 1.6%	1 0.4%	6 2.4%	4 1.6%	2 0.8%	4 1.6%	1 0.4%	3 1.2%	4 1.6%	2 0.8%	—
	菰田地区	110 100.0%	4 3.6%	3 2.7%	3 2.7%	2 1.8%	3 2.7%	2 1.8%	1 0.9%	3 2.7%	—	4 3.6%	2 1.8%	2 1.8%	—
	立岩地区	248 100.0%	7 2.8%	9 3.6%	11 4.4%	10 4.0%	3 1.2%	5 2.0%	4 1.6%	3 1.2%	3 1.2%	6 2.4%	3 1.2%	1 0.4%	2 0.8%
	飯塚東地区	214 100.0%	7 3.3%	3 1.4%	8 3.7%	3 1.4%	4 1.9%	3 1.4%	4 1.9%	3 1.4%	3 1.4%	3 1.4%	3 1.4%	1 0.5%	1 0.5%
	飯塚・片島地区	263 100.0%	5 1.9%	13 4.9%	2 0.8%	8 3.0%	1 0.4%	6 2.3%	5 1.9%	6 2.3%	6 2.3%	1 0.4%	4 1.5%	2 0.8%	4 1.5%
	鯉田地区	175 100.0%	2 1.1%	6 3.4%	2 1.1%	5 2.9%	2 1.1%	3 1.7%	2 1.1%	6 3.4%	1 0.6%	1 0.6%	—	3 1.7%	1 0.6%
	穂波地区	664 100.0%	16 2.4%	13 2.0%	16 2.4%	8 1.2%	9 1.4%	10 1.5%	8 1.2%	9 1.4%	7 1.1%	7 1.1%	12 1.8%	5 0.8%	2 0.3%
	筑穂地区	250 100.0%	11 4.4%	4 1.6%	3 1.2%	6 2.4%	4 1.6%	2 0.8%	4 1.6%	3 1.2%	3 1.2%	2 0.8%	4 1.6%	3 1.2%	—
	庄内地区	261 100.0%	10 3.8%	8 3.1%	7 2.7%	3 1.1%	6 2.3%	2 0.8%	3 1.1%	3 1.1%	4 1.5%	3 1.1%	1 0.4%	—	1 0.4%
	舘田地区	135 100.0%	4 3.0%	2 1.5%	3 2.2%	—	4 3.0%	3 2.2%	1 0.7%	—	1 0.7%	2 1.5%	2 1.5%	—	1 0.7%
	無回答	113 100.0%	—	2 1.8%	—	—	2 1.8%	1 0.9%	4 3.5%	1 0.9%	1 0.9%	—	—	—	—
	性別	男	1,401 100.0%	37 2.6%	43 3.1%	30 2.1%	50 3.6%	25 1.8%	28 2.0%	21 1.5%	30 2.1%	17 0.9%	13 0.9%	20 1.4%	18 1.3%
女		1,856 100.0%	48 2.6%	40 2.2%	41 2.2%	15 0.8%	29 1.6%	25 1.3%	29 1.6%	17 0.9%	24 1.3%	26 1.4%	17 0.9%	5 0.3%	2 0.1%
回答しない		68 100.0%	2 2.9%	1 1.5%	2 2.9%	—	—	—	—	—	1 1.5%	1 1.5%	1 1.5%	—	—
無回答		65 100.0%	—	1 1.5%	—	—	—	—	1 1.5%	1 1.5%	—	—	—	—	—
年齢別	10歳代	32 100.0%	5 15.6%	1 3.1%	—	—	—	—	2 6.3%	—	—	—	1 3.1%	1 3.1%	—
	20歳代	224 100.0%	6 2.7%	8 3.6%	6 2.7%	5 2.2%	2 0.9%	7 3.1%	8 3.6%	6 2.7%	2 0.9%	3 1.3%	6 2.7%	5 2.2%	1 0.4%
	30歳代	366 100.0%	10 2.7%	10 2.7%	7 1.9%	11 3.0%	3 0.8%	5 1.4%	3 0.8%	5 1.4%	4 1.1%	5 1.4%	8 2.2%	7 1.9%	1 0.3%
	40歳代	457 100.0%	11 2.4%	14 3.1%	8 1.8%	12 2.6%	6 1.3%	5 1.1%	4 0.9%	5 1.1%	6 1.3%	6 1.3%	6 1.3%	—	2 0.4%
	50歳代	459 100.0%	14 3.1%	17 3.7%	9 2.0%	8 1.7%	8 1.7%	7 1.5%	6 1.3%	6 1.3%	5 1.1%	5 1.1%	5 1.1%	1 0.2%	3 0.7%
	60～64歳	326 100.0%	6 1.8%	12 3.7%	7 2.1%	4 1.2%	5 1.5%	4 1.2%	2 0.6%	2 0.6%	6 1.8%	4 1.2%	4 1.2%	2 0.6%	1 0.3%
	65～74歳	792 100.0%	28 3.5%	15 1.9%	19 2.4%	15 1.9%	16 2.0%	16 2.0%	15 1.9%	13 1.6%	9 1.1%	9 1.1%	5 0.6%	5 0.6%	3 0.4%
	75歳以上	668 100.0%	7 1.0%	7 1.0%	17 2.5%	10 1.5%	14 2.1%	9 1.3%	9 1.3%	10 1.5%	10 1.5%	8 1.2%	3 0.4%	2 0.3%	4 0.6%
	無回答	66 100.0%	—	1 1.5%	—	—	—	—	2 3.0%	1 1.5%	—	—	—	—	—

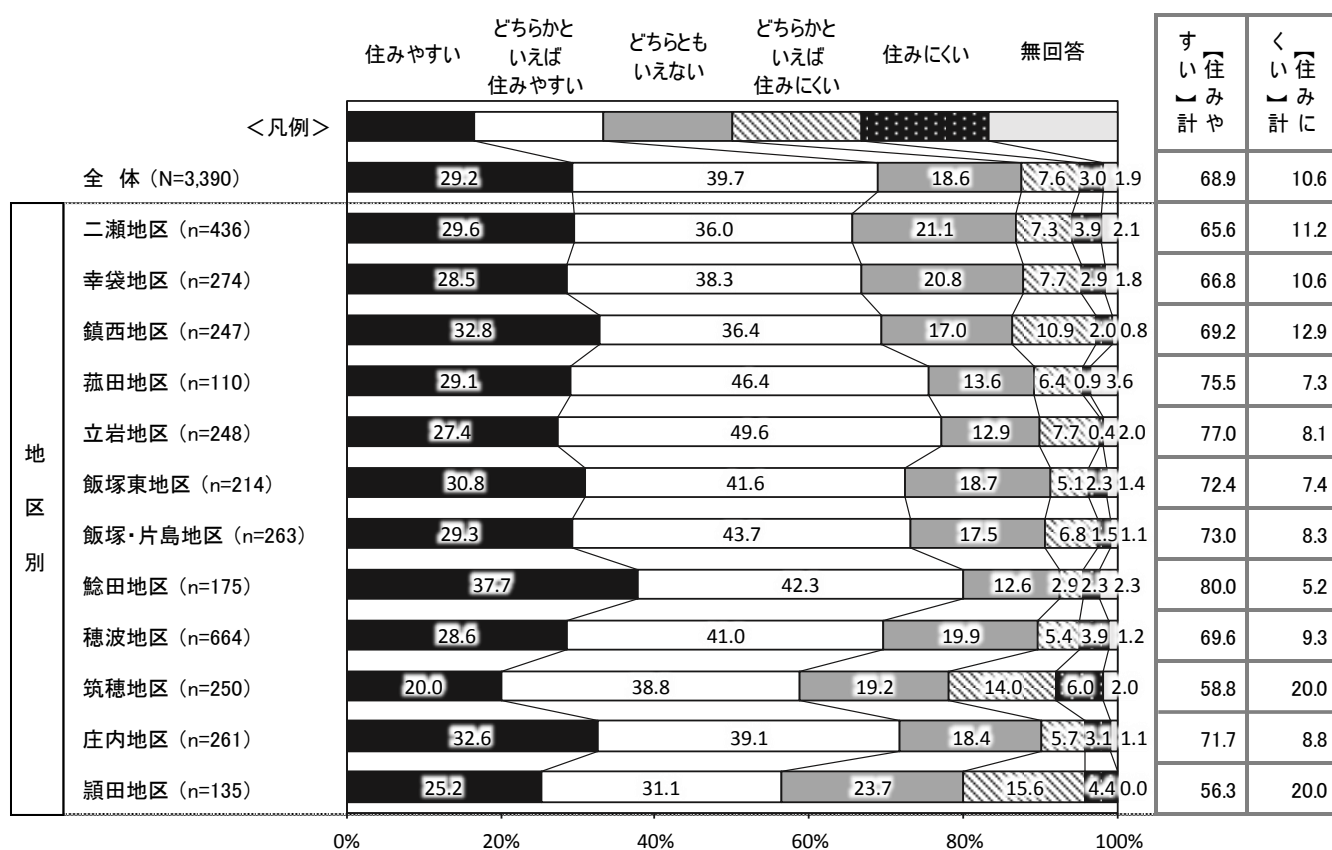
3. 飯塚市の住みやすさ

(1) 飯塚市の住みやすさ

飯塚市の住みやすさをみると、「住みやすい」が29.2%、「どちらかといえば住みやすい」が39.7%と、これらを合わせ『住みやすい』(68.9%)と答える人が7割弱を占めている。一方、「住みにくい」(3.0%)、「どちらかといえば住みにくい」(7.6%)を合わせ『住みにくい』(10.6%)と答える人は約1割となっている。

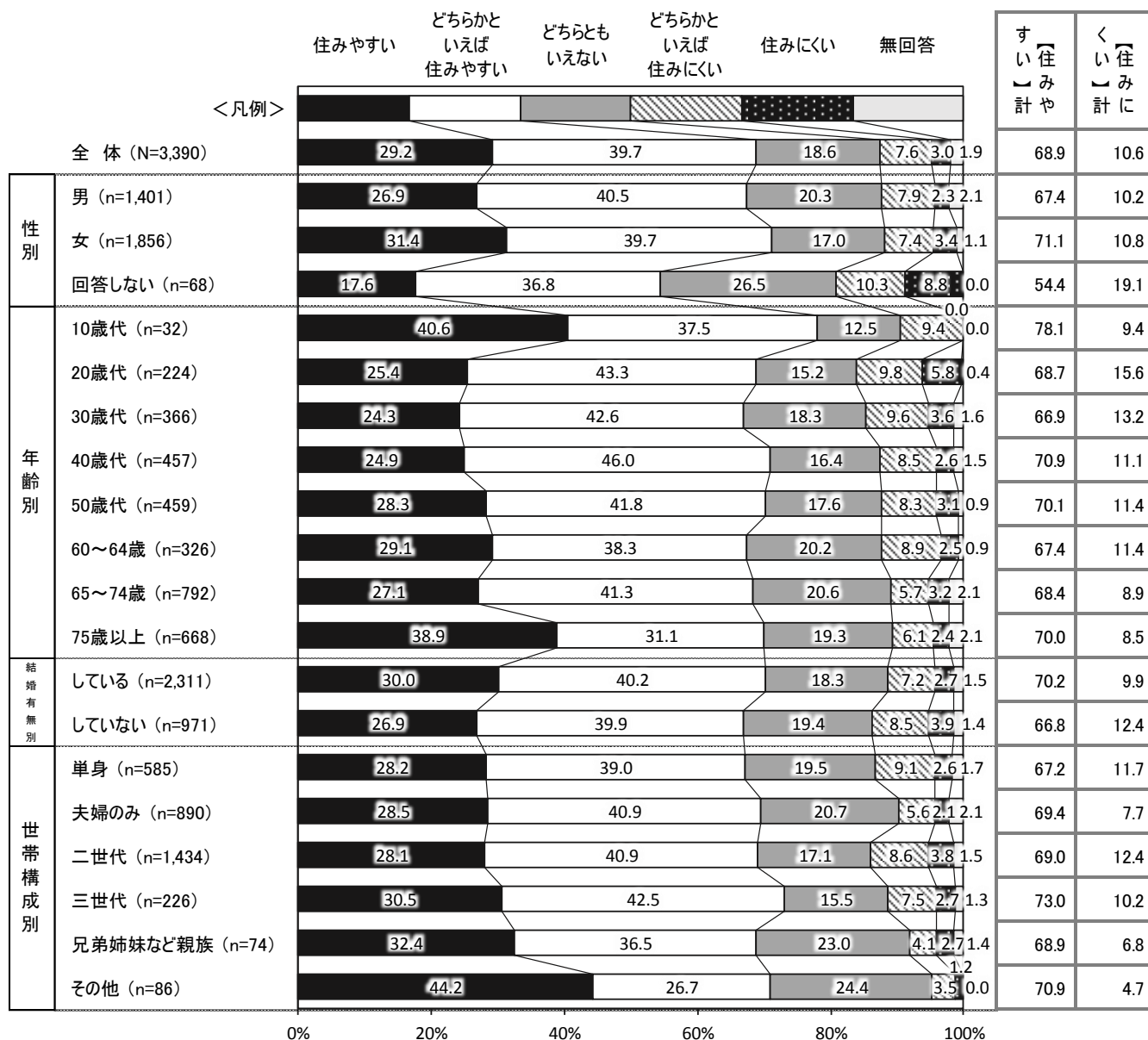
地区別でみると、すべての地区で『住みやすい』と答える人が『住みにくい』と答える人より多いものの、筑穂地区と穎田地区は『住みやすい』と回答する人は6割弱にとどまっている。

【飯塚市の住みやすさ (全体・地区別)】



性別でみると、男女とも全体結果とほぼ同様の傾向を示している。
 年齢別でみると、10歳代では『住みやすい』と答える人が8割近くを占め多いものの、概ね全体結果とほぼ同様の傾向を示している。
 結婚有無別でみると、いずれも全体結果とほぼ同様の傾向を示している。
 世帯構成別でみると、三世帯世帯では『住みやすい』と答える人がやや多くみられる。

【飯塚市の住みやすさ（全体・性別・年齢別・結婚有無別・世帯構成別）】



(2) 住みやすいと思う理由

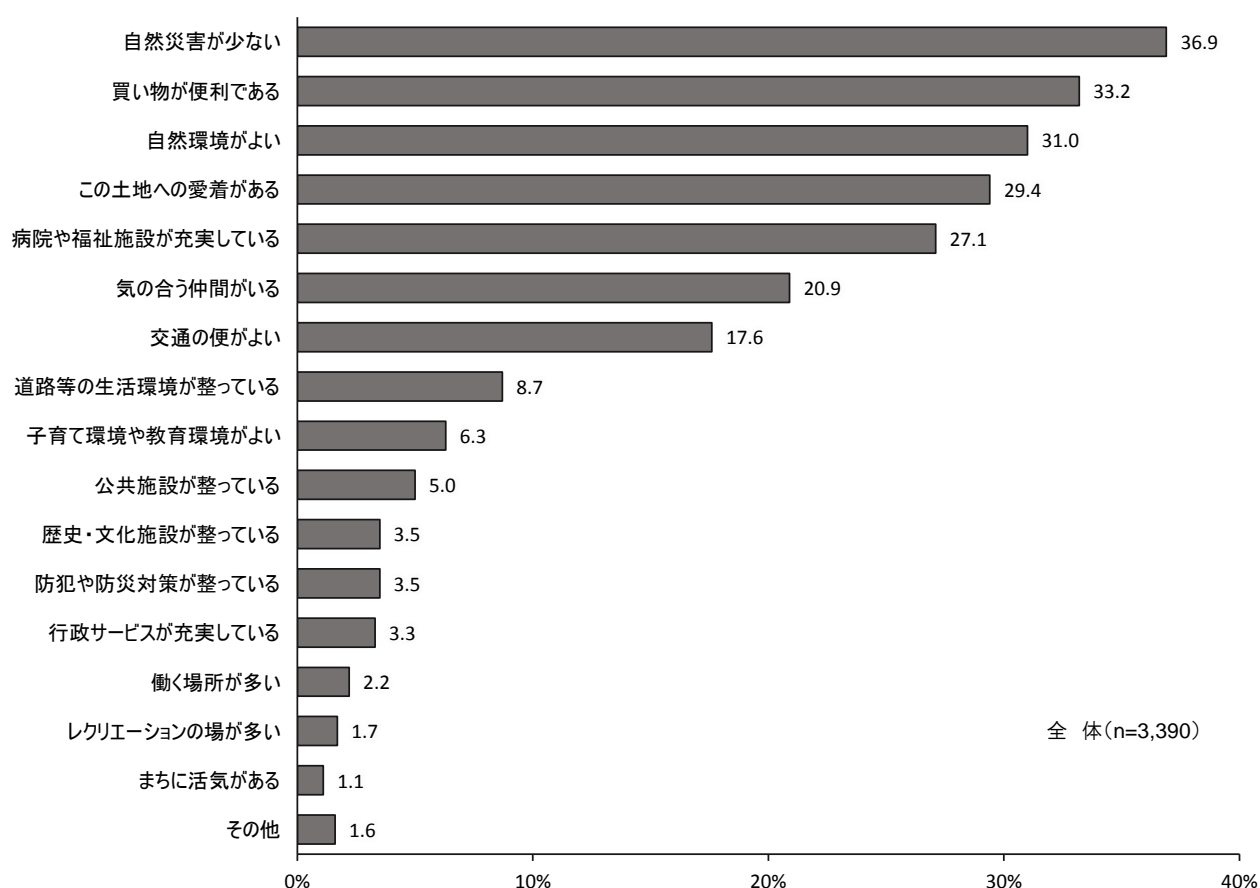
『住みやすい』と思う理由をみると、「自然災害が少ない」(36.9%)が最も多く、以下、「買い物が便利である」(33.2%)、「自然環境がよい」(31.0%)、「この土地への愛着がある」(29.4%)、「病院や福祉施設が充実している」(27.1%)と続いている。

地区別でみると、菰田地区、立岩地区、飯塚・片島地区、穂波地区では「買い物が便利である」と答える人が最も多くみられる。また、筑穂地区では「自然環境がよい」と回答する人が他地区に比べ多くなっている。

性別でみると、男性、女性ともに「自然災害が少ない」と答える人が最も多いが、概ね全体結果とほぼ同様の傾向を示している。

年齢別でみると、50歳代以下では「買い物が便利である」、60歳代以上は「自然災害が少ない」と答える人が最も多くなっている。また、75歳以上では「病院や福祉施設が充実している」と回答する人が他世代に比べ多くなっている。

【住みやすいと思う理由（全体）】



【住みやすいと思う理由（全体・地区別・性別・年齢別）】

		サンプル数	自然災害が少ない	買い物物が便利である	自然環境がよい	この土地への愛着がある	病院や福祉施設が充実している	気の合う仲間がいる	交通の便がよい	道路等の生活環境が整っている	子育て環境や教育環境がよい	公共施設が整っている	歴史・文化施設が整っている	防犯や防災対策が整っている	行政サービスが充実している	働く場所が多い	レクリエーションの場が多い	まちに活気がある	その他	
全体		3,390 100.0%	1,250 36.9%	1,124 33.2%	1,051 31.0%	996 29.4%	917 27.1%	708 20.9%	596 17.6%	295 8.7%	215 6.3%	168 5.0%	120 3.5%	119 3.5%	113 3.3%	73 2.2%	56 1.7%	36 1.1%	53 1.6%	
地区別	二瀬地区	436 100.0%	151 34.6%	139 31.9%	139 31.9%	135 31.0%	128 29.4%	83 19.0%	49 11.2%	30 6.9%	27 6.2%	23 5.3%	20 4.6%	9 2.1%	13 3.0%	7 1.6%	8 1.8%	8 1.8%	6 1.4%	
	幸袋地区	274 100.0%	82 29.9%	68 24.8%	89 32.5%	90 32.8%	72 26.3%	67 24.5%	32 11.7%	31 11.3%	19 6.9%	18 6.6%	16 5.8%	14 5.1%	11 4.0%	7 2.6%	7 2.6%	4 1.5%	9 3.3%	
	鎮西地区	247 100.0%	103 41.7%	87 35.2%	94 38.1%	66 26.7%	55 22.3%	49 19.8%	29 11.7%	13 5.3%	13 5.3%	5 2.0%	9 3.6%	9 3.6%	10 4.0%	7 2.8%	1 0.4%	3 1.2%	4 1.6%	
	菟田地区	110 100.0%	41 37.3%	48 43.6%	28 25.5%	37 33.6%	28 25.5%	19 17.3%	25 22.7%	11 10.0%	3 2.7%	5 4.5%	3 2.7%	6 5.5%	4 3.6%	—	—	—	—	1 0.9%
	立岩地区	248 100.0%	83 33.5%	100 40.3%	66 26.6%	61 24.6%	88 35.5%	46 18.5%	77 31.0%	30 12.1%	19 7.7%	20 8.1%	13 5.2%	8 3.2%	9 3.6%	4 1.6%	6 2.4%	4 1.6%	6 2.4%	
	飯塚東地区	214 100.0%	89 41.6%	75 35.0%	54 25.2%	53 24.8%	69 32.2%	37 17.3%	45 21.0%	15 7.0%	10 4.7%	9 4.2%	12 5.6%	9 4.2%	9 4.2%	7 3.3%	4 1.9%	—	—	3 1.4%
	飯塚・片島地区	263 100.0%	76 28.9%	104 39.5%	61 23.2%	86 32.7%	87 33.1%	66 25.1%	57 21.7%	32 12.2%	18 6.8%	19 7.2%	9 3.4%	11 4.2%	10 3.8%	10 3.8%	4 1.5%	2 0.8%	5 1.9%	
	鯉田地区	175 100.0%	75 42.9%	48 27.4%	66 37.7%	57 32.6%	57 32.6%	53 30.3%	58 33.1%	16 9.1%	17 9.7%	8 4.6%	3 1.7%	11 6.3%	9 5.1%	5 2.9%	4 2.3%	1 0.6%	5 2.9%	
	穂波地区	664 100.0%	254 38.3%	288 43.4%	167 25.2%	212 31.9%	185 27.9%	135 20.3%	127 19.1%	53 8.0%	29 4.4%	26 3.9%	15 2.3%	18 2.7%	16 2.4%	13 2.0%	10 1.5%	9 1.4%	5 0.8%	
	筑穂地区	250 100.0%	104 41.6%	46 18.4%	113 45.2%	72 28.8%	40 16.0%	44 17.6%	27 10.8%	16 6.4%	16 6.4%	10 4.0%	3 1.2%	11 4.4%	9 3.6%	3 1.2%	4 1.6%	4 1.2%	3 1.2%	
	庄内地区	261 100.0%	107 41.0%	74 28.4%	101 38.7%	66 25.3%	60 23.0%	55 21.1%	45 17.2%	29 11.1%	23 8.8%	13 5.0%	7 2.7%	7 2.7%	4 1.5%	3 1.1%	6 2.3%	—	—	2 0.8%
	頼田地区	135 100.0%	52 38.5%	15 11.1%	45 33.3%	43 31.9%	24 17.8%	32 23.7%	7 5.2%	7 5.2%	12 8.9%	6 4.4%	4 3.0%	3 2.2%	4 3.0%	3 2.2%	1 0.7%	1 0.7%	3 2.2%	
	無回答	113 100.0%	33 29.2%	32 28.3%	28 24.8%	18 15.9%	24 21.2%	22 19.5%	18 15.9%	12 10.6%	9 8.0%	6 5.3%	6 5.3%	3 2.7%	5 4.4%	4 3.5%	4 2.9%	1 0.9%	1 0.9%	1 0.9%
	性別	男	1,401 100.0%	485 34.6%	467 33.3%	441 31.5%	445 31.8%	396 28.3%	244 17.4%	276 19.7%	144 10.3%	82 5.9%	80 5.7%	53 3.8%	52 3.7%	49 3.5%	26 1.9%	30 2.1%	15 1.1%	28 2.0%
女		1,856 100.0%	721 38.8%	615 33.1%	584 31.5%	520 28.0%	491 26.5%	437 23.5%	300 16.2%	141 7.6%	124 6.7%	84 4.5%	61 3.3%	65 3.5%	58 3.1%	45 2.4%	26 1.4%	18 1.0%	24 1.3%	
回答しない		68 100.0%	22 32.4%	20 29.4%	11 16.2%	15 22.1%	16 23.5%	10 14.7%	8 11.8%	2 2.9%	4 5.9%	1 1.5%	2 2.9%	—	3 4.4%	1 1.5%	—	2 2.9%	—	
無回答		65 100.0%	22 33.8%	22 33.8%	15 23.1%	16 24.6%	14 21.5%	17 26.2%	12 18.5%	8 12.3%	5 7.7%	3 4.6%	4 6.2%	2 3.1%	3 4.6%	1 1.5%	—	1 1.5%	1 1.5%	
年齢別	10歳代	32 100.0%	13 40.6%	11 34.4%	10 31.3%	11 34.4%	10 31.3%	11 34.4%	7 21.9%	6 18.8%	3 9.4%	4 12.5%	3 9.4%	3 9.4%	2 6.3%	2 6.3%	—	—	—	
	20歳代	224 100.0%	51 22.8%	87 38.8%	58 25.9%	49 21.9%	53 23.7%	59 26.3%	32 14.3%	17 7.6%	14 6.3%	15 6.7%	8 3.6%	2 0.9%	3 1.3%	5 2.2%	3 1.3%	6 2.7%	3 1.3%	
	30歳代	366 100.0%	75 20.5%	130 35.5%	119 32.5%	102 27.9%	79 21.6%	90 24.6%	72 19.7%	26 7.1%	38 10.4%	24 6.6%	10 2.7%	6 1.6%	4 1.1%	15 4.1%	5 1.4%	5 1.4%	9 2.5%	
	40歳代	457 100.0%	120 26.3%	159 34.8%	143 31.3%	123 26.9%	110 24.1%	90 19.7%	80 17.5%	37 8.1%	47 10.3%	29 6.3%	12 2.6%	9 2.0%	10 2.2%	14 3.1%	13 2.8%	3 0.7%	7 1.5%	
	50歳代	459 100.0%	153 33.3%	174 37.9%	144 31.4%	136 29.6%	115 25.1%	75 16.3%	66 14.4%	40 8.7%	32 7.0%	19 4.1%	15 3.3%	16 3.5%	11 2.4%	8 1.7%	4 0.9%	6 1.3%	10 2.2%	
	60～64歳	326 100.0%	130 39.9%	101 31.0%	112 34.4%	95 29.1%	80 24.5%	57 17.5%	49 15.0%	21 6.4%	8 2.5%	11 3.4%	13 4.0%	4 1.2%	6 1.8%	6 1.8%	4 1.2%	2 0.6%	3 0.9%	
	65～74歳	792 100.0%	373 47.1%	259 32.7%	240 30.3%	236 29.8%	225 28.4%	158 19.9%	150 18.9%	69 8.7%	39 4.9%	28 3.5%	23 2.9%	35 4.4%	29 3.7%	13 1.6%	15 1.9%	5 0.6%	10 1.3%	
	75歳以上	668 100.0%	314 47.0%	184 27.5%	209 31.3%	230 34.4%	232 34.7%	153 22.9%	125 18.7%	71 10.6%	29 4.3%	35 5.2%	32 4.8%	42 6.3%	45 6.7%	9 1.3%	12 1.8%	8 1.2%	10 1.5%	
無回答	66 100.0%	21 31.8%	19 28.8%	16 24.2%	14 21.2%	13 19.7%	15 22.7%	15 22.7%	8 12.1%	5 7.6%	3 4.5%	4 6.1%	2 3.0%	3 4.5%	1 1.5%	—	1 1.5%	1 1.5%		

(3) 住みにくいと思う理由

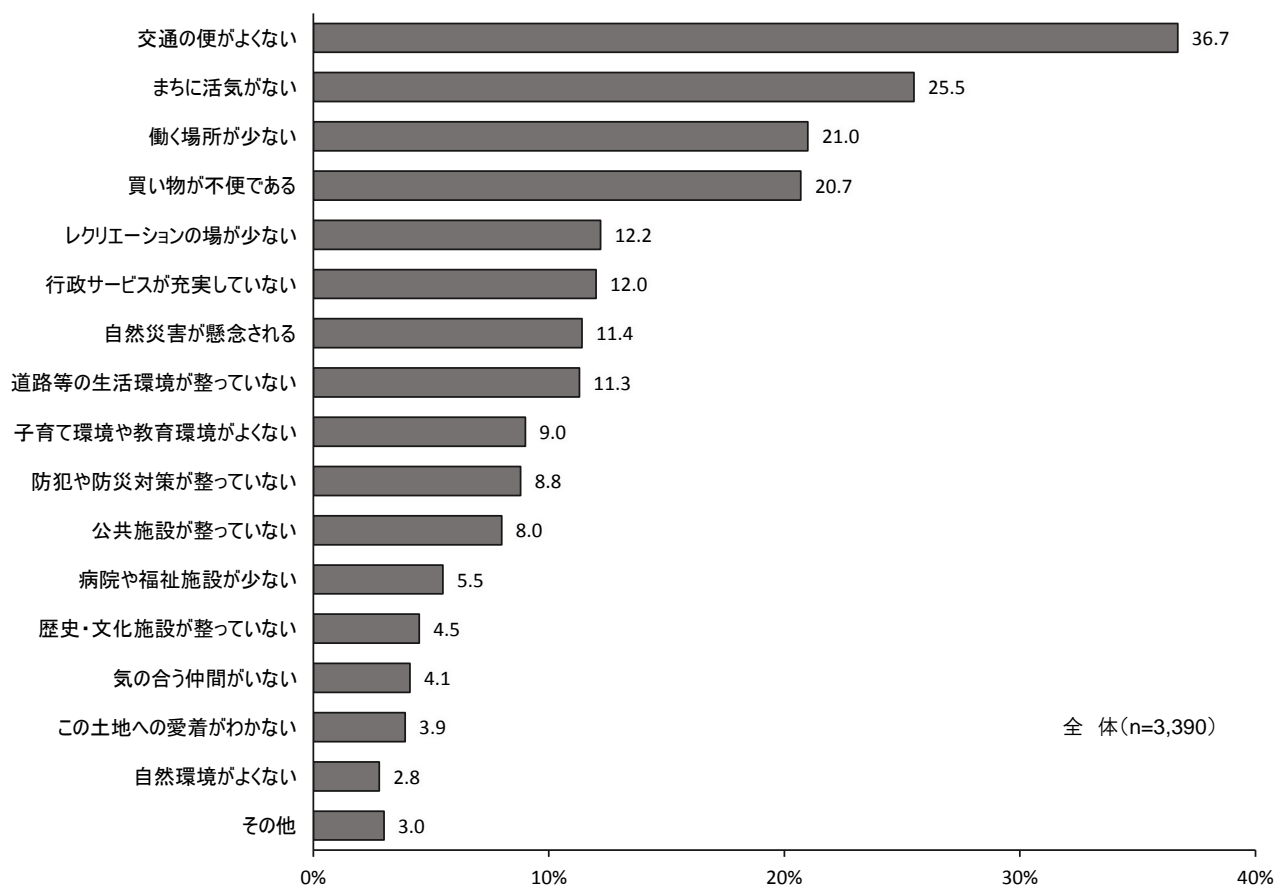
『住みにくい』と思う理由をみると、「交通の便がよくない」(36.7%)が圧倒的に多く、以下、「まちに活気がない」(25.5%)、「働く場所が少ない」(21.0%)「買い物が不便である」(20.7%)と続いている。

地区別でみると、いずれの地区とも全体結果とほぼ同様の傾向を示している。

性別でみると、男女とも全体結果とほぼ同様の傾向を示している。

年齢別でみると、40歳代以下では「子育て環境や教育環境がよくない」と回答する人が他世代に比べ多くなっている。

【住みにくいと思う理由（全体）】



【住みにくいと思う理由（全体・地区別・性別・年齢別）】

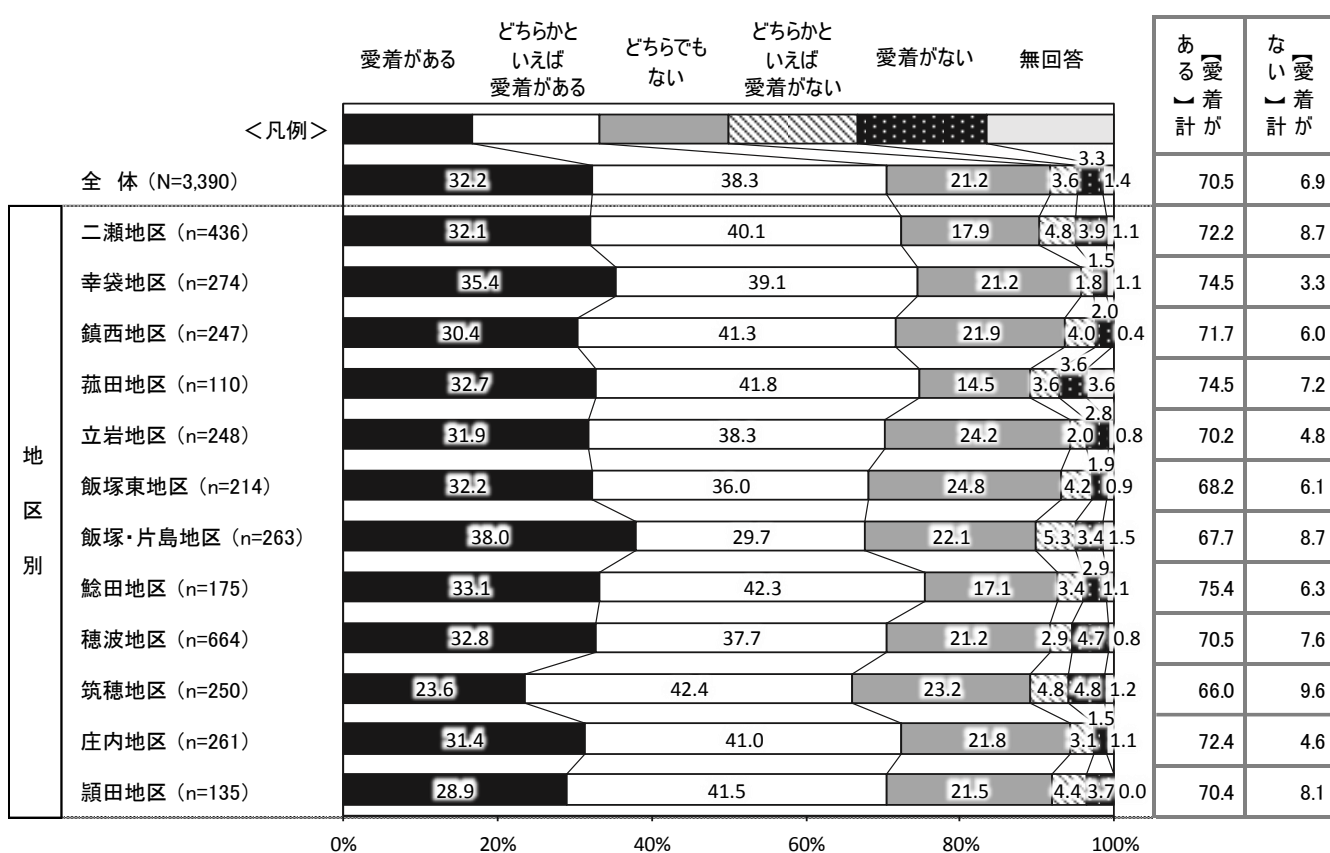
		サンプル数	交通の便がよくない	まちに活気がない	働く場所が少ない	買い物ที่ไม่便である	レクリエーションの場が少ない	行政サービスが充実していない	自然災害が懸念される	道路等の生活環境が整っていない	子育て環境や教育環境がよくない	防犯や防災対策が整っていない	公共施設が整っていない	病院や福祉施設が少ない	歴史・文化施設が整っていない	気の合う仲間がいない	この土地への愛着がわかない	自然環境がよくない	その他
全体		3,390 100.0%	1,245 36.7%	866 25.5%	713 21.0%	702 20.7%	412 12.2%	407 12.0%	388 11.4%	383 11.3%	306 9.0%	299 8.8%	272 8.0%	188 5.5%	152 4.5%	139 4.1%	133 3.9%	96 2.8%	101 3.0%
地区別	二瀬地区	436 100.0%	180 41.3%	111 25.5%	94 21.6%	87 20.0%	48 11.0%	60 13.8%	43 9.9%	42 9.6%	46 10.6%	39 8.9%	26 6.0%	17 3.9%	10 2.3%	18 4.1%	20 4.6%	22 5.0%	14 3.2%
	幸袋地区	274 100.0%	103 37.6%	60 21.9%	51 18.6%	55 20.1%	27 9.9%	23 8.4%	49 17.9%	23 8.4%	21 7.7%	26 9.5%	20 7.3%	17 6.2%	13 4.7%	9 3.3%	7 2.6%	10 3.6%	8 2.9%
	鎮西地区	247 100.0%	110 44.5%	62 25.1%	48 19.4%	42 17.0%	27 10.9%	30 12.1%	22 8.9%	35 14.2%	23 9.3%	22 8.9%	23 9.3%	13 5.3%	15 6.1%	10 4.0%	9 3.6%	3 1.2%	10 4.0%
	菰田地区	110 100.0%	26 23.6%	37 33.6%	27 24.5%	18 16.4%	12 10.9%	13 11.8%	11 10.0%	9 8.2%	11 10.0%	4 3.6%	7 6.4%	5 4.5%	5 4.5%	4 3.6%	5 4.5%	5 4.5%	2 1.8%
	立岩地区	248 100.0%	63 25.4%	68 27.4%	42 16.9%	32 12.9%	23 9.3%	24 9.7%	32 12.9%	31 12.5%	22 8.9%	23 9.3%	24 9.7%	5 2.0%	11 4.4%	9 3.6%	7 2.8%	3 1.2%	5 2.0%
	飯塚東地区	214 100.0%	66 30.8%	62 29.0%	38 17.8%	37 17.3%	29 13.6%	19 8.9%	17 7.9%	19 8.9%	15 7.0%	16 7.5%	16 7.5%	9 4.2%	8 3.7%	9 4.2%	7 3.3%	6 2.8%	9 4.2%
	飯塚・片島地区	263 100.0%	81 30.8%	81 30.8%	48 18.3%	40 15.2%	38 14.4%	24 9.1%	40 15.2%	33 12.5%	30 11.4%	30 11.4%	20 7.6%	7 2.7%	16 6.1%	14 5.3%	15 5.7%	9 3.4%	12 4.6%
	鯉田地区	175 100.0%	50 28.6%	53 30.3%	47 26.9%	36 20.6%	24 13.7%	24 13.7%	23 13.1%	17 9.7%	18 10.3%	21 12.0%	13 7.4%	10 5.7%	18 10.3%	8 4.6%	5 2.9%	4 2.3%	4 2.3%
	穂波地区	664 100.0%	222 33.4%	167 25.2%	145 21.8%	101 15.2%	93 14.0%	95 14.3%	65 9.8%	94 14.2%	67 10.1%	62 9.3%	66 9.9%	36 5.4%	29 4.4%	30 4.5%	28 4.2%	20 3.0%	22 3.3%
	筑穂地区	250 100.0%	137 54.8%	63 25.2%	64 25.6%	93 37.2%	45 18.0%	36 14.4%	29 11.6%	30 12.0%	21 8.4%	20 8.0%	29 11.6%	37 14.8%	11 4.4%	10 4.0%	15 6.0%	3 1.2%	6 2.4%
	庄内地区	261 100.0%	90 34.5%	42 16.1%	55 21.1%	49 18.8%	22 8.4%	24 9.2%	16 6.1%	30 11.5%	18 6.9%	19 7.3%	9 3.4%	18 6.9%	7 2.7%	5 1.9%	6 2.3%	7 2.7%	6 2.3%
	頼田地区	135 100.0%	76 56.3%	36 26.7%	36 26.7%	86 63.7%	11 8.1%	21 15.6%	29 21.5%	12 8.9%	8 5.9%	9 6.7%	12 8.9%	7 5.2%	6 4.4%	4 3.0%	5 3.7%	2 1.5%	1 0.7%
	無回答	113 100.0%	41 36.3%	24 21.2%	18 15.9%	26 23.0%	13 11.5%	14 12.4%	12 10.6%	8 7.1%	6 5.3%	8 7.1%	7 6.2%	7 6.2%	3 2.7%	9 8.0%	4 3.5%	2 1.8%	2 1.8%
	性別	男	1,401 100.0%	471 33.6%	339 24.2%	332 23.7%	226 16.1%	171 12.2%	153 10.9%	161 11.5%	171 12.2%	116 8.3%	123 8.8%	98 7.0%	60 4.3%	65 4.6%	51 3.6%	49 3.5%	40 2.9%
女		1,856 100.0%	725 39.1%	495 26.7%	354 19.1%	447 24.1%	225 12.1%	231 12.4%	216 11.6%	199 10.7%	178 9.6%	161 8.7%	161 8.7%	121 6.5%	82 4.4%	76 4.1%	77 4.1%	51 2.7%	54 2.9%
回答しない		68 100.0%	29 42.6%	22 32.4%	18 26.5%	16 23.5%	10 14.7%	19 27.9%	7 10.3%	10 14.7%	9 13.2%	12 17.6%	8 11.8%	5 7.4%	4 5.9%	6 8.8%	7 10.3%	4 5.9%	1 1.5%
無回答		65 100.0%	20 30.8%	10 15.4%	9 13.8%	13 20.0%	6 9.2%	4 6.2%	4 6.2%	3 4.6%	3 4.6%	3 4.6%	5 7.7%	2 3.1%	1 1.5%	6 9.2%	—	1 1.5%	—
年齢別	10歳代	32 100.0%	11 34.4%	6 18.8%	4 12.5%	7 21.9%	5 15.6%	1 3.1%	1 3.1%	2 6.3%	5 15.6%	1 3.1%	2 6.3%	—	1 3.1%	1 3.1%	3 9.4%	—	1 3.1%
	20歳代	224 100.0%	94 42.0%	39 17.4%	48 21.4%	40 17.9%	32 14.3%	21 9.4%	32 14.3%	29 12.9%	25 11.2%	22 9.8%	19 8.5%	3 1.3%	10 4.5%	11 4.9%	14 6.3%	5 2.2%	8 3.6%
	30歳代	366 100.0%	142 38.8%	75 20.5%	75 20.5%	74 20.2%	60 16.4%	46 12.6%	81 22.1%	58 15.8%	73 19.9%	51 13.9%	34 9.3%	24 6.6%	11 3.0%	19 5.2%	21 5.7%	10 2.7%	14 3.8%
	40歳代	457 100.0%	187 40.9%	115 25.2%	94 20.6%	85 18.6%	49 10.7%	68 14.9%	78 17.1%	61 13.3%	69 15.1%	61 13.3%	45 9.8%	36 7.9%	17 3.7%	19 4.2%	19 4.2%	10 2.2%	18 3.9%
	50歳代	459 100.0%	181 39.4%	122 26.6%	131 28.5%	87 19.0%	59 12.9%	61 13.3%	63 13.7%	49 10.7%	43 9.4%	42 9.2%	41 8.9%	28 6.1%	23 5.0%	17 3.7%	24 5.2%	11 2.4%	18 3.9%
	60～64歳	326 100.0%	126 38.7%	83 25.5%	79 24.2%	69 21.2%	46 14.1%	45 13.8%	30 9.2%	40 12.3%	32 9.8%	30 9.2%	32 9.8%	25 7.7%	13 4.0%	13 4.0%	10 3.1%	8 2.5%	7 2.1%
	65～74歳	792 100.0%	239 30.2%	239 30.2%	157 19.8%	148 18.7%	90 11.4%	97 12.2%	52 6.6%	92 11.6%	38 4.8%	53 6.7%	51 6.4%	33 4.2%	41 5.2%	30 3.8%	26 3.3%	29 3.7%	16 2.0%
	75歳以上	668 100.0%	246 36.8%	174 26.0%	114 17.1%	179 26.8%	65 9.7%	60 9.0%	47 7.0%	48 7.2%	17 2.5%	36 5.4%	42 6.3%	37 5.5%	35 5.2%	24 3.6%	15 2.2%	22 3.3%	18 2.7%
	無回答	66 100.0%	19 28.8%	13 19.7%	11 16.7%	13 19.7%	6 9.1%	8 12.1%	4 6.1%	4 6.1%	4 6.1%	4 6.1%	6 9.1%	2 3.0%	1 1.5%	5 7.6%	1 1.5%	1 1.5%	1 1.5%

4. 飯塚市に対する愛着

飯塚市に対する愛着をみると、「愛着がある」が32.2%、「どちらかといえば愛着がある」が38.3%と、これらを合わせ『愛着がある』(70.5%)と答える人が7割を占めている。一方、「愛着がない」(3.3%)、「どちらかといえば愛着がない」(3.6%)を合わせ『愛着がない』(6.9%)と答える人は1割弱にとどまっている。

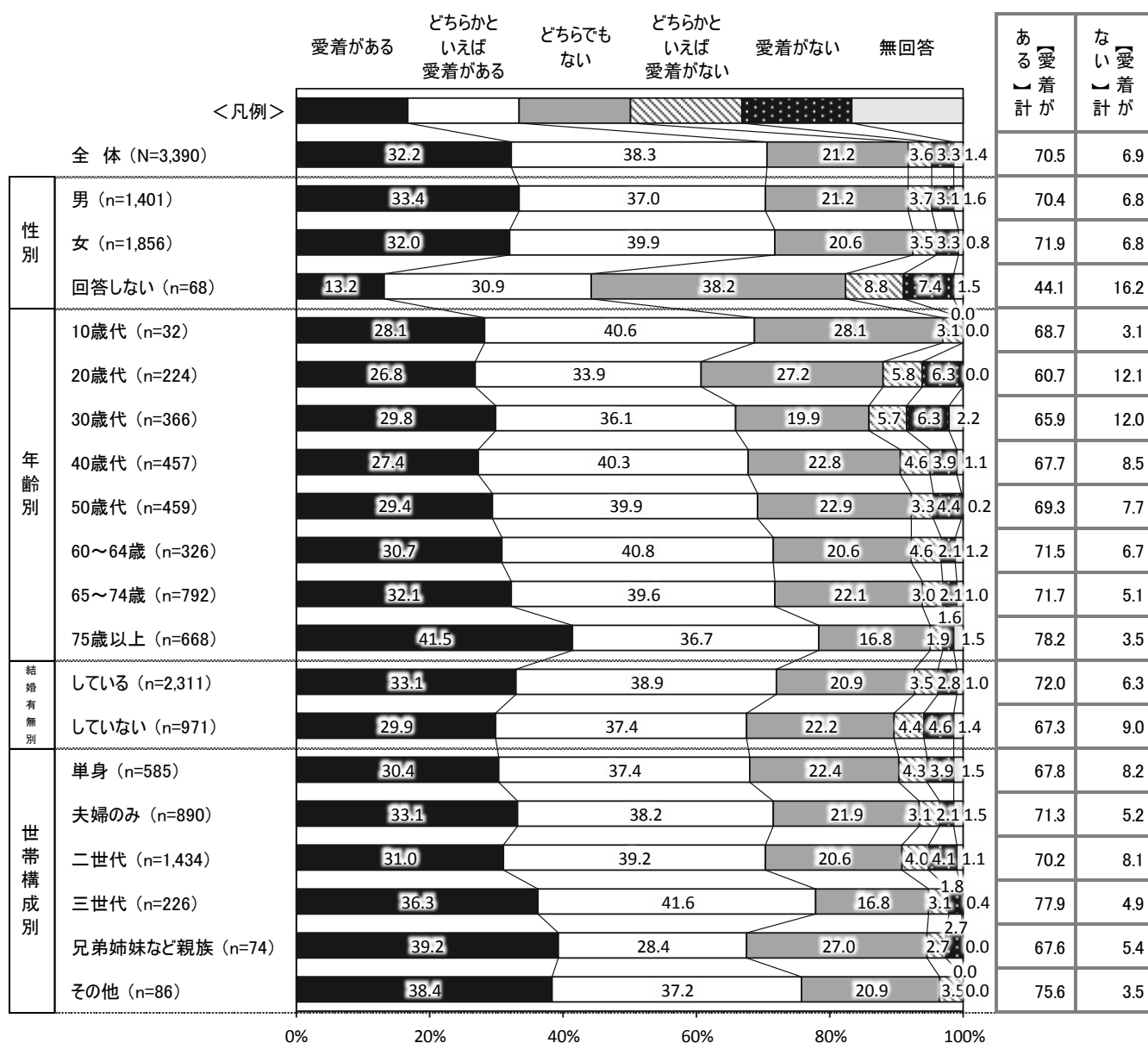
地区別でみると、すべての地区で『愛着がある』と答える人が『愛着がない』と答える人を大きく上回っている。

【飯塚市に対する愛着（全体・地区別）】



性別でみると、男女とも全体結果とほぼ同様の傾向を示している。
 年齢別でみると、年齢が高くなるほど『愛着がある』と答える人が多くなる傾向がみられ、75歳以上では『愛着がある』(78.1%)と答える人が8割近くを占めている。
 結婚有無別でみると、既婚者では『愛着がある』と答える人がやや多くなっている。
 世帯構成別でみると、三世帯世帯では『愛着がある』の割合が高くなっている。

【飯塚市に対する愛着（全体・性別・年齢別・結婚有無別・世帯構成別）】

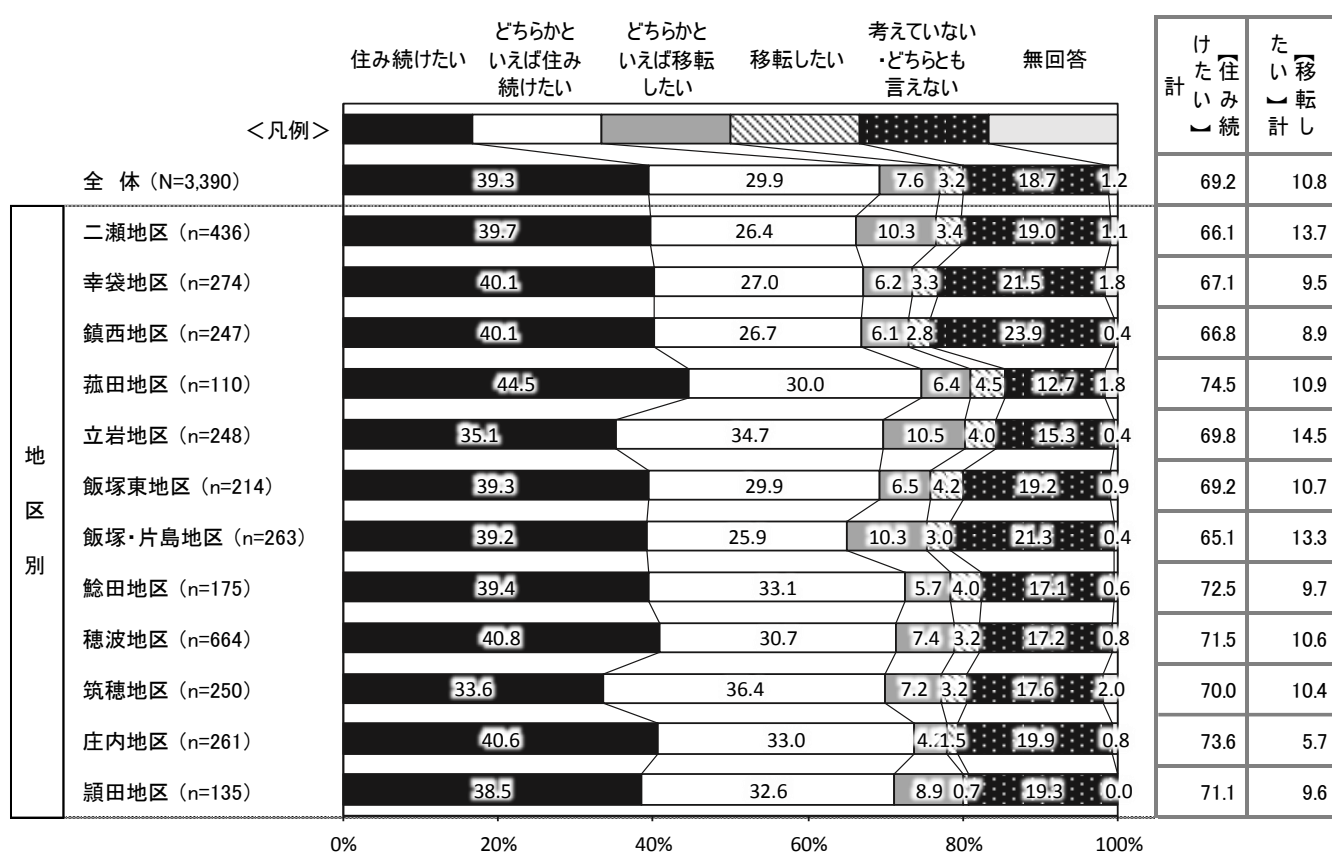


5. 飯塚市への定住意向

飯塚市への定住意向をみると、「住み続けたい」が39.3%、「どちらかといえば住み続けたい」が29.9%と、これらを合わせ『住み続けたい』(69.2%)と答える人が7割弱を占めている。一方、「移転したい」(3.2%)、「どちらかといえば移転したい」(7.6%)を合わせ『移転したい』(10.8%)と答える人は1割にとどまっている。

地区別でみると、すべての地区で『住み続けたい』と答える人が『移転したい』と答える人を大きく上回っている。

【飯塚市への定住意向（全体・地区別）】



性別でみると、男女とも全体結果とほぼ同様の傾向を示している。
 年齢別でみると、年齢が高くなるほど『住み続けたい』と答える人が多くなる傾向がみられ、75歳以上では『住み続けたい』(81.3%)と答える人が8割以上を占めている。
 結婚有無別でみると、既婚者が『住み続けたい』と答える人が多くなっている。
 世帯構成別でみると、夫婦のみ世帯と三世帯世帯では『住み続けたい』の割合がやや高くなっている。

【飯塚市への定住意向（全体・性別・年齢別・結婚有無別・世帯構成別）】

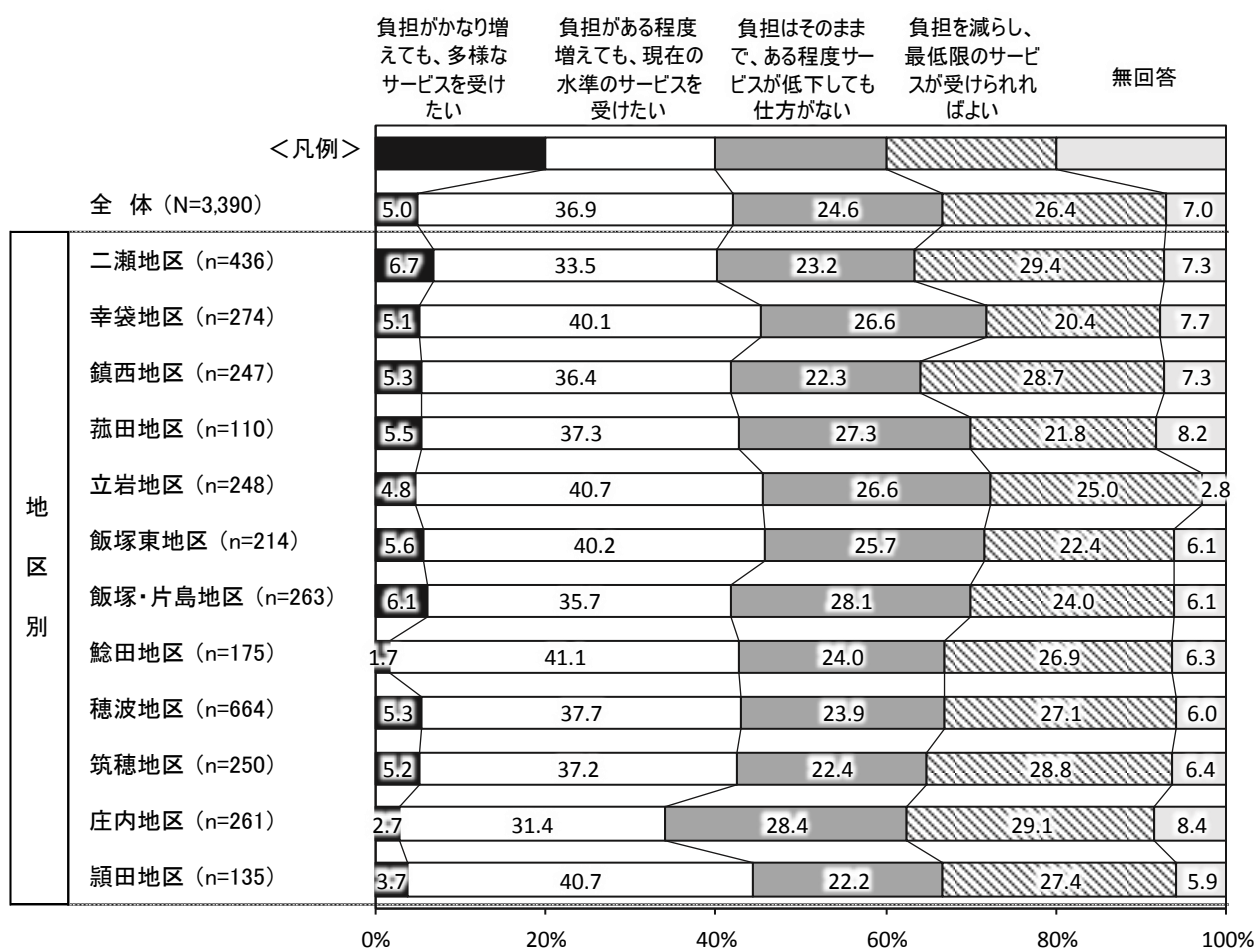


6. 今後の市民の負担と行政サービスのあり方

今後の市民の負担と行政サービスのあり方についてみると、「負担がある程度増えても、現在の水準のサービスを受けたい」が36.9%と最も多く、次いで「負担を減らし、最低限のサービスが受けられればよい」(26.4%)、「負担はそのまま、ある程度サービスが低下しても仕方がない」(24.6%)と続き、「負担がかなり増えても、多様なサービスを受けたい」と答える人は5.0%にとどまっている。

地区別でみると、すべての地区で「負担がある程度増えても、現在の水準のサービスを受けたい」と答える人が多い。

【今後の市民の負担と行政サービスのあり方（全体・地区別）】

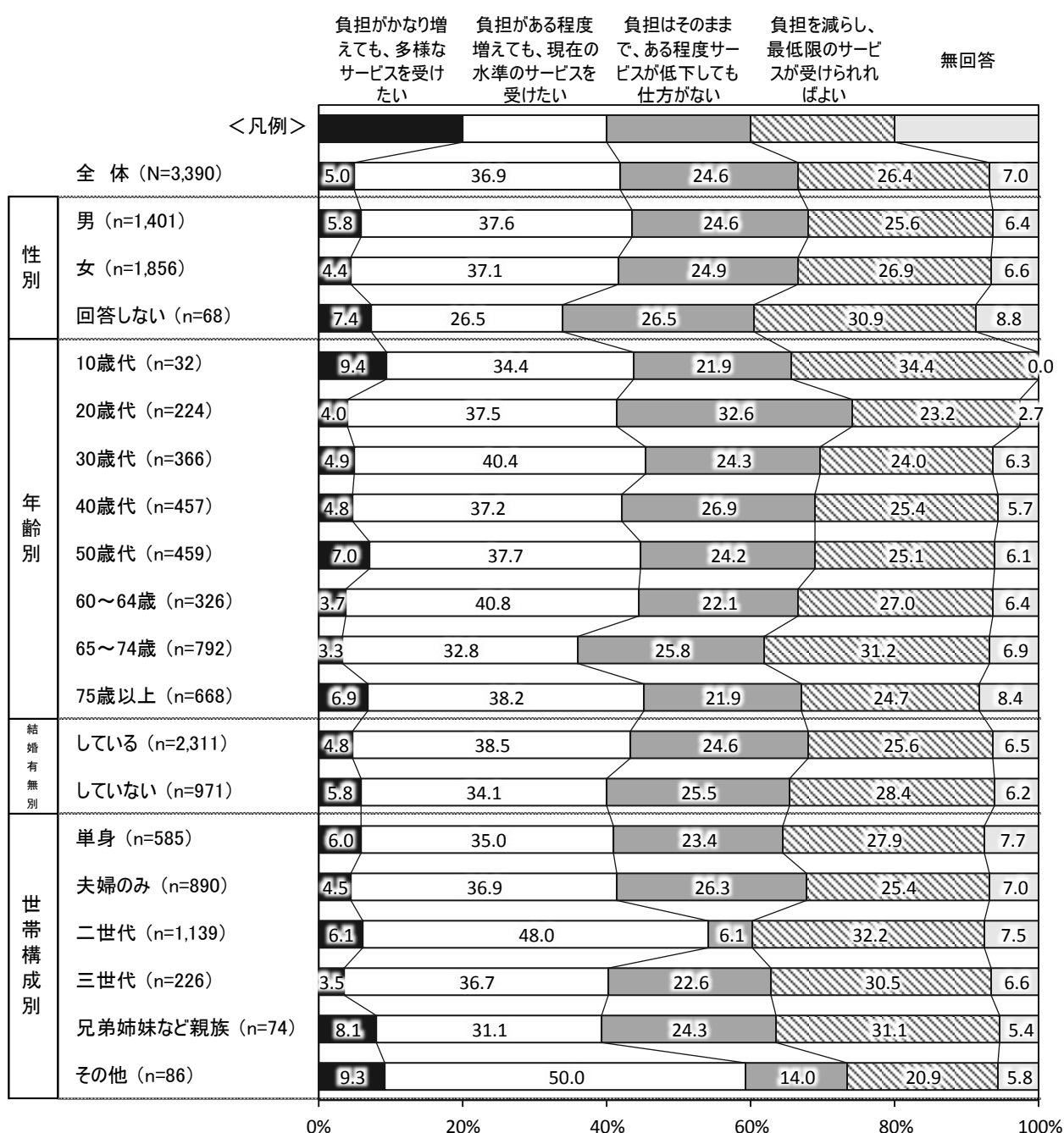


性別でみると、男女とも全体結果とほぼ同様の傾向を示している。

年齢別でみると、10歳代では「負担を減らし、最低限のサービスが受けられればよい」、20歳代では「負担はそのまま、ある程度サービスが低下しても仕方がない」の割合がそれぞれ高くなっている。結婚有無別でみると、いずれも全体結果とほぼ同様の傾向を示している。

世帯構成別でみると、二世帯世帯では「負担がある程度増えても、現在の水準のサービスを受けたい」の割合が高く、「負担はそのまま、ある程度サービスが低下しても仕方がない」の割合が低くなっている。

【今後の市民の負担と行政サービスのあり方（全体・性別・年齢別・結婚有無別・世帯構成別）】



7. 市民意識についての経年変化

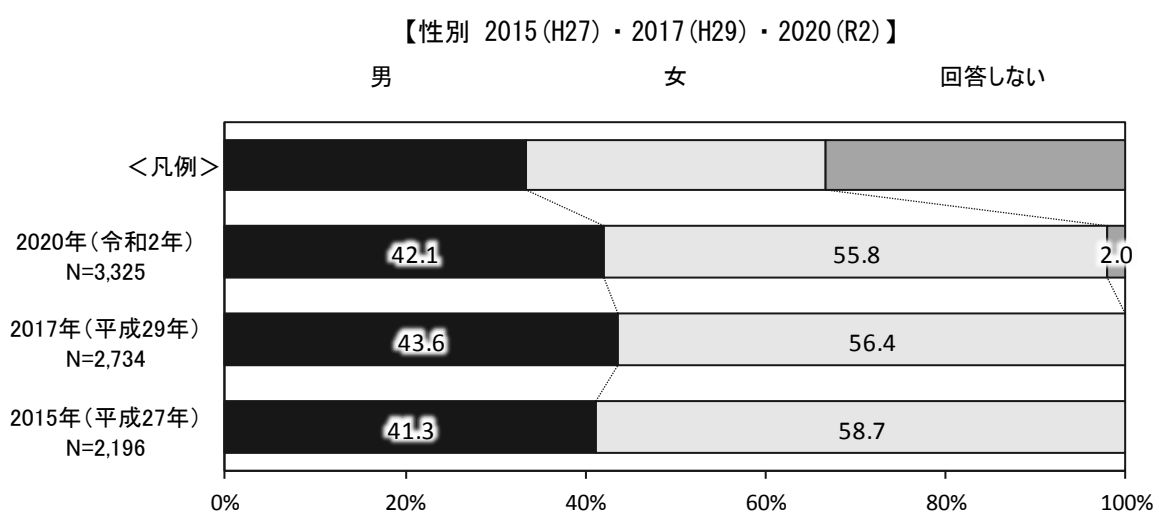
今回の2020(令和2)年度調査と、2017(平成29)年度に実施した市民意識調査、および2015(平成27)年度飯塚市人口ビジョン・総合戦略策定支援業務における市民アンケートの結果を比較し、飯塚市の市民意識の変化の分析を行う。

(1) 回答者の属性比較

市民意識の経年変化を把握するにあたり、背景情報として各アンケートの回答者属性を各年で比較した。なお、調査年度によってデータの性質に違いがある場合は、各グラフの下に注記している。

①性別

性別については、2020(令和2)年度・2017(平成29)年度・2015(平成27)年度の各年とも大きな変化は無く、回答者の4割程度が男性、6割程度が女性という結果であった。2020(令和2)年度調査には、選択肢に「回答しない」も追加された。

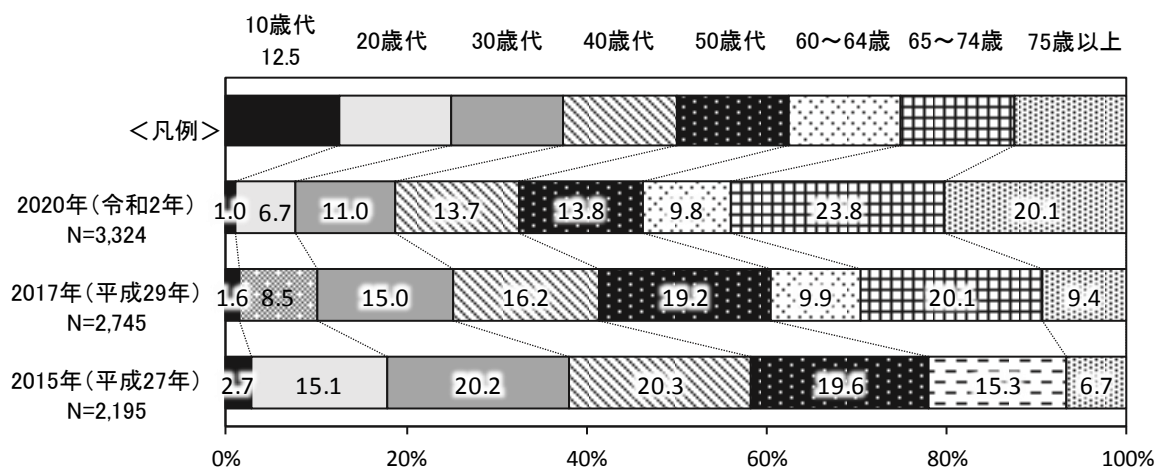


※ 2020(令和2)年度から選択肢に「回答しない」も追加。

②年齢

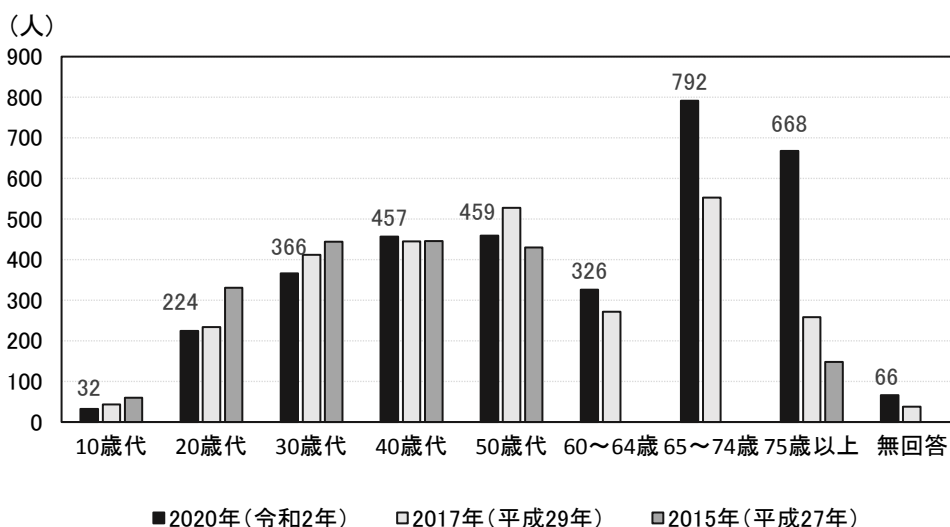
2015(平成 27)年度調査・2017(平成 29)年度調査・2020(令和 2)年度調査のいずれにおいても、対象者は6,000人であったが、2020(令和 2)年度調査の回答数は最も多く、2015(平成 27)年度と比較すると1,129人、2017(平成 29)年度と比較すると579人増加している。増加の要因は、多くの高齢者が回答に協力した結果、65歳以上の回答が著しく増えた点にある。従って、65歳未満の回答実数に大きな変化はみられないものの、65歳以上の回答割合が大きくなっている。そのため、2020(令和 2)年度調査における市民意識は、特に高齢者の意向が反映されやすい可能性がある。

【年齢別回答者割合 2015 (H27) ・ 2017 (H29) ・ 2020 (R2)】



※2015(平成 27)年度は年齢区分が「60～64歳」・「65～74歳」ではなく、「60～69歳」・「70～74歳」となっているため、「60～74歳」を一つの区分でまとめた。

【年齢別回答者数 2015 (H27) ・ 2017 (H29) ・ 2020 (R2)】

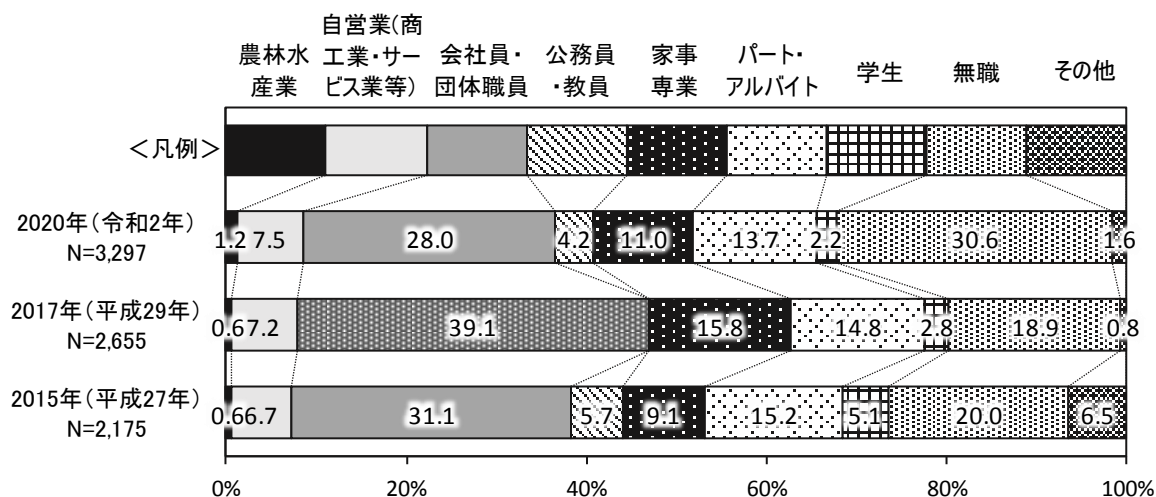


※2015(平成 27)年度は年齢区分が「60～64歳」・「65～74歳」ではなく、「60～69歳」・「70～74歳」となっているため、該当部分は記載していない。

③職業

2020(令和2)年度調査では、「無職」と回答した人の割合が30.6%と最も高く、2017年度調査と比べて占める割合が増加している。一因として、65歳以上の高齢者の回答割合が増加している点とも連動していることが考えられる。

【職業 2015(H27)・2017(H29)・2020(R2)】

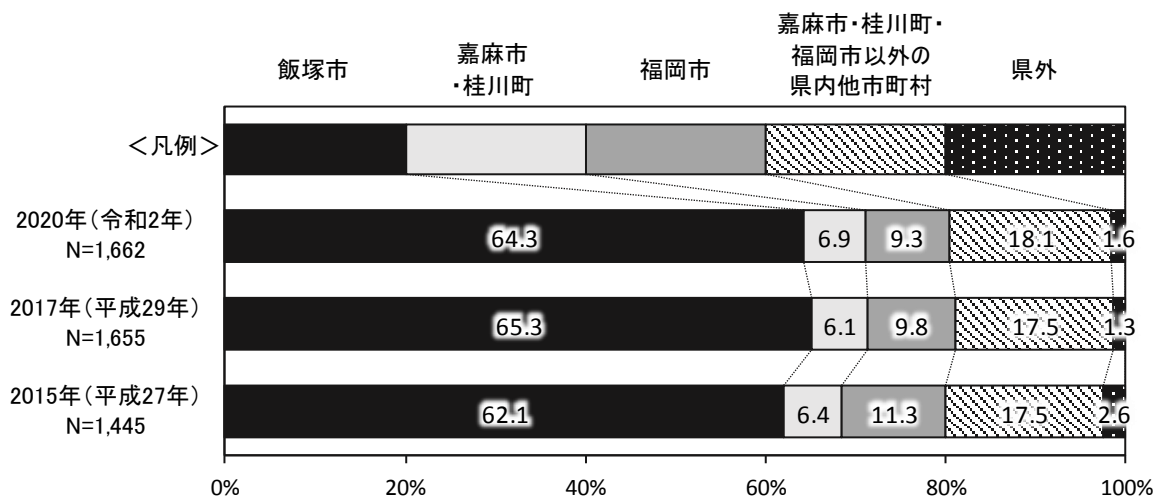


※2017年度調査は、「会社員・団体職員」に「公務員・教員」を含む。

④通勤・通学先

通勤・通学先については、2020(令和2)年度・2017(平成29)年度・2015(平成27)年度の各年とも大きな変化はなく、通勤・通学している回答者のうち、6割程度の通勤・通学先が飯塚市、続いて嘉麻市・桂川町・福岡市以外の県内各市町村が2割弱、次に福岡市、そして嘉麻市・桂川町という順であった。

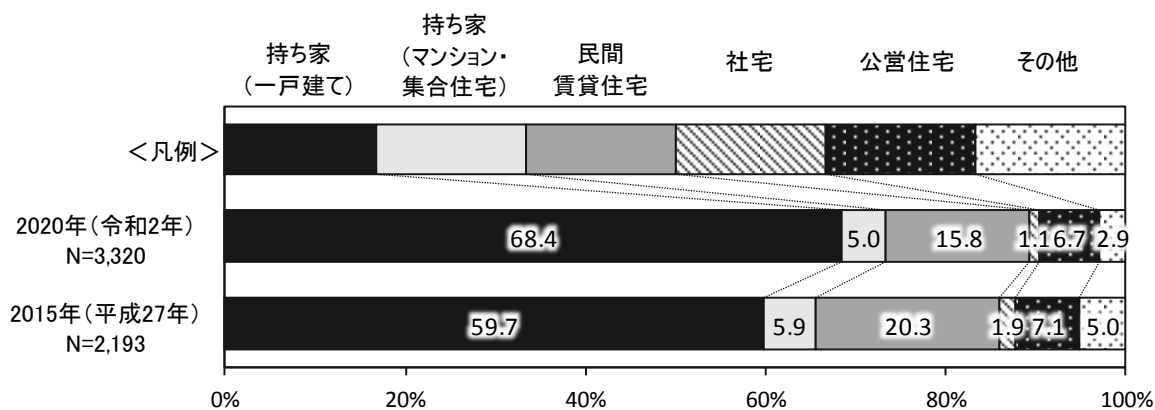
【通勤・通学先 2015(H27)・2017(H29)・2020(R2)】



⑤住まい

住まいについては、2015(平成27)年度・2020(令和2)年度とも、持ち家（一戸建て）と回答した人が最も多いが、2015(平成27)年度から2020(令和2)年度にかけて増加している一方で、民間賃貸住宅を選んだ人の割合は、減少している。一因として、年齢層の高い回答者が増加したことで、自身の持ち家を持つ人の割合も合わせて増加していることが考えられる。

【住まい 2015(H27)・2020(R2)】

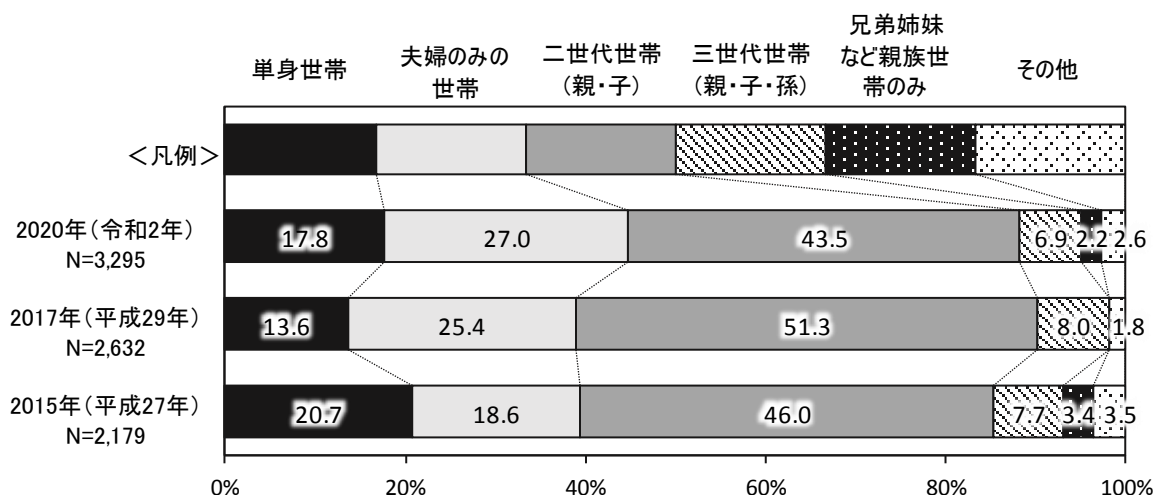


※2017年はデータなし。

⑧家族形態

家族形態としては、どの年度も共通して二世帯世帯（親・子）が最も多く、夫婦のみの世帯、単身世帯と続いている。2017(平成 29)年度調査と比べて 2020(令和 2)年度調査で単身世帯および夫婦のみの世帯が増加している背景には、一因として、高齢化の進展とともに、子どもが独立し、夫婦のみや単身世帯が増えていることが考えられる。

【家族形態 2015 (H27) ・ 2017 (H29) ・ 2020 (R2)】

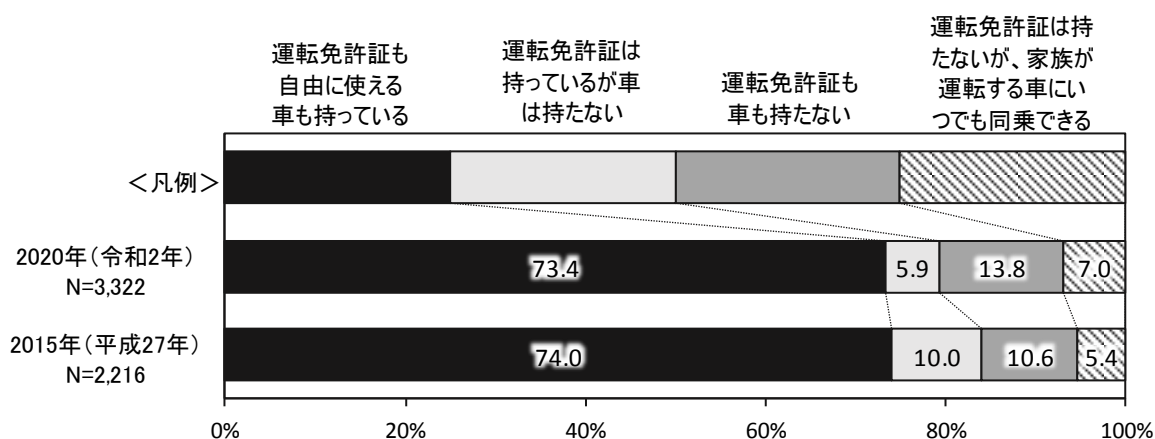


※2017 (H29) 年度は「兄弟姉妹など親族世帯のみ」の選択肢はなし。

⑨運転免許証及び自家用車の有無

運転免許証及び自家用車の有無については、2015(平成 27)年度と 2020(令和 2)年度を比べて大きな変化はみられず、運転免許証も自由に使える車も持っていると答えた人の割合が全体の 7 割を超えている。

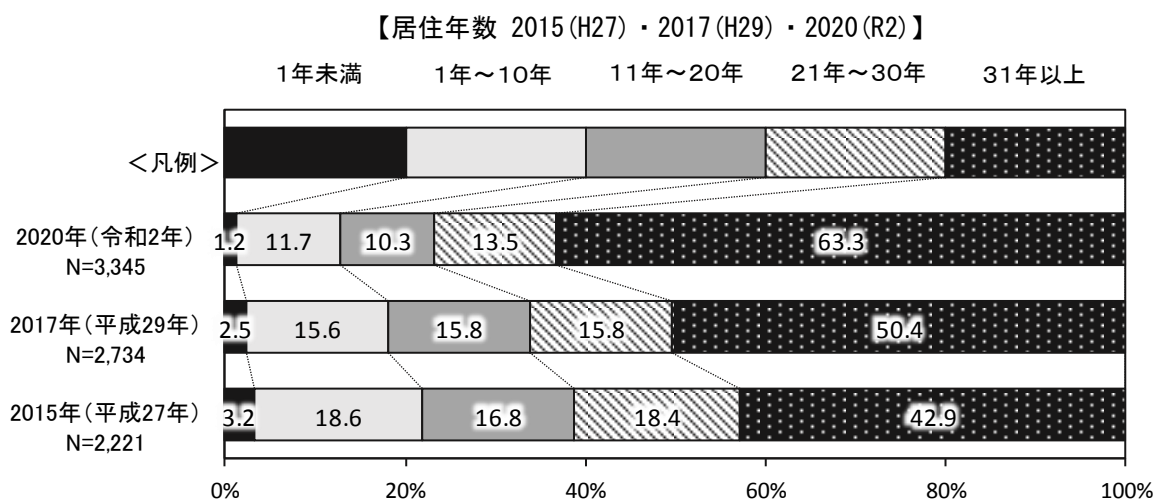
【運転免許証及び自家用車の有無 2015 (H27) ・ 2020 (R2)】



※2017(平成 29)年度はデータなし。

⑩居住年数

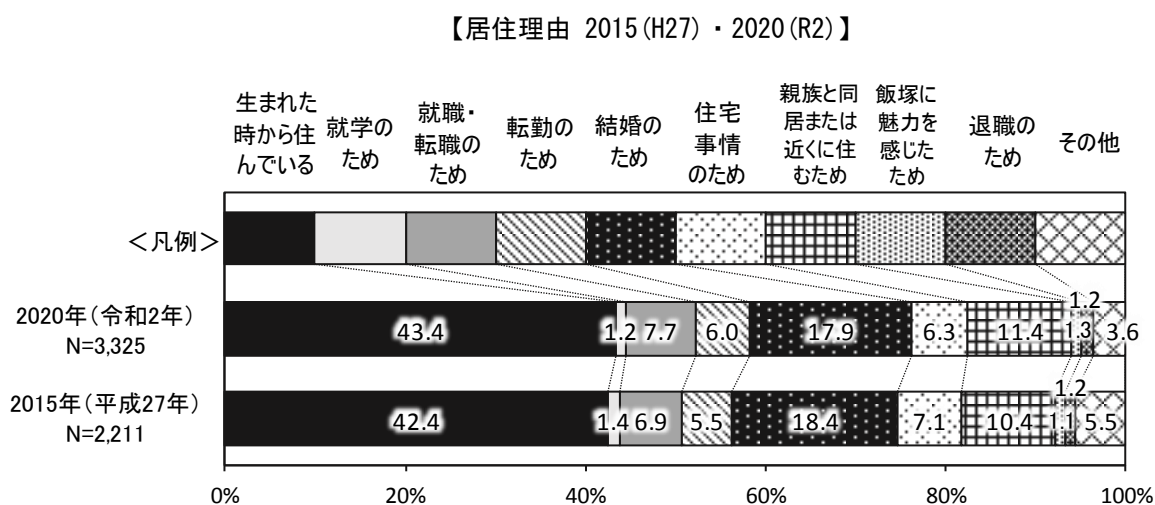
居住年数を経年で比較すると、2020(令和2)年度調査では、飯塚市の居住年数が31年以上と答えた人の割合が全体の6割を超え、過去3回の調査で最も高くなっている。その一方で、10年未満と答えた人の割合が、全体の約13%と、2017(平成29)年度、2015(平成27)年度調査と比べても、最も低くなった。



※2017年のみ項目の区分が異なり、「1年以上5年未満」と「5年以上10年未満」を合わせて「1年～10年」、「10年以上20年未満」を「11年～20年」、「20年以上30年未満」を「21年～30年」、「30年以上」を「31年以上」としてグラフ作成。

⑪居住理由

飯塚市に居住している理由は、2020(令和2)年度と2015(平成27)年度を比べても傾向は大きく変わらず、どちらの年も生まれた時から住んでいると答えた人の割合は4割を超えている。また、結婚のためと答えた人が2割弱、親族と同居または近くに住民のためと答えた人の割合は約1割となっている。

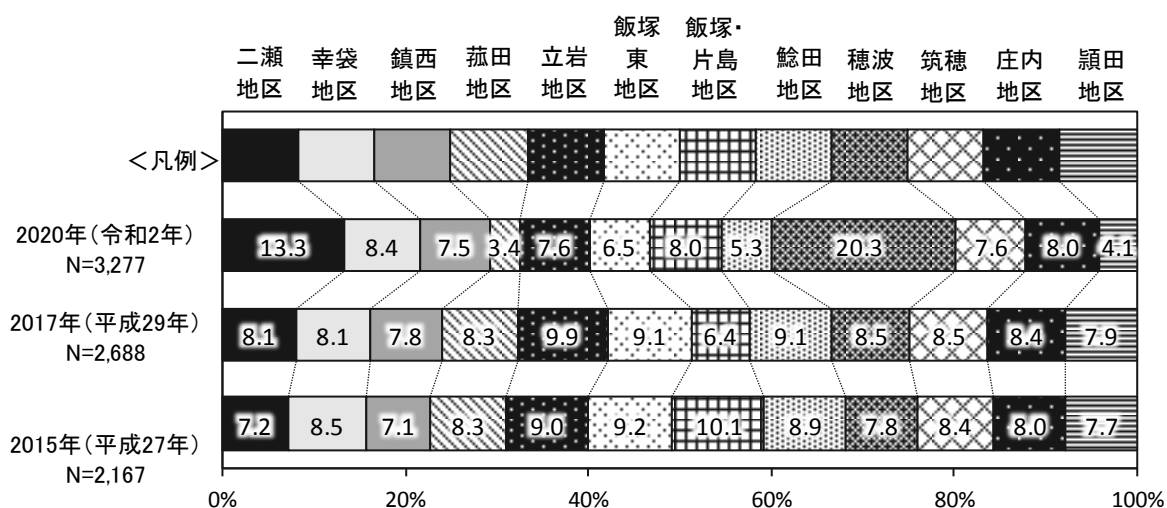


※2017(平成29)年度はデータなし。

⑫住まいの地区

回答者の居住地区は、2020(令和 2)年度調査は穂波地区の人が 20.3%と最も高く、2017(平成 29)年度調査と比べて増加している。続いて二瀬地区在住の人が 13.3%で、2017(平成 29)年度調査と比べると増加している。一方、最も少なかったのは菰田地区の 3.4%で、2017(平成 29)年度調査と比べて減少した。

【住まいの地区 2015 (H27) ・ 2017 (H29) ・ 2020 (R2)】

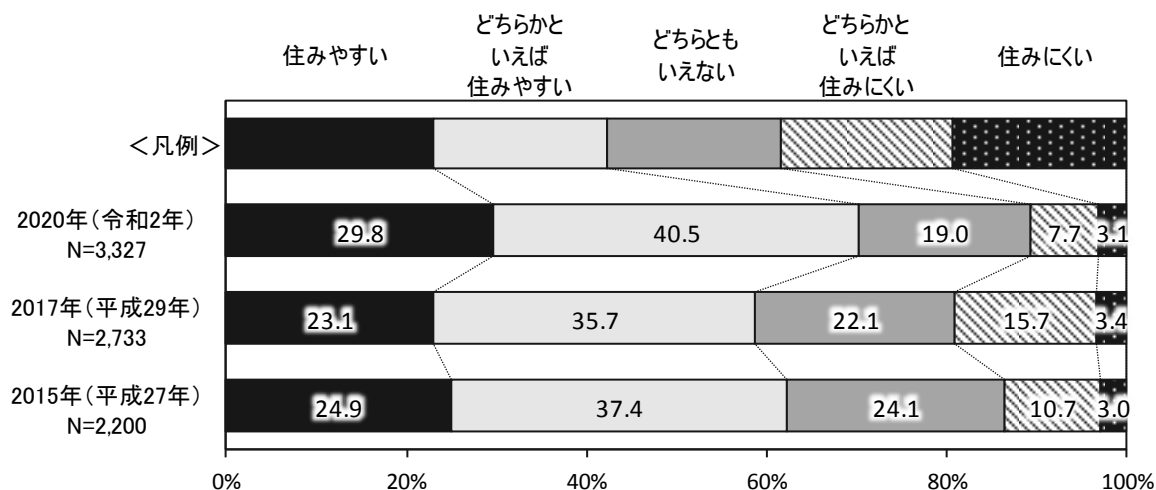


(2) 飯塚市の住みやすさの経年比較

各年の調査で「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と答えた人を合わせると、すべての年で半数を超えており、特に2020(令和2)年度調査では約7割を占めている。

その一方で、「住みにくい」または「どちらかといえば住みにくい」と回答した人の割合は、2020(令和2)年度では約1割で、2017(平成29)年度調査と比べてその割合は減少している。

【飯塚市の住みやすさ（全体）2015(H27)・2017(H29)・2020(R2)】



※経年での比較を可能にするため、2020年も無回答を除いたサンプル数で割合を算出。

(3) 住みやすいと思う理由の経年比較

『住みやすい』¹と思う理由として多く選ばれた項目を調査年ごとに順位付けすると、2020(令和2)年度に1位であった「自然災害が少ない」は、2017(平成29)年度・2015(平成27)年度の調査でも上位1位～2位に選ばれている。また今回2位の「買い物が便利である」は、過去2回の調査においても、上位4位以内に入っている。今回3位の「自然環境が良い」は、過去2回の調査においても3～4位に選ばれている。今回4位の「この土地への愛着がある」は、2017(平成29)年度は1位、2015(平成27)年度は3位であった。今回5位の「病院や福祉施設が充実している」は、過去の調査においては5位～6位となっている。住みやすいと思う上位5項目については、過去の調査と大きな変化がなかった。

【住みやすいと思う理由の経年比較 2015(H27)・2017(H29)・2020(R2)】

順位	2020年(令和2年度)	2017年(平成29年度)	2015年2017年(平成27年度)
1	自然災害が少ない	この土地への愛着がある	自然災害が少ない
2	買い物が便利である	自然災害が少ない	買い物が便利である
3	自然環境がよい	自然環境がよい	この土地への愛着がある
4	この土地への愛着がある	買い物が便利である	自然環境がよい
5	病院や福祉施設が充実している	交通の便がよい	病院や福祉施設が充実している
6	気の合う仲間がいる ※近所付き合いがしやすい(2015,2017)	病院や福祉施設が充実している	交通の便がよい
7	交通の便がよい	気の合う仲間がいる ※近所付き合いがしやすい(2015,2017)	気の合う仲間がいる ※近所付き合いがしやすい(2015,2017)
8	道路等の生活環境が整っている	道路等の生活環境が整っている	道路等の生活環境が整っている
9	子育て環境や教育環境がよい	子育て環境や教育環境がよい	子育て環境や教育環境がよい
10	公共施設が整っている	公共施設が整っている	その他
11	防犯や防災対策が整っている	歴史・文化施設が整っている	公共施設が整っている
12	歴史・文化施設が整っている	防犯や防災対策が整っている	働く場所が多い
13	行政サービスが充実している	レクリエーションの場が多い	レクリエーションの場が多い
14	働く場所が多い	その他	歴史・文化施設が整っている
15	レクリエーションの場が多い	働く場所が多い	防犯や防災対策が整っている
16	その他	行政サービスが充実している	行政サービスが充実している
17	まちに活気がある	まちに活気がある	まちに活気がある

※各調査年の結果比較を可能にするため、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせて『住みやすい』と答えた人のみを抽出し、選んだ人が多かった理由を順位付けした。

¹「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」を合わせて『住みやすい』と答えた人を抽出。

(4) 住みにくいと思う理由の経年比較

『住みにくい』²と思う理由として多く選ばれた項目を調査年ごとに順位付けすると、2020(令和2)年度に1位であった「交通の便がよくない」は、2017(平成29)年度・2015(平成27)年度の調査でも同様に、上位1位に選ばれている。また今回2位の「買い物が不便である」は、過去2回の調査においても、上位2～3位に入っている。今回3位の「まちに活気がない」は、過去2回の調査においても2位、4位に選ばれている。今回4位の「働く場所が少ない」は、2017(平成29)年度は4位、2015(平成27)年度は3位であった。今回5位の「行政サービスが充実していない」は、2017(平成29)年度調査では10位まで下がっていたが、2015年は5位であった。「子育て環境や教育環境がよくない」は、2017(平成29)・2015(平成27)年度調査では5位であったものの、2020(令和2)年度調査では8位となっている。今回、回答者の年齢について高齢者の割合が増加したことから、子育てや教育に関する問題意識は低下した可能性がある。住みにくいと思う理由のうち、上位4項目については、過去の調査と大きな変化がなかった。

【住みにくいと思う理由（全体）2015(H27)・2017(H29)・2020(R2)】

順位	2020年(令和2年度)	2017年(平成29年度)	2015年2017年(平成27年度)
1	交通の便がよくない	交通の便がよくない	交通の便がよくない
2	買い物が不便である	まちに活気がない	買い物が不便である
3	まちに活気がない	買い物が不便である	働く場所が少ない
4	働く場所が少ない	働く場所が少ない	まちに活気がない
5	行政サービスが充実していない	子育て環境や教育環境がよくない	子育て環境や教育環境がよくない
6	道路等の生活環境が整っていない	公共施設が整っていない	行政サービスが充実していない
7	公共施設が整っていない	病院や福祉施設が少ない	道路等の生活環境が整っていない
8	子育て環境や教育環境がよくない	道路等の生活環境が整っていない	この土地への愛着がわからない
9	防犯や防災対策が整っていない	防犯や防災対策が整っていない	その他
10	自然災害が懸念される	行政サービスが充実していない	病院や福祉施設が少ない
11	この土地への愛着がわからない	この土地への愛着がわからない	防犯や防災対策が整っていない
12	レクリエーションの場が少ない	自然災害が懸念される	レクリエーションの場が少ない
13	病院や福祉施設が少ない	レクリエーションの場が少ない	公共施設が整っていない
14	気の合う仲間がない ※近所付き合いがしにくい(2015,2017)	気の合う仲間がない ※近所付き合いがしにくい(2015,2017)	自然災害が懸念される
15	歴史・文化施設が整っていない	自然環境がよくない	気の合う仲間がない ※近所付き合いがしにくい(2015,2017)
16	その他	その他	自然環境がよくない
17	自然環境がよくない	歴史・文化施設が整っていない	歴史・文化施設が整っていない

※各調査年の結果比較を可能にするため、「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合わせ『住みにくい』と答えた人のみで比較。

2 「住みにくい」または「どちらかといえば住みにくい」を合わせて『住みにくい』と答えた人を抽出。

(5) 住みやすいと思う理由と住みにくいと思う理由の比較考察

経年での理由比較を行った結果、上位項目には大きな変化がなかったことから、最新の2020(令和2)年度調査をもとに、市民にとって飯塚市が『住みやすい』³または『住みにくい』⁴と思う理由の比較考察を行った。

『住みやすい』と答えた人が最も多く選んだ理由は、「自然災害が少ない」であった。一方で、『住みにくい』と答えた人にとっても、その理由のうち「自然災害が懸念される」は17位中10位と上位ではなかったことから、自然災害に関する市民の意識傾向は合致しているといえる。

『住みやすい』と答えた人が2番目に多く選んだ理由は、「買い物便利である」であった。一方で、『住みにくい』と答えた人が2番目に多く選んだ理由も「買い物不便である」で、それぞれが上位となっている。地区別に「買い物便利である」と答えた人の割合をみると、穂波地区や菰田地区での割合が高かった一方、「買い物不便である」と答えた人の割合を地区ごとにみると、颯田地区、鯉田地区で割合が高かった。その一因として、地区ごとの商業施設等の立地状況などにより、買い物の利便性への意識の違いがあることが考えられる。

『住みにくい』と思っている人が最も多く選んだ理由は、「交通の便がよくない」で、どの地区でも6割を越える人が理由としてあげている。一方、『住みやすい』と答えた人が選んだ理由において「交通の便がよい」は7位で、4割弱の人が選んだ立岩地区以外では、各地区で3割に満たない人しか選んでいない。

『住みにくい』と答えた人の選んだ理由うち、「まちに活気がない」は3番目に多く選ばれた一方で、『住みやすい』と答えた人のうち、その理由に「まちに活気がある」と答えた人は最下位であったことから、「まちの活気」が課題になっている可能性がある。地区別に「まちに活気がない」と答えた人の割合をみると、鯉田地区や菰田地区、飯塚東地区で選択した割合が高かった。

³ 「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」を合わせて『住みやすい』と答えた人を抽出。

⁴ 「住みにくい」または「どちらかといえば住みにくい」を合わせて『住みにくい』と答えた人を抽出。

【『住みやすい』と思う理由比較（全体・地区別・性別・年齢別）2020(R2)】

	サンプル数	自然災害が少ない	買い物が便利である	自然環境がよい	この土地への愛着がある	病院や福祉施設が充実している	気の合う仲間がいる	交通の便がよい	道路等の生活環境が整っている	子育て環境や教育環境がよい	公共施設が整っている	防犯や防災対策が整っている	歴史・文化施設が整っている	行政サービスが充実している	働く場所が多い	レクリエーションの場が多い	まちに活気がある	その他	
全体	2,337	1,074	1,047	908	880	841	618	562	273	206	161	110	110	106	68	48	31	40	
	100.0%	46.0%	44.8%	38.9%	37.7%	36.0%	26.4%	24.0%	11.7%	8.8%	6.9%	4.7%	4.7%	4.5%	2.9%	2.1%	1.3%	1.7%	
地区別	二瀬地区	286	132	129	122	119	117	71	46	30	27	21	9	17	13	7	8	7	4
		100.0%	46.2%	45.1%	42.7%	41.6%	40.9%	24.8%	16.1%	10.5%	9.4%	7.3%	3.1%	5.9%	4.5%	2.4%	2.8%	2.4%	1.4%
	幸袋地区	183	71	66	78	83	63	53	30	28	19	17	12	15	10	6	7	3	6
		100.0%	38.8%	36.1%	42.6%	45.4%	34.4%	29.0%	16.4%	15.3%	10.4%	9.3%	6.6%	8.2%	5.5%	3.3%	3.8%	1.6%	3.3%
	鎮西地区	171	86	83	79	55	51	46	29	12	13	5	9	8	10	7	1	3	3
		100.0%	50.3%	48.5%	46.2%	32.2%	29.8%	26.9%	17.0%	7.0%	7.6%	2.9%	5.3%	4.7%	5.8%	4.1%	0.6%	1.8%	1.8%
	菟田地区	83	35	45	28	35	27	17	24	10	2	5	6	3	4	—	—	—	1
		100.0%	42.2%	54.2%	33.7%	42.2%	32.5%	20.5%	28.9%	12.0%	2.4%	6.0%	7.2%	3.6%	4.8%	—	—	—	1.2%
	立岩地区	191	75	97	60	58	82	43	74	30	19	17	8	12	9	4	6	4	4
		100.0%	39.3%	50.8%	31.4%	30.4%	42.9%	22.5%	38.7%	15.7%	9.9%	8.9%	4.2%	6.3%	4.7%	2.1%	3.1%	2.1%	2.1%
	飯塚東地区	155	76	71	48	46	64	35	44	12	10	9	9	12	9	7	4	—	2
		100.0%	49.0%	45.8%	31.0%	29.7%	41.3%	22.6%	28.4%	7.7%	6.5%	5.8%	5.8%	7.7%	5.8%	4.5%	2.6%	—	1.3%
	飯塚・片島地区	192	69	98	48	79	82	62	55	28	16	19	10	7	9	8	4	2	4
		100.0%	35.9%	51.0%	25.0%	41.1%	42.7%	32.3%	28.6%	14.6%	8.3%	9.9%	5.2%	3.6%	4.7%	4.2%	2.1%	1.0%	2.1%
鯉田地区	140	71	46	64	52	54	45	55	16	15	8	11	3	9	5	4	—	5	
	100.0%	50.7%	32.9%	45.7%	37.1%	38.6%	32.1%	39.3%	11.4%	10.7%	5.7%	7.9%	2.1%	6.4%	3.6%	2.9%	—	3.6%	
穂波地区	462	217	258	146	190	168	120	117	51	28	26	16	15	16	12	9	9	4	
	100.0%	47.0%	55.8%	31.6%	41.1%	36.4%	26.0%	25.3%	11.0%	6.1%	5.6%	3.5%	3.2%	3.5%	2.6%	1.9%	1.9%	0.9%	
筑穂地区	147	80	42	95	56	36	36	24	13	14	9	8	2	7	2	—	1	2	
	100.0%	54.4%	28.6%	64.6%	38.1%	24.5%	24.5%	16.3%	8.8%	9.5%	6.1%	5.4%	1.4%	4.8%	1.4%	—	0.7%	1.4%	
庄内地区	187	92	69	85	57	55	47	42	27	23	13	6	7	4	3	4	—	2	
	100.0%	49.2%	36.9%	45.5%	30.5%	29.4%	25.1%	22.5%	14.4%	12.3%	7.0%	3.2%	3.7%	2.1%	1.6%	2.1%	—	1.1%	
額田地区	76	43	14	36	33	20	25	7	6	11	6	3	3	3	3	—	1	2	
	100.0%	56.6%	18.4%	47.4%	43.4%	26.3%	32.9%	9.2%	7.9%	14.5%	7.9%	3.9%	3.9%	3.9%	3.9%	—	1.3%	2.6%	
無回答	64	27	29	19	17	22	18	15	10	9	6	3	6	3	4	1	1	1	
	100.0%	42.2%	45.3%	29.7%	26.6%	34.4%	28.1%	23.4%	15.6%	14.1%	9.4%	4.7%	9.4%	4.7%	6.3%	1.6%	1.6%	1.6%	
性別	男	945	414	431	381	387	361	217	262	132	78	77	46	51	43	25	25	12	20
		100.0%	43.8%	45.6%	40.3%	41.0%	38.2%	23.0%	27.7%	14.0%	8.3%	8.1%	4.9%	5.4%	4.6%	2.6%	2.6%	1.3%	2.1%
	女	1,320	627	582	506	471	457	382	283	132	120	80	62	54	57	42	23	16	19
		100.0%	47.5%	44.1%	38.3%	35.7%	34.6%	28.9%	21.4%	10.0%	9.1%	6.1%	4.7%	4.1%	4.3%	3.2%	1.7%	1.2%	1.4%
回答しない	37	17	18	10	11	11	11	10	7	5	3	2	4	3	1	—	1	1	
	100.0%	45.9%	48.6%	27.0%	29.7%	29.7%	29.7%	27.0%	18.9%	13.5%	8.1%	5.4%	10.8%	8.1%	2.7%	—	2.7%	2.7%	
無回答	35	16	16	11	11	12	8	7	2	3	1	—	1	3	—	—	2	—	
	100.0%	45.7%	45.7%	31.4%	31.4%	34.3%	22.9%	20.0%	5.7%	8.6%	2.9%	—	2.9%	8.6%	—	—	5.7%	—	
年齢別	10歳代	25	11	10	8	10	9	11	6	3	3	4	3	3	2	2	—	—	—
		100.0%	44.0%	40.0%	32.0%	40.0%	36.0%	44.0%	24.0%	12.0%	12.0%	16.0%	12.0%	12.0%	8.0%	8.0%	—	—	—
	20歳代	154	40	81	47	47	45	49	32	16	13	14	1	5	1	4	3	4	3
		100.0%	26.0%	52.6%	30.5%	30.5%	29.2%	31.8%	20.8%	10.4%	8.4%	9.1%	0.6%	3.2%	0.6%	2.6%	1.9%	2.6%	1.9%
	30歳代	245	58	110	95	87	72	78	62	23	36	21	4	7	3	13	3	3	8
		100.0%	23.7%	44.9%	38.8%	35.5%	29.4%	31.8%	25.3%	9.4%	14.7%	8.6%	1.6%	2.9%	1.2%	5.3%	1.2%	1.2%	3.3%
	40歳代	324	105	153	118	102	99	78	75	35	44	28	8	12	8	12	10	2	3
		100.0%	32.4%	47.2%	36.4%	31.5%	30.6%	24.1%	23.1%	10.8%	13.6%	8.6%	2.5%	3.7%	2.5%	3.7%	3.1%	0.6%	0.9%
	50歳代	322	131	165	127	121	109	65	63	39	32	19	16	13	11	8	4	6	10
	100.0%	40.7%	51.2%	39.4%	37.6%	33.9%	20.2%	19.6%	12.1%	9.9%	5.9%	5.0%	4.0%	3.4%	2.5%	1.2%	1.9%	3.1%	
60～64歳	220	112	97	100	86	73	47	48	20	7	9	4	12	6	6	3	2	2	
	100.0%	50.9%	44.1%	45.5%	39.1%	33.2%	21.4%	21.8%	9.1%	3.2%	4.1%	1.8%	5.5%	2.7%	2.7%	1.4%	0.9%	0.9%	
65～74歳	542	323	244	219	213	208	142	144	64	38	28	34	23	27	13	14	5	7	
	100.0%	59.6%	45.0%	40.4%	39.3%	38.4%	26.2%	26.6%	11.8%	7.0%	5.2%	6.3%	4.2%	5.0%	2.4%	2.6%	0.9%	1.3%	
75歳以上	468	276	170	183	202	214	138	119	66	28	35	38	31	45	9	11	8	6	
	100.0%	59.0%	36.3%	39.1%	43.2%	45.7%	29.5%	25.4%	14.1%	6.0%	7.5%	8.1%	6.6%	9.6%	1.9%	2.4%	1.7%	1.3%	
無回答	37	18	17	11	12	12	10	13	7	5	3	2	4	3	1	—	1	1	
	100.0%	48.6%	45.9%	29.7%	32.4%	32.4%	27.0%	35.1%	18.9%	13.5%	8.1%	5.4%	10.8%	8.1%	2.7%	—	2.7%	2.7%	

※「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせて『住みやすい』とした人のみを抽出。

【『住みにくい』と思う理由比較（全体・地区別・性別・年齢別）2020(R2)】

		サンプル数	交通の便がよいくない	買い物が不便である	まちに活気がない	働く場所が少ない	行政サービスが充実していない	道路等の生活環境が整っていない	公共施設が整っていない	子育て環境や教育環境がよいくない	防犯や防災対策が整っていない	自然災害が懸念される	この土地への愛着がわかない	レクリエーションの場が少ない	病院や福祉施設が少ない	気の合う仲間がない	歴史・文化施設が整っていない	自然環境がよいくない	その他
全体		358	288	198	192	149	128	98	85	84	84	83	82	81	60	45	34	32	34
		100.0%	80.4%	55.3%	53.6%	41.6%	35.8%	27.4%	23.7%	23.5%	23.5%	23.2%	22.9%	22.6%	16.8%	12.6%	9.5%	8.9%	9.5%
地区別	二瀬地区	49	42	22	28	28	20	10	9	14	11	11	12	7	7	7	2	5	7
		100.0%	85.7%	44.9%	57.1%	57.1%	40.8%	20.4%	18.4%	28.6%	22.4%	22.4%	24.5%	14.3%	14.3%	14.3%	4.1%	10.2%	14.3%
	幸袋地区	29	23	14	14	12	7	6	5	6	7	9	3	9	6	3	5	4	4
		100.0%	79.3%	48.3%	48.3%	41.4%	24.1%	20.7%	17.2%	20.7%	24.1%	31.0%	10.3%	31.0%	20.7%	10.3%	17.2%	13.8%	13.8%
	鎮西地区	32	25	14	14	10	13	9	7	7	5	7	5	6	4	3	4	1	3
		100.0%	78.1%	43.8%	43.8%	31.3%	40.6%	28.1%	21.9%	21.9%	15.6%	21.9%	15.6%	18.8%	12.5%	9.4%	12.5%	3.1%	9.4%
	菟田地区	8	7	7	6	3	2	2	—	3	2	1	3	—	—	1	1	1	1
		100.0%	87.5%	87.5%	75.0%	37.5%	25.0%	25.0%	—	37.5%	25.0%	12.5%	37.5%	—	—	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%
	立岩地区	20	12	8	11	6	5	5	5	8	4	7	8	6	2	1	1	2	2
		100.0%	60.0%	40.0%	55.0%	30.0%	25.0%	25.0%	40.0%	20.0%	35.0%	40.0%	30.0%	10.0%	5.0%	5.0%	10.0%	10.0%	5.0%
	飯塚東地区	16	11	9	12	7	4	5	5	4	7	2	5	5	3	3	1	—	3
		100.0%	68.8%	56.3%	75.0%	43.8%	25.0%	31.3%	31.3%	25.0%	43.8%	12.5%	31.3%	31.3%	18.8%	18.8%	6.3%	—	18.8%
	飯塚・片島地区	22	16	10	11	6	5	2	2	3	4	—	6	5	1	3	4	3	2
		100.0%	72.7%	45.5%	50.0%	27.3%	22.7%	9.1%	9.1%	13.6%	18.2%	—	27.3%	22.7%	4.5%	13.6%	18.2%	13.6%	9.1%
鯉田地区	9	9	8	7	8	5	3	4	4	5	1	2	6	2	1	3	—	1	
	100.0%	100.0%	88.9%	77.8%	88.9%	55.6%	33.3%	44.4%	44.4%	55.6%	11.1%	22.2%	66.7%	22.2%	11.1%	33.3%	—	11.1%	
穂波地区	62	42	30	31	24	25	22	16	18	13	15	19	14	10	9	3	8	5	
	100.0%	67.7%	48.4%	50.0%	38.7%	40.3%	35.5%	25.8%	29.0%	21.0%	24.2%	30.6%	22.6%	16.1%	14.5%	4.8%	12.9%	8.1%	
筑穂地区	50	45	36	27	17	20	16	18	12	14	11	9	18	19	7	6	3	4	
	100.0%	90.0%	72.0%	54.0%	34.0%	40.0%	32.0%	36.0%	24.0%	28.0%	22.0%	18.0%	36.0%	38.0%	14.0%	12.0%	6.0%	8.0%	
庄内地区	23	21	8	11	11	8	8	3	3	4	2	5	3	2	2	1	3	2	
	100.0%	91.3%	34.8%	47.8%	47.8%	34.8%	34.8%	13.0%	13.0%	17.4%	8.7%	21.7%	13.0%	8.7%	8.7%	4.3%	13.0%	8.7%	
顔田地区	27	25	26	15	12	10	8	6	4	3	12	5	4	2	2	2	1	—	
	100.0%	92.6%	96.3%	55.6%	44.4%	37.0%	29.6%	22.2%	14.8%	11.1%	44.4%	18.5%	14.8%	7.4%	7.4%	7.4%	3.7%	—	
無回答	11	10	6	5	5	4	2	2	2	2	4	2	2	3	3	—	1	1	
	100.0%	90.9%	54.5%	45.5%	45.5%	36.4%	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	36.4%	18.2%	18.2%	27.3%	27.3%	—	9.1%	9.1%	
性別	男	142	105	56	67	55	50	39	24	34	30	33	30	30	14	16	11	11	15
		100.0%	73.9%	39.4%	47.2%	38.7%	35.2%	27.5%	16.9%	23.9%	21.1%	23.2%	21.1%	21.1%	9.9%	11.3%	7.7%	7.7%	10.6%
	女	200	170	133	117	86	68	51	56	43	50	45	46	47	41	25	22	20	18
		100.0%	85.0%	66.5%	58.5%	43.0%	34.0%	25.5%	28.0%	21.5%	25.0%	22.5%	23.0%	23.5%	20.5%	12.5%	11.0%	10.0%	9.0%
回答しない	13	10	7	6	7	9	8	4	6	4	4	6	3	4	3	1	1	1	
	100.0%	76.9%	53.8%	46.2%	53.8%	69.2%	61.5%	30.8%	46.2%	30.8%	30.8%	46.2%	23.1%	30.8%	23.1%	7.7%	7.7%	7.7%	
無回答	3	3	2	2	1	1	—	1	1	—	1	—	1	1	1	—	—	—	
	100.0%	100.0%	66.7%	66.7%	33.3%	33.3%	—	33.3%	33.3%	—	33.3%	—	33.3%	33.3%	33.3%	—	—	—	
年齢別	10歳代	3	2	1	2	—	1	—	1	1	—	1	—	2	—	—	—	—	1
		100.0%	66.7%	33.3%	66.7%	—	33.3%	—	33.3%	33.3%	—	33.3%	—	66.7%	—	—	—	—	33.3%
	20歳代	35	28	19	17	18	11	5	11	9	9	9	10	11	1	5	6	3	4
		100.0%	80.0%	54.3%	48.6%	51.4%	31.4%	14.3%	31.4%	25.7%	25.7%	25.7%	28.6%	31.4%	2.9%	14.3%	17.1%	8.6%	11.4%
	30歳代	48	35	23	19	18	11	11	9	19	10	12	13	13	6	5	3	1	4
		100.0%	72.9%	47.9%	39.6%	37.5%	22.9%	22.9%	18.8%	39.6%	20.8%	25.0%	27.1%	27.1%	12.5%	10.4%	6.3%	2.1%	8.3%
	40歳代	51	39	22	28	18	19	16	16	18	11	17	13	8	7	8	2	2	6
		100.0%	76.5%	43.1%	54.9%	35.3%	37.3%	31.4%	31.4%	35.3%	21.6%	33.3%	25.5%	15.7%	13.7%	15.7%	3.9%	3.9%	11.8%
	50歳代	52	42	32	26	27	17	12	11	10	14	12	17	12	10	6	3	3	4
	100.0%	80.8%	61.5%	50.0%	51.9%	32.7%	23.1%	21.2%	19.2%	26.9%	23.1%	32.7%	23.1%	19.2%	11.5%	5.8%	5.8%	7.7%	
60～64歳	37	30	19	18	21	16	9	8	7	10	6	6	11	5	6	2	6	5	
	100.0%	81.1%	51.4%	48.6%	56.8%	43.2%	24.3%	21.6%	18.9%	27.0%	16.2%	16.2%	29.7%	13.5%	16.2%	5.4%	16.2%	13.5%	
65～74歳	70	55	41	43	28	35	35	17	12	20	17	17	14	12	10	10	12	3	
	100.0%	78.6%	58.6%	61.4%	40.0%	50.0%	50.0%	24.3%	17.1%	28.6%	24.3%	24.3%	20.0%	17.1%	14.3%	14.3%	17.1%	4.3%	
75歳以上	57	53	38	36	16	16	9	10	6	10	7	5	9	18	3	8	5	6	
	100.0%	93.0%	66.7%	63.2%	28.1%	28.1%	15.8%	17.5%	10.5%	17.5%	12.3%	8.8%	15.8%	31.6%	5.3%	14.0%	8.8%	10.5%	
無回答	5	4	3	3	3	2	1	2	2	—	2	1	1	1	2	—	—	1	
	100.0%	80.0%	60.0%	60.0%	60.0%	40.0%	20.0%	40.0%	40.0%	—	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	—	—	20.0%	

「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合わせ『住みにくい』と答えた人のみを抽出。

(6) ポートフォリオ分析による施策項目の優先性

①満足度

満足度を経年でみると、2017(平成 29)年度調査と比べて 2020(令和 2)年度では、40 施策のうち 36 の施策項目で高くなっており、特に「【13】安心して産み育てやすい環境づくり」は 0.15 点、「【30】災害・減災対策の充実」は 0.14 点増加している。一方、低くなったのは「【20】観光の振興」と「【28】歴史的文化的遺産の保護と活用」のみである。

2020(令和 2)年度調査で 3 点台であった施策は、「【31】消防・救急体制の充実」(3.14 点)、「【10】保健・医療の充実と連携」(3.08 点)、「【9】健幸都市づくりの推進」(3.02 点)、「【1】人権尊重のまちづくりの推進」(3.01 点)、「【22】人権尊重のまちづくりの推進」(3.00 点)の 5 施策である。

2020(令和 2)年度調査、2017(平成 29)年度調査とも満足度の得点の平均値はすべて 2 点台～3 点台の間であり、4 点以上(やや満足・満足)の項目はなかった。

【ポートフォリオ分析による施策項目の優先性「満足度」(全体) 2017(H29)・2020(R2)】

	2017(H29) 得点	2020(R2) 得点	2017(H29)→ 2020(R2) 変化
1 人権尊重のまちづくりの推進	2.96	3.01	↗
2 男女共同参画の推進	2.87	2.87	→
3 協働のまちづくりの推進	2.91	2.92	↗
4 情報共有の推進	2.93	2.95	↗
5 効果的・効率的な行政経営の推進	2.75	2.82	↗
6 公共施設等の最適化と有効利活用	2.62	2.72	↗
7 財政の健全化	2.56	2.67	↗
8 職員の能力開発と人材育成の推進	2.68	2.77	↗
9 健幸都市づくりの推進	3.01	3.02	→
10 保健・医療の充実と連携	3.00	3.08	↗
11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	2.72	2.84	↗
12 子育て支援の推進	2.76	2.86	↗
13 安心して産み育てやすい環境づくり	2.71	2.86	↗
14 障がい者福祉の充実	2.72	2.80	↗
15 安心して暮らせる地域づくり	2.65	2.77	↗
16 農林業の振興	2.72	2.75	↗
17 地場産業の振興	2.66	2.72	↗
18 創業促進と産業の創出	2.84	2.88	↗
19 商業の振興	2.42	2.44	↗
20 観光の振興	2.63	2.59	↘
21 就労支援の充実と労働環境の整備	2.55	2.61	↗
22 人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	2.95	3.00	↗
23 確かな学力を育む教育の推進	2.82	2.89	↗
24 子ども・若者の健全育成	2.76	2.79	↗
25 生涯学習の振興	2.87	2.89	↗
26 スポーツの振興	2.94	2.96	↗
27 文化芸術の創造	2.87	2.89	↗
28 歴史的・文化的遺産の保護と活用	2.97	2.95	↘
29 国際交流・多文化共生の推進	2.89	2.91	↗
30 災害・減災対策の充実	2.77	2.91	↗
31 消防・救急体制の充実	3.04	3.14	↗
32 生活安全の向上	2.78	2.89	↗
33 計画的な土地利用の推進	2.66	2.76	↗
34 定住環境・公共交通の充実	2.45	2.51	↗
35 公園・緑地の整備	2.66	2.78	↗
36 道路の整備	2.67	2.80	↗
37 上下水道の整備	2.82	2.88	↗
38 自然環境の保全	2.81	2.86	↗
39 快適な生活環境づくり	2.74	2.82	↗
40 環境にやさしいまちづくり	2.89	2.93	↗
平均値	2.78	2.84	↗

※得点差が0.01未満の差の場合は変わらない(→)、0.01以上の場合は増加(↗)、0.01以下の場合は減少(↘)として変化を記載。少数点第2位まで表示している都合上、0.01未満の差となっている場合でも、差が0.01と表示されている場合がある。

②重要度

重要度を経年でみると、2017(平成 29)年度調査と比べて 2020(令和 2)年度では、40 施策項目のうち半数の 20 項目において高くなっている。変化が比較的大きかったのは「【36】道路の整備」の 0.06 点増加、続いて「【30】災害・減災対策の充実」の 0.04 点増加である。一方、11 の施策項目で重要度が低下した。最も低くなったのは「【24】子ども・若者の健全育成」の 0.07 点減少であった。

2020(令和 2)年度調査、2017(平成 29)年度調査とも重要度の得点の平均値はすべて 3 点台であり、4 点以上、あるいは 2 点台以下の項目はなかった。

【ポートフォリオ分析による施策項目の優先性「重要度」(全体) 2017(H29)・2020(R2)】

	2017(H29) 得点	2020(R2) 得点	2017(H29)→ 2020(R2) 変化
1 人権尊重のまちづくりの推進	3.17	3.16	→
2 男女共同参画の推進	3.18	3.20	↗
3 協働のまちづくりの推進	3.30	3.24	↘
4 情報共有の推進	3.30	3.28	↘
5 効果的・効率的な行政経営の推進	3.23	3.27	↗
6 公共施設等の最適化と有効利活用	3.28	3.27	→
7 財政の健全化	3.22	3.24	↗
8 職員の能力開発と人材育成の推進	3.19	3.20	→
9 健幸都市づくりの推進	3.37	3.34	↘
10 保健・医療の充実と連携	3.52	3.51	→
11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	3.40	3.43	↗
12 子育て支援の推進	3.42	3.42	→
13 安心して産み育てやすい環境づくり	3.41	3.43	↗
14 障がい者福祉の充実	3.32	3.36	↗
15 安心して暮らせる地域づくり	3.22	3.25	↗
16 農林業の振興	3.16	3.20	↗
17 地場産業の振興	3.13	3.17	↗
18 創業促進と産業の創出	3.23	3.24	↗
19 商業の振興	3.19	3.20	→
20 観光の振興	3.19	3.12	↘
21 就労支援の充実と労働環境の整備	3.25	3.26	→
22 人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	3.34	3.33	↘
23 確かな学力を育む教育の推進	3.47	3.44	↘
24 子ども・若者の健全育成	3.41	3.34	↘
25 生涯学習の振興	3.28	3.27	↘
26 スポーツの振興	3.30	3.28	↘
27 文化芸術の創造	3.20	3.19	→
28 歴史的・文化的遺産の保護と活用	3.25	3.19	↘
29 国際交流・多文化共生の推進	3.18	3.16	↘
30 災害・減災対策の充実	3.48	3.52	↗
31 消防・救急体制の充実	3.52	3.54	↗
32 生活安全の向上	3.40	3.43	↗
33 計画的な土地利用の推進	3.27	3.30	↗
34 定住環境・公共交通の充実	3.32	3.32	→
35 公園・緑地の整備	3.29	3.32	↗
36 道路の整備	3.26	3.32	↗
37 上下水道の整備	3.33	3.36	↗
38 自然環境の保全	3.22	3.25	↗
39 快適な生活環境づくり	3.29	3.31	↗
40 環境にやさしいまちづくり	3.33	3.36	↗
平均値	3.30	3.30	→

※得点差が0.01未満の差の場合は変わらない(→)、0.01以上の場合は増加(↗)、0.01以下の場合は減少(↘)として変化を記載。少数点第2位まで表示している都合上、0.01未満の差となっている場合でも、差が0.01と表示されている場合がある。

③ポートフォリオ分析

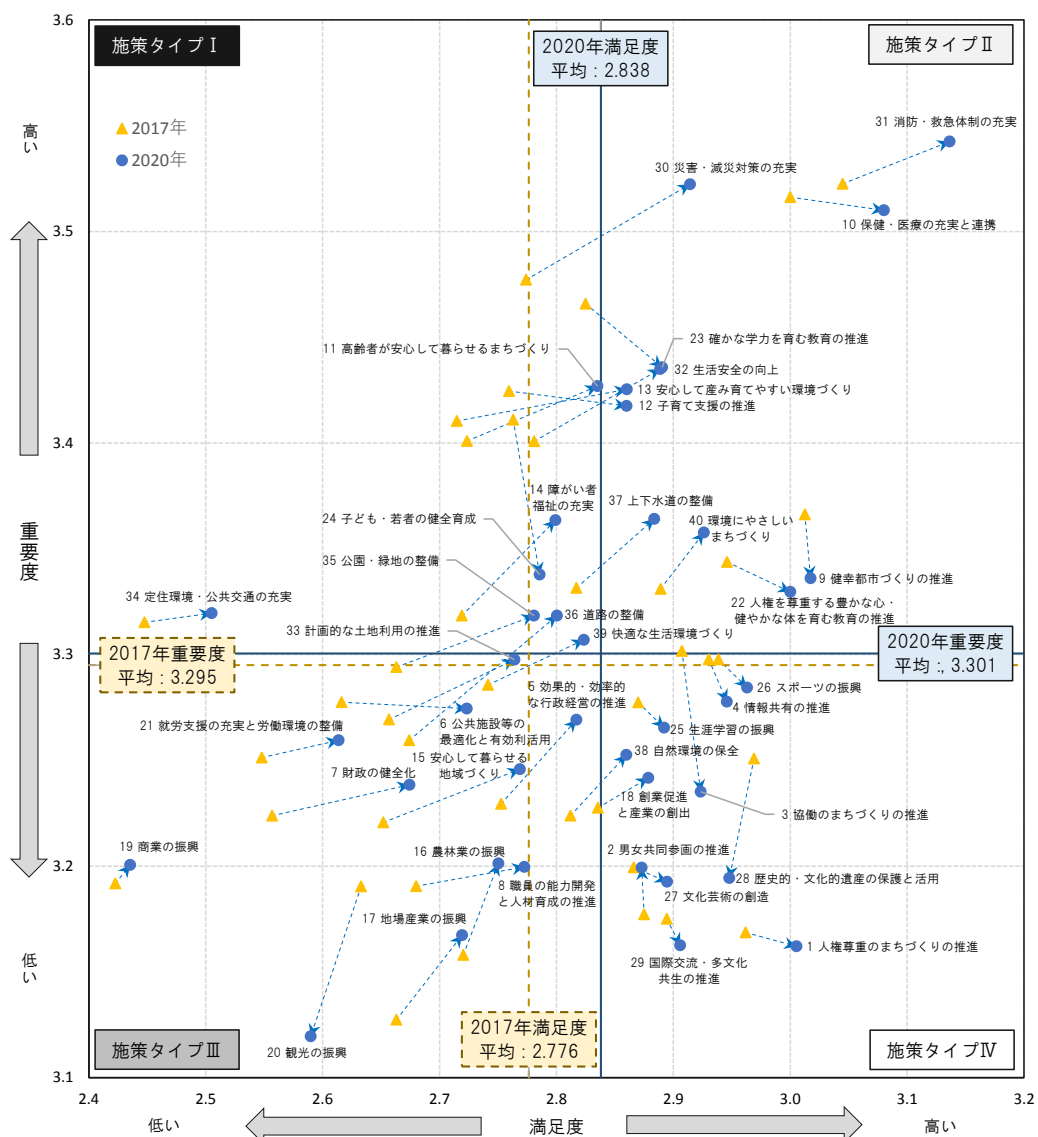
施策の重要度は高いが、満足度が低い【施策タイプⅠ】には、2017(平成29)年度で満足度が2番目に低い「【34】定住環境・公共交通の充実」など7項目が該当しているが、2020(令和2)年度でも同じく満足度が2番目に低い「【34】定住環境・公共交通の充実」を含む7項目が該当している。その中で、「【34】定住環境・公共交通の充実」、「【24】子ども・若者の健全育成」、「【14】障がい者福祉の充実」、「【11】高齢者が安心して暮らせるまちづくり」の4項目はいずれの調査年とも同じ分類に該当している。

施策の重要度が高く、満足度が高い【施策タイプⅡ】には、「【31】消防・救急体制の充実」や「【10】保健・医療の充実と連携」などを含む11項目が該当している。

また、施策の重要度が低く、満足度も低い【施策タイプⅢ】には、2017年度調査では満足度が最も低い「【19】商業の振興」など14項目が入っているが、2020(令和2)年度調査においても満足度が最も低い「【19】商業の振興」を含む11項目が入っている。

施策の満足度が高いが重要度が低い【施策タイプⅣ】には、「【1】人権尊重のまちづくりの推進」や「【29】国際交流・多文化共生の推進」などを含む11項目が該当している。

【ポートフォリオ分析（全体）2017(H29)・2020(R2)】



(7) 今後、特に力を入れてほしいまちづくりの取り組み

今後、特に力を入れてほしいと感じている行政サービスの取り組みを経年で比較すると、2020(令和2)年度調査の1位は2017(平成29)年度調査と同じく「【11】高齢者が安心して暮らせるまちづくり」となっている。この取り組みは、ポートフォリオ分析においても重要度は高いが満足度が低い項目としてあげられており、市民意識として関心が高い内容となっている。高齢化の進展とともに、市民にとって重要な施策となっていることが考えられる。

2位は「【34】定住環境・公共交通の充実」が2017(平成29)年度調査の9位から順位を上げている。この取り組みはポートフォリオ分析において、重要度は高いが満足度が低い項目としてあげられており、関心が高い内容であることが分かる。この点は、飯塚市が『住みにくい』と回答した人の理由として、「交通の便がよくない」を選んだ人が最も多かった点とも合致している。

3位は「【30】災害・減災対策の充実」が2017(平成29)年度調査の4位から1つ順位を上げている。4位は「【12】子育て支援の推進」となり、2017(平成29)年度調査の2位から順位を下げている。5位は「【13】安心して産み育てやすい環境づくり」が2017(平成29)年度調査の8位から順位を上げている。6位の「【19】商業の振興」は、今後特に力を入れてほしいまちづくりの取り組みとして上位にあるが、ポートフォリオ分析においては重要度・満足度の両方が低いという結果になっている。

【今後、特に力を入れてほしいまちづくりの取り組み 順位（全体）2017(H29)・2020(R2)】

	2017年(H29) 順位	2017(H29)→ 2020(R2) 変化	2020年(R2) 順位
11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	1	→	1
34 定住環境・公共交通の充実	9	↑	2
30 災害・減災対策の充実	4	↗	3
12 子育て支援の推進	2	↘	4
13 安心して産み育てやすい環境づくり	8	↗	5
19 商業の振興	12	↑	6
10 保健・医療の充実と連携	5	↘	7
23 確かな学力を育む教育の推進	10	↗	8
7 財政の健全化	6	↘	9
21 就労支援の充実と労働環境の整備	15	↑	10
15 安心して暮らせる地域づくり	3	↓	11
24 子ども・若者の健全育成	7	↓	12
37 上下水道の整備	16	↗	13
36 道路の整備	14	→	14
32 生活安全の向上	13	↘	15
14 障がい者福祉の充実	18	↗	16
17 地場産業の振興	28	↑	17
39 快適な生活環境づくり	11	↓	18
40 環境にやさしいまちづくり	21	↗	19
35 公園・緑地の整備	17	↘	20
38 自然環境の保全	26	↑	21
33 計画的な土地利用の推進	30	↑	22
8 職員の能力開発と人材育成の推進	20	↘	23
31 消防・救急体制の充実	22	↘	24
5 効果的・効率的な行政経営の推進	25	→	25
16 農林業の振興	32	↑	26
6 公共施設等の最適化と有効利活用	19	↓	27
22 人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	23	↓	28
20 観光の振興	27	↘	29
9 健幸都市づくりの推進	37	↑	30
18 創業促進と産業の創出	33	↗	31
3 協働のまちづくりの推進	35	↗	32
1 人権尊重のまちづくりの推進	31	↘	33
2 男女共同参画の推進	36	↗	34
26 スポーツの振興	29	↓	35
27 文化芸術の創造	39	↗	36
25 生涯学習の振興	34	↘	37
4 情報共有の推進	24	↓	38
29 国際交流・多文化共生の推進	40	↗	39
28 歴史的・文化的遺産の保護と活用	38	↘	40

※2017年(H29)調査の順位と比べて2020年(R2)調査の順位が、5位以上上がった場合は「↑」、1～4位上昇した場合は「↗」、変わらない場合は「→」、1～4位下がった場合は「↘」、5位以上下がった場合は「↓」と記載している。

【参考資料】 調査票

令和 2 年度 飯塚市民意識調査

◆調査ご協力をお願い◆

市民の皆さまには、日ごろから飯塚市のまちづくりにご理解とご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

このたび、飯塚市では「令和 2 年度飯塚市民意識調査」を実施することといたしました。この調査は、飯塚市にお住いの皆さまが日常生活の中でどのようなことを感じられているか、今後どのようなまちにしたいか、ご意見・ご要望を伺い、今後の市政運営（まちづくり）の参考とするために行うものです。

ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 2 年 10 月 飯塚市長 片 峯 誠

◆ご記入・ご返送に際してのお願い◆

- *この調査は、市内にお住いの 18 歳以上の方、6,000 人を無作為に抽出し、ご協力をお願いしています。（令和 2 年 9 月 1 日現在の情報によります。）
 - *ご回答にあたっては、調査対象者であるご本人様（＝封筒の宛名の方）が全てご記入ください。ただし、何らかの事情によりご本人様による記入ができないときは、ご家族がご本人様の意向に沿ってご記入ください。
 - *質問へのご回答は、直接アンケート調査票にご記入ください。また、ご記入の際は、黒または青のボールペンをご使用ください。（なるべく鉛筆は避けてください。）
 - *選択肢の「その他」を選ばれた場合には、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
 - *ご回答がお済みになりましたら、本調査票を同封の返信用封筒に入れ、**11 月 2 日（月）**までに、お近くの郵便ポストへ投函してください。（切手は不要です。）
 - *ご記入いただきましたご回答、ご意見は、飯塚市個人情報保護条例等に基づいて適正に管理するとともに、統計的に処理しますので、個人や世帯が特定されることはありません。
 - *アンケートの集計結果は、市ホームページなどを通じて公表します。
 - *記入方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。
- （For language support, please contact us. 外国語表記が必要な方は、下記までお問い合わせください。）

【本調査に関するお問い合わせ先】 飯塚市 行政経営部 総合政策課 企画係
電 話：0948-22-5500(内線1352)
FAX：0948-22-5754
E-mail :sougou@city.iizuka.lg.jp

飯塚市の住みやすさや愛着度について

問1. あなたは、飯塚市は住みやすいと思いますか。(1つ選んで○をつけてください。)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば住みにくい |
| 5. 住みにくい | |

問2. 住みやすいと思う理由はどれですか。(あてはまる番号があればいくつでも○)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 自然環境がよい | 2. 交通の便がよい |
| 3. 病院や福祉施設が充実している | 4. 子育て環境や教育環境がよい |
| 5. 買い物が便利である | 6. 働く場所が多い |
| 7. 防犯や防災対策が整っている | 8. 歴史・文化施設が整っている |
| 9. 道路等の生活環境が整っている | 10. 公共施設が整っている |
| 11. 自然災害が少ない | 12. 気の合う仲間がいる |
| 13. レクリエーションの場が多い | 14. 行政サービスが充実している |
| 15. この土地への愛着がある | 16. まちに活気がある |
| 17. その他 () | |

問3. 住みにくいと思う理由はどれですか。(あてはまる番号があればいくつでも○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 自然環境がよくない | 2. 交通の便がよくない |
| 3. 病院や福祉施設が少ない | 4. 子育て環境や教育環境がよくない |
| 5. 買い物が不便である | 6. 働く場所が少ない |
| 7. 防犯や防災対策が整っていない | 8. 歴史・文化施設が整っていない |
| 9. 道路等の生活環境が整っていない | 10. 公共施設が整っていない |
| 11. 自然災害が懸念される | 12. 気の合う仲間がいない |
| 13. レクリエーションの場が少ない | 14. 行政サービスが充実していない |
| 15. この土地への愛着がわからない | 16. まちに活気がない |
| 17. その他 () | |

問4. あなたは、飯塚市に愛着がありますか。(1つ選んで○をつけてください。)

- | | | |
|------------------|------------------|------------|
| 1. 愛着がある | 2. どちらかといえば愛着がある | 3. どちらでもない |
| 4. どちらかといえば愛着がない | 5. 愛着がない | |

問5. 飯塚市に住み続けたいとお考えですか。(1つ選んで○をつけてください。)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 住み続けたい | 2. どちらかといえば住み続けたい |
| 3. どちらかといえば移転したい | 4. 移転したい |
| 5. 考えていない・どちらとも言えない | |

問6. 今後、少子高齢化の進展や人口減少等社会構造の変化により、財政状況がいつそう厳しさを増すことから、今までのような行政サービスを維持することが難しくなると思われます。あなたは、市民の負担と行政サービスのあり方についてどう思いますか。

(1つ選んで○をつけてください。)

1. 負担がかなり増えても、多様なサービスを受けたい
2. 負担がある程度増えても、現在の水準のサービスを受けたい
3. 負担はそのまま、ある程度サービスが低下しても仕方がない
4. 負担を減らし、最低限のサービスが受けられればよい

飯塚市のまちづくりの取組に対する満足度・重要度について

問7. 飯塚市が行っている様々な行政サービスの項目について、あなたは、現在、どのくらい満足していますか。また、今後のまちづくりを進めていくうえで、どのくらい重要とご思いますか。「満足度」、「重要度」からそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

項目	現在の評価【満足度】					今後への期待【重要度】				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	高い	やや高い	ふつう	やや低い	低い
[記入例]国際交流・多文化共生の推進	1	2	③	4	5	1	②	3	4	5
<人権・市民参画分野>										
1 人権尊重のまちづくりの推進 (人権教育や人権啓発の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 男女共同参画の推進 (男女共同参画の推進、女性活躍の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3 協働のまちづくりの推進 (地域コミュニティ活動の支援や拠点づくりの推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4 情報共有の推進 (広報紙やホームページやSNSの充実、情報公開の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<行政経営分野>										
5 効果的・効率的な行政経営の推進 (行政サービスの効率化、広域行政の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6 公共施設等の最適化と有効利活用 (公共施設の適切な管理、未利用地等の有効利活用など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7 財政の健全化 (健全な財政運営、市税等の自主財源の適切な確保など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8 職員の能力開発と人材育成の推進 (研修による職員の資質向上、職員の業績や能力を評価する制度の活用と適切な運用など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項目	現在の評価【満足度】					今後への期待【重要度】				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	高い	やや高い	ふつう	やや低い	低い
<健幸・子育て分野>										
9 健幸都市づくりの推進 (健康相談や健康教室の実施、食育の推進、健康づくり拠点施設の整備と活用など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10 保健・医療の充実と連携 (質の高い医療の推進、健康診査やがん検診などの普及啓発など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11 高齢者が安心して暮らせるまちづくり (高齢者支援、介護保険制度によるサービス、高齢者の人権擁護の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12 子育て支援の推進 (子ども医療費の助成、児童虐待等の防止、婚活支援など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13 安心して産み育てやすい環境づくり (就学前の教育・保育施設の整備、保育士の確保、放課後児童クラブの充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14 障がい者福祉の充実 (障がいのある人もない人も、自立した生活を送れる社会づくり、バリアフリーのまちづくりの推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15 安心して暮らせる地域づくり (福祉活動でつながる地域づくり、生活保護の適正な実施など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<地域経済分野>										
16 農林業の振興 (担い手の育成・支援、農産品のブランド化、有害鳥獣駆除対策など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17 地場産業の振興 (企業誘致、販路拡大の促進、オートレース事業の円滑な運営など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18 創業促進と産業の創出 (産学官交流の充実、創業支援、大学等との連携など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19 商業の振興 (魅力ある商店街づくりの推進、経営力強化の支援など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
20 観光の振興 (広域的観光ルートの整備、観光情報の発信強化など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
21 就労支援の充実と労働環境の整備 (雇用確保の推進、労働環境の整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項目	現在の評価【満足度】					今後への期待【重要度】				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	高い	やや高い	ふつう	やや低い	低い
<教育・文化分野>										
22 人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進 (体力向上と健康増進の推進、安全な給食の提供と食育の推進、地域に開かれた特色ある学校づくりの推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
23 確かな学力を育む教育の推進 (学力向上の推進、小中一貫教育の推進、学校施設の環境整備、教員の資質向上など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
24 子ども・若者の健全育成 (放課後子ども教室、ニート・ひきこもり等困難を有する子ども・若者への支援など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
25 生涯学習の振興 (多様な学習機会の提供、生涯学習指導者の育成など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
26 スポーツの振興 (生涯スポーツ活動の推進、スポーツ施設の整備、国際的スポーツ大会等の誘致など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
27 文化芸術の創造 (市民による文化芸術活動の推進、文化施設の整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
28 歴史的・文化的遺産の保護と活用 (文化財の保存・整備・活用、伝統文化の継承など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
29 国際交流・多文化共生の推進 (国際交流・国際理解の推進、外国人の生活支援など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<都市基盤・生活基盤分野>										
30 災害・減災対策の充実 (自主防災体制の確立、情報伝達機能の向上など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
31 消防・救急体制の充実 (消防機関との連携強化、救命救急体制の強化など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
32 生活安全の向上 (防犯意識や交通安全意識の啓発活動、消費者トラブルの未然防止など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
33 計画的な土地利用の推進 (暮らしやすい都市づくり、農地の保全など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項目	現在の評価【満足度】					今後への期待【重要度】				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	高い	やや高い	ふつう	やや低い	低い
34 定住環境・公共交通の充実 (空き家対策、コミュニティ交通の充実、買い物弱者対策、移住定住施策の推進、良質な住宅供給の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
35 公園・緑地の整備 (安全・安心な公園・緑地の整備、花いっぱい運動の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
36 道路の整備 (計画的な道路や橋りょうの整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
37 上下水道の整備 (安全・安心な水の安定供給、下水道の整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<自然環境分野>										
38 自然環境の保全 (森林や水辺環境の整備、生態系の保持など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
39 快適な生活環境づくり (環境美化の推進、合併浄化槽の設置、産業廃棄物対策など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
40 環境にやさしいまちづくり (資源回収や省エネ活動の啓発など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問7-2. 上記40施策のうち、今後、飯塚市が力を入れるべき重要な施策を3つ、「1～40の番号」で選んでください。

回答欄	最も重要	2番目に重要	3番目に重要

最後に、あなたご自身のことについてお聞きします。

問 8. あなたの性別を教えてください。

- | | | |
|------|------|----------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. 回答しない |
|------|------|----------|

問 9. あなたの年齢を教えてください。

- | | | | |
|----------|------------|------------|-----------|
| 1. 10 歳代 | 2. 20 歳代 | 3. 30 歳代 | 4. 40 歳代 |
| 5. 50 歳代 | 6. 60～64 歳 | 7. 65～74 歳 | 8. 75 歳以上 |

問 10. あなたの職業を教えてください。

- | | | |
|-----------|--------------------|--------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 自営業(商工業・サービス業等) | 3. 会社員・団体職員 |
| 4. 公務員・教員 | 5. 家事専業 | 6. パート・アルバイト |
| 7. 学生 | 8. 無職 | 9. その他 () |

問 11. 通勤・通学されている方にお伺いします。

あなたの通勤・通学先を教えてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 飯塚市 |
| 2. 嘉麻市・桂川町 |
| 3. 福岡市 |
| 4. 嘉麻市・桂川町・福岡市以外の県内他市町村 () 市・町・村) |
| 5. 県外 () 都・道・府・県) |

問 12. あなたのお住まいの地区(地区交流センター単位)を教えてください。

- | | | | |
|---------|----------|------------|----------|
| 1. 二瀬地区 | 2. 幸袋地区 | 3. 鎮西地区 | 4. 菰田地区 |
| 5. 立岩地区 | 6. 飯塚東地区 | 7. 飯塚・片島地区 | 8. 鯉田地区 |
| 9. 穂波地区 | 10. 筑穂地区 | 11. 庄内地区 | 12. 穎田地区 |

問 13. あなたの現在のお住まいについて教えてください。

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. 持ち家 (一戸建て) | 2. 持ち家 (マンション・集合住宅) |
| 3. 民間賃貸住宅 | 4. 社宅 |
| 5. 公営住宅 | 6. その他 () |

問 14. あなたは結婚していらっしゃいますか。

- | | |
|---------|----------|
| 1. している | 2. していない |
|---------|----------|

問 15. あなたには子どもがいらっしゃいますか。

※「1.」と回答した方は [] 内もお答えください。(あてはまる番号にいくつでも○)

1. いる	→	1. 小学校入学前	2. 小学校在学中	3. 中学校在学中
2. いない		4. 高校在学中	5. 専門学校等在学中	6. 短大・大学・大学院在学中
		7. 学校教育終了	8. その他 ()	

問 16. あなたと同居しているご家族について教えてください。

1. 単身世帯	2. 夫婦のみの世帯
3. 二世帯世帯(親・子) (親族の同居を含む)	4. 三世帯世帯(親・子・孫) (親族の同居を含む)
5. 兄弟姉妹など親族世帯のみ	6. その他 ()

問 17. あなたは、運転免許証及び日常生活で自由に使える車をお持ちですか？

1. 運転免許証も自由に使える車も持っている
2. 運転免許証は持っているが車は持たない
3. 運転免許証も車も持たない
4. 運転免許証は持たないが、家族が運転する車にいつでも同乗できる

問 18. あなたは、飯塚市に住んで通算何年になりますか。

1. 1年未満	2. 1年～10年	3. 11年～20年
4. 21年～30年	5. 31年以上	

問 19. 飯塚市に居住することになった一番の理由は何ですか。

1. 生まれた時から住んでいる	2. 就学のため	3. 就職・転職のため
4. 転勤のため	5. 結婚のため	6. 住宅事情のため
7. 親族と同居または近くに住むため	8. 飯塚に魅力を感じたため	
9. 退職のため	10. その他 ()	

最後に、飯塚市の今後のあり方についてご意見・ご提案等がありましたら、ご自由にお書きください。

--

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

2020(令和2)年度 飯塚市民意識調査

2021(令和3)年3月

■発行 飯塚市 行政経営部 総合政策課
〒820-8501 飯塚市新立岩5番5号
(TEL) 0948-22-5500 (内線 1351)
(FAX) 0948-22-5754